

日野市
子ども・子育てに関するアンケート調査
調査結果報告書

令和6年3月

日 野 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	就学前児童保護者	3
	地域における子育て支援について	3
	(1) 子育て環境や子育て支援の現状について	3
	(2) 子育て環境について	10
	(3) 地域での子育て状況について	13
	保育基盤づくりについて（保育サービス以外）	14
	(4) あて名のお子さんの保護者の就労状況について	14
	(5) 育児休業や短時間勤務制度など仕事と子育ての両立支援制度について	24
	保育サービスについて	34
	(6) 保育サービスの利用状況について	34
	ご家族の状況について	70
	(7) あて名のお子さんご家族の状況について	70
	子どもの権利について	72
	(8) 子どもの権利について	72
	日野市の子育て支援について	73
	(9) 日野市の子育て支援策について	73
2	小学校児童保護者	76
	地域における子育て支援について	76
	(1) 子育て環境や子育て支援の現状について	76
	(2) 子育て環境について	80
	(3) 地域での子育て状況について	81
	育成基盤づくりについて	82
	(4) お子さんの保護者の就労状況について	82
	(5) あて名のお子さんが病気の際の対応について	89
	(6) 仕事と子育ての両立支援について	99

放課後の過ごし方について	106
(7) 小学校の放課後の過ごし方について	106
ご家族の状況について	117
(8) お子さんご家族の状況について	117
子どもの権利について	119
(9) 子どもの権利について	119
日野市の子育て支援について	120
(10) 日野市の子育て支援について	120
3 小学5年生	123
4 中学2年生	134
(1) あなたのことについて	134
(2) あなたとまわりの大人の関係について	136
(3) 学校や友人について	137
(4) 放課後や休日について	139
(5) あなたの将来について	143
(6) 子どもの権利について	145
(7) 最後に	146
5 高校2年生相当	148
(1) あなたの事について	148
(2) あなたとまわりの大人の関係について	151
(3) 学校や友だちについて	152
(4) 放課後や休日の過ごし方について	155
(5) あなたの将来について	162
(6) 子どもの権利について	166
(7) 社会環境について	167
(8) 最後に	170
6 18歳から39歳までの若者	171
(1) あなたと家族について	171
(2) 家庭と仕事について	181
(3) 地域で子育て・子育てを支える	184
(4) 子どもの権利について	186
7 子育て関連事業者・団体	187
(1) 施設・グループの概要について	187
(2) 家庭や地域での子育ての実態について	188
(3) サービスの動向について	192
(4) 子育て支援活動について	198
(5) 子どもの権利について	200
8 市内の企業	201
(1) 事業所の概要について	201
(2) 子育ての実態・必要な対策について	202

(3) 子どもの権利について	207
Ⅲ 自由回答	208
1 未就学児童保護者	208
2 小学校児童保護者	212
3 中学2年生	216
4 高校2年生相当	219
5 18歳から39歳までの若者	221
6 子育て関連事業者・団体	224
7 市内の企業	224

I 調査の概要

1 調査の目的

次期子ども・子育て支援事業計画（計画期間：令和7年度～令和11年度）を策定するにあたって、市民の方の子ども・子育てに関する考えや意見を聞き、調査結果を計画策定を進める上での基礎資料として活用するために調査を実施する。

2 調査対象

就学前児童保護者
小学校児童保護者
小学5年生
中学2年生
高校2年生相当
18歳から39歳までの若者
子育て関連事業者・団体
市内の企業

3 調査期間

令和6年1月9日～令和6年2月16日

4 調査方法

郵送による配布・回収、webによる調査
小学5年生、中学2年生については、学校を通じて配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	1,568通	653通	43.5%
小学校児童保護者	1,265通	560通	44.3%
小学5年生	1,549通	1,499通	96.8%
中学2年生	1,422通	1,348通	94.8%
高校2年生相当	1,036通	279通	26.9%
18歳から39歳までの若者	1,087通	271通	24.9%
子育て関連事業者・団体	78通	36通	46.2%
市内の企業	100通	27通	27.0%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。
- ・回答者数が0件の場合は、「有効回答がありませんでした。」と記載しています。
- ・平成30年度に実施した「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」と、今回調査との比較を行いました。

II 調査結果

1 就学前児童保護者

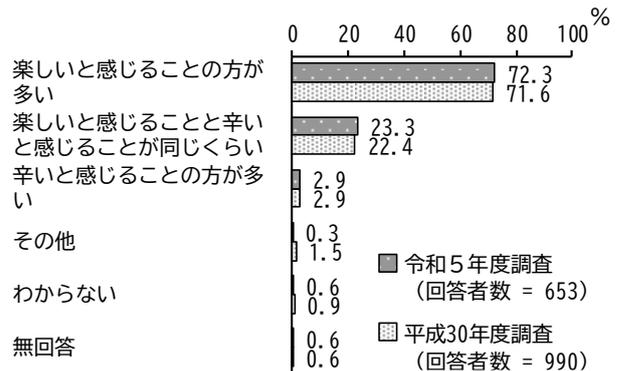
地域における子育て支援について

(1) 子育て環境や子育て支援の現状について

問1 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いですか。それとも辛いと感じることが多いですか。(あてはまるもの1つに○)

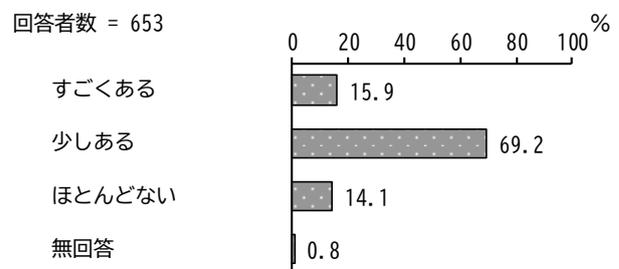
「楽しいと感じることの方が多い」の割合が72.3%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が23.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 あなたは、子育てをされていて、不安や悩みなどはありますか。(あてはまるもの1つに○)

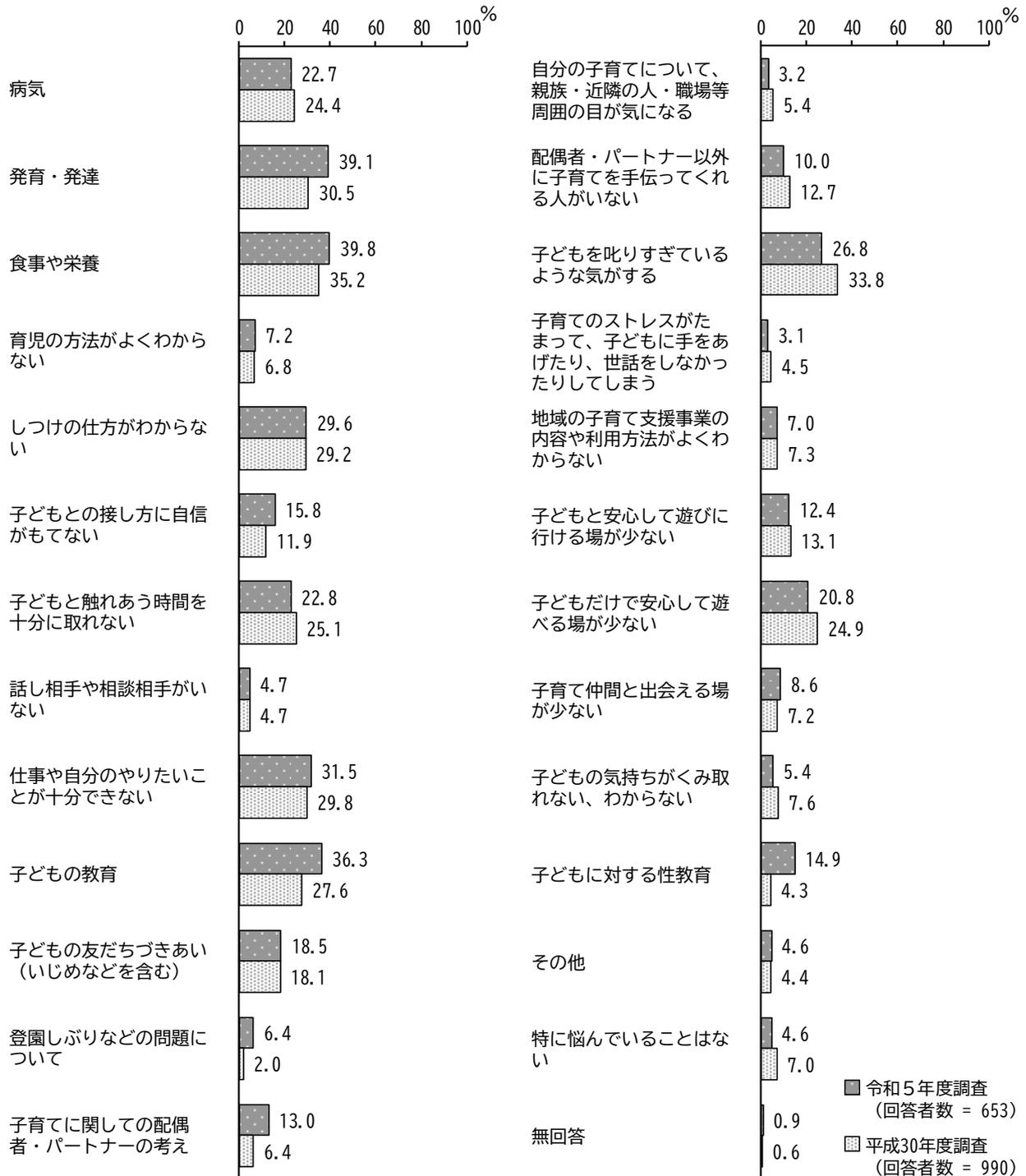
「少しある」の割合が69.2%と最も高く、次いで「すごくある」の割合が15.9%、「ほとんどない」の割合が14.1%となっています。



問3 子育てに関して日常悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「食事や栄養」の割合が39.8%と最も高く、次いで「発育・発達」の割合が39.1%、「子どもの教育」の割合が36.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「発育・発達」「子どもの教育」「子育てに関する配偶者・パートナーの考え」「子どもに対する性教育」の割合が増加しています。一方、「子どもを叱りすぎているような気がする」の割合が減少しています。

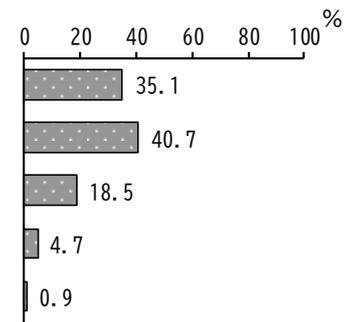


問4 以下の質問は、母親・父親を問わずご自身の視点でお答えください。産後に不安や負担は感じましたか。(あてはまるものひとつに○)

「時々感じた（時々感じている）」の割合が40.7%と最も高く、次いで「とても感じた（感じている）」の割合が35.1%、「あまり感じなかった（あまり感じていない）」の割合が18.5%となっています。

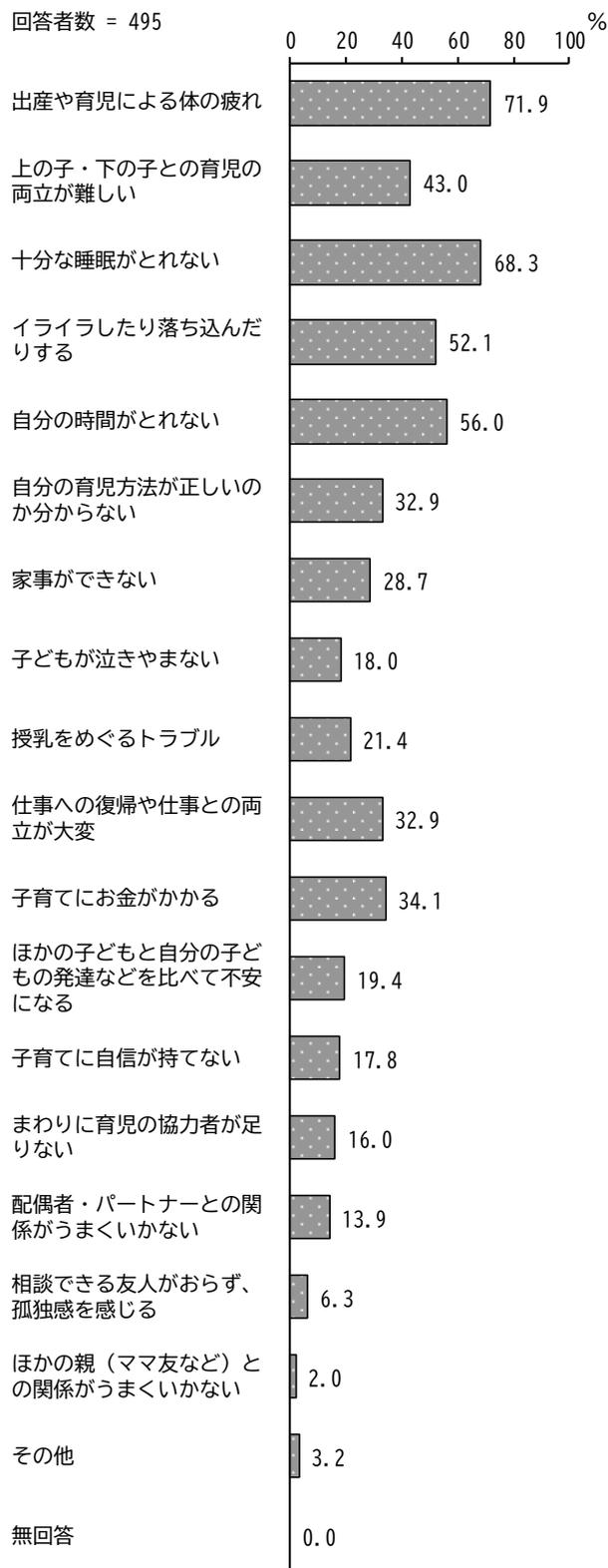
回答者数 = 653

とても感じた（感じている）
時々感じた（時々感じている）
あまり感じなかった（あまり感じていない）
まったく感じなかった（まったく感じていない）
無回答



問5 問4で、「1. とても感じた（感じている）」または「2. 時々感じた（時々感じている）」に○をつけた方にお伺いします。それはどんな内容ですか。（あてはまるものすべてに○）

「出産や育児による体の疲れ」の割合が71.9%と最も高く、次いで「十分な睡眠がとれない」の割合が68.3%、「自分の時間がとれない」の割合が56.0%となっています。



問6 産後にどのような支援を受けたかった、受けていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「お子さんを預かるサービス付きの母親が休息できる宿泊サービス」の割合が57.1%と最も高く、次いで「宿泊しながらの赤ちゃんへのケア方法指導（ベビーマッサージやスキンケアなど）」の割合が24.2%、「配偶者・パートナーへの育児技術指導」の割合が23.6%となっています。

回答者数 = 653

お子さんを預かるサービス付きの母親が休息できる宿泊サービス

配偶者・パートナーへの育児技術指導

宿泊しながらの赤ちゃんへのケア方法指導（ベビーマッサージやスキンケアなど）

日帰りでの赤ちゃんへのケア方法指導（ベビーマッサージやスキンケアなど）

1日を通した赤ちゃんとの接し方指導

夜泣きに関する指導

授乳のペースや方法の指導

宿泊しながらの乳房ケアサービスと指導

日帰りでの乳房ケアサービスや指導

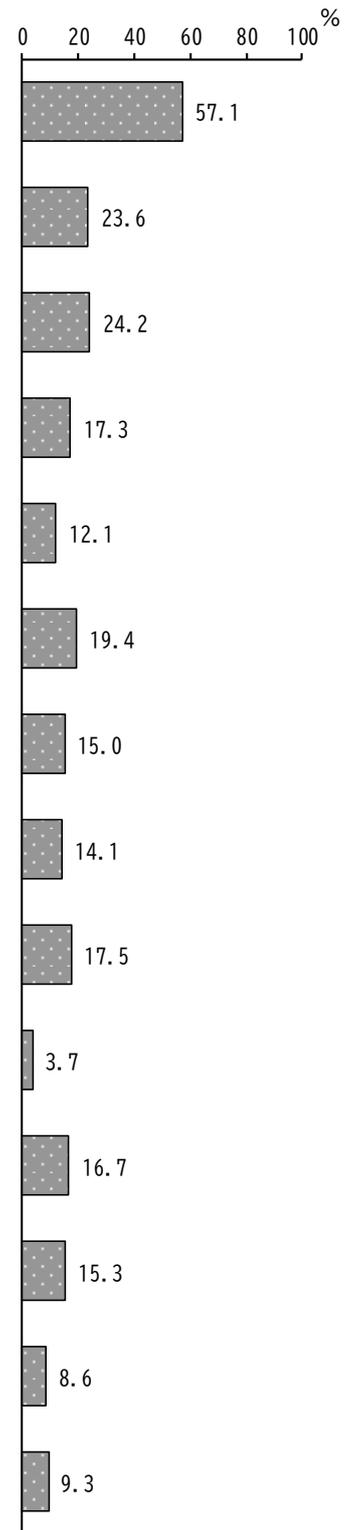
沐浴、お風呂の入れ方の指導

自宅での育児や不安に関する相談サービス

自宅での育児技術に関するアドバイス、指導

その他

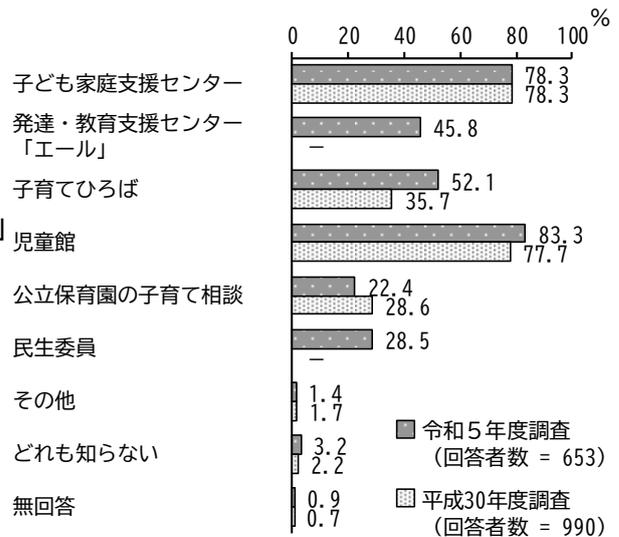
無回答



問7 あなたは、子育てに関する以下の相談窓口を知っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「児童館」の割合が83.3%と最も高く、次いで「子ども家庭支援センター」の割合が78.3%、「子育てひろば」の割合が52.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てひろば」「児童館」の割合が増加しています。一方、「公立保育園の子育て相談」の割合が減少しています。

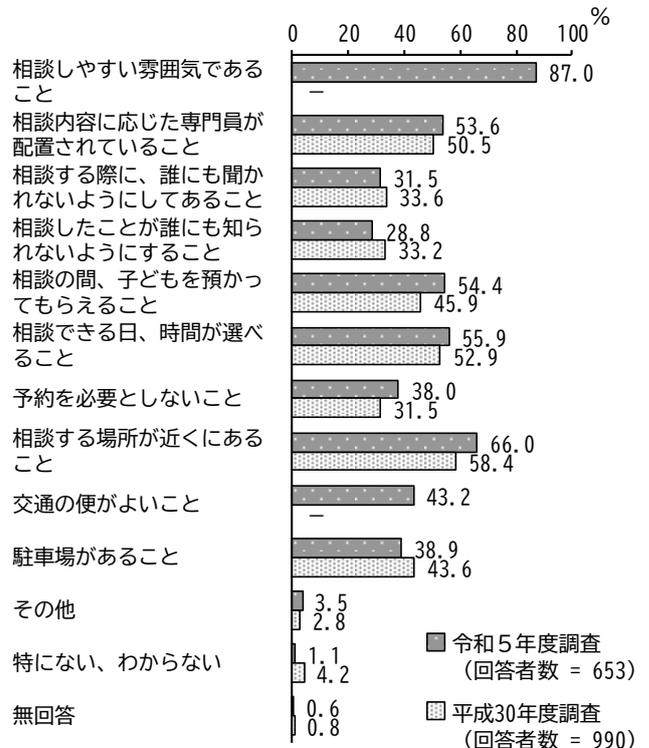


※「発達・教育支援センター「エール」「民生委員」は今回の調査で新しく追加しました。

問8 相談窓口を利用するために必要な条件は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「相談しやすい雰囲気であること」の割合が87.0%と最も高く、次いで「相談する場所が近くにあること」の割合が66.0%、「相談できる日、時間が選べること」の割合が55.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「相談の間、子どもを預かってもらえること」「予約を必要としないこと」「相談する場所が近くにあること」の割合が増加しています。

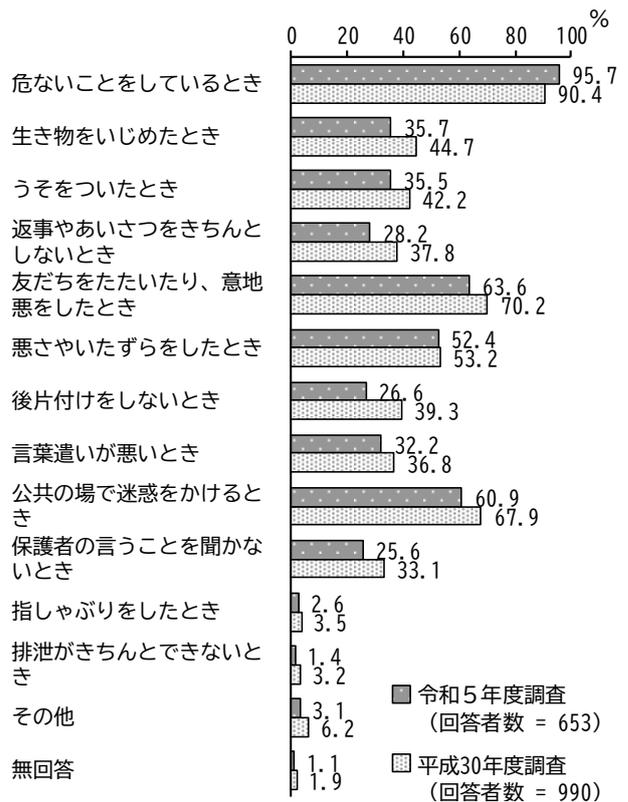


※「相談しやすい雰囲気であること」「交通の便がよいこと」は今回の調査で新しく追加しました。

問9 ご家庭では、あて名のお子さんを、どのようなときに叱りますか。
(あてはまるものすべてに○)

「危ないことをしているとき」の割合が95.7%と最も高く、次いで「友だちをたたいたり、意地悪をしたとき」の割合が63.6%、「公共の場で迷惑をかけるとき」の割合が60.9%となっています。

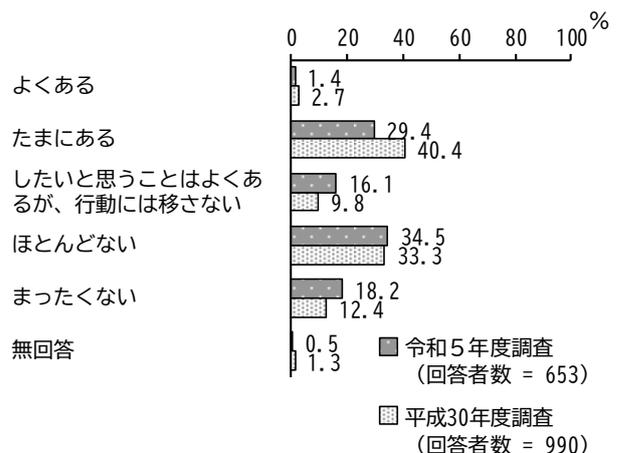
平成30年度調査と比較すると、「危ないことをしているとき」の割合が増加しています。一方、「生き物をいじめたとき」「うそをついたとき」「返事やあいさつをきちんとしないとき」「友だちをたたいたり、意地悪をしたとき」「後片付けをしないとき」「公共の場で迷惑をかけるとき」「保護者の言うことを聞かないとき」の割合が減少しています。



問10 お子さんに対して、思わずたたいたり、心を傷つけてしまうような言動をしたり、お子さんの相手や世話をしないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

「ほとんどない」の割合が34.5%と最も高く、次いで「たまにある」の割合が29.4%、「まったくない」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「したいと思うことはよくあるが、行動には移さない」「ほとんどない」「まったくない」の割合が増加しています。一方、「たまにある」の割合が減少しています。

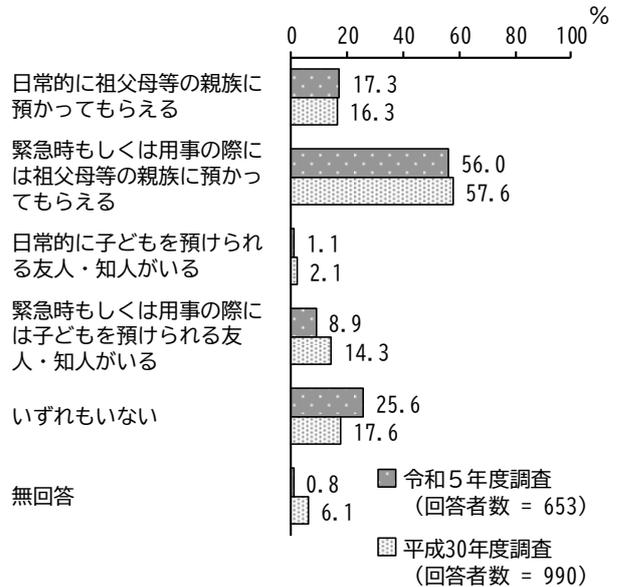


(2) 子育て環境について

問11 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」の割合が56.0%と最も高く、次いで「いずれもない」の割合が25.6%、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」の割合が17.3%となっています。

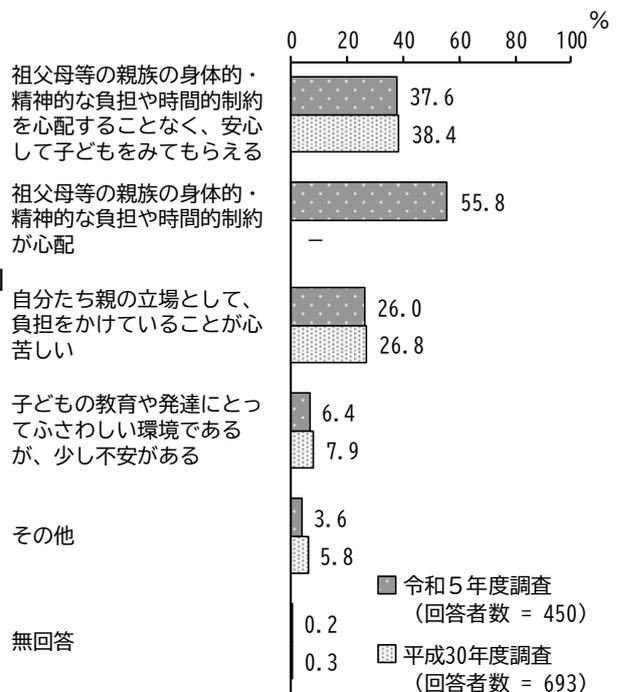
平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。一方、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」の割合が減少しています。



問12 問11で、「1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」に○をつけた方にお伺いします。祖父母等の親族にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が心配」の割合が55.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が37.6%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が26.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

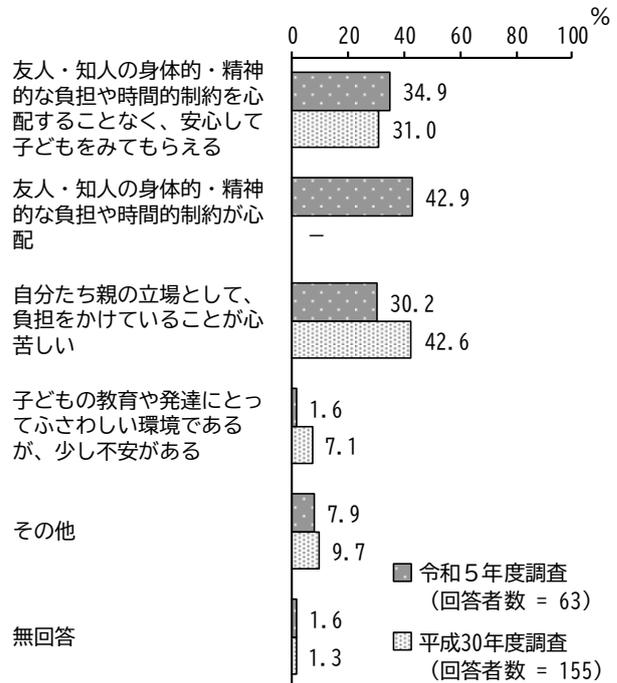


※「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が心配」は今回の調査で新しく追加しました。

問13 問11で、「3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」に○をつけた方にお伺いします。友人・知人にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が心配」の割合が42.9%と最も高く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が34.9%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が30.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある」の割合が減少しています。

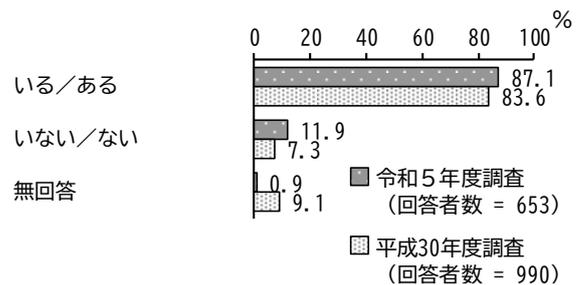


※「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が心配」は今回の調査で新しく追加しました。

問14 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまるもの1つに○)

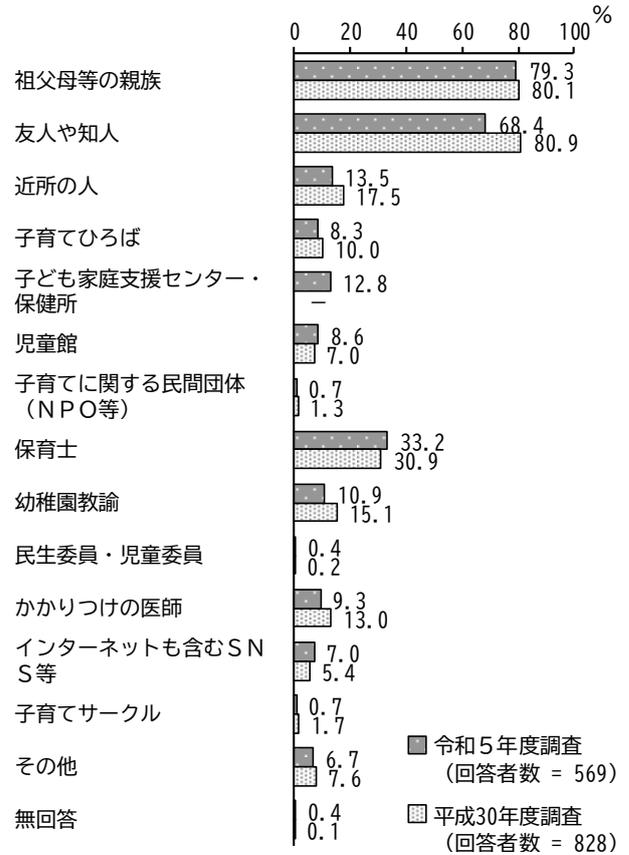
「いる／ある」の割合が87.1%、「いない／ない」の割合が11.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問15 問14で、「1. いる／ある」に○をつけた方にお伺いします。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

「祖父母等の親族」の割合が79.3%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が68.4%、「保育士」の割合が33.2%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「友人や知人」の割合が減少しています。



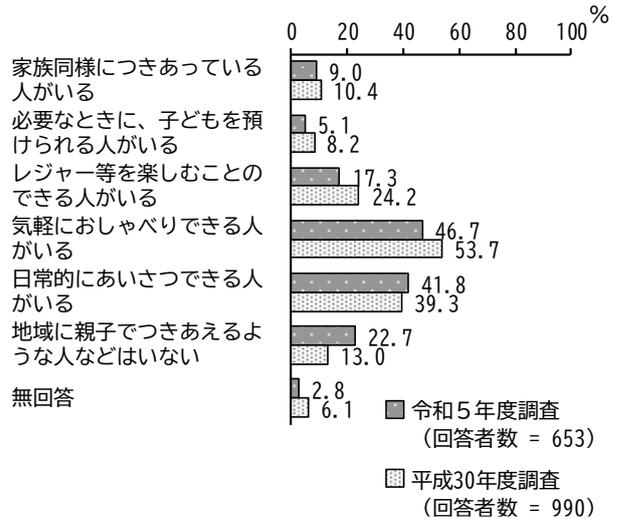
※「子ども家庭支援センター・保健所」は今回の調査で新しく追加しました。

(3) 地域での子育て状況について

問 16 地域に親子でつきあえる知人または友人などがいますか。(2つまで○)

「気軽におしゃべりできる人がいる」の割合が46.7%と最も高く、次いで「日常的にあいさつできる人がいる」の割合が41.8%、「地域に親子でつきあえるような人などはいない」の割合が22.7%となっています。

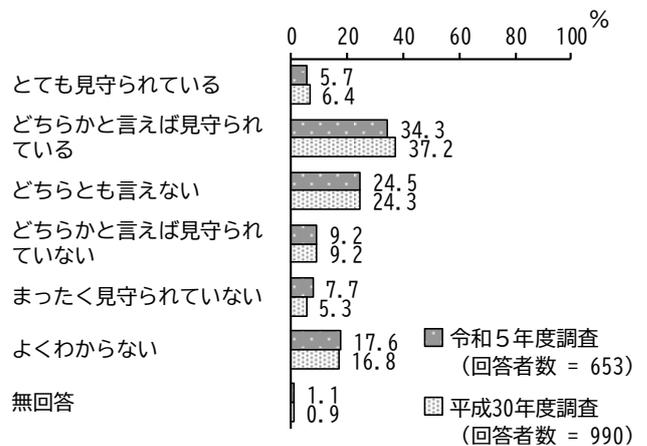
平成30年度調査と比較すると、「地域に親子でつきあえるような人などはいない」の割合が増加しています。一方、「レジャー等を楽しむことができる人がいる」「気軽におしゃべりできる人がいる」の割合が減少しています。



問 17 あなたは、地域の人から見守られていると感じますか。(あてはまるもの1つに○)

「どちらかと言えば見守られている」の割合が34.3%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が24.5%、「よくわからない」の割合が17.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



保育基盤づくりについて（保育サービス以外）

（４）あて名のお子さんの保護者の就労状況について

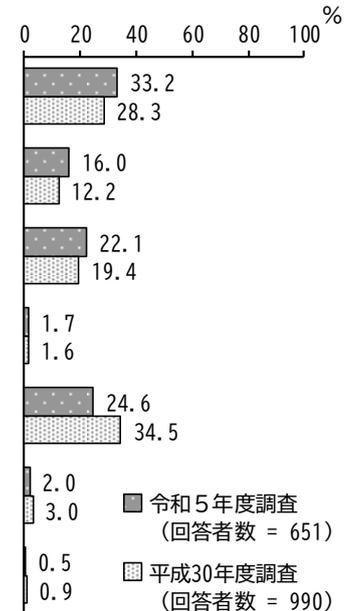
問 18 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。

（１）母親【父子家庭の場合は記載不要】（あてはまるもの１つに○）

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 24.6%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 22.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
以前は就労していたが、現在は就労していない
これまでに就労したことはない
無回答

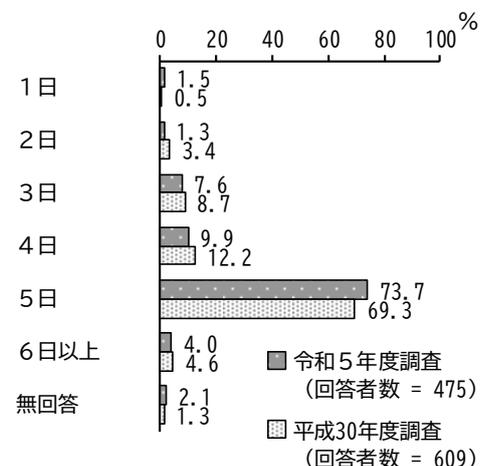


（１）－１ 問 18（１）で、「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」から「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」までのいずれかに○をつけた方にお伺いします。1 週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間（残業時間含む）」を（ ）内にお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1 週あたりの就労日数

「5 日」の割合が 73.7%と最も高くなっています。

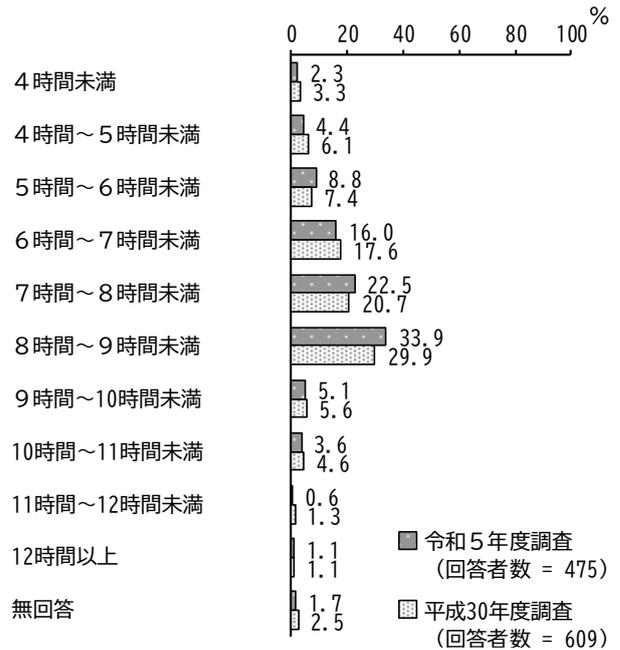
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日あたりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が33.9%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が22.5%、「6時間～7時間未満」の割合が16.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

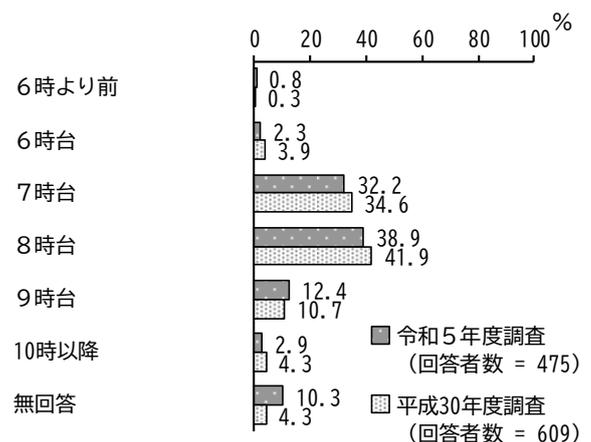


(1) - 2 問18(1)で、「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」から「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」までのいずれかに○をつけた方にお伺いします。家を出る時間と帰宅時間を()内にお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(※時間は必ず24時間制でお答えください)

家を出る時間

「8時台」の割合が38.9%と最も高く、次いで「7時台」の割合が32.2%、「9時台」の割合が12.4%となっています。

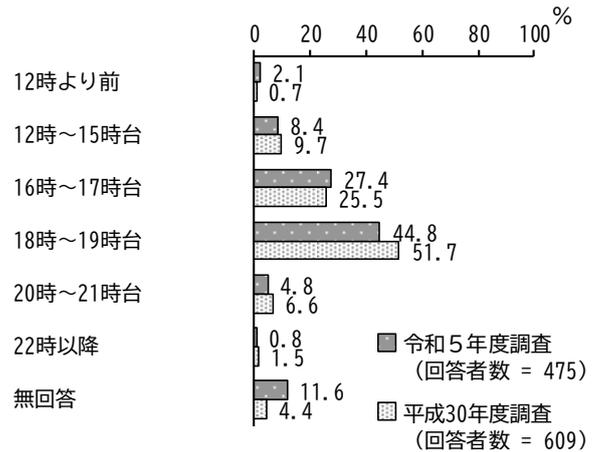
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時間

「18時～19時台」の割合が44.8%と最も高く、次いで「16時～17時台」の割合が27.4%となっています。

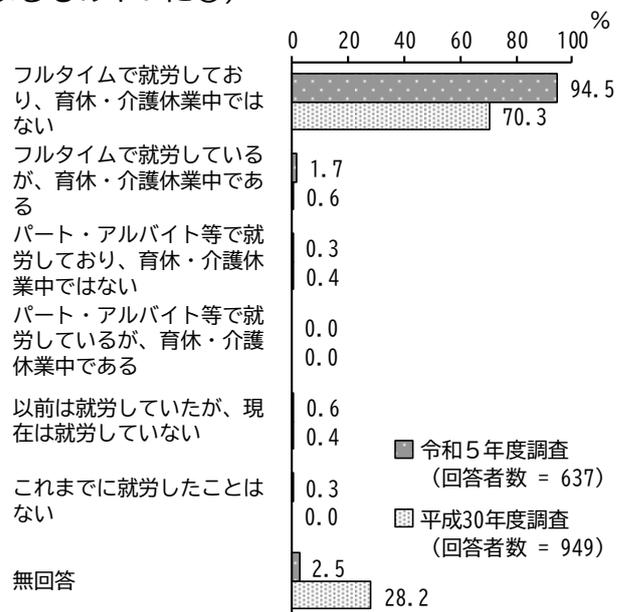
平成30年度調査と比較すると、「18時～19時台」の割合が減少しています。



(2) 父親【母子家庭の場合は記載不要】(あてはまるもの1つに○)

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が94.5%と最も高くなっています。

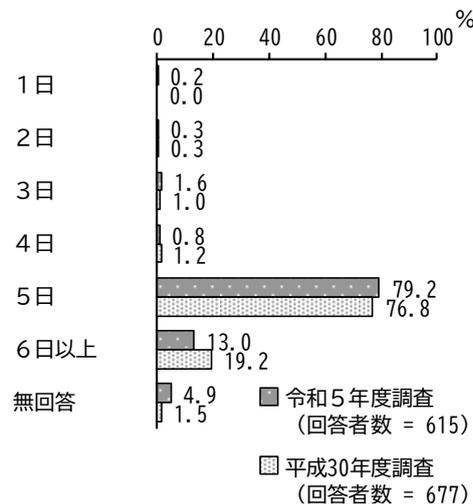
平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。



(2) - 1 問 18 (2) で、「1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」から「4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」までのいずれかに○をつけた方にお伺いします。1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間含む)」を()内にお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

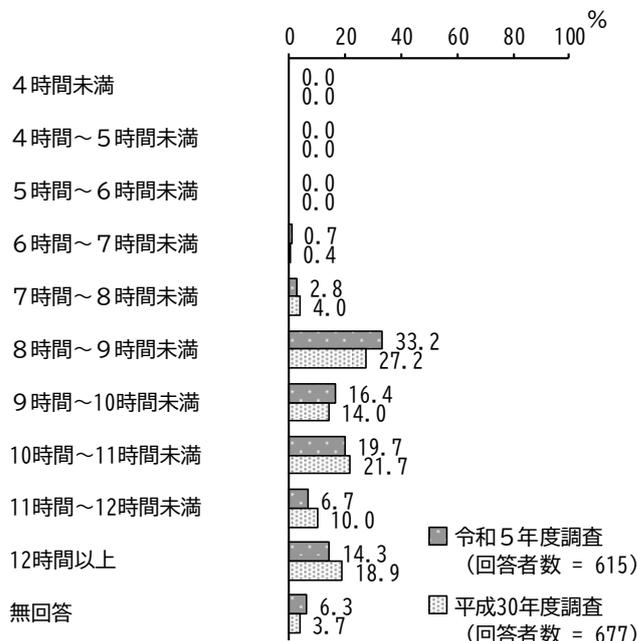
1週あたりの就労日数

「5日」の割合が79.2%と最も高く、次いで「6日以上」の割合が13.0%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「6日以上」の割合が減少しています。



1日あたりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が33.2%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が19.7%、「9時間～10時間未満」の割合が16.4%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。

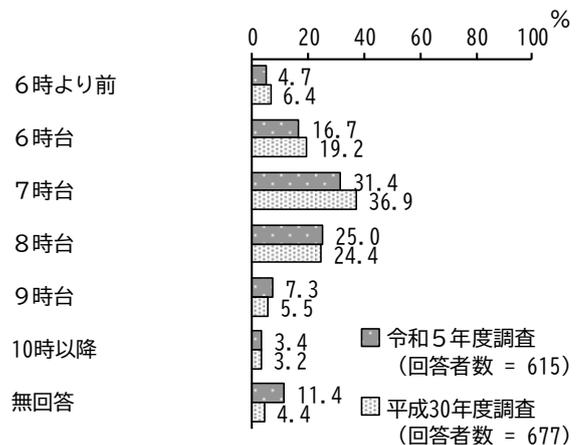


(2) - 2 問 18 (2) で、「1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」から「4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」までのいずれかに○をつけた方にお伺いします。家を出る時間と帰宅時間を () 内にお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(※時間は必ず 24 時間制でお答えください)

家を出る時間

「7時台」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「8時台」の割合が 25.0%、「6時台」の割合が 16.7%となっています。

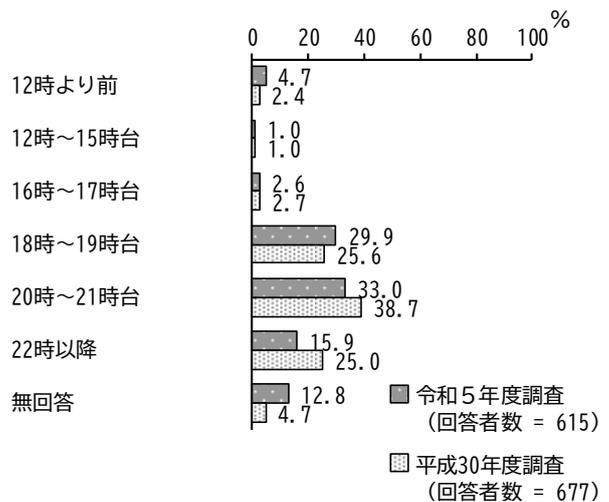
平成 30 年度調査と比較すると、「7時台」の割合が減少しています。



帰宅時間

「20時～21時台」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「18時～19時台」の割合が 29.9%、「22時以降」の割合が 15.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「20時～21時台」「22時以降」の割合が減少しています。

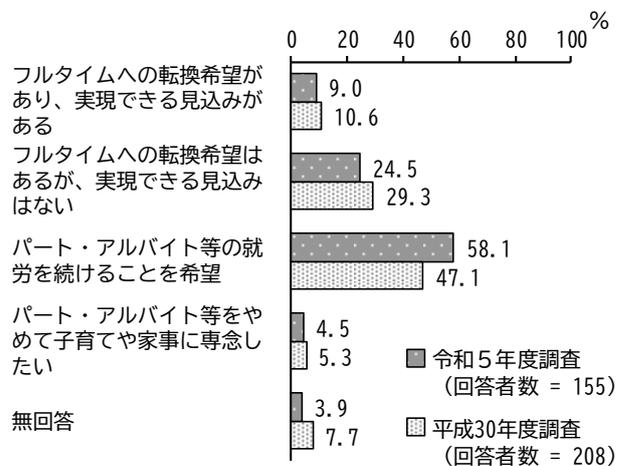


問19 問18の(1)母親または(2)父親で、3または4(パート・アルバイト等で就労)に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。(母親)と(父親)それぞれについてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

母親

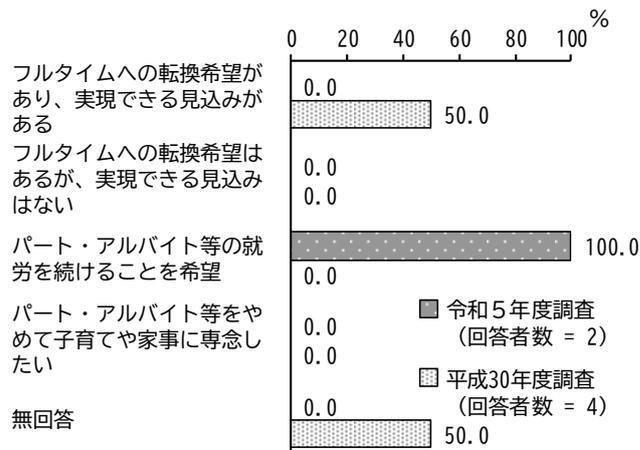
「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が58.1%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が24.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。



父親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が2件となっています。

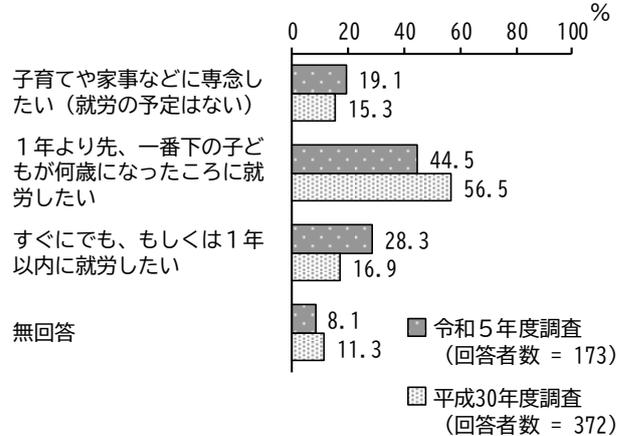


問20 問18の(1)母親または(2)父親で、5または6(現在就労していない・就労したことがない)に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内に数字をご記入ください。

母親

「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の割合が44.5%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が28.3%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が19.1%となっています。

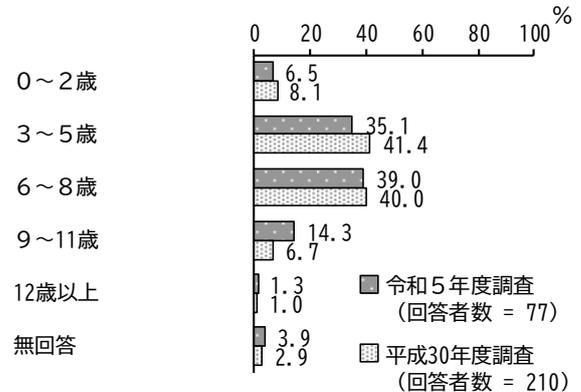
平成30年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が増加しています。一方、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の割合が減少しています。



1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい

「6～8歳」の割合が39.0%と最も高く、次いで「3～5歳」の割合が35.1%、「9～11歳」の割合が14.3%となっています。

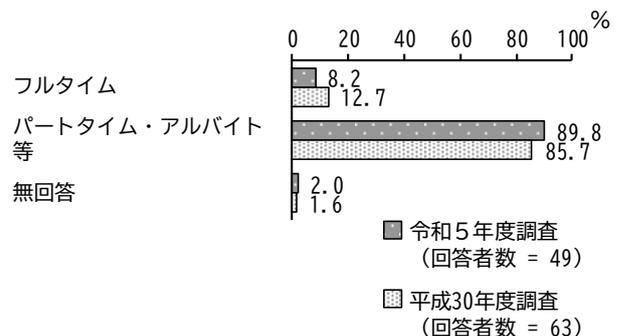
平成30年度調査と比較すると、「9～11歳」の割合が増加しています。一方、「3～5歳」の割合が減少しています。



希望する就労形態

「フルタイム」の割合が8.2%、「パートタイム・アルバイト等」の割合が89.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

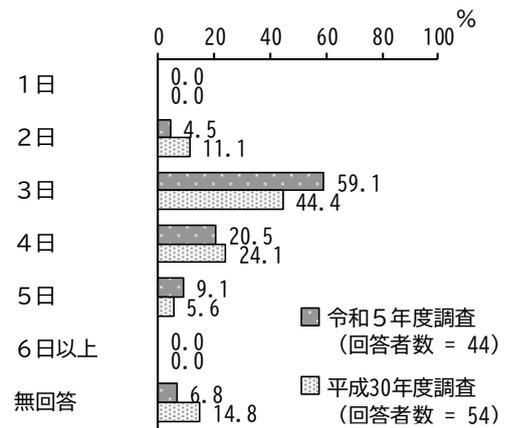


パートタイム・アルバイト

希望する1週あたりの就労日数

「3日」の割合が59.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が20.5%となっています。

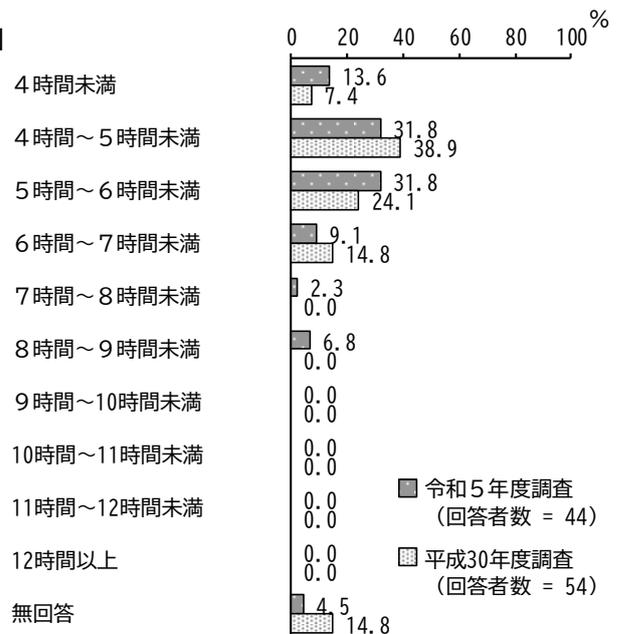
平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



希望する1日あたりの就労時間

「4時間～5時間未満」、「5時間～6時間未満」の割合が31.8%と最も高く、次いで「4時間未満」の割合が13.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4時間未満」「5時間～6時間未満」「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。一方、「4時間～5時間未満」「6時間～7時間未満」の割合が減少しています。



父親

「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が2件となっています。「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1件となっています。

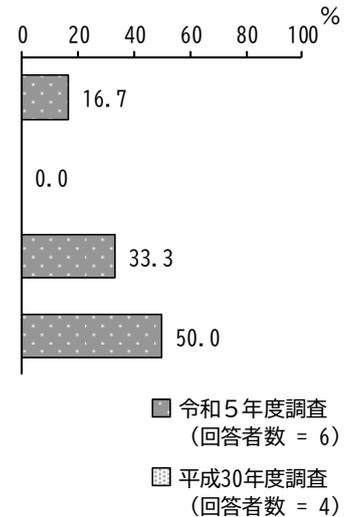
回答者数 = 6

子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい

すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

無回答



1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい有効回答がありませんでした。

希望する就労形態

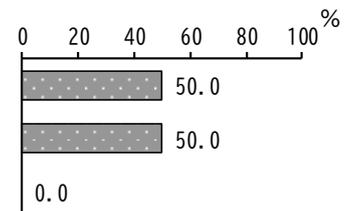
「フルタイム」、「パートタイム・アルバイト等」が1件となっています。

回答者数 = 2

フルタイム

パートタイム・アルバイト等

無回答



パートタイム・アルバイト

希望する1週あたりの就労日数

「4日」が1件となっています。

回答者数 = 1

1日

2日

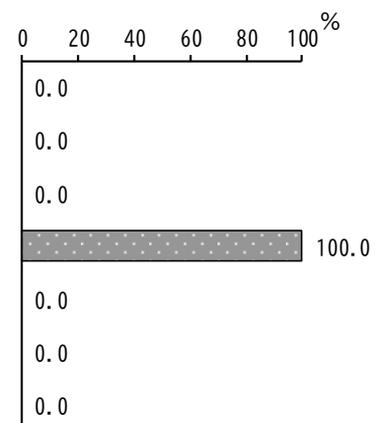
3日

4日

5日

6日以上

無回答



希望する1日あたりの就労時間

「4時間～5時間未満」が1件となっています。 回答者数 = 1



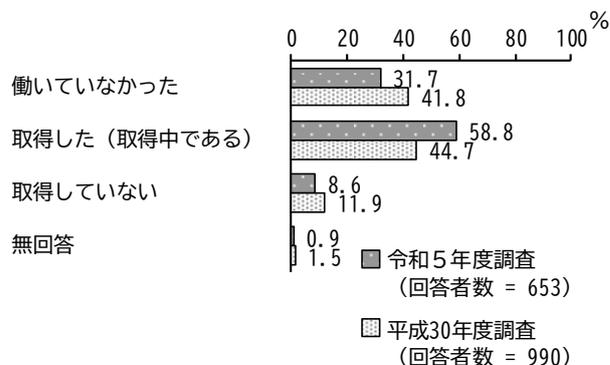
(5) 育児休業や短時間勤務制度など仕事と子育ての両立支援制度について

問 21 あて名のお子さんが生まれた時、育児休業制度を取得しましたか。母親と父親それぞれについてお答えください。(あてはまるもの1つに○) また、「3. 取得していない」に○をつけた方は、その理由をご記入ください。

母親

「取得した(取得中である)」の割合が58.8%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が31.7%となっています。

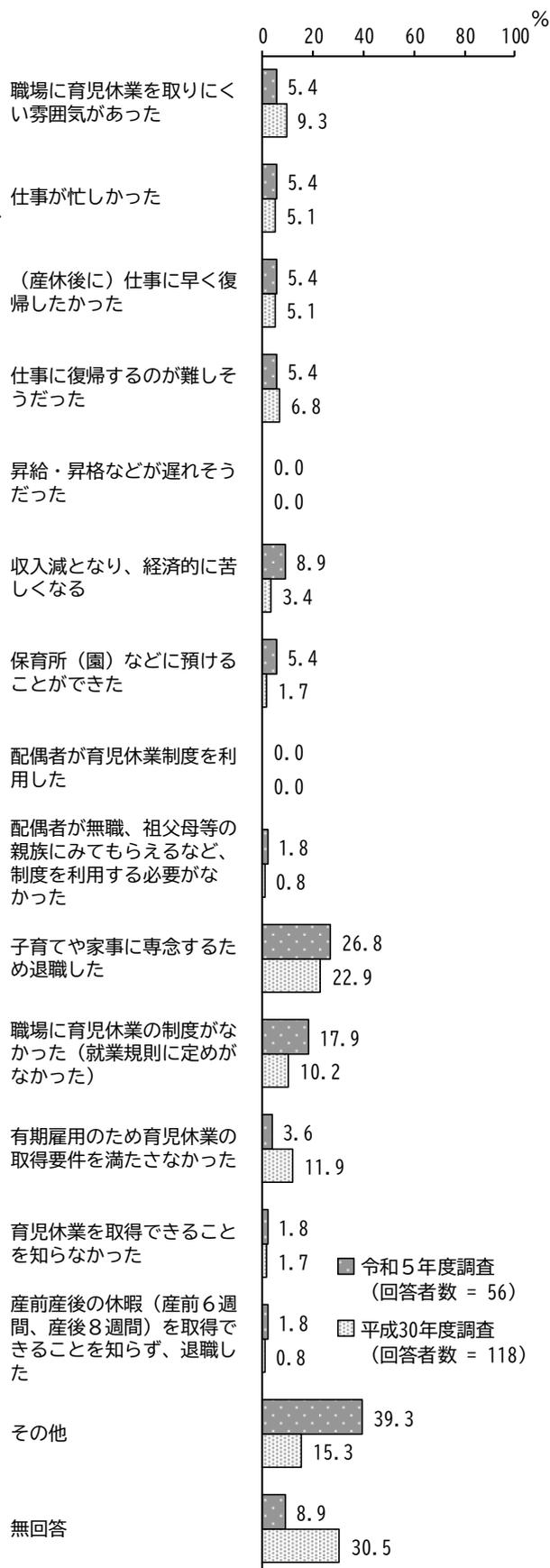
平成30年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



取得していない理由

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が26.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「収入減となり、経済的に苦しくなる」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が増加しています。一方、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が減少しています。



父親

「取得していない」の割合が76.6%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が19.3%となっています。

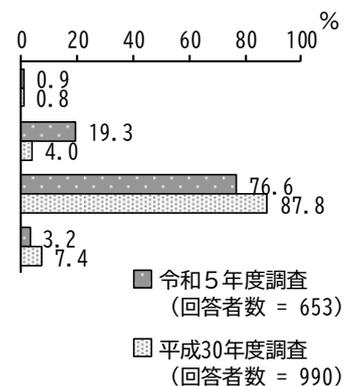
平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。

働いていなかった

取得した（取得中である）

取得していない

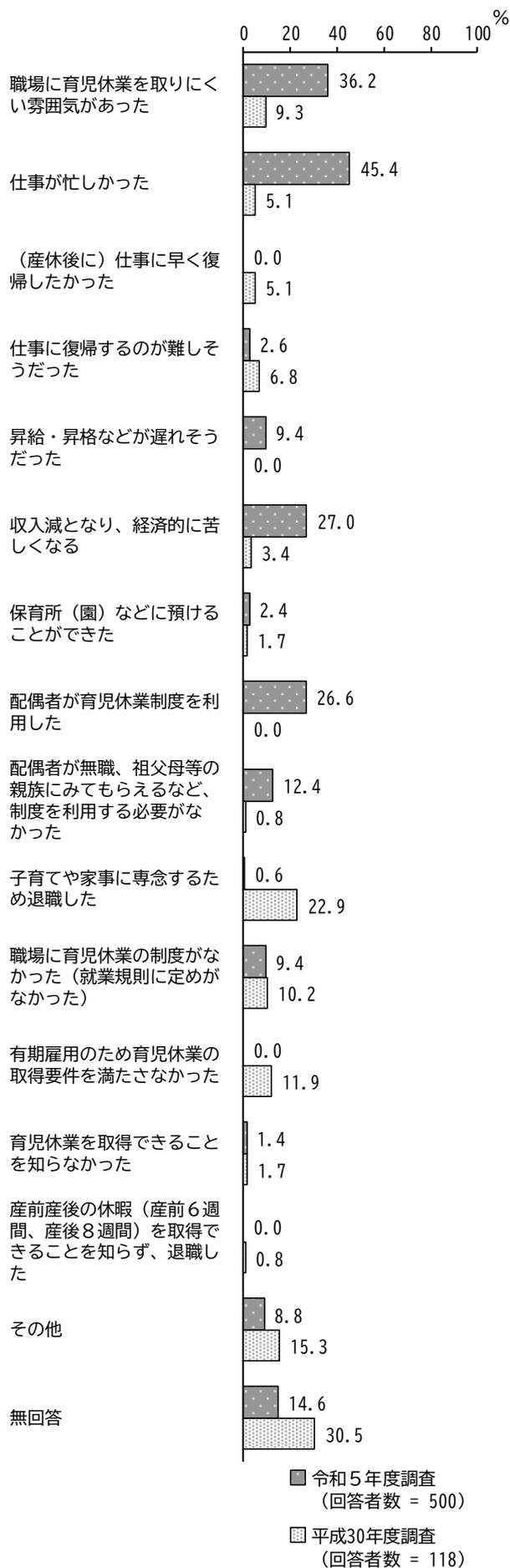
無回答



取得していない理由

「仕事が忙しかった」の割合が45.4%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が36.2%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が27.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「昇給・昇格などが遅れそうだった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「配偶者が育児休業制度を利用した」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が増加しています。一方、「(産休後に) 仕事に早く復帰したかった」「子育てや家事に専念するため退職した」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が減少しています。

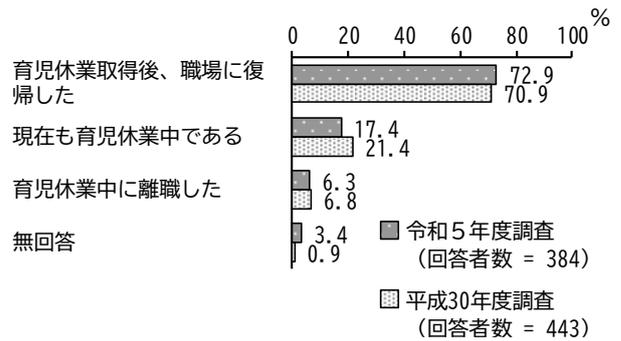


問22 問21で、「2. 仕事が忙しかった」に○をつけた方にお伺いします。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(あてはまるもの1つに○)

母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が72.9%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が17.4%となっています。

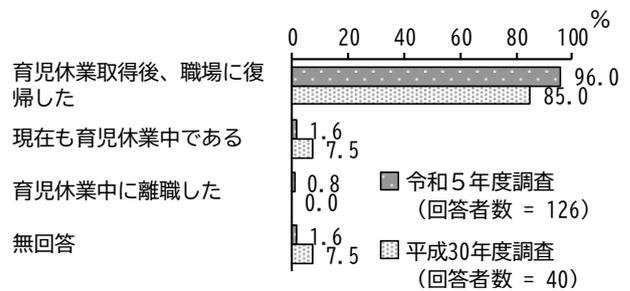
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が96.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が増加しています。一方、「現在も育児休業中である」の割合が減少しています。

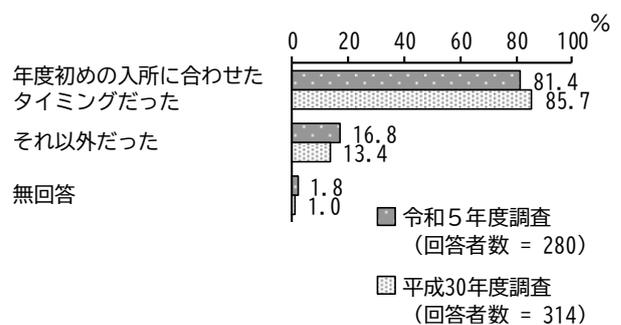


問23 問22で、「1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」に○をつけた方にお伺いします。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいは、それ以外でしたか。(あてはまるもの1つに○)
 ※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども1にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も1を選択してください。

母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が81.4%、「それ以外だった」の割合が16.8%となっています。

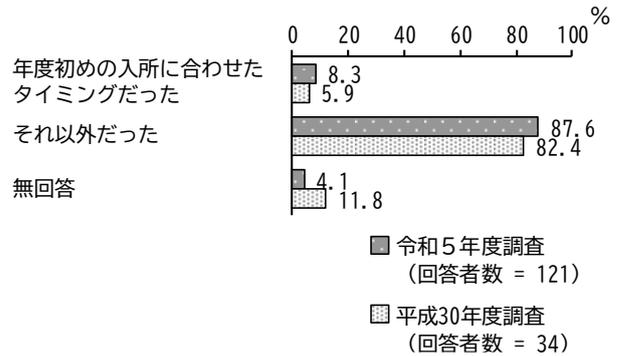
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が8.3%、「それ以外だった」の割合が87.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「それ以外だった」の割合が増加しています。



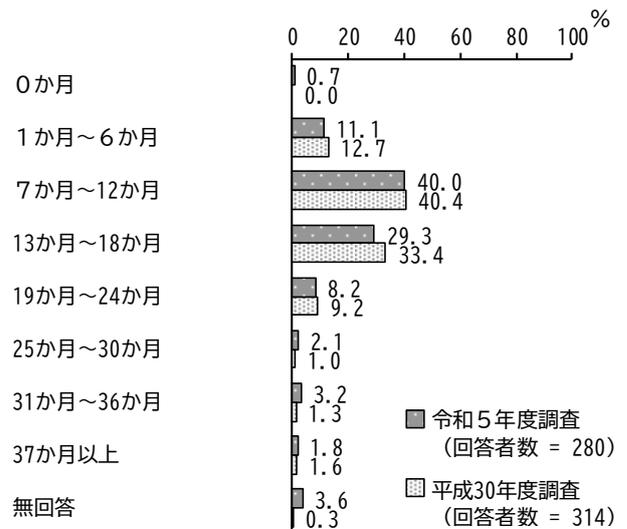
問24 問22で、「1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」に○をつけた方にお伺いします。育児休業から、「実際」に職場復帰したのはお子さんが何歳何カ月の時でしたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何カ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

母親

実際の取得期間

「7か月～12か月」の割合が40.0%と最も高く、次いで「13か月～18か月」の割合が29.3%、「1か月～6か月」の割合が11.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

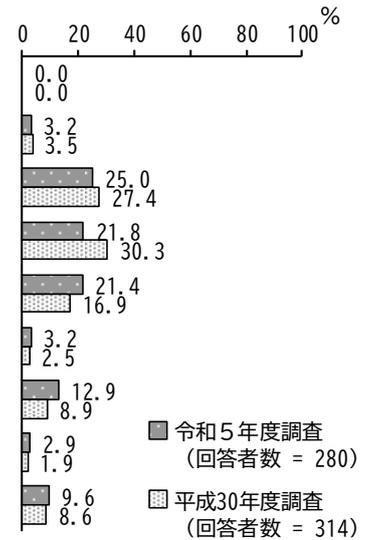


希望の取得期間

「7か月～12か月」の割合が25.0%と最も高く、次いで「13か月～18か月」の割合が21.8%、「19か月～24か月」の割合が21.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「13か月～18か月」の割合が減少しています。

0か月
1か月～6か月
7か月～12か月
13か月～18か月
19か月～24か月
25か月～30か月
31か月～36か月
37か月以上
無回答



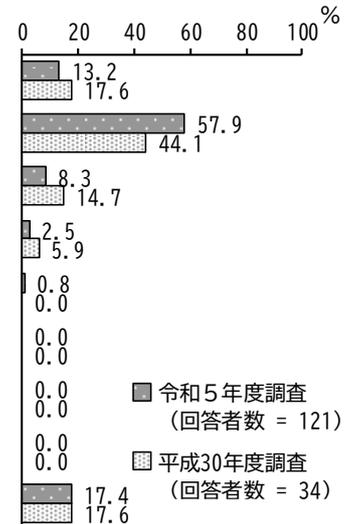
父親

実際の取得期間

「1か月～6か月」の割合が57.9%と最も高く、次いで「0か月」の割合が13.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1か月～6か月」の割合が増加しています。一方、「7か月～12か月」の割合が減少しています。

0か月
1か月～6か月
7か月～12か月
13か月～18か月
19か月～24か月
25か月～30か月
31か月～36か月
37か月以上
無回答

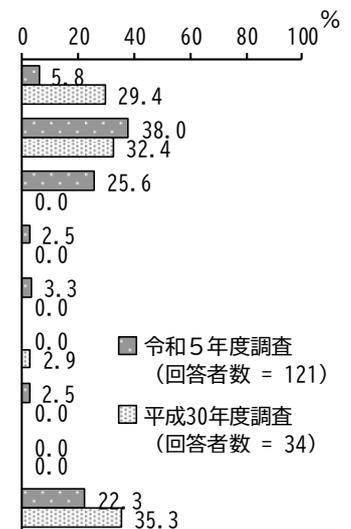


希望の取得期間

「1か月～6か月」の割合が38.0%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が25.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1か月～6か月」「7か月～12か月」の割合が増加しています。一方、「0か月」の割合が減少しています。

0か月
1か月～6か月
7か月～12か月
13か月～18か月
19か月～24か月
25か月～30か月
31か月～36か月
37か月以上
無回答

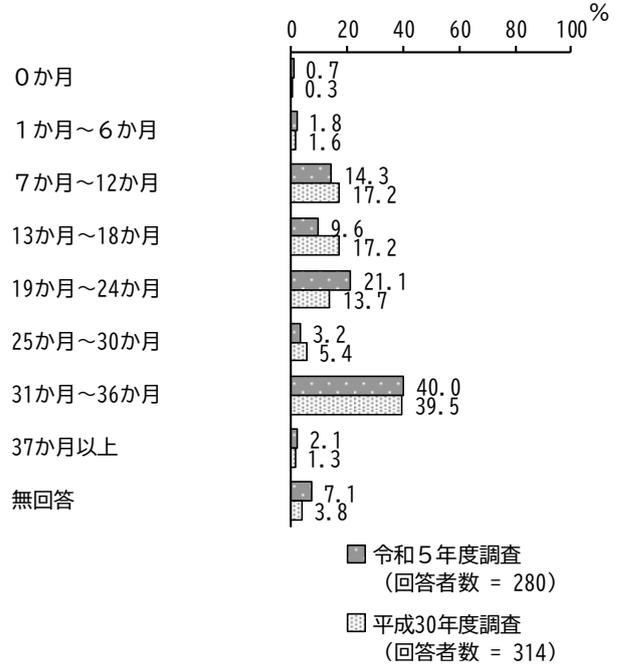


問25 問22で、「1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」に○をつけた方にお伺いします。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヵ月のときまで取りたかったですか。
 () 内に数字でご記入ください。

母親

「31 か月～36 か月」の割合が40.0%と最も高く、次いで「19 か月～24 か月」の割合が21.1%、「7 か月～12 か月」の割合が14.3%となっています。

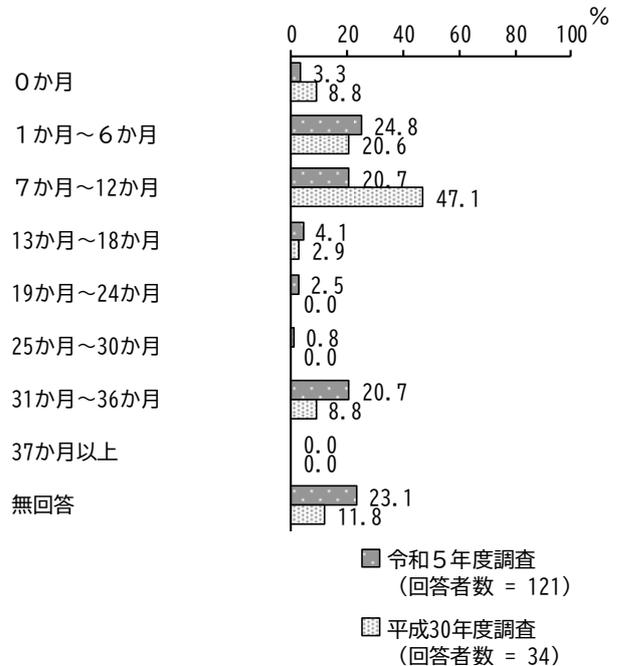
平成30年度調査と比較すると、「19 か月～24 か月」の割合が増加しています。一方、「13 か月～18 か月」の割合が減少しています。



父親

「1 か月～6 か月」の割合が24.8%と最も高く、次いで「7 か月～12 か月」、「31 か月～36 か月」の割合が20.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「31 か月～36 か月」の割合が増加しています。一方、「0 か月」「7 か月～12 か月」の割合が減少しています。



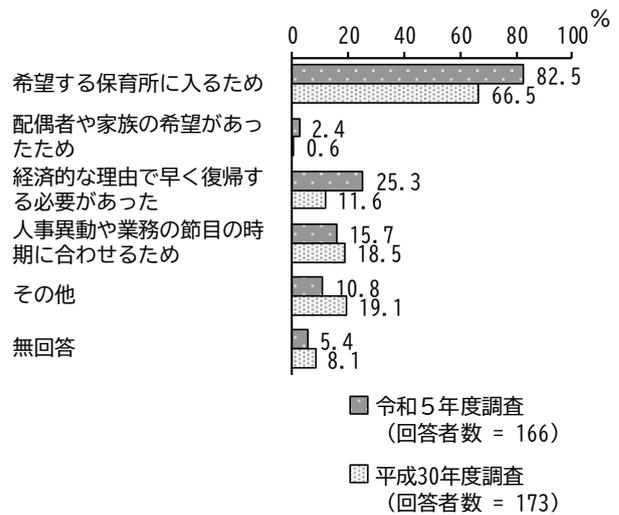
問 26 問 24 で、実際の復帰と希望の復帰が異なると回答した方にお伺いします。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (あてはまるものすべてに○)

母親

「希望する保育所に入るため」の割合が 82.5% と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 25.3%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 15.7%となっています。

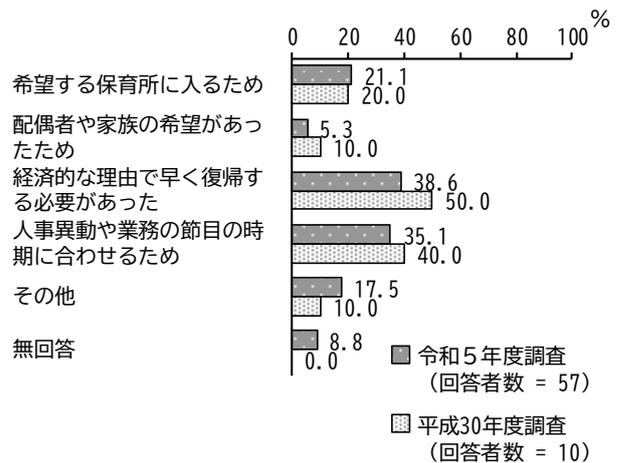
平成 30 年度調査と比較すると、「希望する保育所に入るため」「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が増加しています。



父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 35.1%、「希望する保育所に入るため」の割合が 21.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が減少しています。

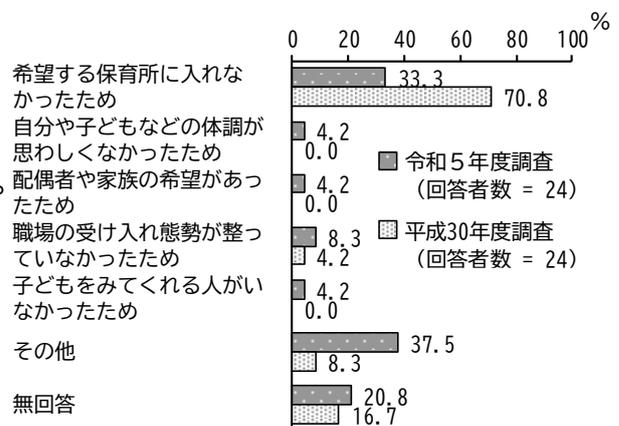


(2) 「希望」より遅く復帰した方 (あてはまるものすべてに○)

母親

「希望する保育所に入れなかったため」の割合が 33.3%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「希望する保育所に入れなかったため」の割合が減少しています。

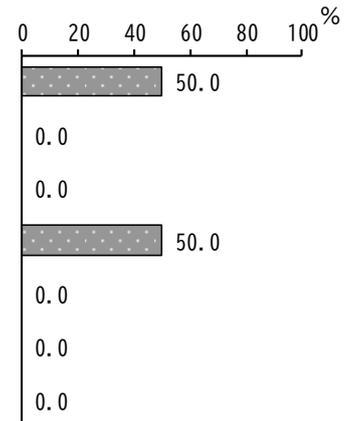


父親

「希望する保育所に入れなかったため」、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が1件となっています。

回答者数 = 2

- 希望する保育所に入れなかったため
- 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- 配偶者や家族の希望があったため
- 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 子どもをみてくれる人がいなかったため
- その他
- 無回答

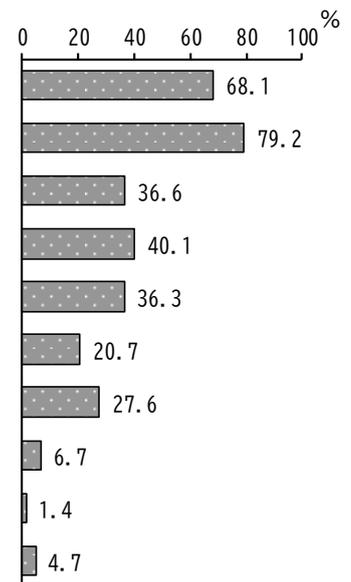


問 27 子育てをしながら仕事を行う場合の課題と思われることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「家事、育児の負担が大きい」の割合が 79.2% と最も高く、次いで「子どもと過ごす時間が短い」の割合が 68.1%、「子どもの習い事の送迎等を提供できていない」の割合が 40.1%となっています。

回答者数 = 653

- 子どもと過ごす時間が短い
- 家事、育児の負担が大きい
- 職場での理解不足
- 子どもの習い事の送迎等を提供できていない
- 保育園、病児保育等の施設不足
- 配偶者・パートナーとの関係性
- 希望する職務に就けない等、キャリアへの影響
- その他
- 特になし
- 無回答



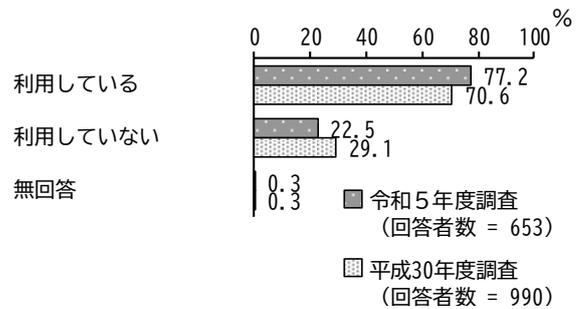
保育サービスについて

(6) 保育サービスの利用状況について

問 28 幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」の利用状況についてお伺いします。※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 29 に示す事業が含まれます。あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(あてはまるもの1つに○)

「利用している」の割合が77.2%、「利用していない」の割合が22.5%となっています。

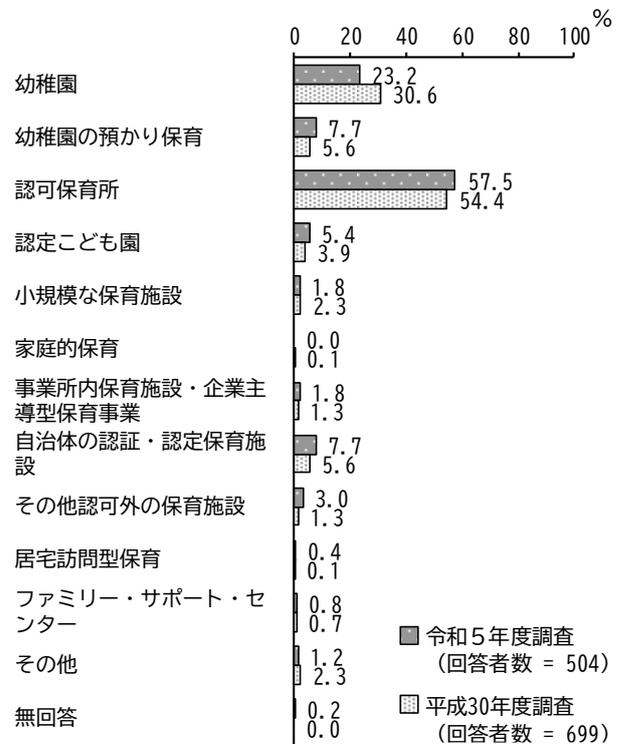
平成30年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。



問 29 問 28 で、「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「認可保育所」の割合が57.5%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が23.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「幼稚園」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、5歳で「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設・企業主導型保育事業	自治体の認証・認定保育施設	その他認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	504	23.2	7.7	57.5	5.4	1.8	—	1.8	7.7	3.0	0.4	0.8	1.2	0.2
0歳	36	2.8	—	55.6	—	—	—	11.1	19.4	11.1	2.8	2.8	2.8	—
1歳	64	4.7	—	70.3	3.1	3.1	—	4.7	9.4	3.1	1.6	—	1.6	1.6
2歳	87	14.9	5.7	66.7	3.4	4.6	—	1.1	8.0	2.3	—	—	1.1	—
3歳	107	28.0	9.3	58.9	4.7	0.9	—	—	5.6	1.9	—	—	0.9	—
4歳	105	28.6	9.5	53.3	4.8	—	—	1.0	7.6	1.9	—	1.0	1.9	—
5歳	96	39.6	13.5	43.8	12.5	2.1	—	—	4.2	3.1	—	2.1	—	—

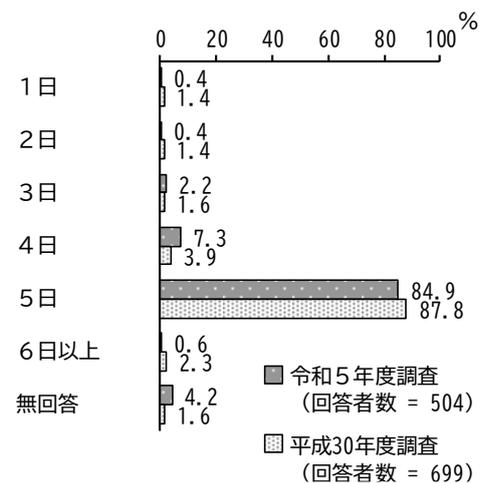
問30 問28で、「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)かを、()内に具体的な数字でお答えください。(※時間は必ず24時間制でお答えください)

(1) 現在

1週当たりの利用日数

「5日」の割合が84.9%と最も高くなっています。

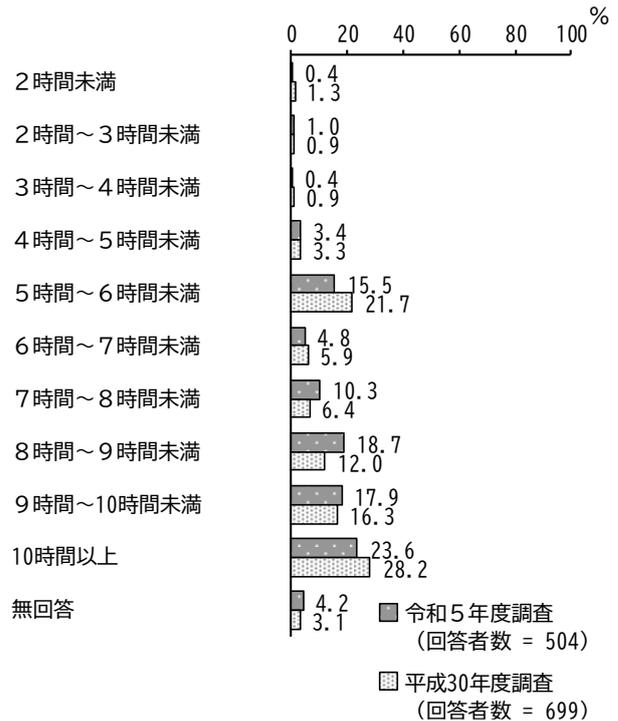
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日当たりの利用時間

「10時間以上」の割合が23.6%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が18.7%、「9時間～10時間未満」の割合が17.9%となっています。

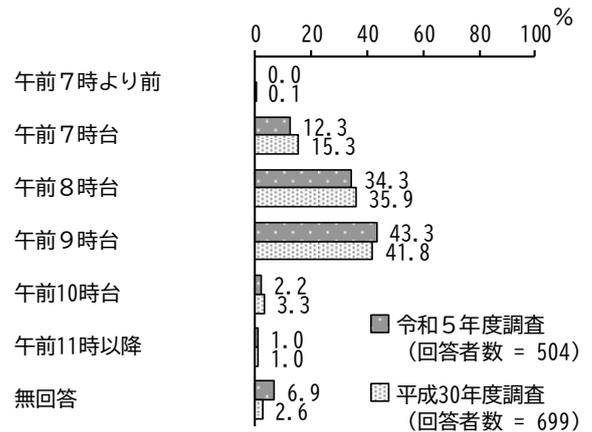
平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。一方、「5時間～6時間未満」の割合が減少しています。



利用開始時刻

「午前9時台」の割合が43.3%と最も高く、次いで「午前8時台」の割合が34.3%、「午前7時台」の割合が12.3%となっています。

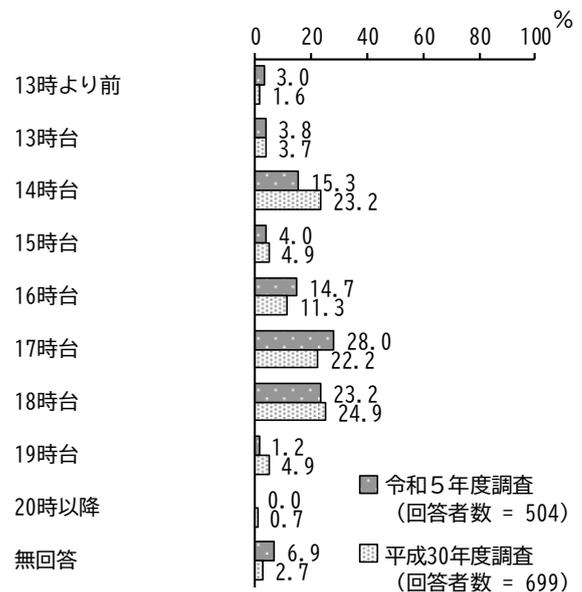
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用終了時刻

「17時台」の割合が28.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が23.2%、「14時台」の割合が15.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。一方、「14時台」の割合が減少しています。

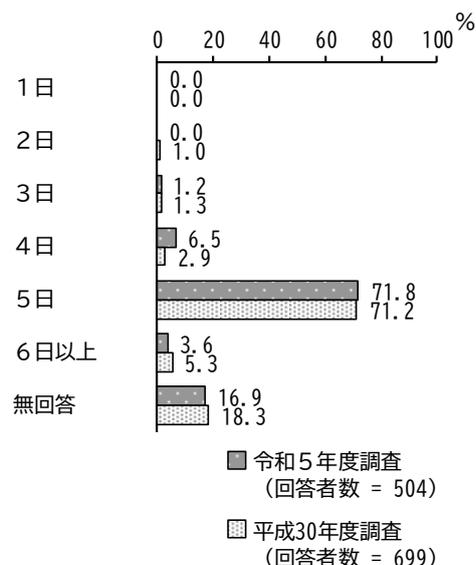


(2) 希望

1 週当たりの利用日数

「5日」の割合が71.8%と最も高くなっています。

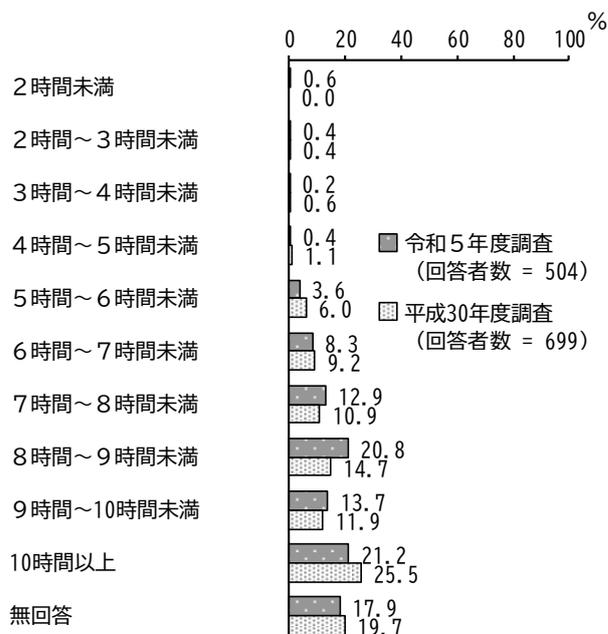
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日当たりの利用時間

「10時間以上」の割合が21.2%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が20.8%、「9時間～10時間未満」の割合が13.7%となっています。

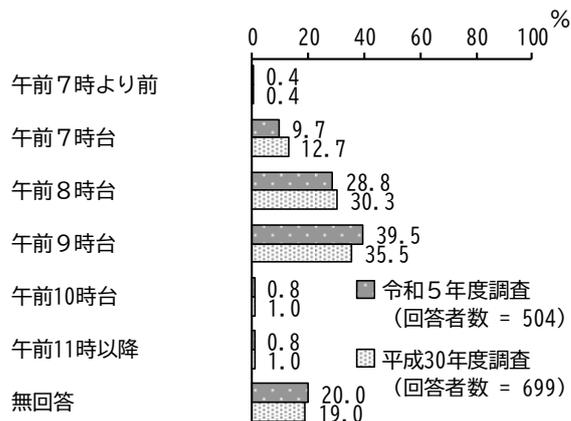
平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。



利用開始時刻

「午前9時台」の割合が39.5%と最も高く、次いで「午前8時台」の割合が28.8%となっています。

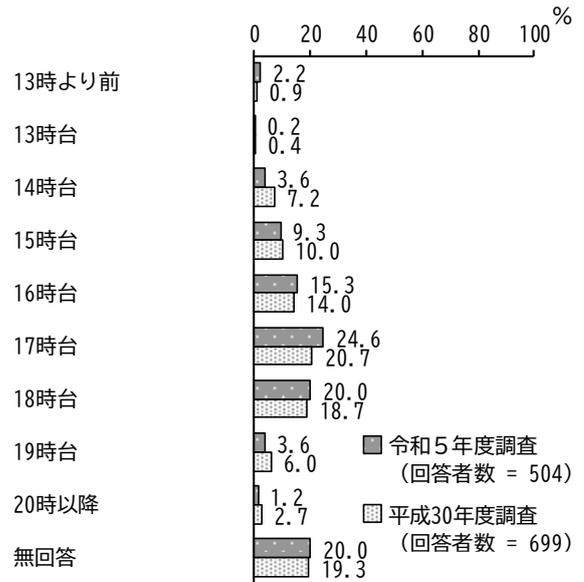
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用終了時刻

「17 時台」の割合が 24.6%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 20.0%、「16 時台」の割合が 15.3%となっています。

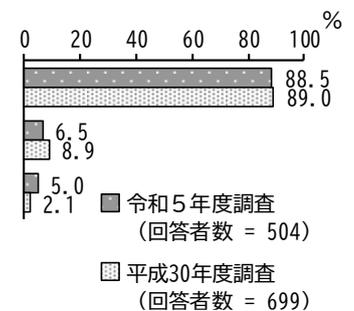
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 31 問 28 で、「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。現在、利用されている教育・保育の事業の実施場所についてお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

「居住している市区町村内」の割合が 88.5%、
「他の市区町村」の割合が 6.5%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

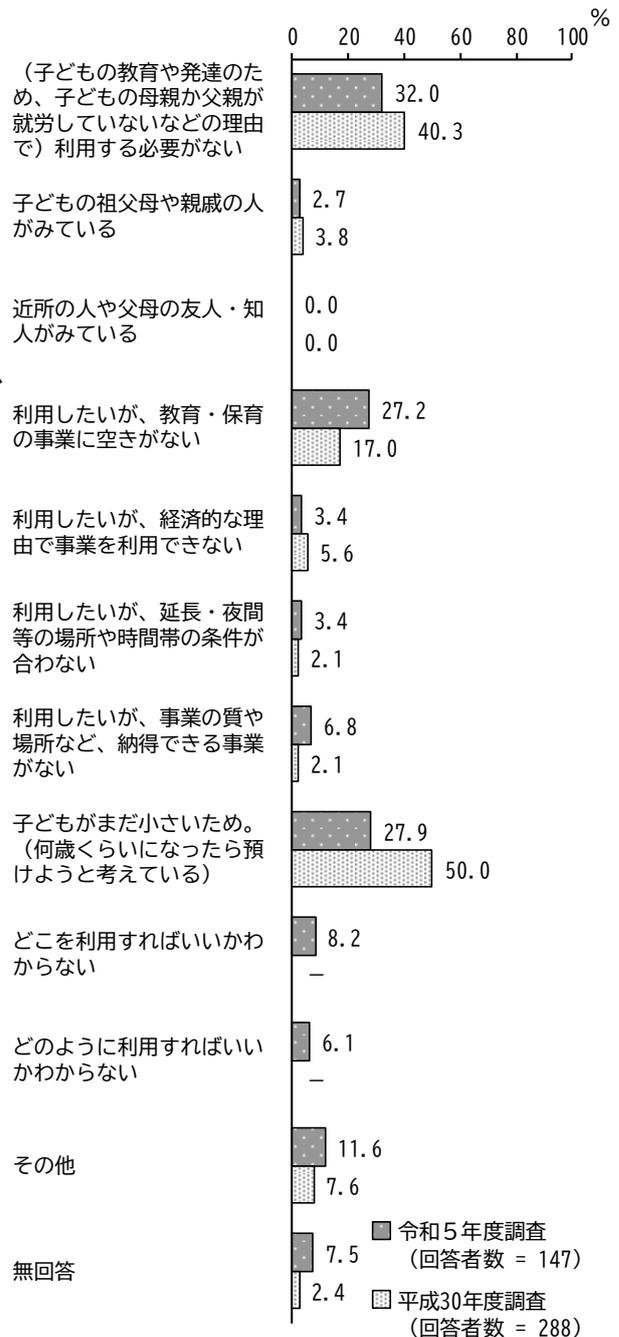
居住している市区町村内
他の市区町村
無回答



問 32 問 28 で、「2. 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。利用していない主な理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため。(何歳くらいになったら預けようと考えている)」の割合が 27.9%、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」の割合が 27.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」の割合が増加しています。一方、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」「子どもがまだ小さいため。(何歳くらいになったら預けようと考えている)」の割合が減少しています。

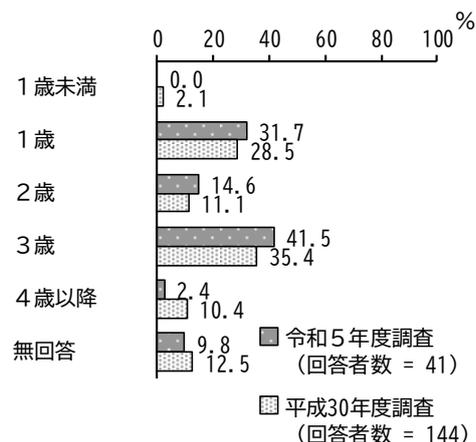


※ 「どこを利用すればいいかわからない」「どのように利用すればいいかわからない」は今回の調査で新しく追加しました。

何歳くらいになったら預けようと考えている

「3歳」の割合が41.5%と最も高く、次いで「1歳」の割合が31.7%、「2歳」の割合が14.6%となっています。

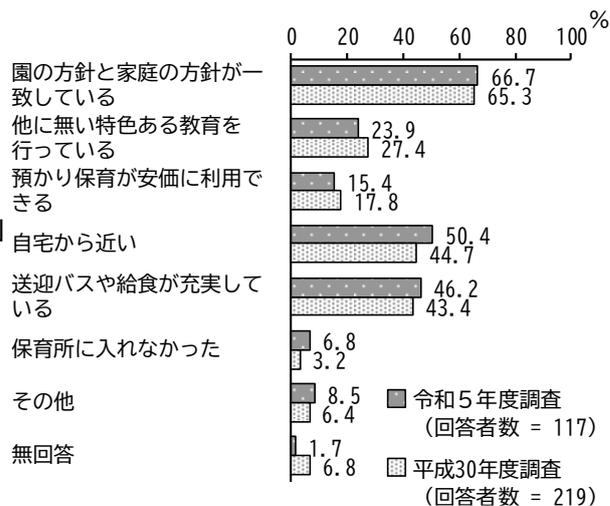
平成30年度調査と比較すると、「3歳」の割合が増加しています。一方、「4歳以降」の割合が減少しています。



問33 問29で、「1. 幼稚園」または「1. 幼稚園」と「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけた方にお伺いします。幼稚園を利用する理由・条件を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

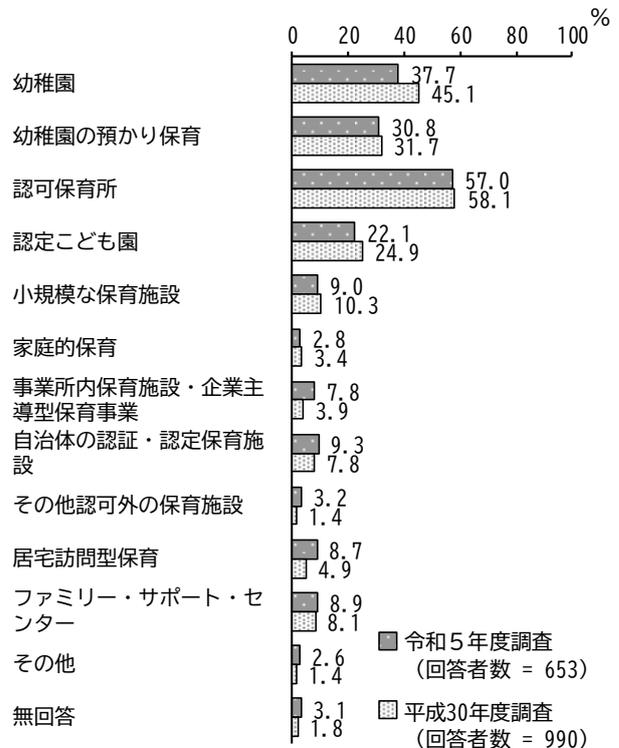
「園の方針と家庭の方針が一致している」の割合が66.7%と最も高く、次いで「自宅から近い」の割合が50.4%、「送迎バスや給食が充実している」の割合が46.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自宅から近い」の割合が増加しています。



問 34 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。
 なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。
 (例) 認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。
 (あてはまるものすべてに○)

「認可保育所」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が 37.7%、「幼稚園の預かり保育」の割合が 30.8%となっています。
 平成 30 年度調査と比較すると、「幼稚園」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳で「認可保育所」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設・企業主導型保育事業	自治体の認証・認定保育施設	その他認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	653	37.7	30.8	57.0	22.1	9.0	2.8	7.8	9.3	3.2	8.7	8.9	2.6	3.1
0歳	110	33.6	26.4	67.3	28.2	20.0	3.6	15.5	13.6	5.5	8.2	8.2	0.9	3.6
1歳	104	45.2	35.6	59.6	30.8	11.5	4.8	10.6	12.5	2.9	10.6	7.7	1.0	5.8
2歳	104	37.5	28.8	59.6	18.3	8.7	2.9	3.8	7.7	1.9	6.7	9.6	3.8	2.9
3歳	116	36.2	31.9	56.0	17.2	7.8	3.4	9.5	7.8	2.6	7.8	9.5	3.4	0.9
4歳	107	35.5	28.0	49.5	18.7	3.7	0.9	4.7	10.3	2.8	8.4	10.3	4.7	1.9
5歳	96	41.7	37.5	50.0	20.8	2.1	1.0	3.1	4.2	4.2	11.5	7.3	—	1.0

【母親の就労状況別】

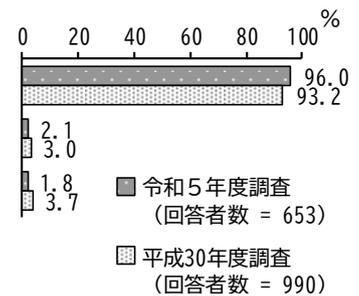
母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設・企業主導型保育事業	自治体の認証・認定保育施設	その他認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	651	37.6	30.7	56.8	22.0	8.9	2.8	7.8	9.4	3.2	8.8	8.9	2.6	3.1
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	216	14.4	20.8	72.7	18.1	4.2	2.3	6.0	8.3	1.9	10.6	8.3	2.8	3.2
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	104	21.2	24.0	83.7	29.8	21.2	6.7	11.5	17.3	4.8	9.6	11.5	1.0	2.9
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	144	43.8	29.2	55.6	24.3	9.0	2.1	7.6	11.1	6.9	5.6	9.0	2.8	1.4
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	11	36.4	18.2	54.5	36.4	27.3	—	9.1	18.2	—	18.2	9.1	—	9.1
以前は就労していたが、現在は就労していない	160	73.8	50.0	23.1	19.4	6.3	1.9	8.8	4.4	1.3	8.1	7.5	3.1	3.1
これまでに就労したことはない	13	53.8	46.2	15.4	23.1	7.7	—	—	—	—	—	7.7	7.7	—

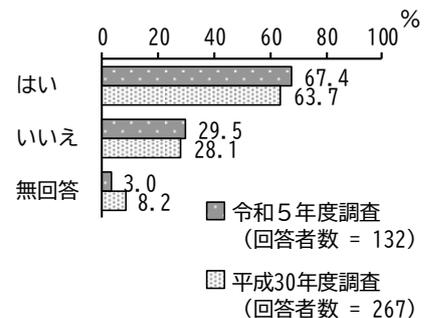
問 35 教育・保育の事業を利用したい場所についてお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

「居住している市区町村内」の割合が96.0%、
「他の市区町村」の割合が2.1%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



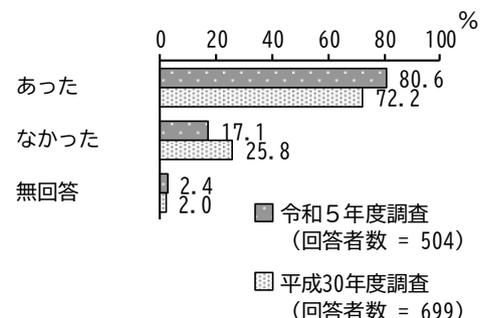
問 36 問 34 で、「1. 幼稚園」または「1. 幼稚園」と「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. 認可保育所」から「12. その他」までのいずれかにも○をつけた方にお伺いします。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

「はい」の割合が67.4%、「いいえ」の割合が29.5%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



問 37 問 28 で、平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると回答した方にお伺いします。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

「あった」の割合が80.6%、「なかった」の割合が17.1%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、4歳で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	504	80.6	17.1	2.4
0歳	36	86.1	13.9	—
1歳	64	82.8	12.5	4.7
2歳	87	80.5	18.4	1.1
3歳	107	83.2	15.9	0.9
4歳	105	75.2	22.9	1.9
5歳	96	79.2	15.6	5.2

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、これまでに就労したことはないで「なかった」の割合が高くなっています。

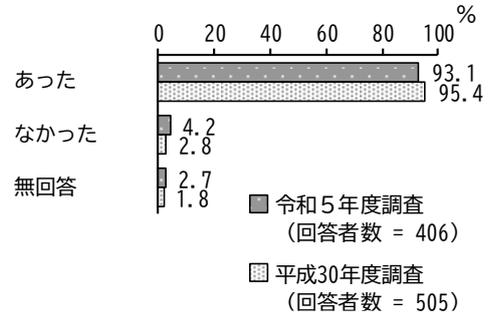
単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	502	80.7	16.9	2.4
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	213	85.0	13.1	1.9
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	48	81.3	18.8	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	131	84.0	14.5	1.5
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	66.7	33.3	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	93	68.8	24.7	6.5
これまでに就労したことはない	10	60.0	40.0	—

問 38 問 37 で、「1. あった」に○をつけた方にお伺いします。あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

「あった」の割合が93.1%、「なかった」の割合が4.2%となっています。

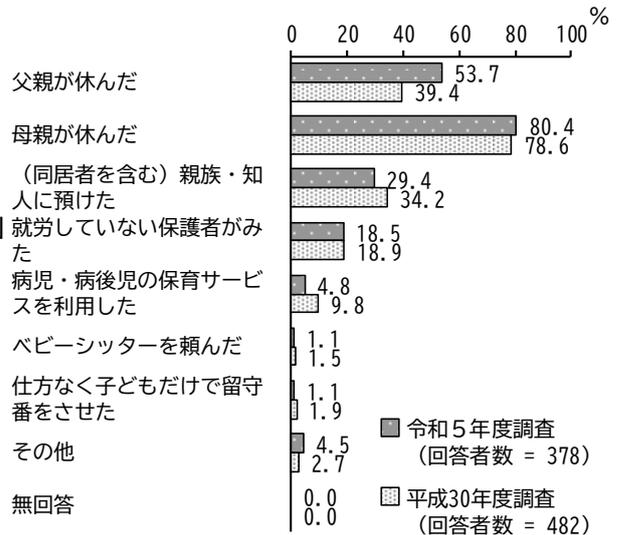
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1年間の対処方法

「母親が休んだ」の割合が80.4%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が53.7%、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」の割合が29.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「病児・病後児の保育サービスを利用した」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、1歳で「父親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	族(同居者を含む)親・知人に預けた	就労していない保護者がみた	病児・病後児の保育サービスを利用した	頼んだ ベビーシッターを	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	378	53.7	80.4	29.4	18.5	4.8	1.1	1.1	4.5	—
0歳	29	48.3	89.7	31.0	10.3	10.3	6.9	—	3.4	—
1歳	52	67.3	90.4	38.5	7.7	11.5	—	—	—	—
2歳	67	55.2	80.6	35.8	14.9	1.5	—	—	9.0	—
3歳	82	47.6	78.0	28.0	23.2	3.7	1.2	1.2	3.7	—
4歳	69	50.7	76.8	27.5	21.7	5.8	1.4	2.9	5.8	—
5歳	72	52.8	75.0	22.2	25.0	1.4	—	1.4	4.2	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「就労していない保護者がみた」の割合が高くなっています。

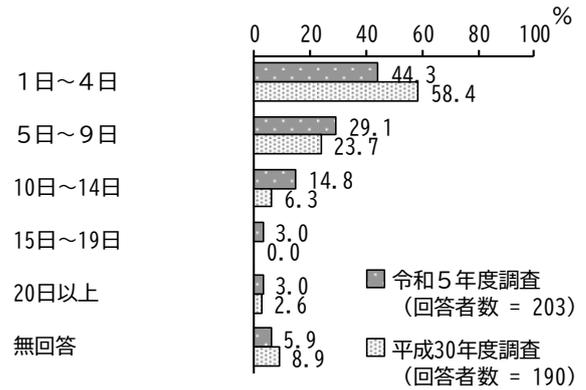
単位：%

区分	回答者数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	族(同居者を含む)親・知人に預けた	就労していない保護者がみた	病児・病後児の保育サービスを利用した	頼んだ ベビーシッターを	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	377	53.6	80.6	29.4	18.6	4.8	1.1	1.1	4.5	—
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	170	75.3	95.3	34.1	0.6	3.5	1.2	—	6.5	—
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	36	61.1	75.0	38.9	16.7	5.6	—	—	11.1	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	104	37.5	94.2	31.7	9.6	8.7	1.0	1.9	—	—
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	50.0	100.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	57	17.5	21.1	7.0	82.5	—	—	—	1.8	—
これまでに就労したことはない	5	—	—	—	100.0	—	—	20.0	—	—

ア. 父親が休んだ日数

「1日～4日」の割合が44.3%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が29.1%、「10日～14日」の割合が14.8%となっています。

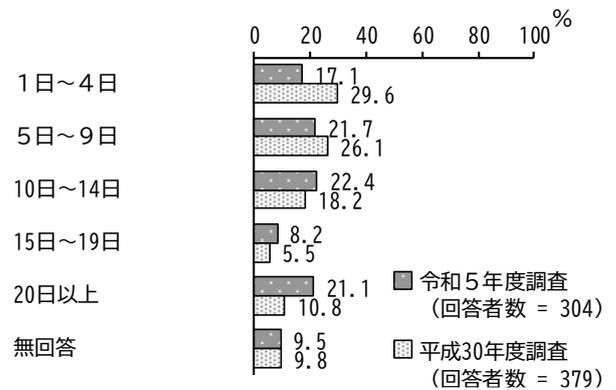
平成30年度調査と比較すると、「5日～9日」「10日～14日」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」の割合が減少しています。



イ. 母親が休んだ日数

「10日～14日」の割合が22.4%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が21.7%、「20日以上」の割合が21.1%となっています。

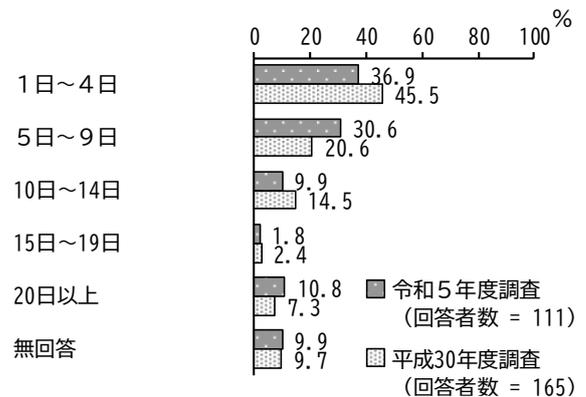
平成30年度調査と比較すると、「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」の割合が減少しています。



ウ. (同居者を含む) 親族・知人に預けた日数

「1日～4日」の割合が36.9%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が30.6%、「20日以上」の割合が10.8%となっています。

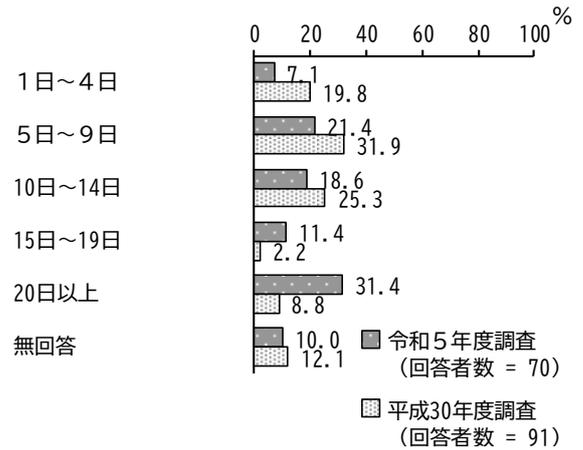
平成30年度調査と比較すると、「5日～9日」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」の割合が減少しています。



エ. 就労していない保護者がみた日数

「20日以上」の割合が31.4%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が21.4%、「10日～14日」の割合が18.6%となっています。

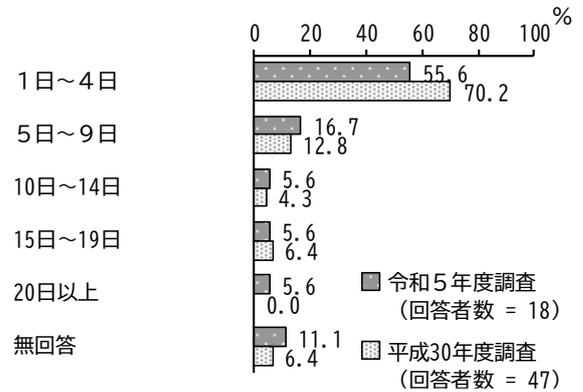
平成30年度調査と比較すると、「15日～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」「5日～9日」「10日～14日」の割合が減少しています。



オ. 病児・病後児の保育サービスを利用した日数

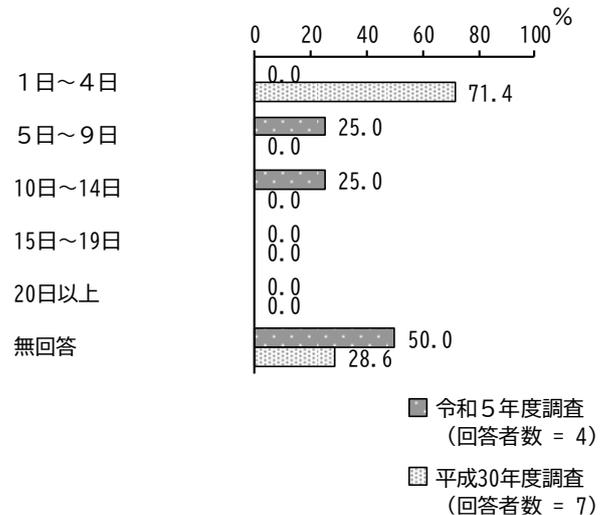
「1日～4日」の割合が55.6%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」の割合が減少しています。

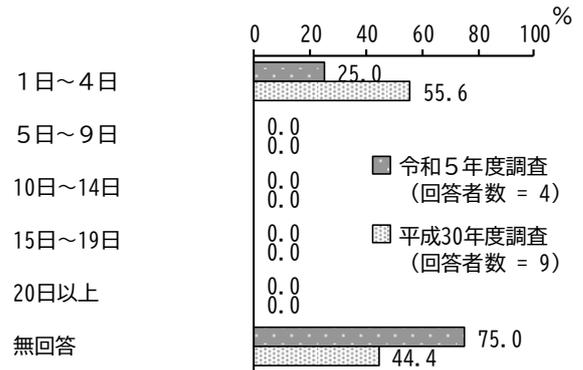


カ. ベビーシッターを頼んだ日数

「5日～9日」、「10日～14日」が1件となっています。



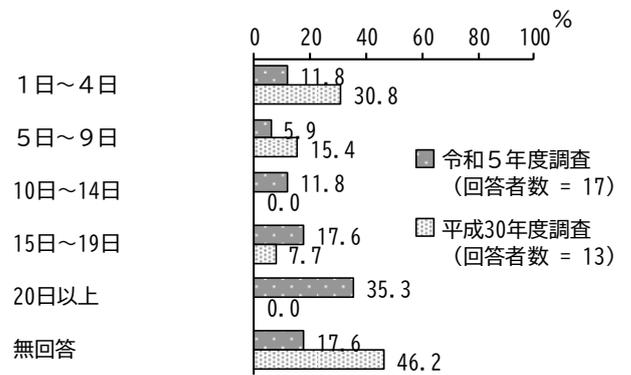
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数
「1日～4日」が1件となっています。



ク. その他の日数

「20日以上」の割合が35.3%と最も高く、次いで「15日～19日」の割合が17.6%、「1日～4日」、「10日～14日」の割合が11.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10日～14日」「15日～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」「5日～9日」の割合が減少しています。

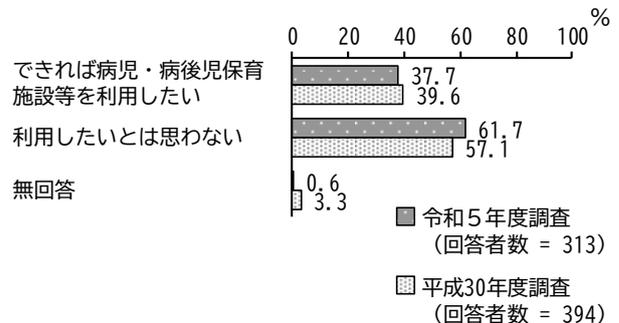


問 39 問 38 で、「ア. 父親が休んだ」や「イ. 母親が休んだ」に○をつけた方にお伺いします。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

(あてはまるもの1つに○) また、「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方は、日数も()内に数字でご記入ください。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が37.7%、「利用したいとは思わない」の割合が61.7%となっています。

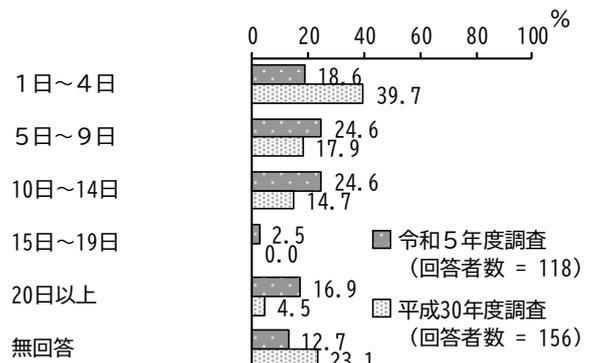
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

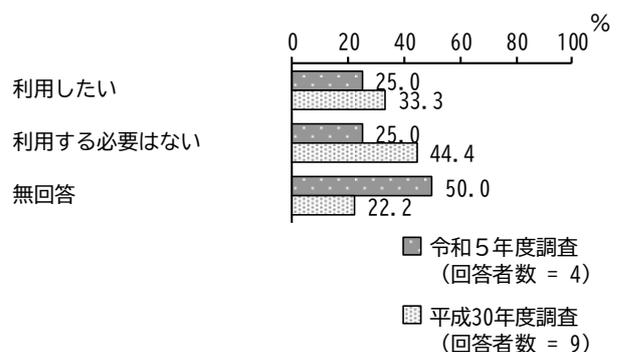
「5日～9日」、「10日～14日」の割合が24.6%と最も高く、次いで「1日～4日」の割合が18.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日～9日」「10日～14日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」の割合が減少しています。



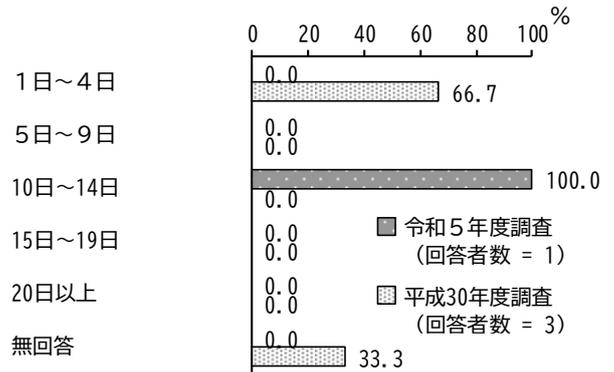
問 40 問 38 で、「キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に○をつけた方に伺います。ショートステイの利用意向はありますか。(あてはまるもの1つに○) また、「1. 利用したい」に○をつけた方は、日数も()内に数字でご記入ください。

「利用したい」、「利用する必要はない」が1件となっています。



利用したい日数

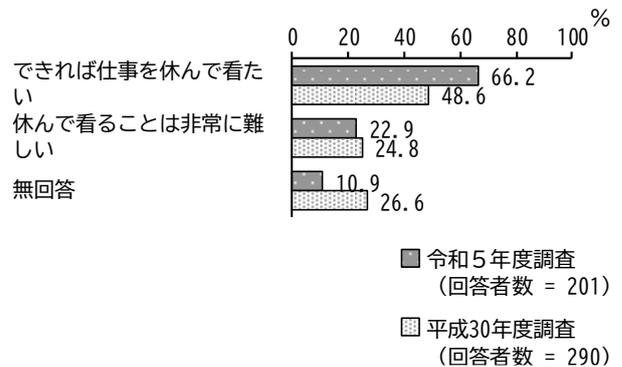
「10日～14日」が1件となっています。



問41 問38で、「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に預けた」から「ク. その他」までのいずれかに○をつけた方にお伺いします。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
 (あてはまるもの1つに○) また、「1. できれば仕事を休んで看たい」に○をつけた方は、日数も()内に数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が66.2%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が22.9%となっています。

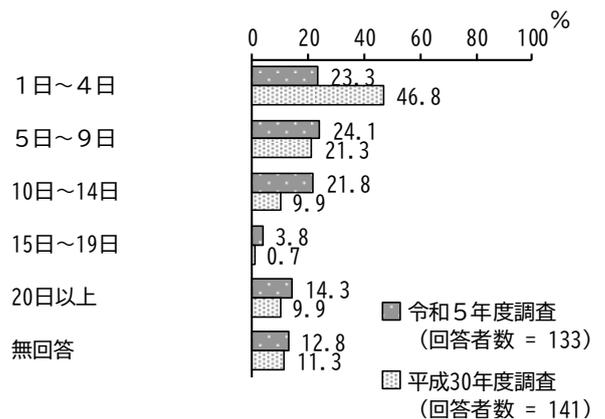
平成30年度調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が増加しています。



できれば仕事を休んで看たい日数

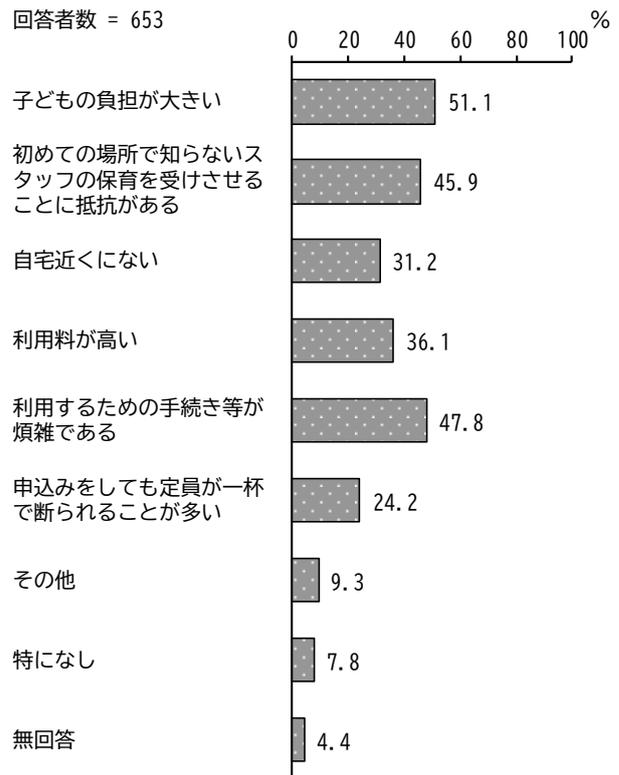
「5日～9日」の割合が24.1%と最も高く、次いで「1日～4日」の割合が23.3%、「10日～14日」の割合が21.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10日～14日」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」の割合が減少しています。



問 42 病児・病後児保育について、利用したことがある、なしにかかわらず、感じていることを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

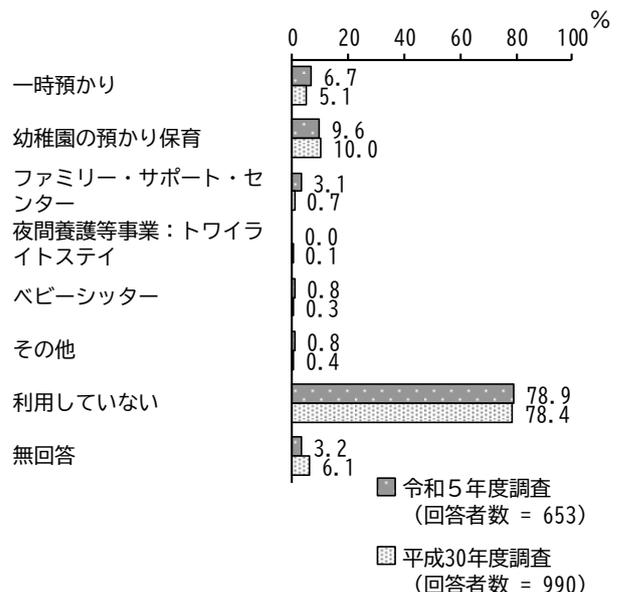
「子どもの負担が大きい」の割合が51.1%と最も高く、次いで「利用するための手続き等が煩雑である」の割合が47.8%、「初めての場所で知らないスタッフの保育を受けさせることに抵抗がある」の割合が45.9%となっています。



問 43 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまるものすべてに○) また、○をつけた各項目に、日数も()内に数字でご記入ください。なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「利用していない」の割合が78.9%と最も高くなっています。

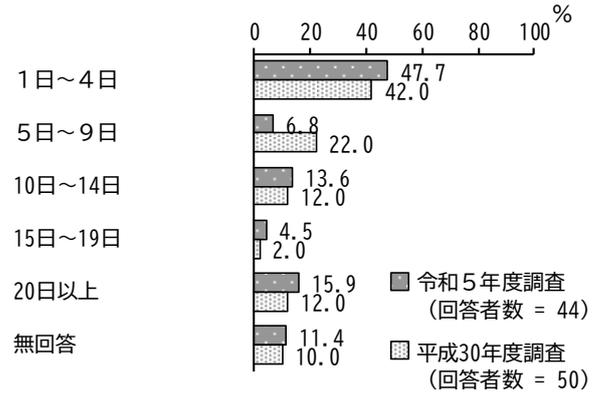
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1. 一時預かりの日数

「1日～4日」の割合が47.7%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が15.9%、「10日～14日」の割合が13.6%となっています。

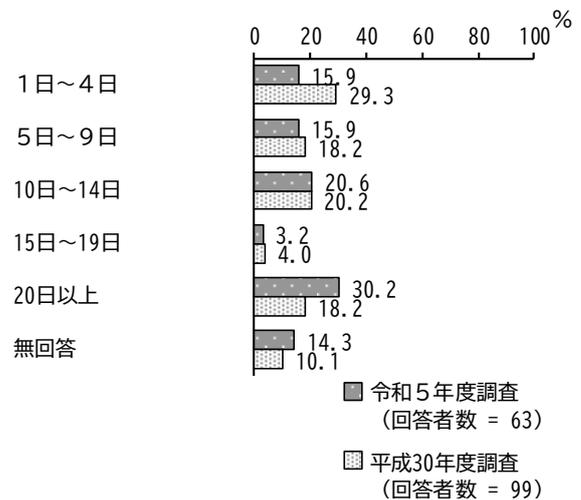
平成30年度調査と比較すると、「1日～4日」の割合が増加しています。一方、「5日～9日」の割合が減少しています。



2. 幼稚園の預かり保育の日数

「20日以上」の割合が30.2%と最も高く、次いで「10日～14日」の割合が20.6%、「1日～4日」、「5日～9日」の割合が15.9%となっています。

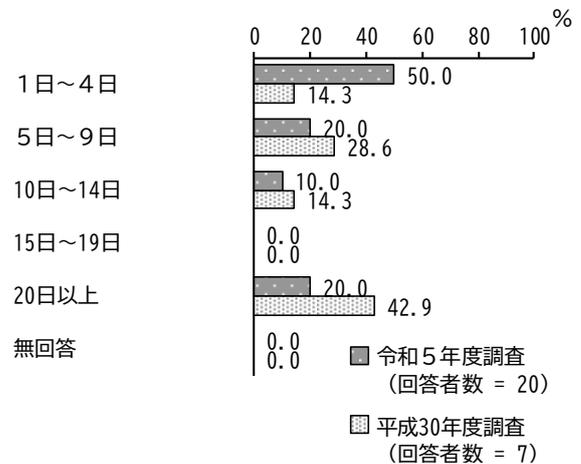
平成30年度調査と比較すると、「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」の割合が減少しています。



3. ファミリー・サポート・センターの日数

「1日～4日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「5日～9日」、「20日以上」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日～4日」の割合が増加しています。一方、「5日～9日」「20日以上」の割合が減少しています。

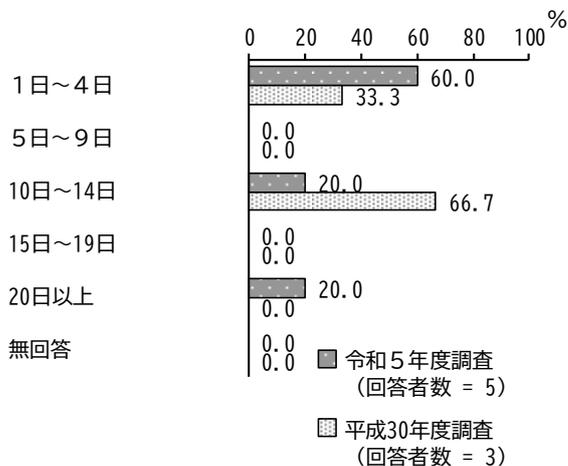


4. 夜間養護等事業：トワイライトステイの日数
有効回答がありませんでした。

5. ベビーシッターの日数

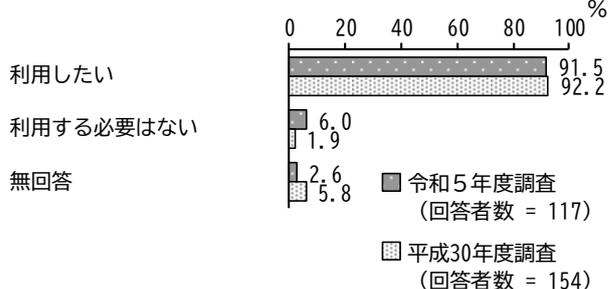
「1日～4日」が3件となっています。「10日～14日」、「20日以上」が1件となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日～4日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「10日～14日」の割合が減少しています。



問44 問43で、「1. 一時預かり」から「6. その他」までのいずれかに○をつけた方にお伺いします。あて名のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。
（あてはまるものすべてに○）また、○をつけた各項目に、日数も（ ）内に数字でご記入ください。なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。

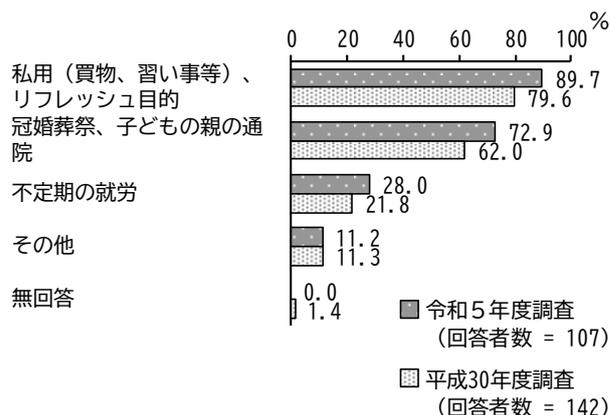
「利用したい」の割合が91.5%、「利用する必要はない」の割合が6.0%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用目的

「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 89.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、子どもの親の通院」の割合が 72.9%、「不規則の就労」の割合が 28.0%となっています。

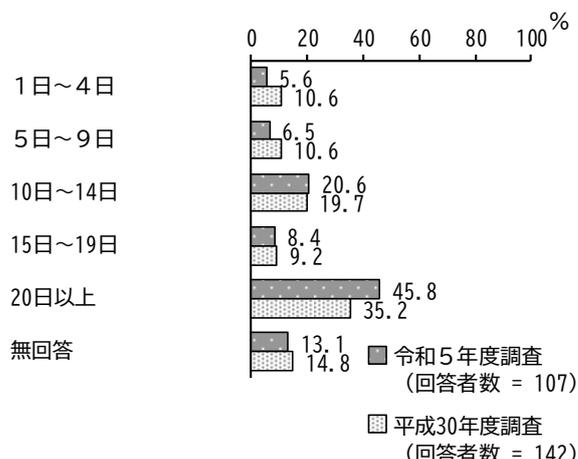
平成 30 年度調査と比較すると、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、子どもの親の通院」「不規則の就労」の割合が増加しています。



利用したい合計日数

「20 日以上」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「10 日～14 日」の割合が 20.6%となっています。

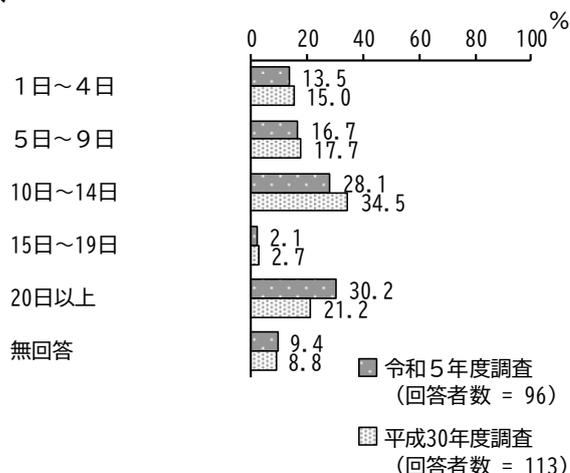
平成 30 年度調査と比較すると、「20 日以上」の割合が増加しています。



ア. 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的の日数

「20 日以上」の割合が 30.2%と最も高く、次いで「10 日～14 日」の割合が 28.1%、「5 日～9 日」の割合が 16.7%となっています。

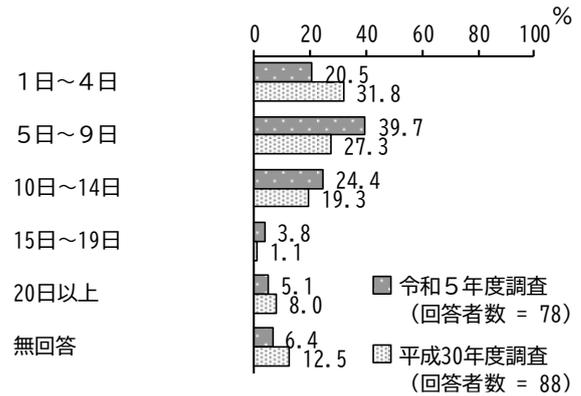
平成 30 年度調査と比較すると、「20 日以上」の割合が増加しています。一方、「10 日～14 日」の割合が減少しています。



イ. 冠婚葬祭、子どもの親の通院の日数

「5日～9日」の割合が39.7%と最も高く、次いで「10日～14日」の割合が24.4%、「1日～4日」の割合が20.5%となっています。

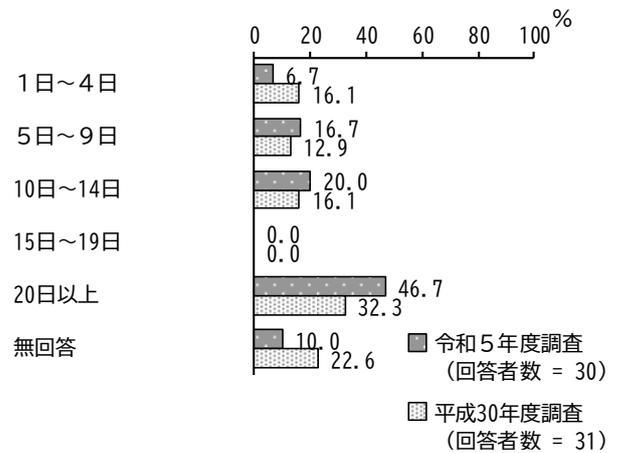
平成30年度調査と比較すると、「5日～9日」「10日～14日」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」の割合が減少しています。



ウ. 不定期の就労の日数

「20日以上」の割合が46.7%と最も高く、次いで「10日～14日」の割合が20.0%、「5日～9日」の割合が16.7%となっています。

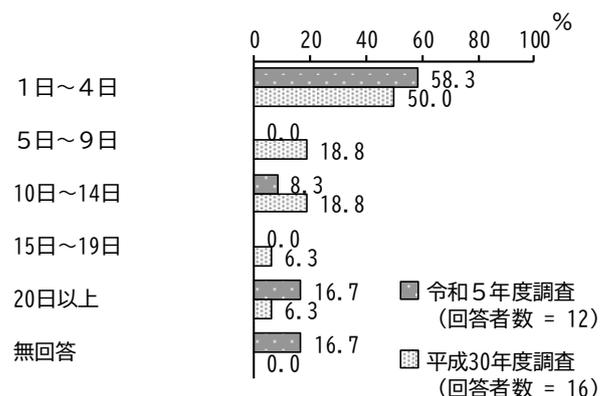
平成30年度調査と比較すると、「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」の割合が減少しています。



エ. その他の日数

「1日～4日」の割合が58.3%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日～4日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「5日～9日」「10日～14日」「15日～19日」の割合が減少しています。

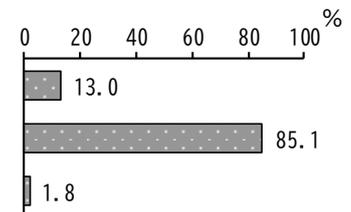


問 45 あて名のお子さんについて、保護者の用事により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が13.0%、「利用する必要はない」の割合が85.1%となっています。

回答者数 = 653

利用したい
利用する必要はない
無回答

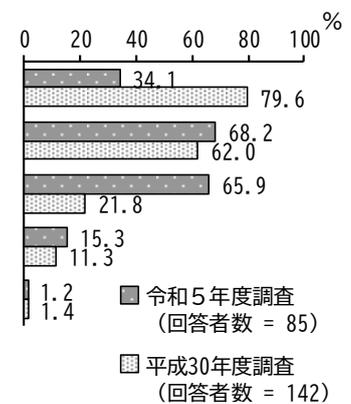


利用目的

「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が68.2%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」の割合が65.9%、「冠婚葬祭」の割合が34.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「保護者や家族の育児疲れ・不安」「保護者や家族の病気」の割合が増加しています。一方、「冠婚葬祭」の割合が減少しています。

冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ・不安
保護者や家族の病気
その他
無回答

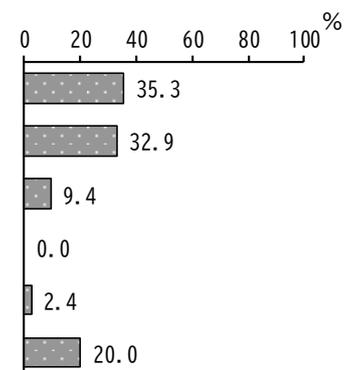


利用したい合計泊数

「1泊～4泊」の割合が35.3%と最も高く、次いで「5泊～9泊」の割合が32.9%となっています。

回答者数 = 85

1泊～4泊
5泊～9泊
10泊～14泊
15泊～19泊
20泊以上
無回答

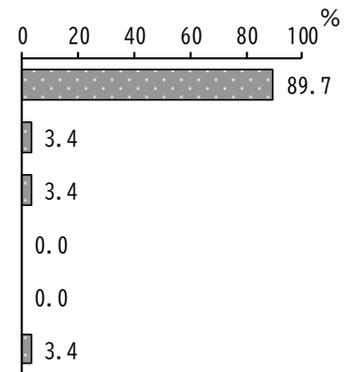


ア. 冠婚葬祭の泊数

「1泊～4泊」の割合が89.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 29

1泊～4泊
5泊～9泊
10泊～14泊
15泊～19泊
20泊以上
無回答

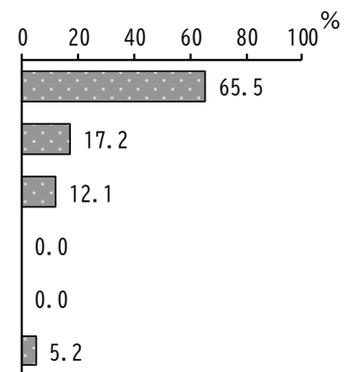


イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数

「1泊～4泊」の割合が65.5%と最も高く、次いで「5泊～9泊」の割合が17.2%、「10泊～14泊」の割合が12.1%となっています。

回答者数 = 58

1泊～4泊
5泊～9泊
10泊～14泊
15泊～19泊
20泊以上
無回答

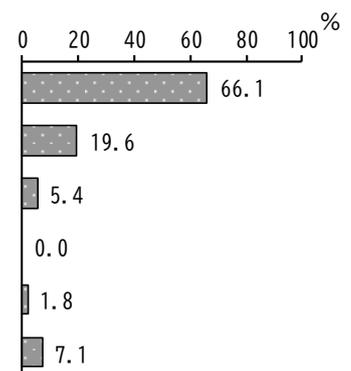


ウ. 保護者や家族の病気の泊数

「1泊～4泊」の割合が66.1%と最も高く、次いで「5泊～9泊」の割合が19.6%となっています。

回答者数 = 56

1泊～4泊
5泊～9泊
10泊～14泊
15泊～19泊
20泊以上
無回答

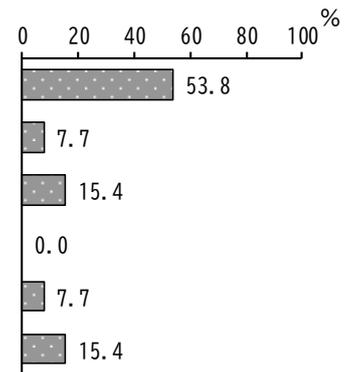


工. その他の泊数

「1泊～4泊」の割合が53.8%と最も高く、次いで「10泊～14泊」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 13

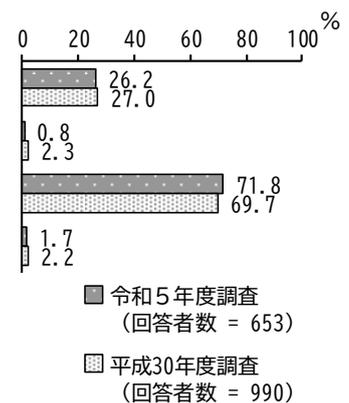
1泊～4泊
5泊～9泊
10泊～14泊
15泊～19泊
20泊以上
無回答



問 46 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、地域子ども家庭支援センター、保育園、児童館などで開設され、「子育てひろば」と呼ばれています）を利用していますか。（あてはまるものすべてに○）また、「1. 地域子育て支援拠点事業」や「2. その他」に○をつけた方は、おおよその数字（頻度）もご記入ください。

「地域子育て支援拠点事業」の割合が26.2%、「利用していない」の割合が71.8%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

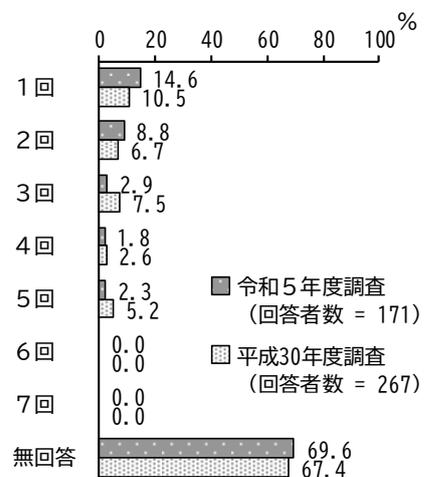
地域子育て支援拠点事業
その他
利用していない
無回答



地域子育て支援拠点事業

1週あたりの利用日数

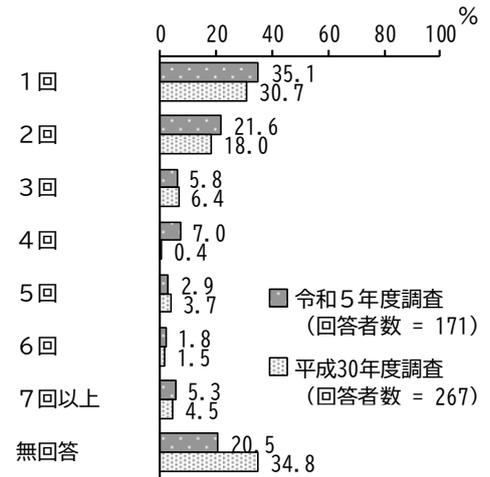
「1回」の割合が14.6%と最も高くなっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1 か月あたりの利用日数

「1回」の割合が35.1%と最も高く、次いで「2回」の割合が21.6%となっています。

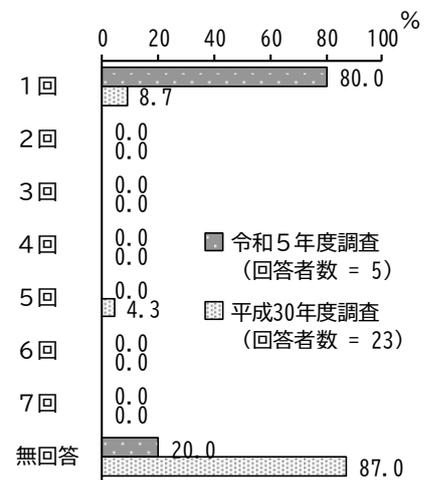
平成30年度調査と比較すると、「4回」の割合が増加しています。



その他

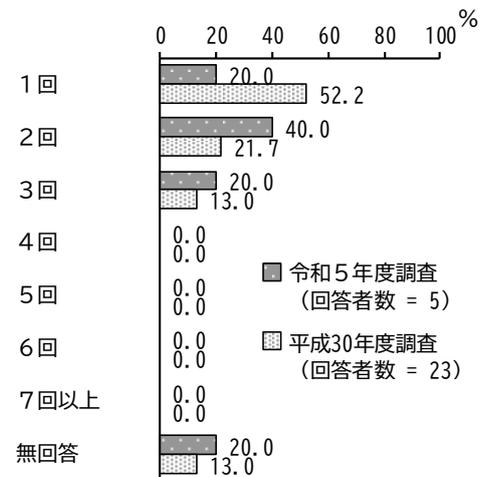
1 週あたり利用日数

「1回」が4件となっています。



1 か月あたり利用日数

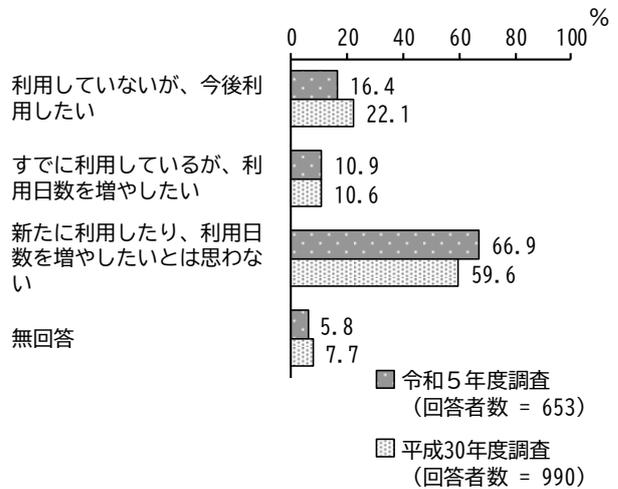
「2回」が2件となっています。「1回」、「3回」が1件となっています。



問 47 問 46 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。
 (あてはまるもの1つに○) また、「1. 利用していないが、今後利用したい」や「2. すでに利用しているが、利用日数を増やしたい」に○をつけた方は、おおよその数字(頻度)もご記入ください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 66.9%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 16.4%、「すでに利用しているが、利用日数を増やしたい」の割合が 10.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が増加しています。一方、「利用していないが、今後利用したい」の割合が減少しています。

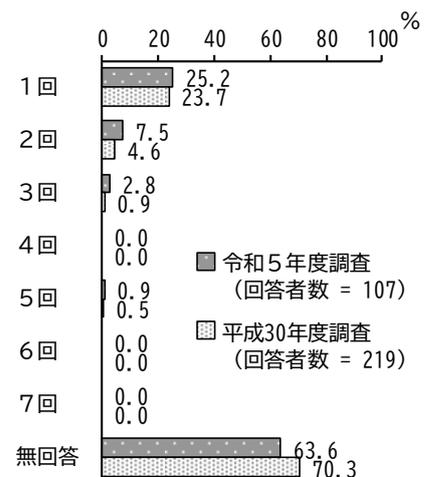


利用していないが、今後利用したい

1 週あたりの利用日数

「1 回」の割合が 25.2%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

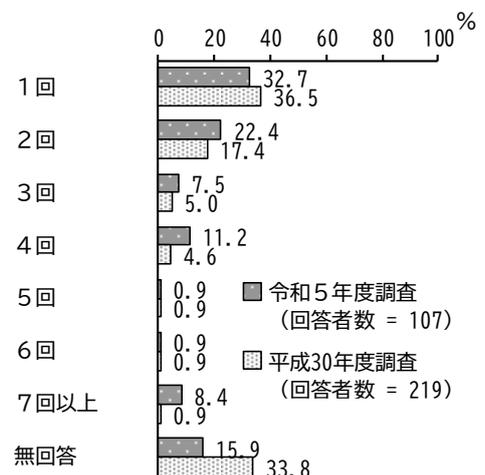


利用していないが、今後利用したい

1 か月あたりの利用日数

「1 回」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「2 回」の割合が 22.4%、「4 回」の割合が 11.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「4 回」「7 回以上」の割合が増加しています。

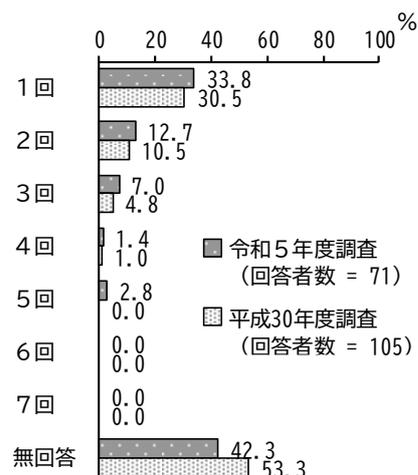


すでに利用しているが、利用日数を増やしたい

1 週あたりの利用日数

「1回」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「2回」の割合が 12.7%となっています。

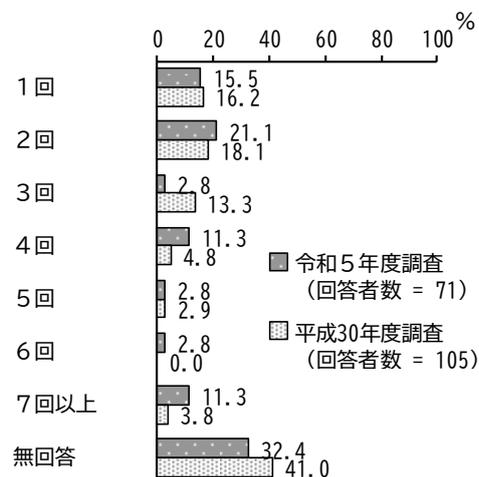
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1 か月あたりの利用日数

「2回」の割合が 21.1%と最も高く、次いで「1回」の割合が 15.5%、「4回」、「7回以上」の割合が 11.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「4回」「7回以上」の割合が増加しています。一方、「3回」の割合が減少しています。



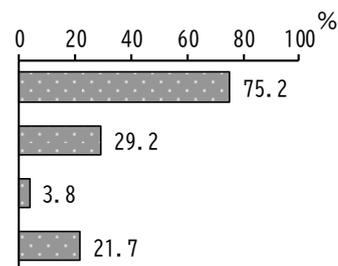
問 48 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。A～Cすべてについて、あてはまるものすべてにチェックをいれてください。表紙の裏面に各事業の説明が記載されておりますので、ご参照ください。

1 ママパピクラス

「知っている」の割合が 75.2%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が 29.2%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

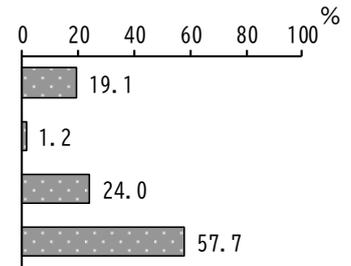


2 家庭教育に関する学習講座

「今後利用したい」の割合が24.0%と最も高く、次いで「知っている」の割合が19.1%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

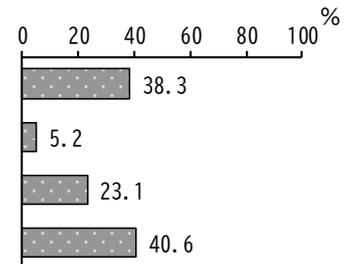


3 就学相談

「知っている」の割合が38.3%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が23.1%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

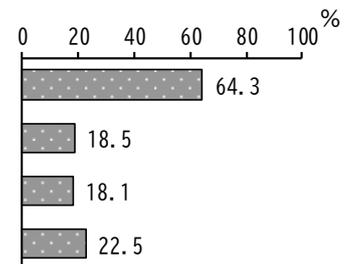


4 保育所や幼稚園の園庭等の開放

「知っている」の割合が64.3%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が18.5%、「今後利用したい」の割合が18.1%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

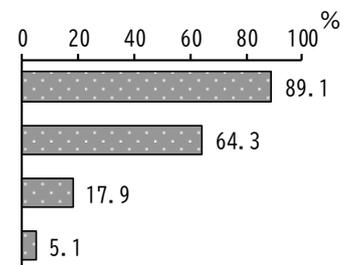


5 児童館

「知っている」の割合が89.1%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が64.3%、「今後利用したい」の割合が17.9%となっています。

回答者数 = 653

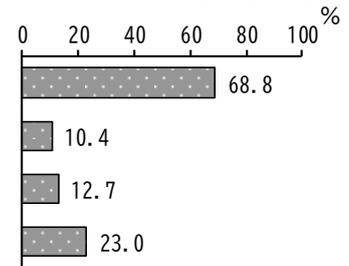
知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答



6 ファミリー・サポート・センター(会員制による住民の一時預かりを中心とした相互援助活動)
 「知っている」の割合が68.8%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が12.7%、「これまでに利用したことがある」の割合が10.4%となっています。

回答者数 = 653

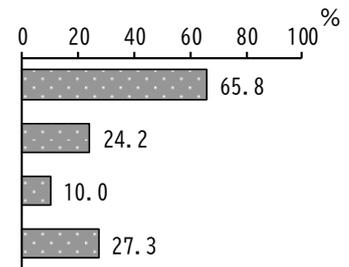
知っている
 これまでに利用したことがある
 今後利用したい
 無回答



7 子ども家庭総合相談(子ども家庭支援センター)
 「知っている」の割合が65.8%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が24.2%、「今後利用したい」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 653

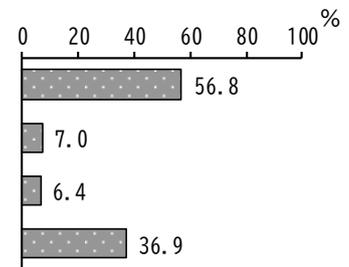
知っている
 これまでに利用したことがある
 今後利用したい
 無回答



8 子育てサークル
 「知っている」の割合が56.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 653

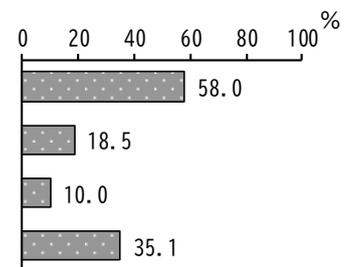
知っている
 これまでに利用したことがある
 今後利用したい
 無回答



9 子育てひろば事業
 「知っている」の割合が58.0%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が18.5%、「今後利用したい」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 653

知っている
 これまでに利用したことがある
 今後利用したい
 無回答

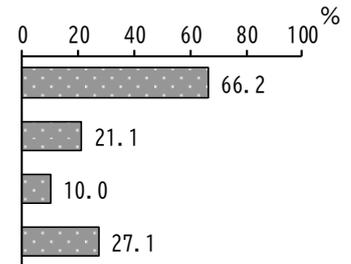


10 ひのっ子の子育て・子育て「知っ得ハンドブック」

「知っている」の割合が66.2%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が21.1%、「今後利用したい」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

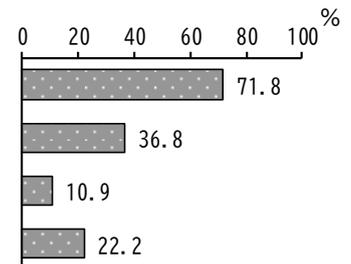


11 子育て情報サイト「ぼけっとなび」

「知っている」の割合が71.8%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が36.8%、「今後利用したい」の割合が10.9%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

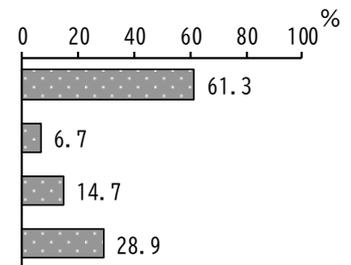


12 病児・病後児保育事業

「知っている」の割合が61.3%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が14.7%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

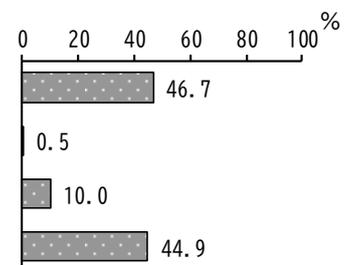


13 ショートステイ事業

「知っている」の割合が46.7%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

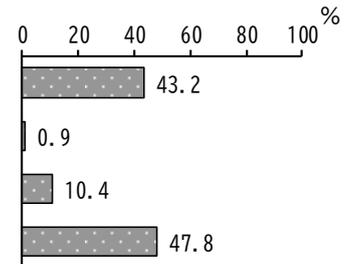


14 トワイライトステイ事業

「知っている」の割合が43.2%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が10.4%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

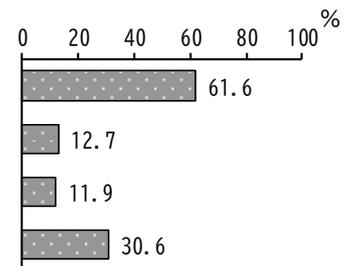


15 一時保育事業

「知っている」の割合が61.6%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が12.7%、「今後利用したい」の割合が11.9%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

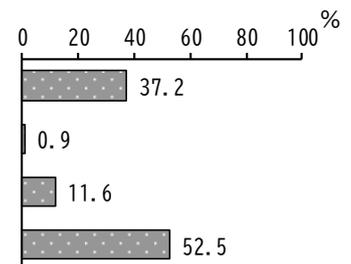


16 休日保育事業

「知っている」の割合が37.2%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が11.6%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

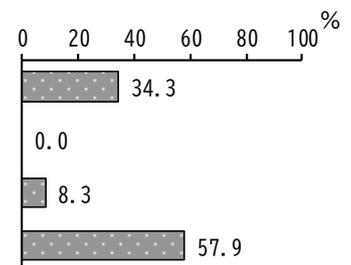


17 夜間保育事業

「知っている」の割合が34.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

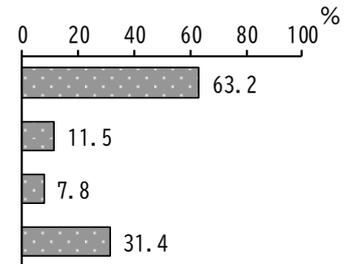


18 認証保育所

「知っている」の割合が63.2%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が11.5%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

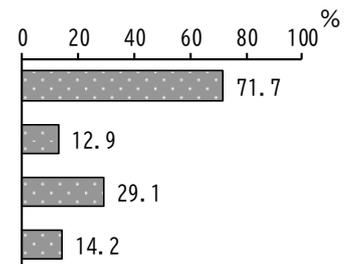


19 学童クラブ

「知っている」の割合が71.7%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が29.1%、「これまでに利用したことがある」の割合が12.9%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

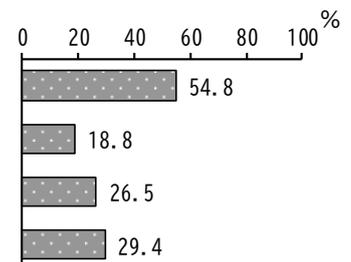


20 放課後子ども教室「ひのっち」

「知っている」の割合が54.8%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が26.5%、「これまでに利用したことがある」の割合が18.8%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

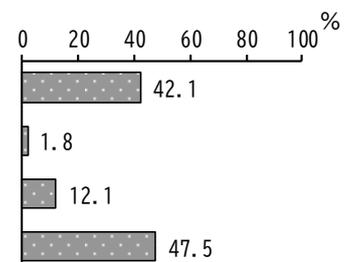


21 放課後等デイサービス

「知っている」の割合が42.1%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が12.1%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

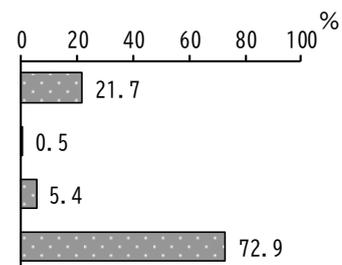


22 ひとり親家庭のしおり

「知っている」の割合が21.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

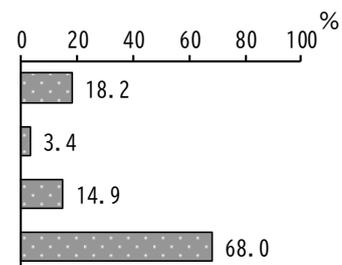


23 プレーパーク

「知っている」の割合が18.2%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が14.9%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

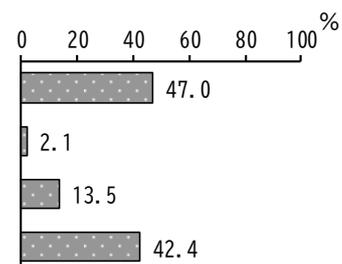


24 子ども食堂

「知っている」の割合が47.0%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が13.5%となっています。

回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

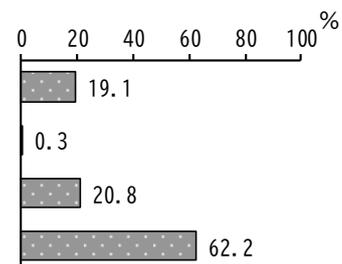


25 無料塾

「今後利用したい」の割合が20.8%と最も高く、次いで「知っている」の割合が19.1%となっています。

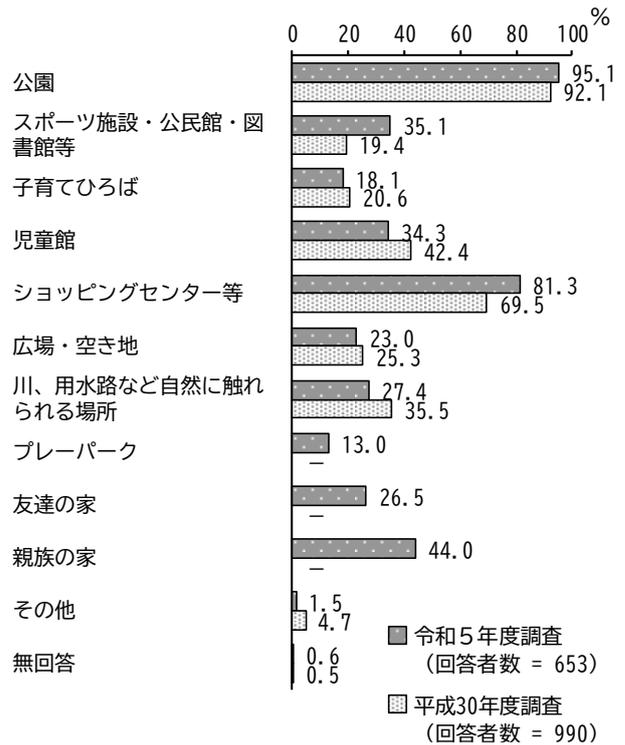
回答者数 = 653

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答



問 49 普段どのような場所に遊びに行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

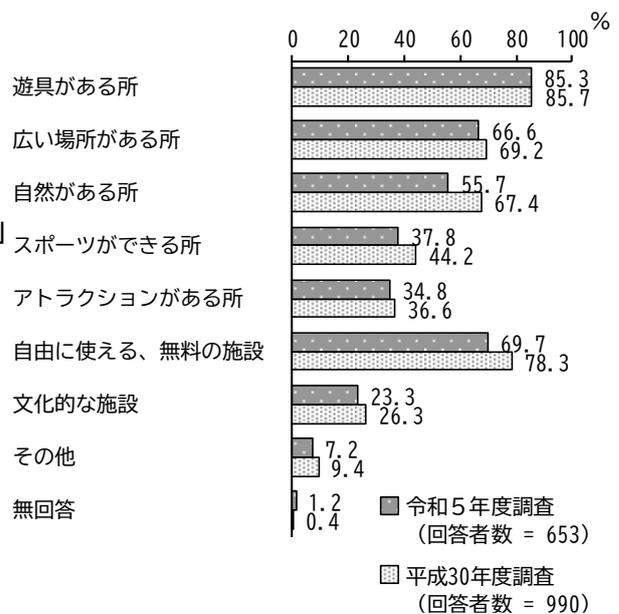
「公園」の割合が 95.1%と最も高く、次いで「ショッピングセンター等」の割合が 81.3%、「親族の家」の割合が 44.0%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「スポーツ施設・公民館・図書館等」「ショッピングセンター等」の割合が増加しています。一方、「児童館」「川、用水路など自然に触れられる場所」の割合が減少しています。



※「プレーパーク」「友達の家」「親族の家」は今回の調査で新しく追加しました。

問 50 どのような遊び場が欲しいですか。(あてはまるものすべてに○)

「遊具がある所」の割合が 85.3%と最も高く、次いで「自由に使える、無料の施設」の割合が 69.7%、「広い場所がある所」の割合が 66.6%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「自然がある所」「スポーツができる所」「自由に使える、無料の施設」の割合が増加しています。



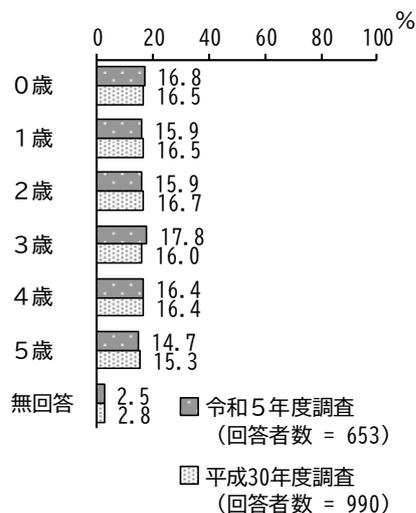
ご家族の状況について

(7) あて名のお子さんご家族の状況について

問 51 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

「3歳」の割合が17.8%と最も高く、次いで「0歳」の割合が16.8%、「4歳」の割合が16.4%となっています。

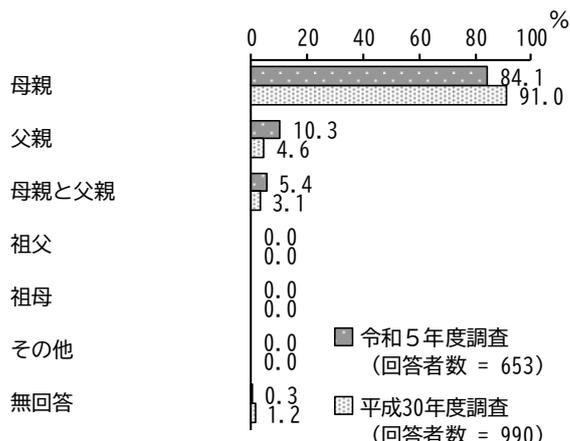
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 52 あて名のお子さんから見て、この記入票を記入したのはどなたですか。
(あてはまるもの1つに○)

「母親」の割合が84.1%と最も高く、次いで「父親」の割合が10.3%となっています。

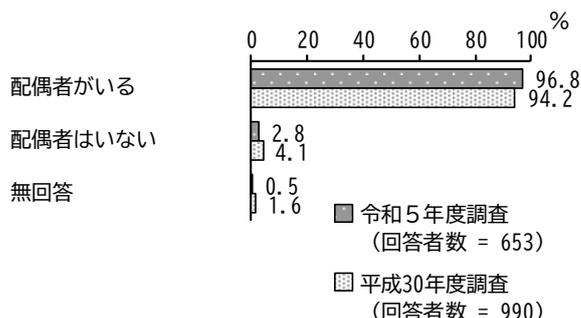
平成30年度調査と比較すると、「父親」の割合が増加しています。一方、「母親」の割合が減少しています。



問 53 この調査票に回答いただいている方の配偶関係について伺います。
(あてはまるもの1つに○)

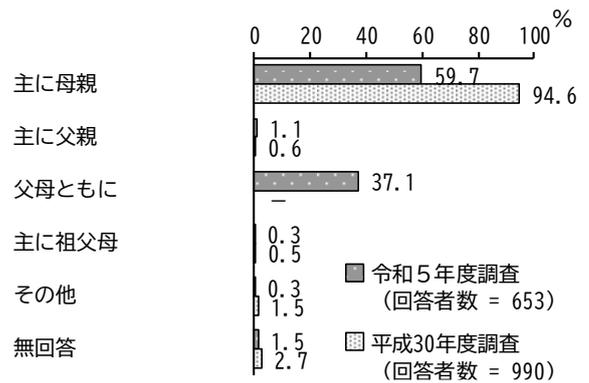
「配偶者がいる」の割合が96.8%、「配偶者がいない」の割合が2.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 54 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

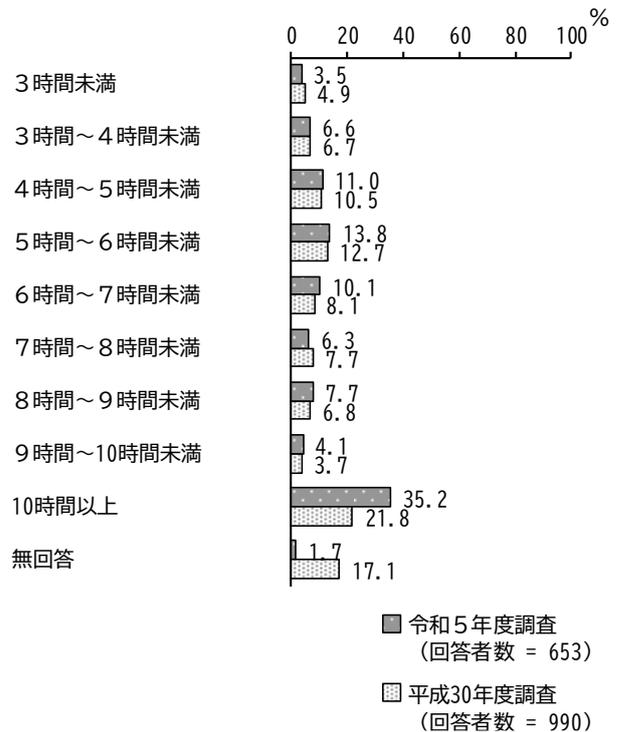
「主に母親」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が 37.1%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「主に母親」の割合が減少しています。



※「父母ともに」は今回の調査で新しく追加しました。

問 55 あなたが1日にお子さんと接する平均的な時間を教えてください。() 内に具体的な数字でお答えください。

「10 時間以上」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「5 時間～6 時間未満」の割合が 13.8%、「4 時間～5 時間未満」の割合が 11.0%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「10 時間以上」の割合が増加しています。



子どもの権利について

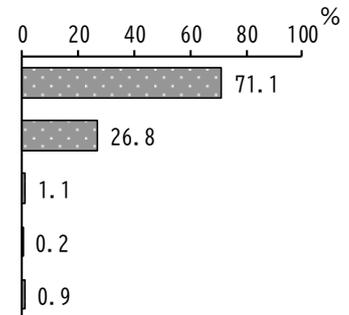
(8) 子どもの権利について

問 56 あなたは、子育てをしていて、子どもの気持ちを聴くように意識をしたことはありますか。(あてはまるものひとつに○)

「常にしている」の割合が 71.1%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が 26.8%となっています。

回答者数 = 653

常にしている
ときどきしている
あまりしていない
まったくしたことがない
無回答

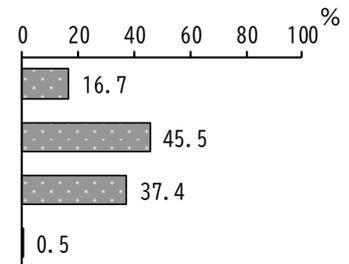


問 57 あなたは、「子ども条例」を知っていますか。(あてはまるものひとつに○)

「名前は知っているが内容は知らない」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「名前も内容も知らない」の割合が 37.4%、「名前も内容も知っている」の割合が 16.7%となっています。

回答者数 = 653

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らない
名前も内容も知らない
無回答

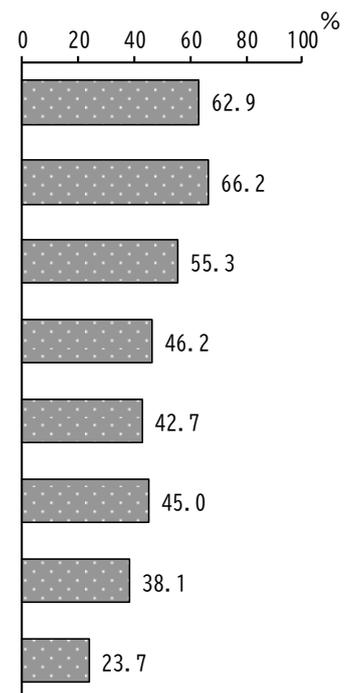


問 58 「子どもの権利」の中で知っているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「安心して居られる場所があること」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「いじめや虐待を受けないこと」の割合が 62.9%、「自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること」の割合が 55.3%となっています。

回答者数 = 653

いじめや虐待を受けないこと
安心して居られる場所があること
自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること
人と違う自分らしさが認められること
自分の秘密が守られること
学んだり遊んだり休息すること
必要な情報を知ることや、必要な助言や手助けを受けられること
無回答



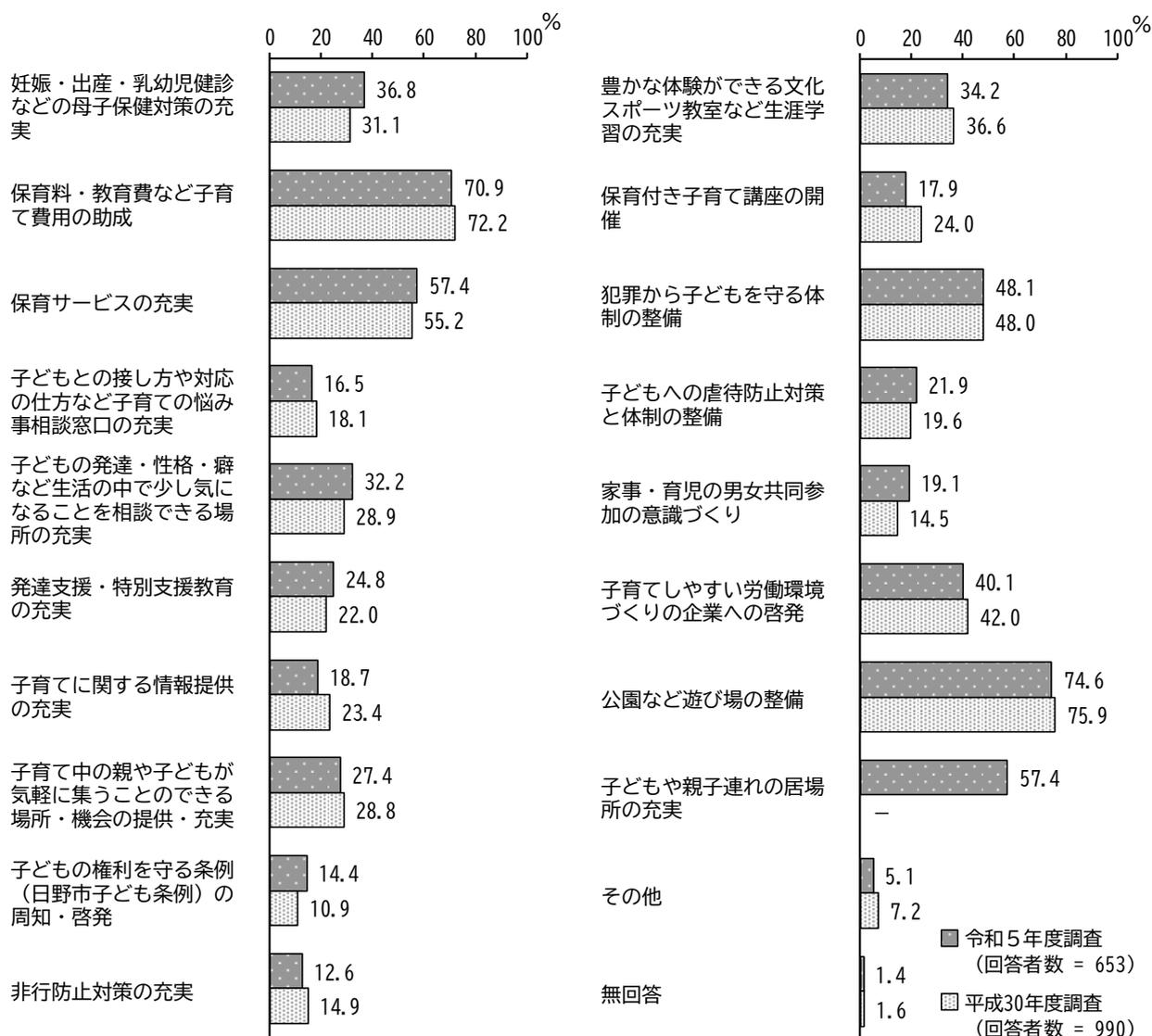
日野市の子育て支援について

(9) 日野市の子育て支援策について

問 59 市の子育て支援策として、今後何に力を入れていくべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「公園など遊び場の整備」の割合が 74.6%と最も高く、次いで「保育料・教育費など子育て費用の助成」の割合が 70.9%、「保育サービスの充実」、「子どもや親子連れの居場所の充実」の割合が 57.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「妊娠・出産・乳幼児健診などの母子保健対策の充実」の割合が増加しています。一方、「保育付き子育て講座の開催」の割合が減少しています。

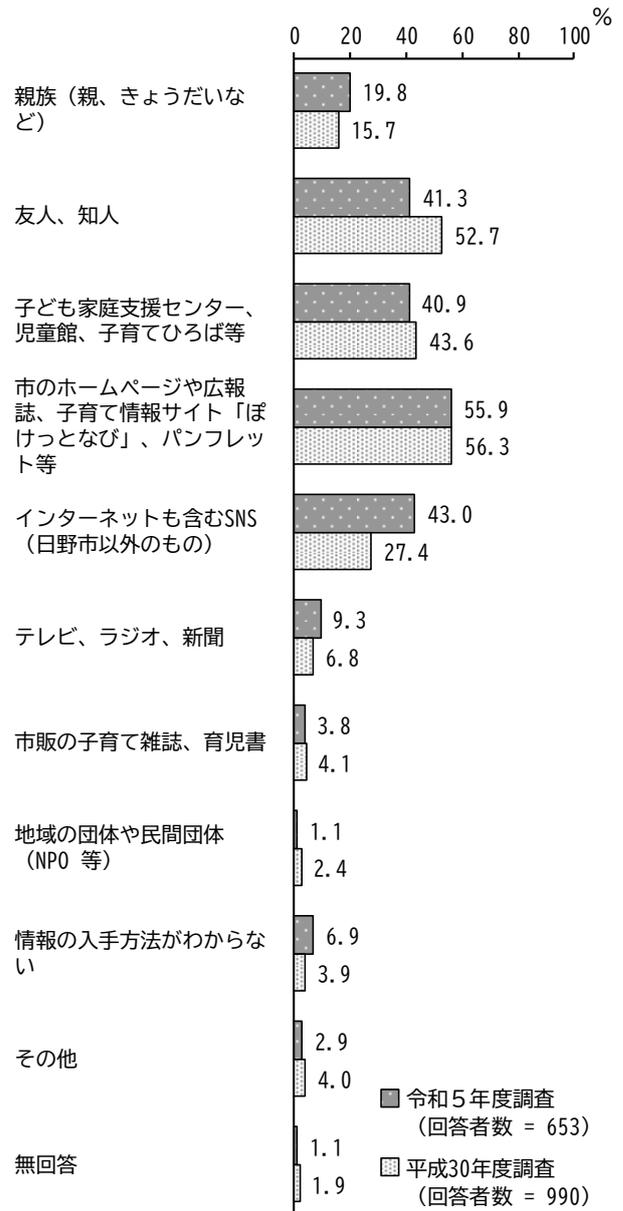


※「子どもや親子連れの居場所の充実」は今回の調査で新しく追加しました。

問 60 子育て支援事業の情報はどこから入手しますか。(あてはまるものすべてに○)

「市のホームページや広報誌、子育て情報サイト「ぽけっとなび」、パンフレット等」の割合が55.9%と最も高く、次いで「インターネットも含むSNS（日野市以外のもの）」の割合が43.0%、「友人、知人」の割合が41.3%となっています。

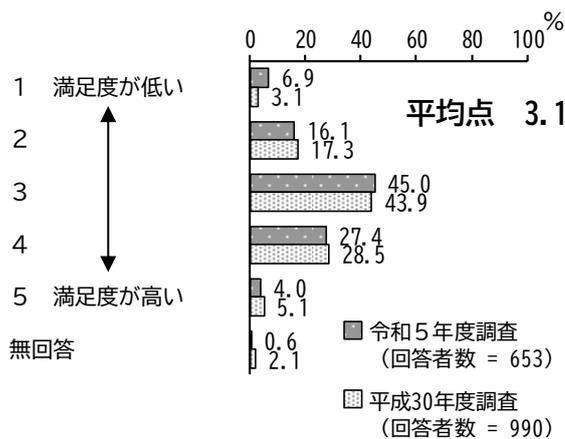
平成30年度調査と比較すると、「インターネットも含むSNS（日野市以外のもの）」の割合が増加しています。一方、「友人、知人」の割合が減少しています。



問 61 日野市における子育て環境や支援への満足度についてお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

「3」の割合が45.0%と最も高く、次いで「4」の割合が27.4%、「2」の割合が16.1%となっています。

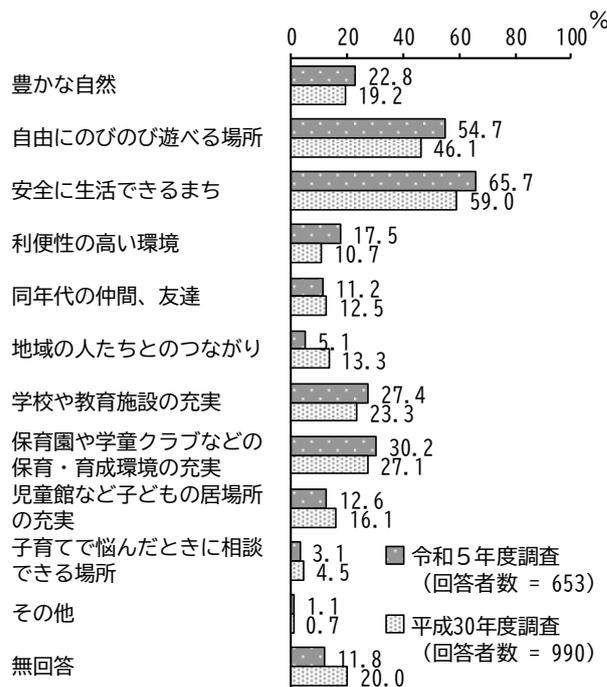
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 62 子どもを育てる環境として何を重視しますか。(あてはまるもの3つまで○)

「安全に生活できるまち」の割合が65.7%と最も高く、次いで「自由にのびのび遊べる場所」の割合が54.7%、「保育園や学童クラブなどの保育・育成環境の充実」の割合が30.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自由にのびのび遊べる場所」「安全に生活できるまち」「利便性の高い環境」の割合が増加しています。一方、「地域の人たちとのつながり」の割合が減少しています。



2 小学校児童保護者

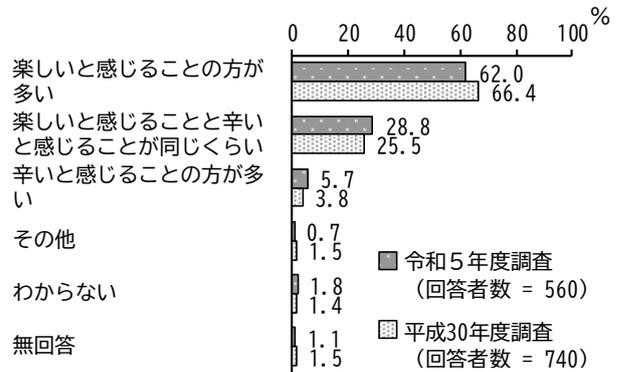
地域における子育て支援について

(1) 子育て環境や子育て支援の現状について

問1 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いですか。それとも辛いと感じることが多いですか。(あてはまるもの1つに○)

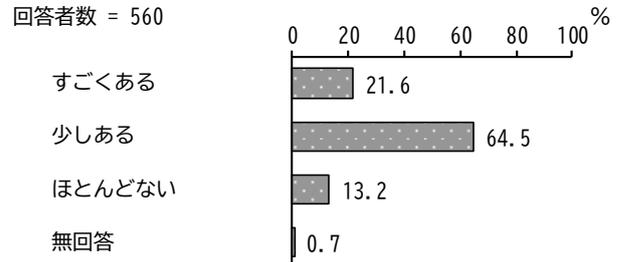
「楽しいと感じることの方が多し」の割合が62.0%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が28.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 あなたは、子育てをしていて、不安や悩みなどがありますか。(あてはまるもの1つに○)

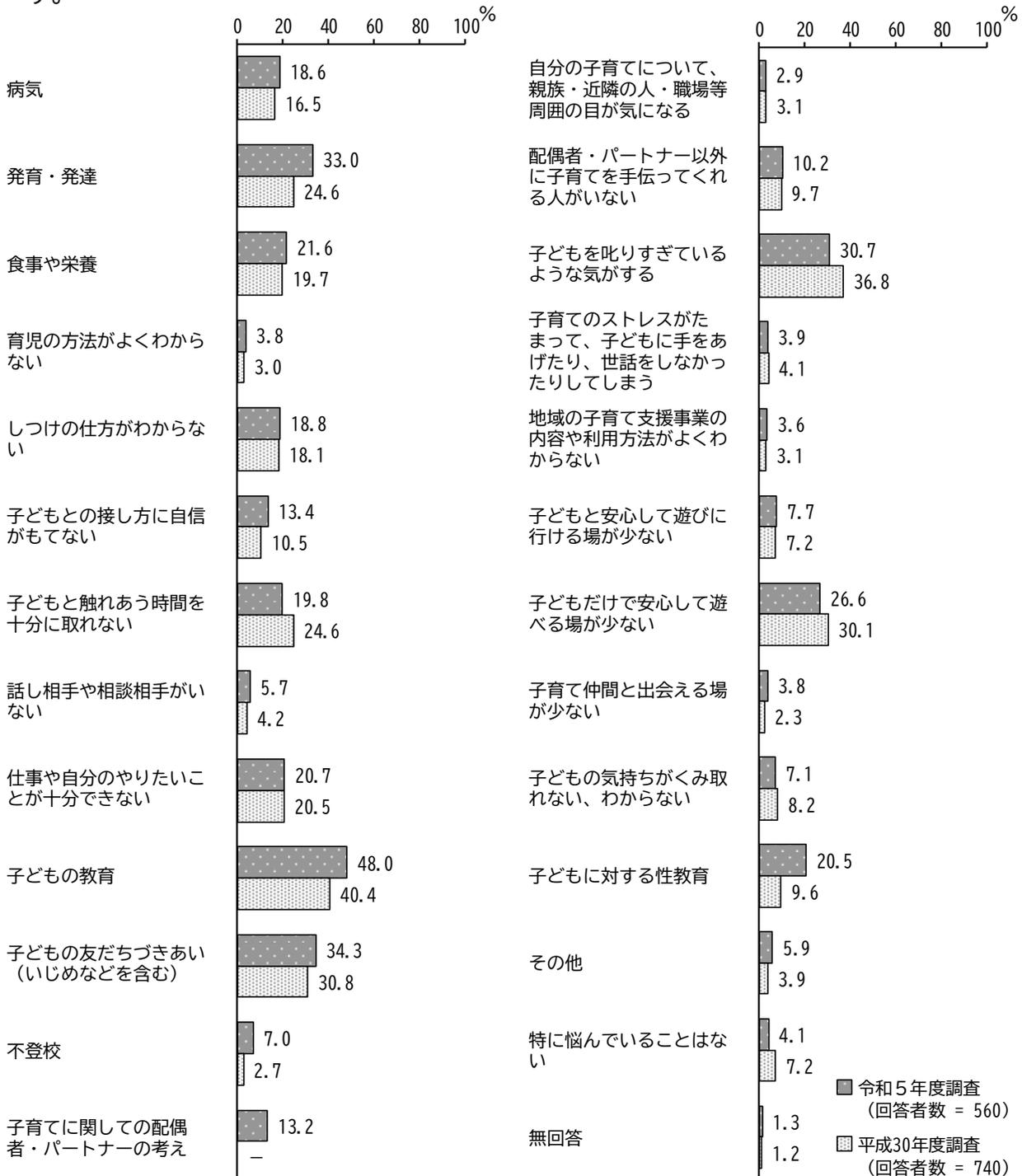
「少しある」の割合が64.5%と最も高く、次いで「すごくある」の割合が21.6%、「ほとんどない」の割合が13.2%となっています。



問3 子育てに関して日常悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもの教育」の割合が48.0%と最も高く、次いで「子どもの友だちづきあい(いじめなどを含む)」の割合が34.3%、「発育・発達」の割合が33.0%となっています。

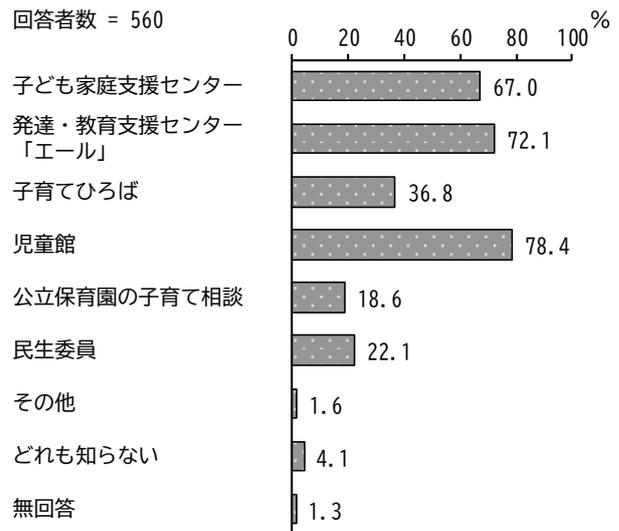
平成30年度調査と比較すると、「発育・発達」、「子どもの教育」、「子どもに対する性教育」の割合が増加しています。一方、「子どもを叱りすぎているような気がする」の割合が減少しています。



※「子育てについての配偶者・パートナーの考え」は今回の調査で新しく追加しました。

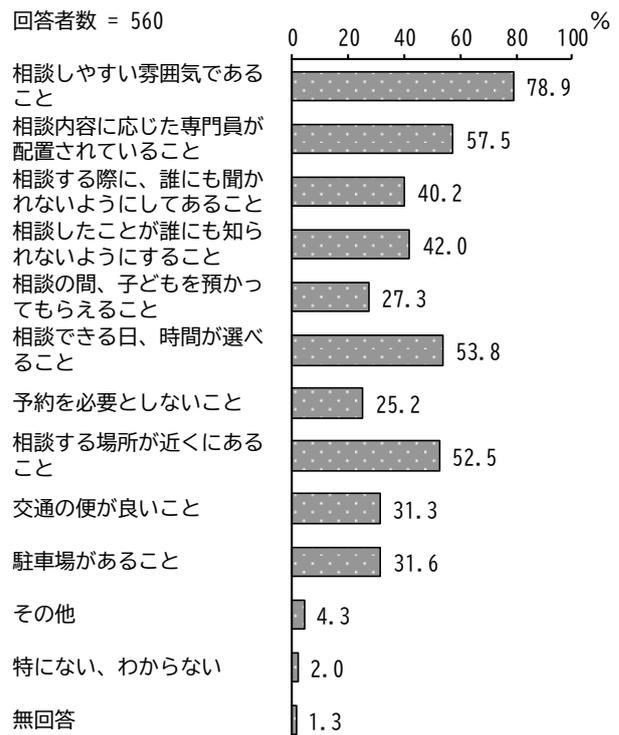
問4 あなたは、子育てに関する以下の相談窓口を知っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「児童館」の割合が78.4%と最も高く、次いで「発達・教育支援センター「エール」」の割合が72.1%、「子ども家庭支援センター」の割合が67.0%となっています。



問5 相談窓口を利用するために必要な条件は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

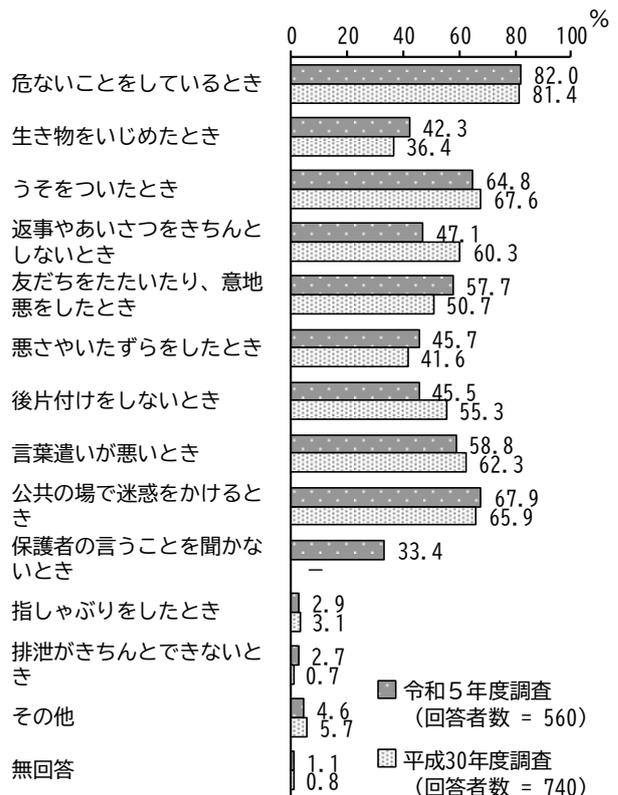
「相談しやすい雰囲気であること」の割合が78.9%と最も高く、次いで「相談内容に応じた専門員が配置されていること」の割合が57.5%、「相談できる日、時間が選べること」の割合が53.8%となっています。



問6 ご家庭では、あて名のお子さんを、どのようなときに叱りますか。
(あてはまるものすべてに○)

「危ないことをしているとき」の割合が82.0%と最も高く、次いで「公共の場で迷惑をかけるとき」の割合が67.9%、「うそをついたとき」の割合が64.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「生き物をいじめたとき」「友だちをたたいたり、意地悪をしたとき」の割合が増加しています。一方、「返事やあいさつをきちんとしないとき」、「後片付けをしないとき」の割合が減少しています。

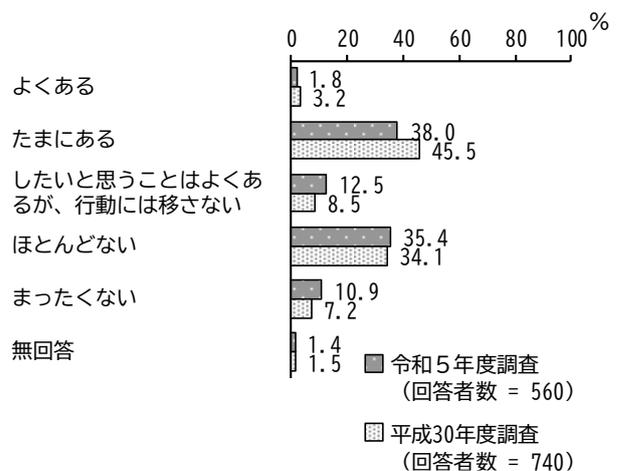


※「保護者の言うことを聞かないとき」は今回の調査で新しく追加しました。

問7 子どもに対して、思わずたたいたり、心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

「たまにある」の割合が38.0%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が35.4%、「したいと思うことはよくあるが、行動には移さない」の割合が12.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「たまにある」の割合が減少しています。

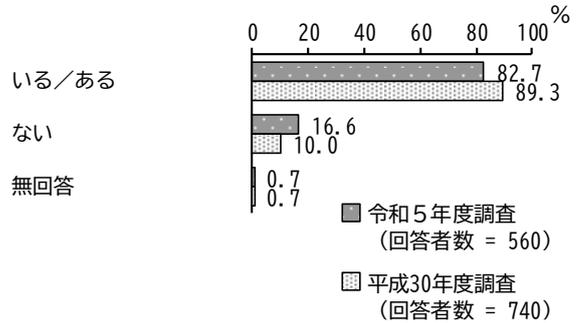


(2) 子育て環境について

問8 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（あてはまるもの1つに○）

「いる／ある」の割合が82.7%、「ない」の割合が16.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。一方、「いる／ある」の割合が減少しています。

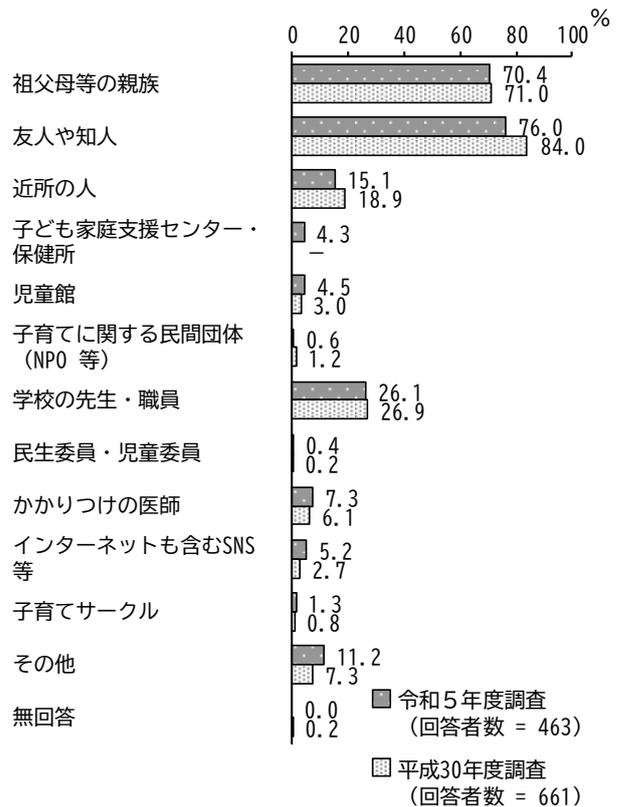


問9 問8で、「1. いる／ある」に○をつけた方にお伺いします。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

「友人や知人」の割合が76.0%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が70.4%、「学校の先生・職員」の割合が26.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「友人や知人」の割合が減少しています。



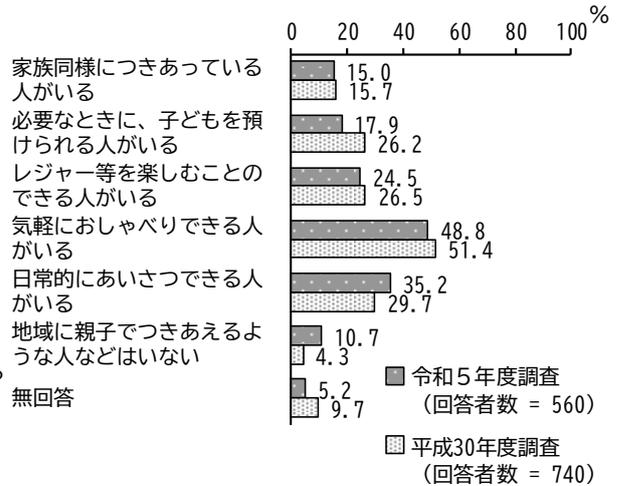
※「子ども家庭支援センター・保育所」は今回の調査で新しく追加しました。

(3) 地域での子育て状況について

問10 地域に親子でつきあえる知人または友人などがいますか。(2つまで○)

「気軽におしゃべりできる人がいる」の割合が48.8%と最も高く、次いで「日常的にあいさつできる人がいる」の割合が35.2%、「レジャー等を楽しむことのできる人がいる」の割合が24.5%となっています。

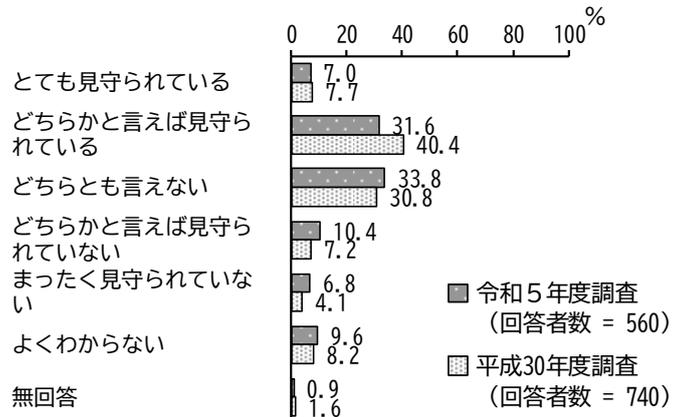
平成30年度調査と比較すると、「日常的にあいさつできる人がいる」、「地域に親子でつきあえるような人などはいない」の割合が増加しています。一方、「必要なときに、子どもを預けられる人がいる」の割合が減少しています。



問11 あなたは、地域の人から見守られていると感じますか。(あてはまるもの1つに○)

「どちらとも言えない」の割合が33.8%と最も高く、次いで「どちらかと言えば見守られている」の割合が31.6%、「どちらかと言えば見守られていない」の割合が10.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



育成基盤づくりについて

(4) お子さんの保護者の就労状況について

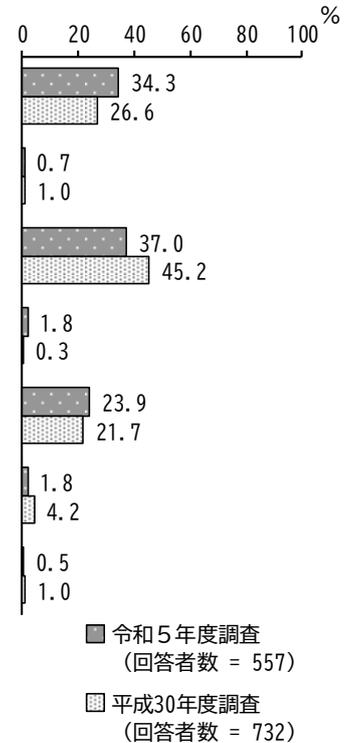
問 12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記載不要】（あてはまるもの1つに○）

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 34.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 23.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が減少しています。

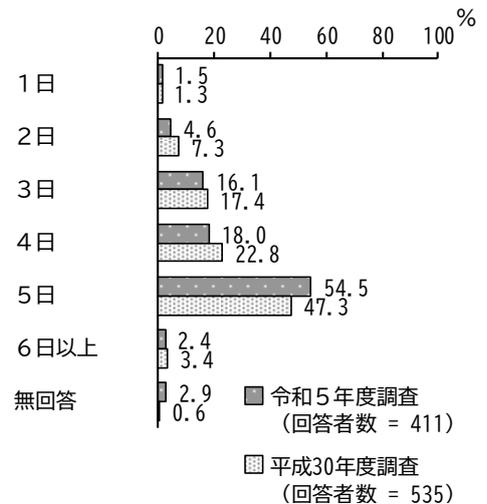
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
以前は就労していたが、現在は就労していない
これまでに就労したことはない
無回答



1 週あたりの就労日数

「5日」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が 18.0%、「3日」の割合が 16.1%となっています。

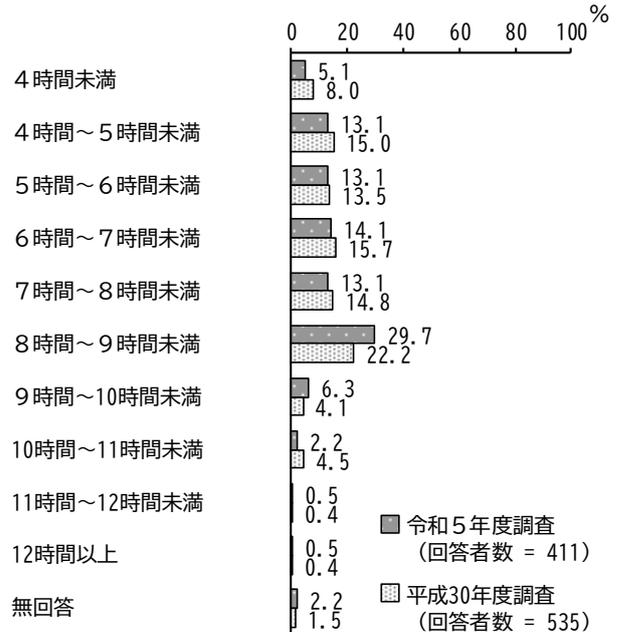
平成 30 年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



1日あたりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が29.7%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が14.1%、「4時間～5時間未満」、「5時間～6時間未満」の割合が13.1%となっています。

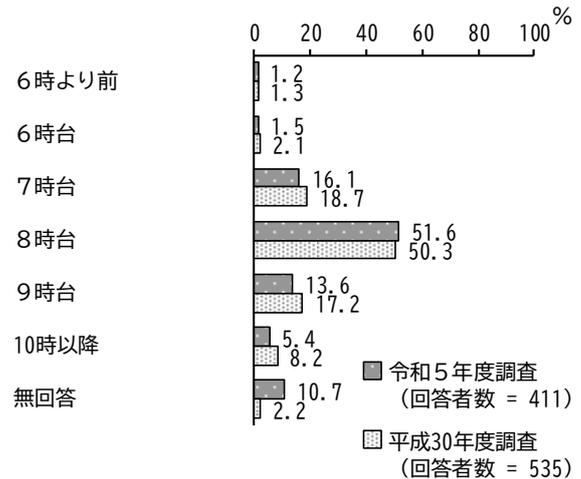
平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。



家を出る時間

「8時台」の割合が51.6%と最も高く、次いで「7時台」の割合が16.1%、「9時台」の割合が13.6%となっています。

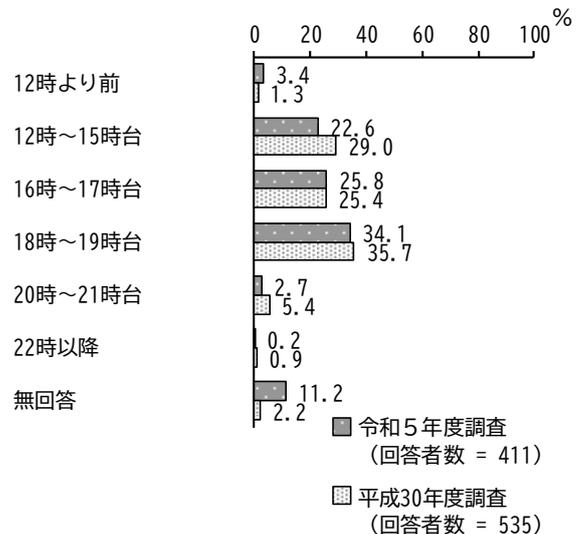
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時間

「18時～19時台」の割合が34.1%と最も高く、次いで「16時～17時台」の割合が25.8%、「12時～15時台」の割合が22.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「12時～15時台」の割合が減少しています。

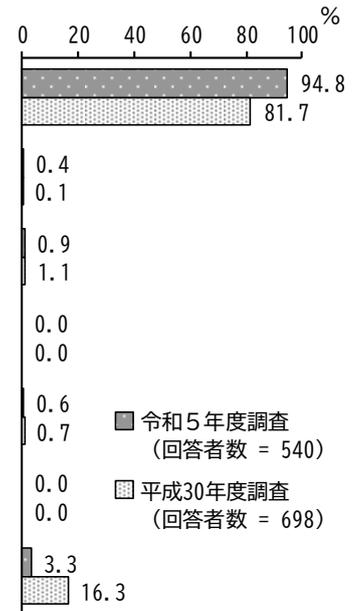


(2) 父親 【母子家庭の場合は記載不要】(あてはまるもの1つに○)

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が94.8%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。

フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
 フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
 パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
 パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である
 以前は就労していたが、現在は就労していない
 これまでに就労したことはない
 無回答

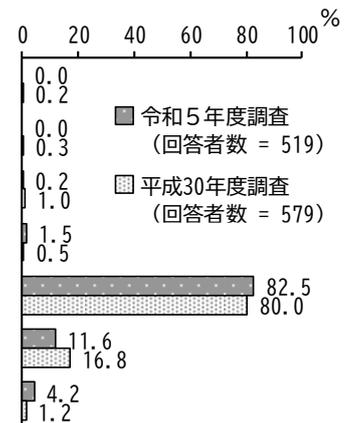


1週あたりの就労日数

「5日」の割合が82.5%と最も高く、次いで「6日以上」の割合が11.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「6日以上」の割合が減少しています。

1日
 2日
 3日
 4日
 5日
 6日以上
 無回答

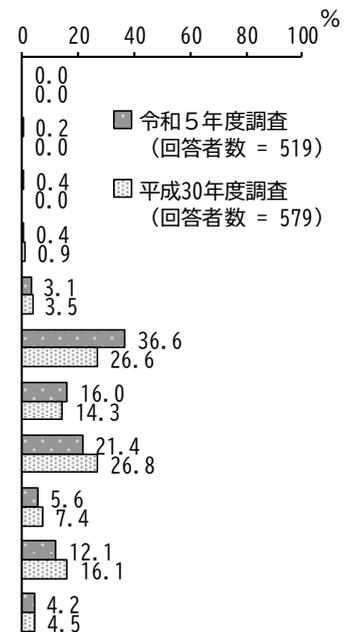


1日あたりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が36.6%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が21.4%、「9時間～10時間未満」の割合が16.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。一方、「10時間～11時間未満」の割合が減少しています。

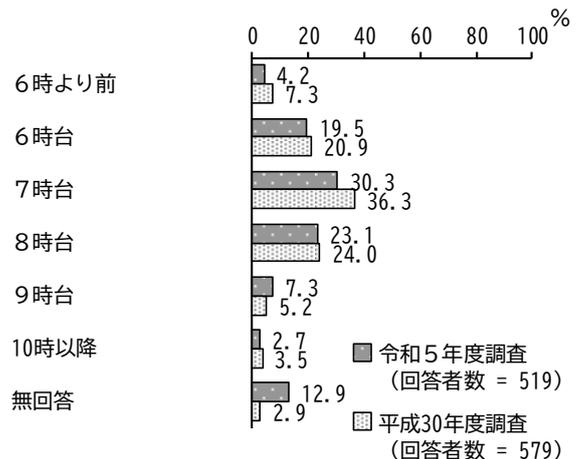
4時間未満
 4時間～5時間未満
 5時間～6時間未満
 6時間～7時間未満
 7時間～8時間未満
 8時間～9時間未満
 9時間～10時間未満
 10時間～11時間未満
 11時間～12時間未満
 12時間以上
 無回答



家を出る時間

「7時台」の割合が30.3%と最も高く、次いで「8時台」の割合が23.1%、「6時台」の割合が19.5%となっています。

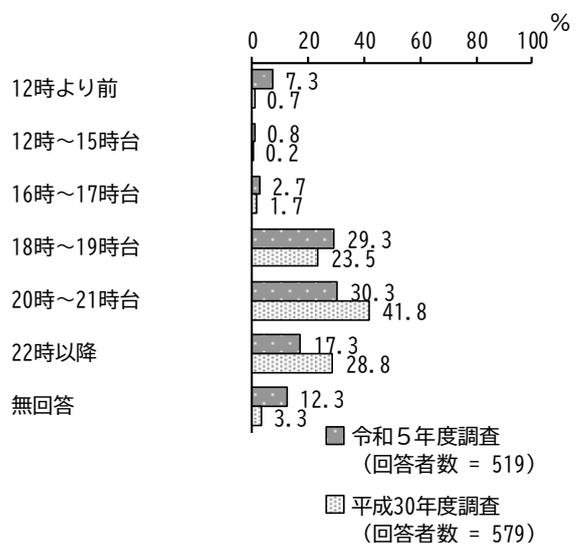
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が減少しています。



帰宅時間

「20時～21時台」の割合が30.3%と最も高く、次いで「18時～19時台」の割合が29.3%、「22時以降」の割合が17.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「12時より前」、「18時～19時台」の割合が増加しています。一方、「20時～21時台」、「22時以降」の割合が減少しています。



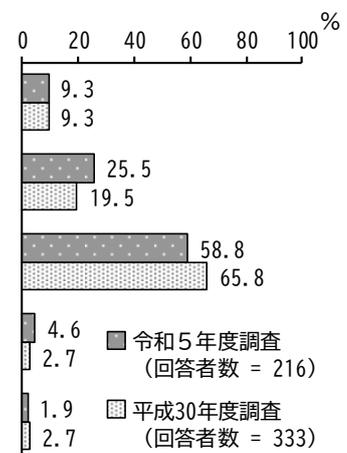
問13 問12の(1)母親または(2)父親で、3または4(パート・アルバイト等で就労)に○をつけた方にお伺いします。
フルタイムへの転換希望はありますか。(母親)と(父親)それぞれについてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が58.8%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が25.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。

フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
無回答

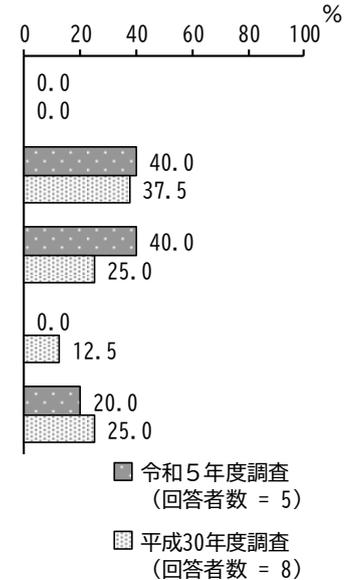


父親

「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が2件となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」の割合が減少しています。

フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
無回答



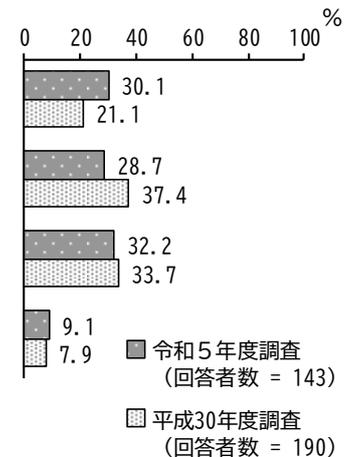
問14 問12の(1)母親または(2)父親で、5または6(現在就労していない・就労したことがない)に○をつけた方にお伺いします。
就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内に数字をご記入ください

母親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が32.2%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が30.1%、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が28.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が増加しています。一方、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が減少しています。

子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
無回答

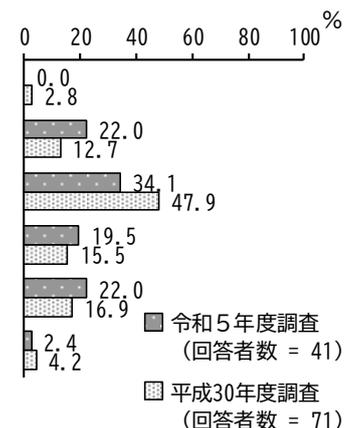


1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい

「6～8歳」の割合が34.1%と最も高く、次いで「3～5歳」、「12歳以上」の割合が22.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3～5歳」、「12歳以上」の割合が増加しています。一方、「6～8歳」の割合が減少しています。

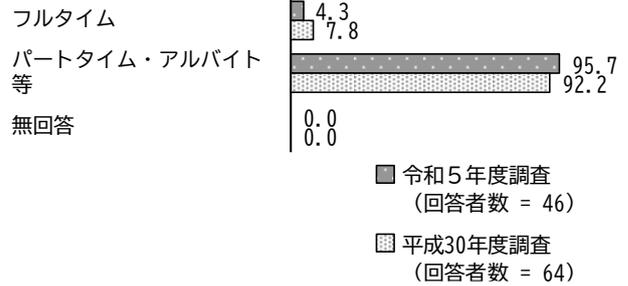
0～2歳
3～5歳
6～8歳
9～11歳
12歳以上
無回答



希望する就労形態

「フルタイム」の割合が 4.3%、「パートタイム・アルバイト等」の割合が 95.7%となっています。

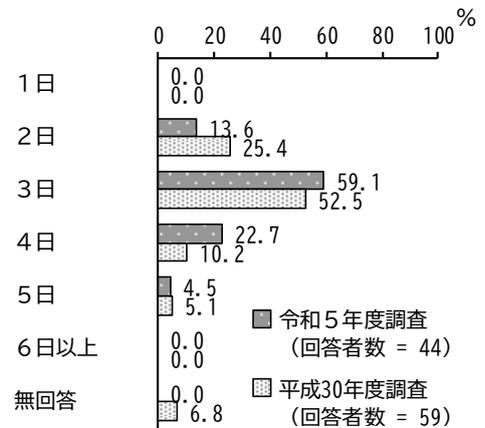
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1 週あたりの就労日数

「3日」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が 22.7%、「2日」の割合が 13.6%となっています。

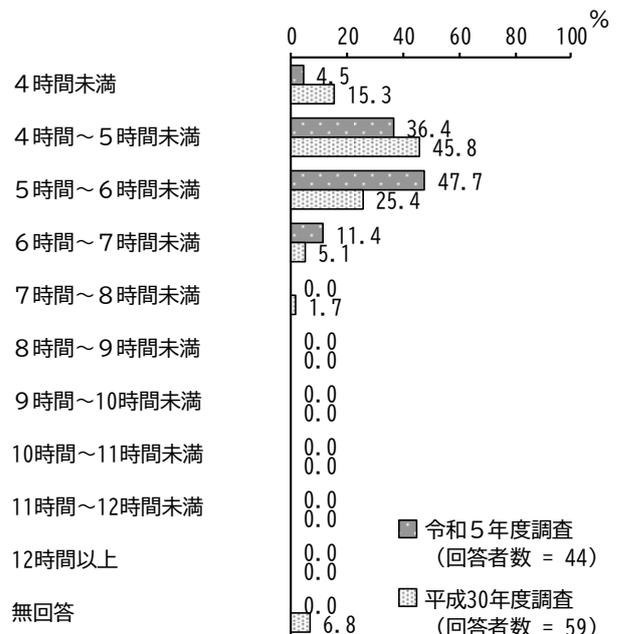
平成 30 年度調査と比較すると、「3日」「4日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



1 日あたりの就労時間

「5時間～6時間未満」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が 36.4%、「6時間～7時間未満」の割合が 11.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「5時間～6時間未満」、「6時間～7時間未満」の割合が増加しています。一方、「4時間未満」、「4時間～5時間未満」の割合が減少しています。



父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」
が1件となっています。

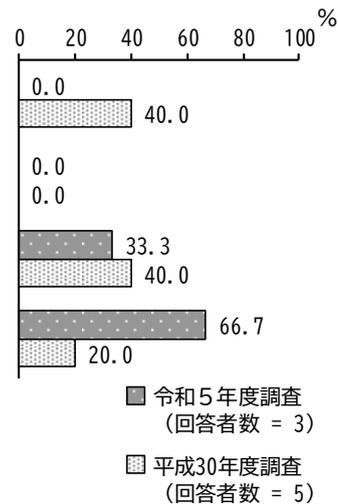
平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が減少しています。

子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい

すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

無回答

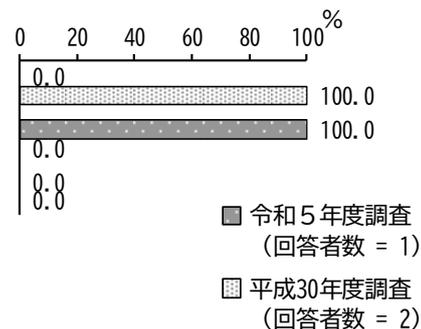


1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい
有効回答がありませんでした。

希望する就労形態

平成30年度調査と比較すると、「パートタイム・アルバイト等」の割合が増加しています。一方、「フルタイム」の割合が減少しています。

パートタイム・アルバイト等
無回答



1週あたりの就労日数
有効回答がありませんでした。

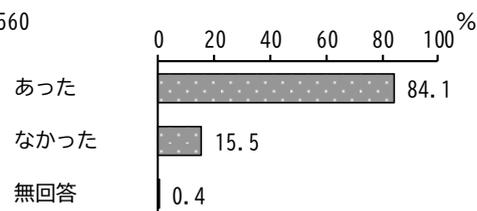
1日あたりの就労時間
有効回答がありませんでした。

(5) あて名のお子さんが病気の際の対応について

問 15 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

「あった」の割合が84.1%、「なかった」の割合が15.5%となっています。

回答者数 = 560



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学6年生（11歳）で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	あ っ た	な か っ た	無 回 答
全 体	560	84.1	15.5	0.4
小学1年生（6歳）	93	87.1	11.8	1.1
小学2年生（7歳）	92	93.5	6.5	—
小学3年生（8歳）	94	84.0	16.0	—
小学4年生（9歳）	92	82.6	16.3	1.1
小学5年生（10歳）	79	82.3	17.7	—
小学6年生（11歳）	79	72.2	27.8	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、これまでに就労したことはないで「なかった」の割合が高くなっています。

単位：％

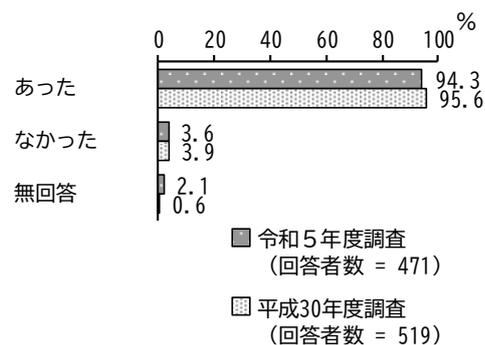
区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	557	84.2	15.6	0.2
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	191	81.7	17.8	0.5
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	75.0	25.0	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	206	87.4	12.6	—
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	10	90.0	10.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	133	84.2	15.8	—
これまでに就労したことはない	10	60.0	40.0	—

問 16 問 15 で、「1. あった」に○をつけた方に伺います。

あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。
(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

「あった」の割合が94.3%、「なかった」の割合が3.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

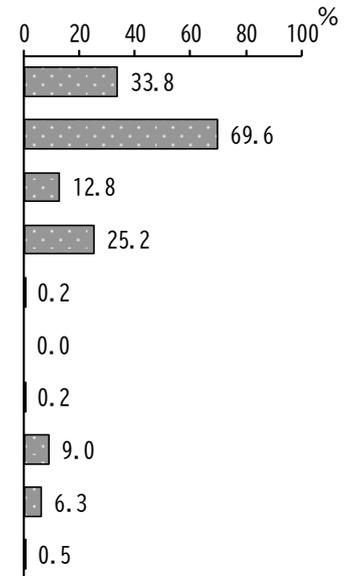


1年間の対処方法

「母親が休んだ」の割合が69.6%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が33.8%、「就労していない保護者がみた」の割合が25.2%となっています。

回答者数 = 444

父親が休んだ
 母親が休んだ
 (同居者を含む)親族・知人に預けた
 就労していない保護者がみた
 病児・病後児の保育サービスを利用した
 ベビーシッターを頼んだ
 ファミリー・サポート・センターにお願いした
 仕方なく子どもだけで留守番をさせた
 その他
 無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、小学1年生(6歳)で「就労していない保護者がみた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に預けた	就労していない保護者がみた	病児・病後児の保育サービスを利用した	ベビーシッターを頼んだ	ファミリー・サポート・センターにお願いした	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	444	33.8	69.6	12.8	25.2	0.2	-	0.2	9.0	6.3	0.5
小学1年生(6歳)	77	31.2	64.9	18.2	33.8	-	-	1.3	5.2	2.6	-
小学2年生(7歳)	85	37.6	74.1	11.8	21.2	1.2	-	-	5.9	5.9	1.2
小学3年生(8歳)	74	25.7	68.9	10.8	28.4	-	-	-	5.4	4.1	-
小学4年生(9歳)	72	38.9	63.9	15.3	30.6	-	-	-	8.3	8.3	-
小学5年生(10歳)	59	32.2	69.5	11.9	20.3	-	-	-	15.3	6.8	1.7
小学6年生(11歳)	52	42.3	75.0	9.6	17.3	-	-	-	13.5	11.5	-

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「就労していない保護者がみた」の割合が高くなっています。

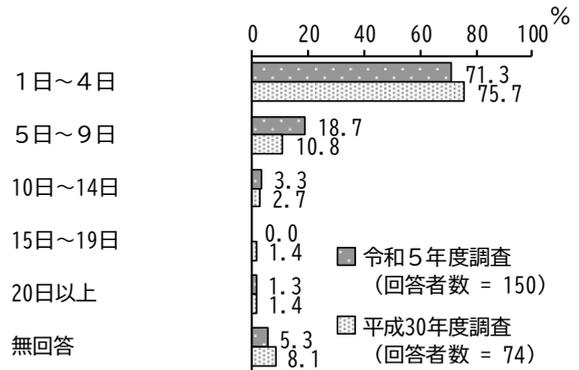
単位：％

区分	回答者数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	族(同居者を含む)親族・知人に預けた	就労していない保護者がみた	病児・病後児の保育サービスを利用した	頼んだ	ベビーシッターを頼んだ	ファミリー・サポート・センターにお願いした	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	442	33.5	69.9	12.7	25.3	0.2	－	0.2	9.0	6.3	0.5	
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	151	51.0	89.4	22.5	2.0	0.7	－	－	11.3	11.3	－	
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	66.7	33.3	－	33.3	－	－	－	－	－	－	
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	169	29.0	91.7	11.8	5.9	－	－	0.6	13.0	5.9	1.2	
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	9	22.2	88.9	－	11.1	－	－	－	－	－	－	
以前は就労していたが、現在は就労していない	103	15.5	8.7	1.9	89.3	－	－	－	1.0	1.0	－	
これまでに就労したことはない	5	20.0	－	－	80.0	－	－	－	－	－	－	

ア 父親が休んだ日数

「1日～4日」の割合が71.3%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が18.7%となっています。

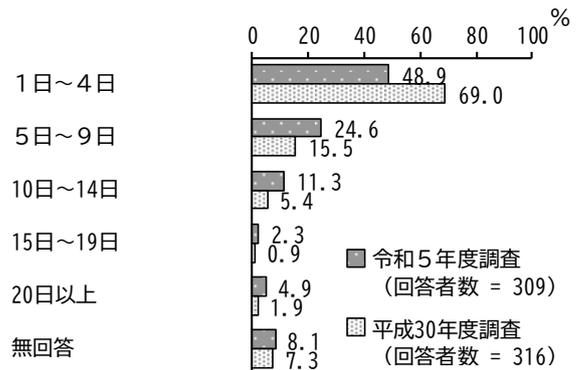
平成30年度調査と比較すると、「5日～9日」の割合が増加しています。



イ 母親が休んだ日数

「1日～4日」の割合が48.9%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が24.6%、「10日～14日」の割合が11.3%となっています。

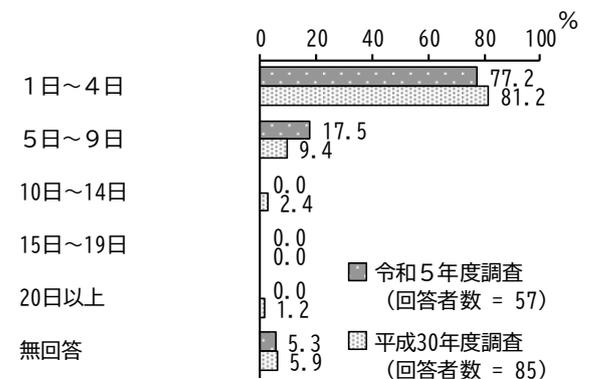
平成30年度調査と比較すると、「5日～9日」、「10日～14日」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」の割合が減少しています。



ウ (同居者を含む) 親族・知人に預けた日数

「1日～4日」の割合が77.2%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が17.5%となっています。

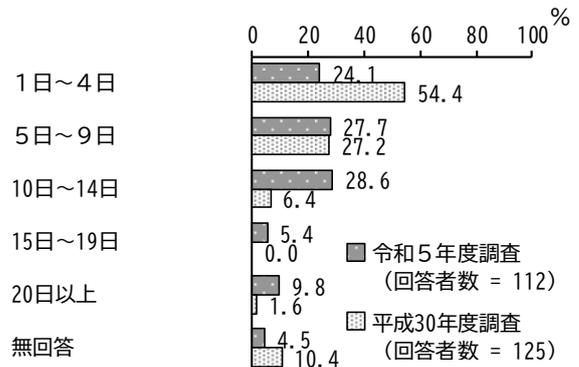
平成30年度調査と比較すると、「5日～9日」の割合が増加しています。



エ 就労していない保護者がみた日数

「10日～14日」の割合が28.6%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が27.7%、「1日～4日」の割合が24.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10日～14日」、「15日～19日」、「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」の割合が減少しています。



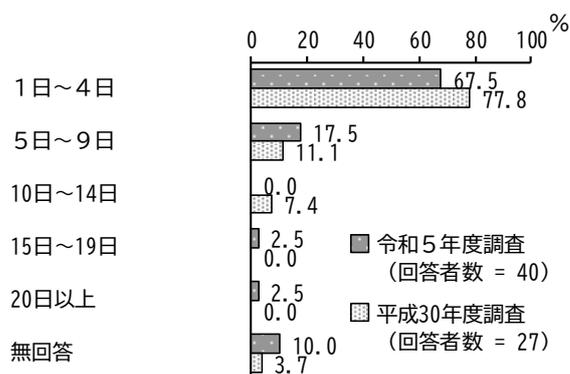
オ 病児・病後児の保育サービスを利用した日数
有効回答がありませんでした。

カ ベビーシッターを頼んだ日数
有効回答がありませんでした。

キ ファミリー・サポート・センターにお願いした日数
「1日～4日」が1件となっています。

ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数
「1日～4日」の割合が67.5%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が17.5%となっています。

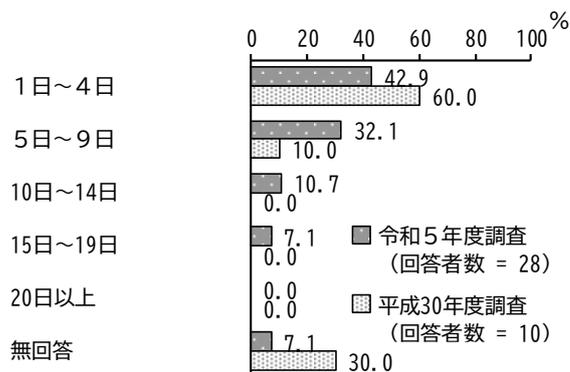
平成30年度調査と比較すると、「5日～9日」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」、「10日～14日」の割合が減少しています。



ケ その他日数

「1日～4日」の割合が42.9%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が32.1%、「10日～14日」の割合が10.7%となっています。

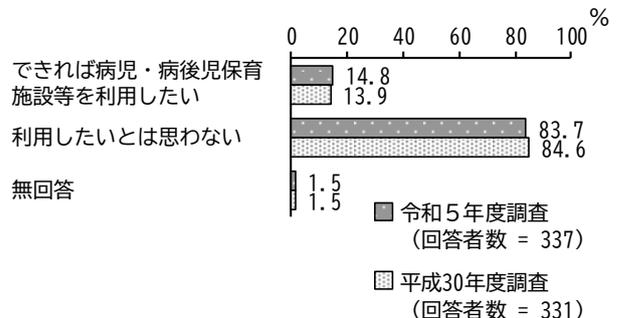
平成30年度調査と比較すると、「5日～9日」、「10日～14日」、「15日～19日」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」の割合が減少しています。



問17 問16で、「ア. 父親が休んだ」または「イ. 母親が休んだ」に○をつけた方にお伺いします。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思われましたか。(1つだけ○) また、1に○をつけた方は、日数も()内に数字でご記入ください。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が14.8%、「利用したいとは思わない」の割合が83.7%となっています。

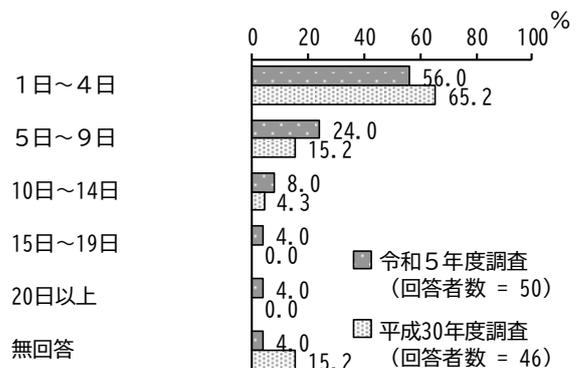
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「1日～4日」の割合が56.0%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が24.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日～9日」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」の割合が減少しています。

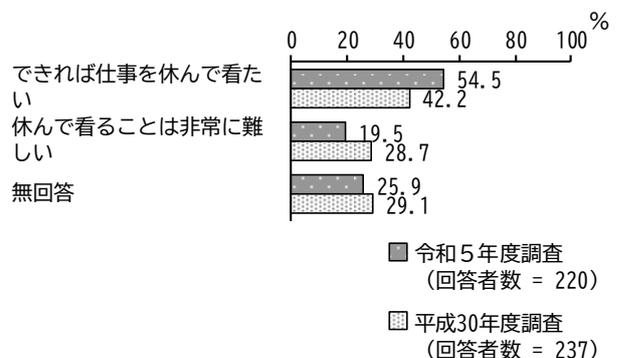


問18 問16で、「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に預けた」から「ケ. その他」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(あてはまるもの1つに○) また、1に○をつけた方は、日数も()内に数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が54.5%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が19.5%となっています。

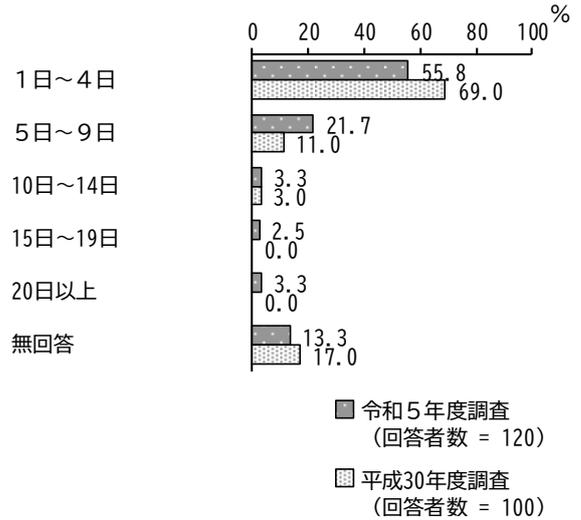
平成30年度調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が増加しています。一方、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が減少しています。



できれば仕事を休んで看たい日数

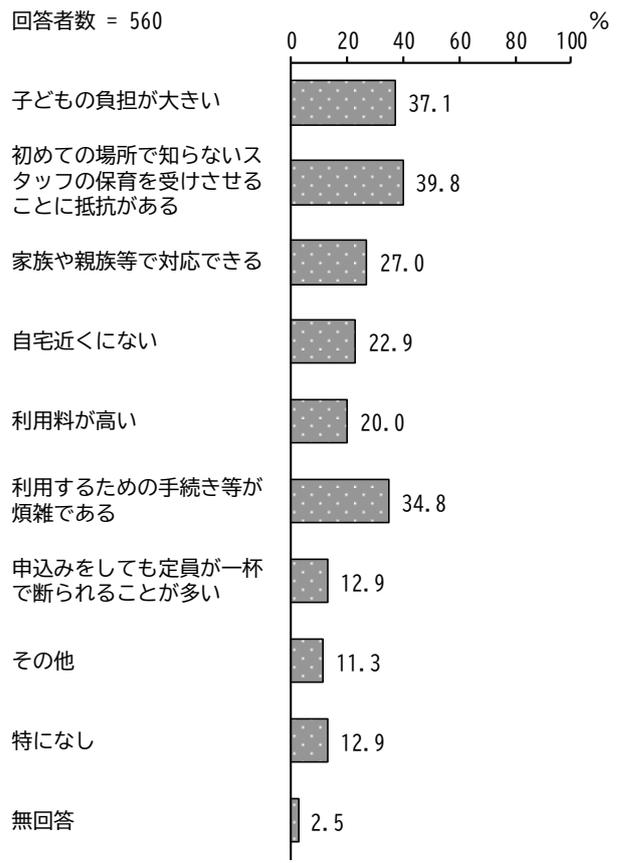
「1日～4日」の割合が55.8%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が21.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日～9日」の割合が増加しています。一方、「1日～4日」の割合が減少しています。



問19 病児・病後児保育について、利用したことがある、なしに関わらず、感じていることを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「初めての場所で知らないスタッフの保育を受けさせることに抵抗がある」の割合が39.8%と最も高く、次いで「子どもの負担が大きい」の割合が37.1%、「利用するための手続き等が煩雑である」の割合が34.8%となっています。

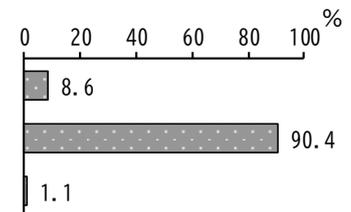


問 20 あて名のお子さんについて、保護者の用事により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）、（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください。）

「利用したい」の割合が 8.6%、「利用する必要はない」の割合が 90.4%となっています。

回答者数 = 560

利用したい
利用する必要はない
無回答

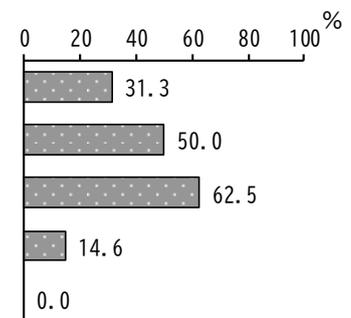


利用目的

「保護者や家族の病気」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 50.0%、「冠婚葬祭」の割合が 31.3%となっています。

回答者数 = 48

冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ・不安
保護者や家族の病気
その他
無回答

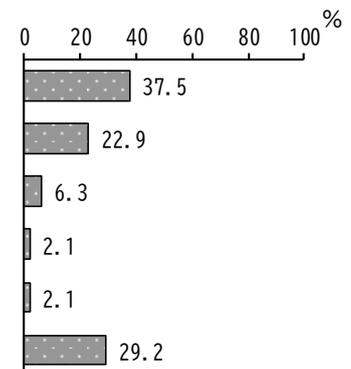


利用したい合計泊数

「1日～4日」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が 22.9%となっています。

回答者数 = 48

1日～4日
5日～9日
10日～14日
15日～19日
20日以上
無回答

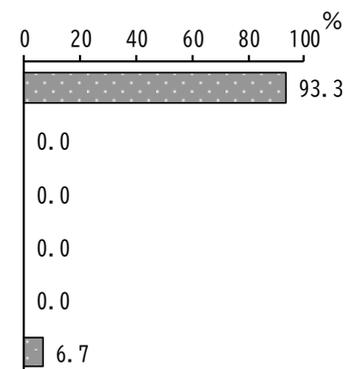


ア. 冠婚葬祭 泊数

「1日～4日」の割合が 93.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 15

1日～4日
5日～9日
10日～14日
15日～19日
20日以上
無回答

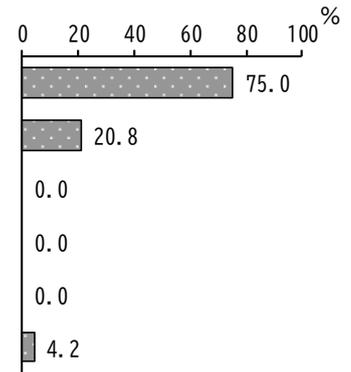


イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安 泊数

「1日～4日」の割合が75.0%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が20.8%となっています。

回答者数 = 24

1日～4日
5日～9日
10日～14日
15日～19日
20日以上
無回答

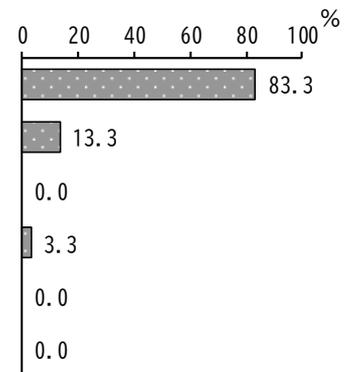


ウ. 保護者や家族の病気 泊数

「1日～4日」の割合が83.3%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が13.3%となっています。

回答者数 = 30

1日～4日
5日～9日
10日～14日
15日～19日
20日以上
無回答

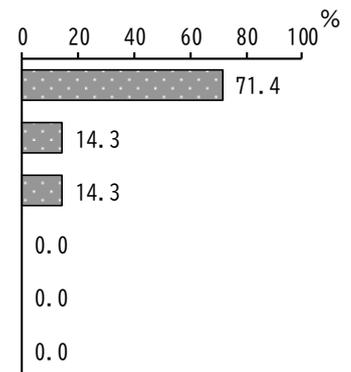


エ. その他 泊数

「1日～4日」が5件となっています。「5日～9日」、「10日～14日」が1件となっています。

回答者数 = 7

1日～4日
5日～9日
10日～14日
15日～19日
20日以上
無回答



(6) 仕事と子育ての両立支援について

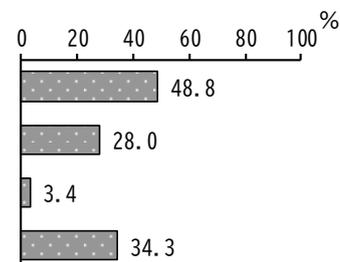
問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。A～Cすべてについて、あてはまるものすべてにチェック☑をいれてください。

1 ママパピクラス

「知っている」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が 28.0%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

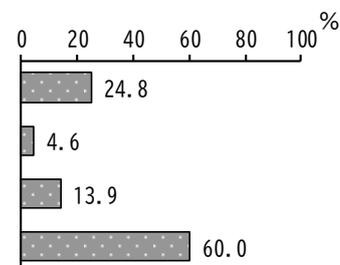


2 家庭教育に関する学習講座

「知っている」の割合が 24.8%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が 13.9%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

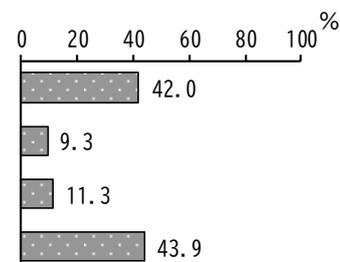


3 就学相談

「知っている」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が 11.3%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

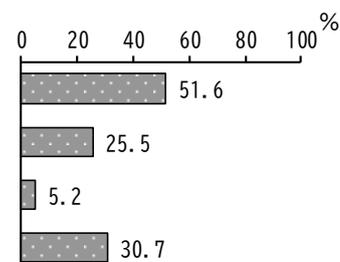


4 保育所や幼稚園の園庭等の開放

「知っている」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が 25.5%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

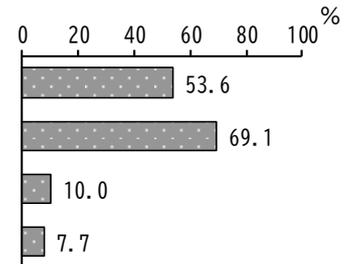


5 児童館

「これまでに利用したことがある」の割合が69.1%と最も高く、次いで「知っている」の割合が53.6%、「今後利用したい」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

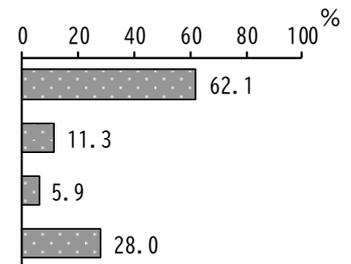


6 ファミリー・サポート・センター(会員制による住民の一時預かりを中心とした相互援助活動)

「知っている」の割合が62.1%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が11.3%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

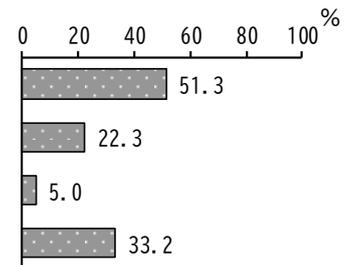


7 子ども家庭総合相談(子ども家庭支援センター)

「知っている」の割合が51.3%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が22.3%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

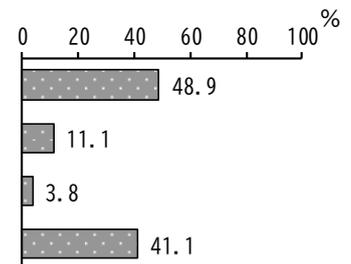


8 子育てサークル

「知っている」の割合が48.9%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が11.1%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

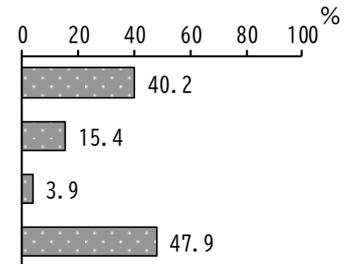


9 子育てひろば事業

「知っている」の割合が40.2%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

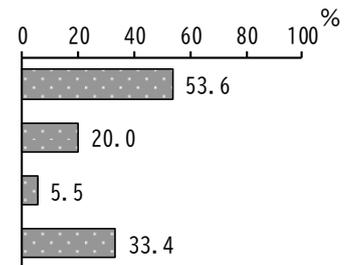


10 ひのっ子の子育て・子育て「知っ得ハンドブック」

「知っている」の割合が53.6%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が20.0%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

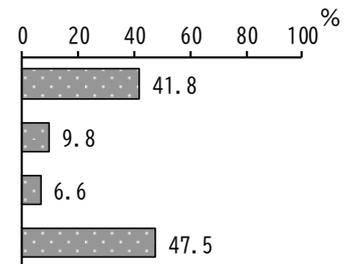


11 子育て情報サイト「ぼけっとなび」

「知っている」の割合が41.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

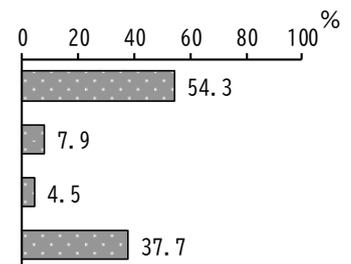


12 病児・病後児保育事業

「知っている」の割合が54.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

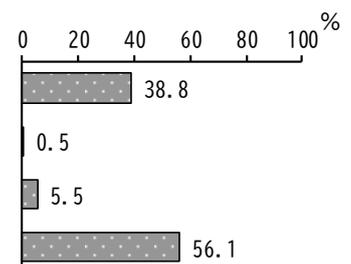


13 ショートステイ事業

「知っている」の割合が38.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

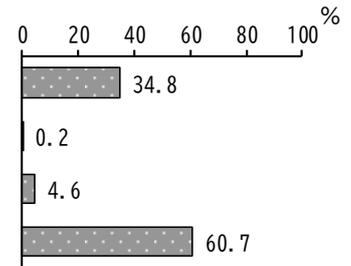


14 トワイライトステイ事業

「知っている」の割合が34.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

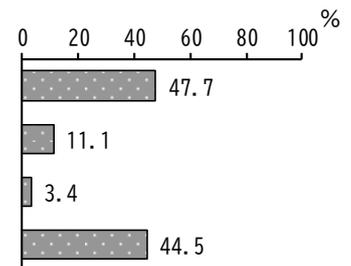


15 一時保育事業

「知っている」の割合が47.7%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が11.1%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

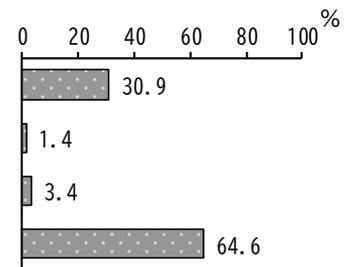


16 休日保育事業

「知っている」の割合が30.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

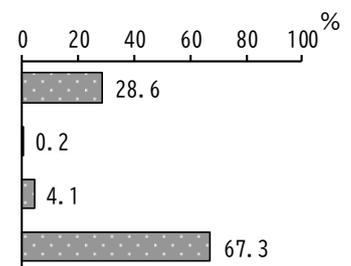


17 夜間保育事業

「知っている」の割合が28.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

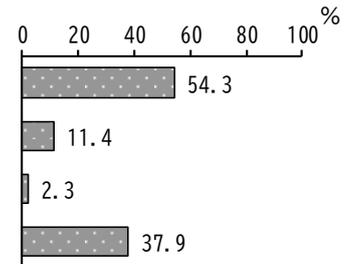


18 認証保育所

「知っている」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が 11.4%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

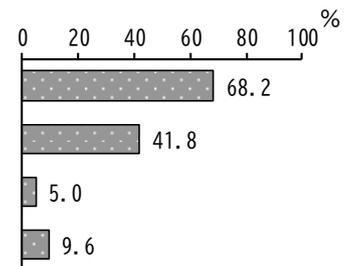


19 学童クラブ

「知っている」の割合が 68.2%と最も高く、次いで「これまでに利用したことがある」の割合が 41.8%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

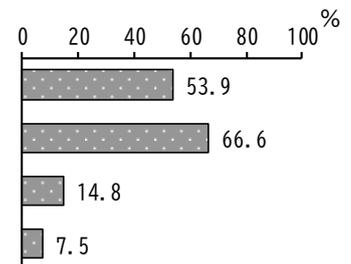


20 放課後子ども教室「ひのっち」

「これまでに利用したことがある」の割合が 66.6%と最も高く、次いで「知っている」の割合が 53.9%、「今後利用したい」の割合が 14.8%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

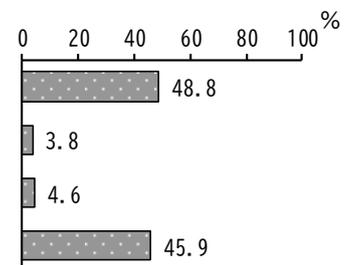


21 放課後等デイサービス

「知っている」の割合が 48.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

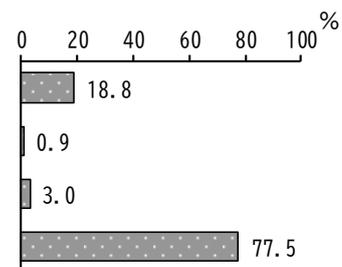


22 ひとり親家庭のしおり

「知っている」の割合が18.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

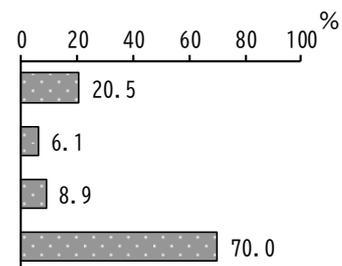


23 プレーパーク

「知っている」の割合が20.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

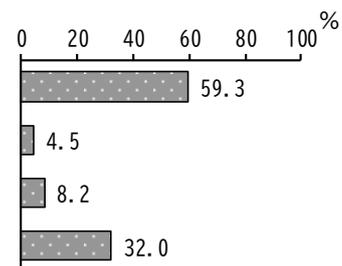


24 子ども食堂

「知っている」の割合が59.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

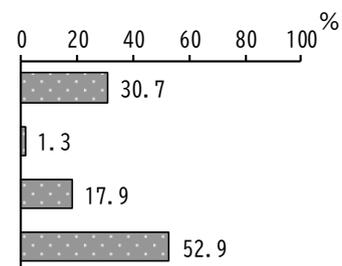


25 無料塾

「知っている」の割合が30.7%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が17.9%となっています。

回答者数 = 560

知っている
これまでに利用したことがある
今後利用したい
無回答

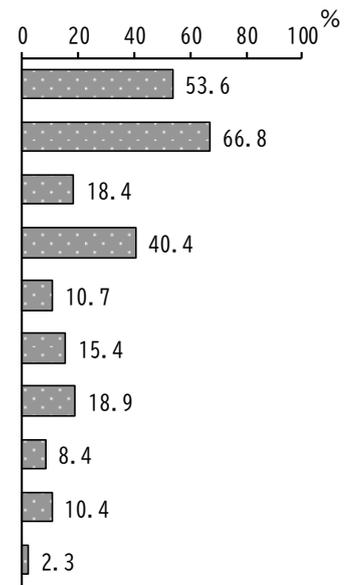


問 22 子育てをしながら仕事を行う上での課題は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「家事、育児の負担が大きい」の割合が 66.8%
 と最も高く、次いで「子どもと過ごす時間が短い」
 の割合が 53.6%、「子どもの習い事の送迎等を提
 供できていない」の割合が 40.4%となっていま
 す。

回答者数 = 560

- 子どもと過ごす時間が短い
- 家事、育児の負担が大きい
- 職場での理解不足
- 子どもの習い事の送迎等を
提供できていない
- 保育園、病児保育等の施設
不足
- 配偶者・パートナーとの関
係性
- 希望する職務に就けない
等、キャリアへの影響
- その他
- 特になし
- 無回答



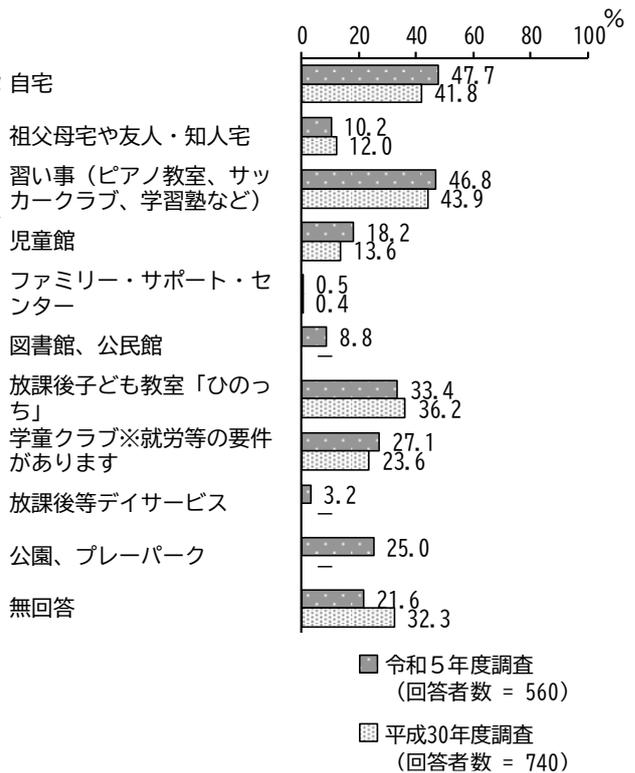
放課後の過ごし方について

(7) 小学校の放課後の過ごし方について

問 23 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

なお、「1. 自宅」～「7. 放課後子ども教室「ひのっち」」に○をつけた方は、それぞれ希望する週あたりの日数を（ ）内に数字でご記入ください。また、「8. 学童クラブ」に○をつけた方は、利用を希望する週あたりの日数と希望する時間を（ ）内に数字でご記入ください。

「自宅」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 46.8%、「放課後子ども教室「ひのっち」」の割合が 33.4%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」の割合が増加しています。

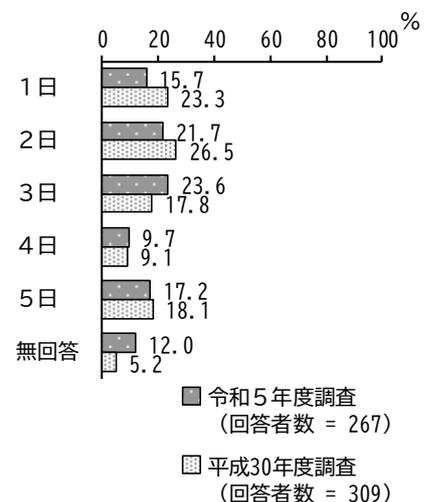


※「図書館・公民館」、「放課後デイサービス」「公園、プレーパーク」は今回の調査で新しく追加しました。

1. 自宅 週あたりの利用日数

「3日」の割合が 23.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が 21.7%、「5日」の割合が 17.2%となっています。

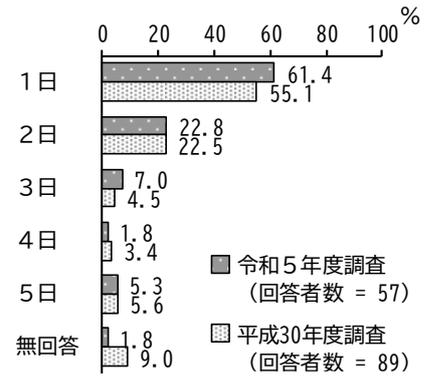
平成 30 年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



2. 祖父母宅や友人・知人宅 週あたり利用日数

「1日」の割合が61.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。

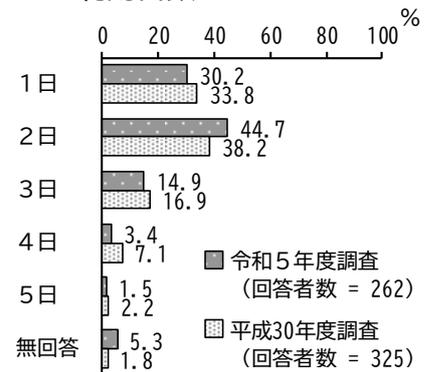


3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 週あたり利用日数

「2日」の割合が44.7%と最も高く、次いで「1日」の割合が30.2%、「3日」の割合が14.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。

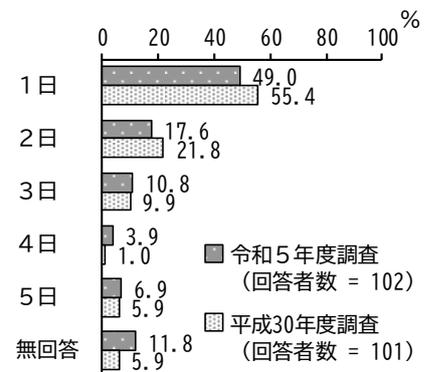
週あたり利用日数



4. 児童館 週あたり利用日数

「1日」の割合が49.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.6%、「3日」の割合が10.8%となっています。

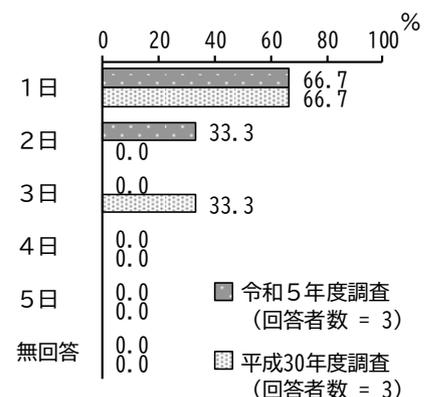
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が減少しています。



5. ファミリー・サポート・センター 週あたり利用日数

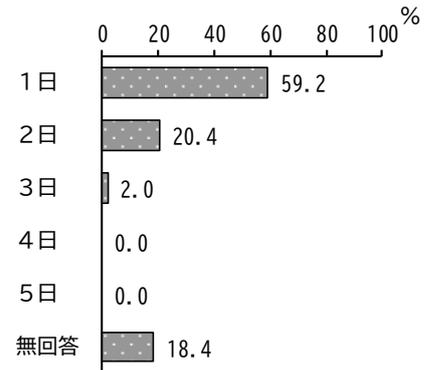
「1日」が2件となっています。「2日」が1件となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



6. 図書館、公民館 週あたり利用日数

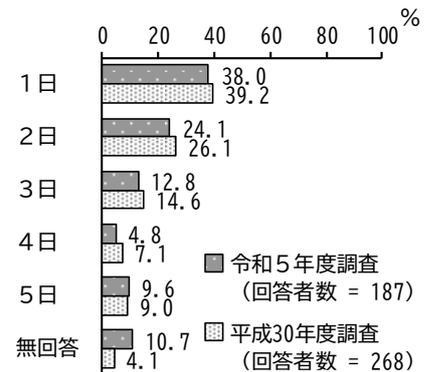
「1日」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が 20.4%となっています。 回答者数 = 49



7. 放課後子ども教室「ひのっち」 週あたり利用日数

「1日」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が 24.1%、「3日」の割合が 12.8%となっています。

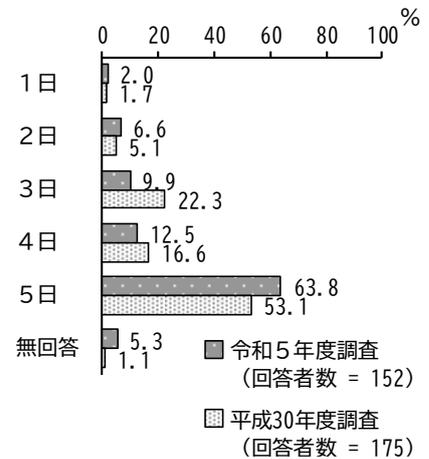
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



8. 学童クラブ ※就労等の要件があります 週あたり利用日数

「5日」の割合が 63.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が 12.5%となっています。

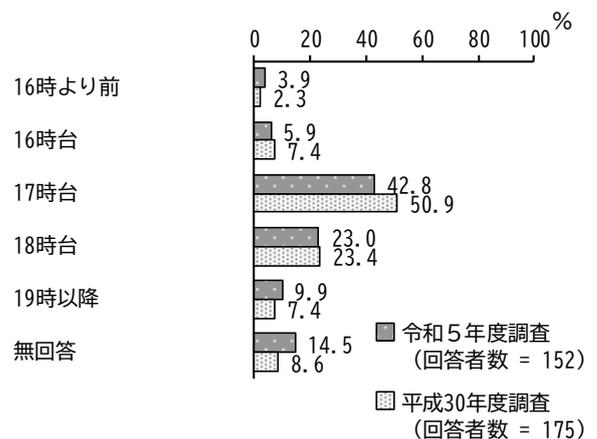
平成 30 年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



利用終了時刻

「17 時台」の割合が 42.8%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 23.0%となっています。

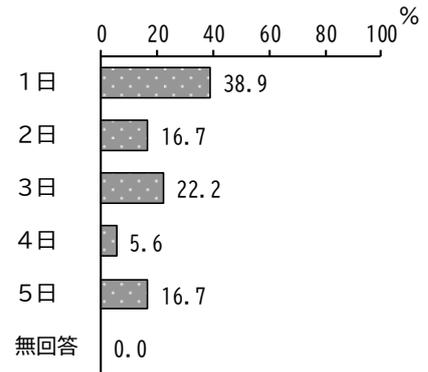
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が減少しています。



9. 放課後等デイサービス 週あたりの利用日数

「1日」の割合が38.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が22.2%、「2日」、「5日」の割合が16.7%となっています。

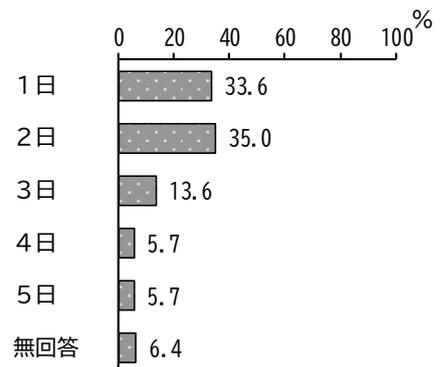
回答者数 = 18



10. 公園、プレーパーク 週あたりの利用日数

「2日」の割合が35.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が33.6%、「3日」の割合が13.6%となっています。

回答者数 = 140

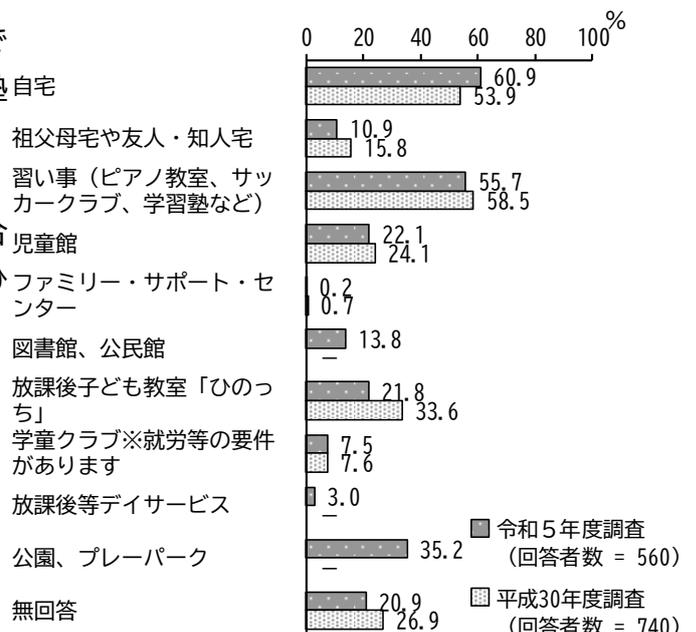


問24 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

なお、「1. 自宅」から「7. 放課後子ども教室「ひのっち」」および「9. 放課後等デイサービス」、「10. 公園、プレーパーク」のいずれかに○をつけた方は、それぞれ希望する週あたりの日数を（ ）内に数字でご記入ください。また、「8. 学童クラブ」に○をつけた方は、利用を希望する週あたりの日数と希望する時間を（ ）内に数字でご記入ください。

「自宅」の割合が60.9%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が55.7%、「公園、プレーパーク」の割合が35.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自宅」の割合が増加しています。一方、「放課後子ども教室「ひのっち」」の割合が減少しています。

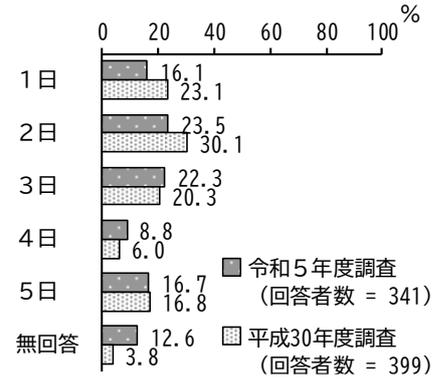


※「図書館、公民館」、「放課後デイサービス」「公園、プレーパーク」は今回の調査で新しく追加しました。

1. 自宅 週あたりの利用日数

「2日」の割合が 23.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が 22.3%、「5日」の割合が 16.7%となっています。

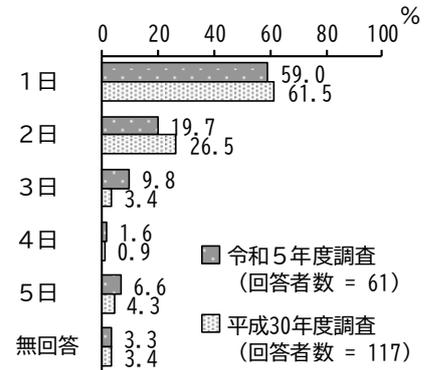
平成 30 年度調査と比較すると、「1日」、「2日」の割合が減少しています。



2. 祖父母宅や友人・知人宅 週あたり利用日数

「1日」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が 19.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。

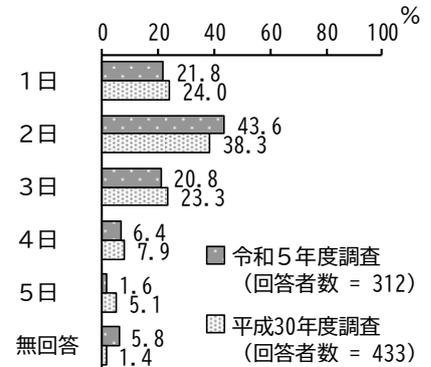


3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 週あたり利用日数

「2日」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が 21.8%、「3日」の割合が 20.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。

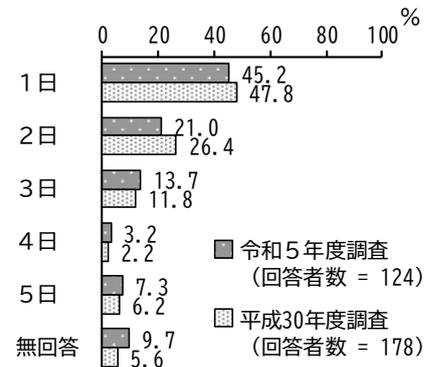
週あたり利用日数



4. 児童館 週あたり利用日数

「1日」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が 21.0%、「3日」の割合が 13.7%となっています。

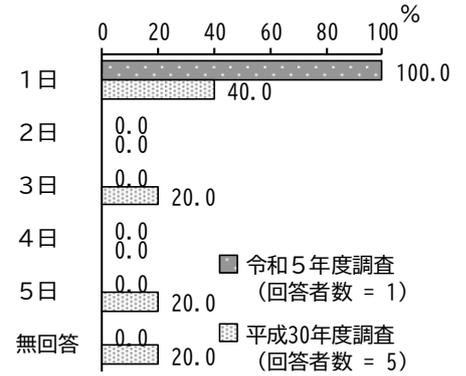
平成 30 年度調査と比較すると、「2日」の割合が減少しています。



5. ファミリー・サポート・センター 週あたり利用日数

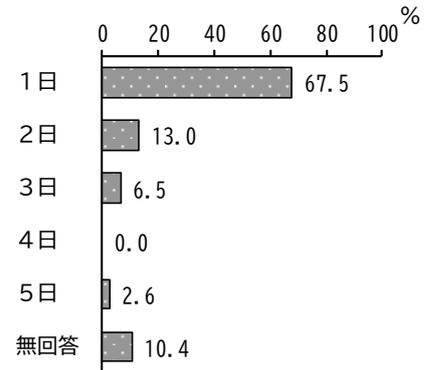
「1日」が1件となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「3日」、「5日」の割合が減少しています。



6. 図書館、公民館 週あたり利用日数

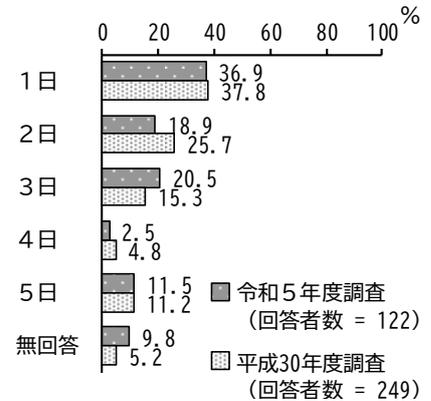
「1日」の割合が67.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が13.0%となっています。 回答者数 = 77



7. 放課後子ども教室「ひのっち」 週あたり利用日数

「1日」の割合が36.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が20.5%、「2日」の割合が18.9%となっています。

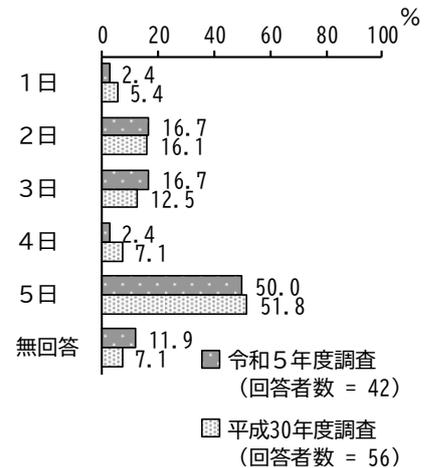
平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



8. 学童クラブ ※就労等の要件があります 週あたり利用日数

「5日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「2日」、「3日」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

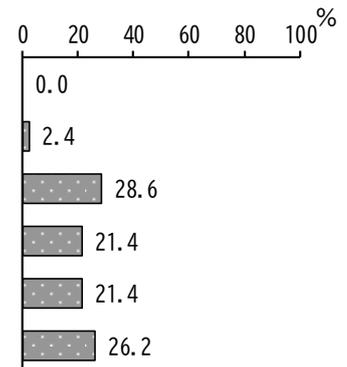


利用終了時刻

「17 時台」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「18 時台」、「19 時以降」の割合が 21.4%となっています。

回答者数 = 42

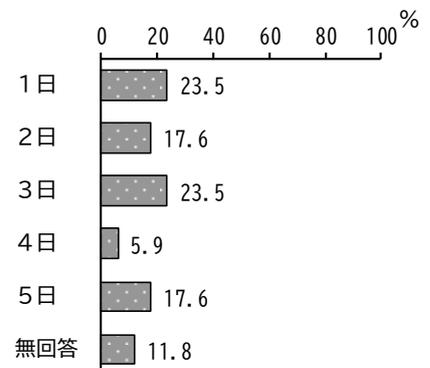
16時より前
16時台
17時台
18時台
19時以降
無回答



9. 放課後等デイサービス 週あたりの利用日数

「1日」、「3日」の割合が 23.5%と最も高く、次いで「2日」、「5日」の割合が 17.6%となっています。

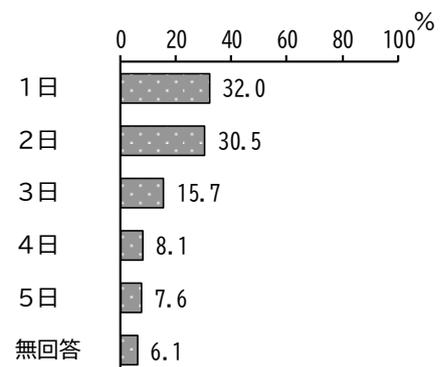
回答者数 = 17



10. 公園、プレーパーク 週あたりの利用日数

「1日」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が 30.5%、「3日」の割合が 15.7%となっています。

回答者数 = 197

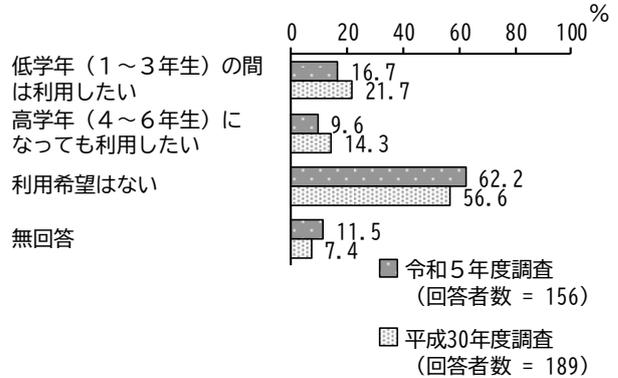


問25 問23または問24で、8. 学童クラブに○をつけた方にお伺いします。
 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。土曜日、日曜日・祝日それぞれあてはまるもの1つに○
 また、利用したい時間帯（何時から何時まで）を（ ）内に数字でお答えください。

土曜日

「利用希望はない」の割合が62.2%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が16.7%となっています。

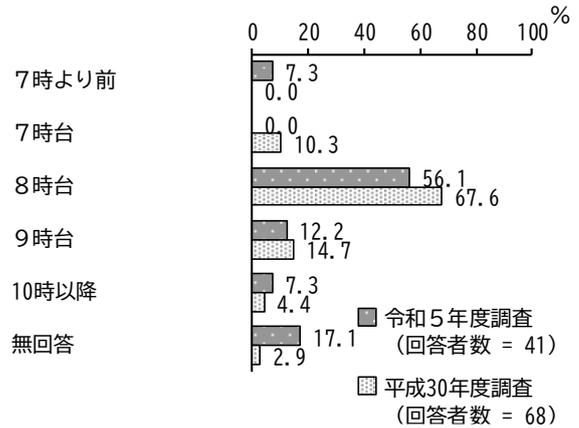
平成30年度調査と比較すると、「利用希望はない」の割合が増加しています。



利用開始時刻

「8時台」の割合が56.1%と最も高く、次いで「9時台」の割合が12.2%となっています。

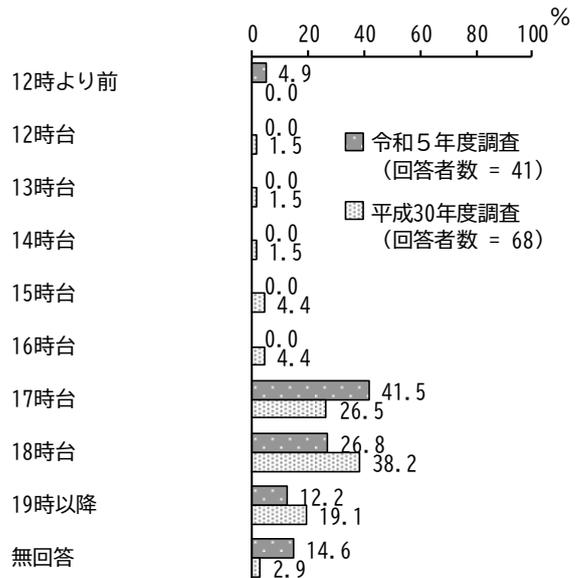
平成30年度調査と比較すると、「7時より前」の割合が増加しています。一方、「7時台」、「8時台」の割合が減少しています。



利用終了時刻

「17時台」の割合が41.5%と最も高く、次いで「18時台」の割合が26.8%、「19時以降」の割合が12.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。一方、「18時台」、「19時以降」の割合が減少しています。

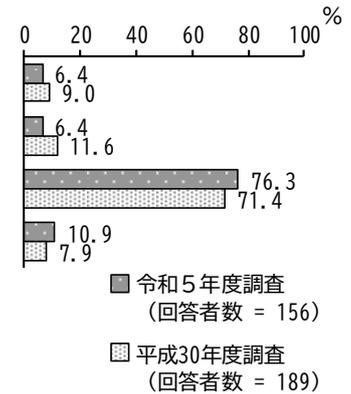


日曜日・祝日

「利用希望はない」の割合が76.3%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が減少しています。

低学年（1～3年生）の間は利用したい
高学年（4～6年生）になっても利用したい
利用希望はない
無回答

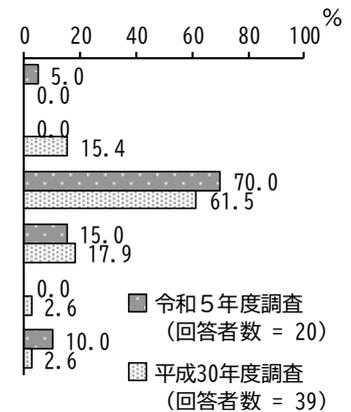


利用開始時刻

「8時台」の割合が70.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が15.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」の割合が減少しています。

7時より前
7時台
8時台
9時台
10時以降
無回答

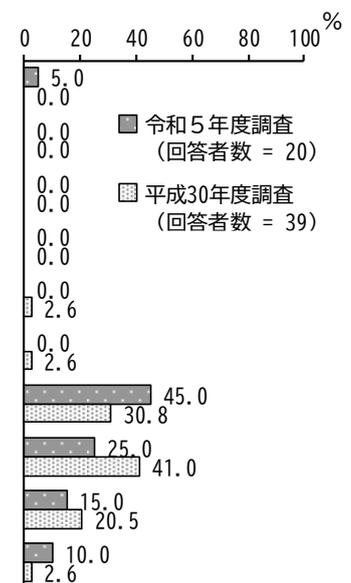


利用終了時刻

「17時台」の割合が45.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が25.0%、「19時以降」の割合が15.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。一方、「18時台」、「19時以降」の割合が減少しています。

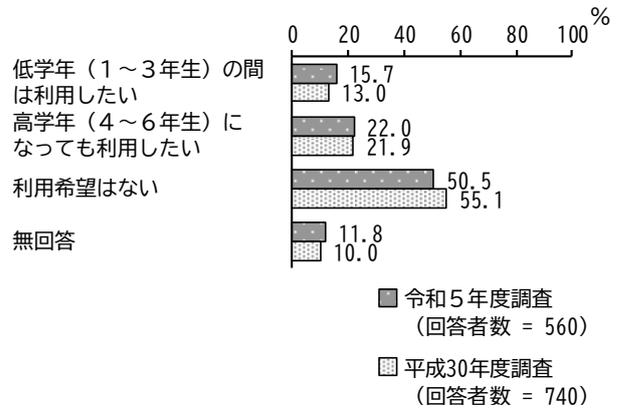
12時より前
12時台
13時台
14時台
15時台
16時台
17時台
18時台
19時以降
無回答



問 26 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)
また、利用したい時間帯(何時から何時まで)を()内に数字でお答えください。

「利用希望はない」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が 22.0%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が 15.7%となっています。

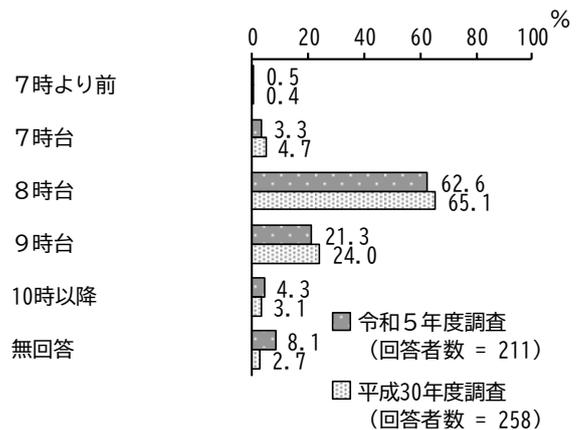
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用開始時刻

「8時台」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「9時台」の割合が 21.3%となっています。

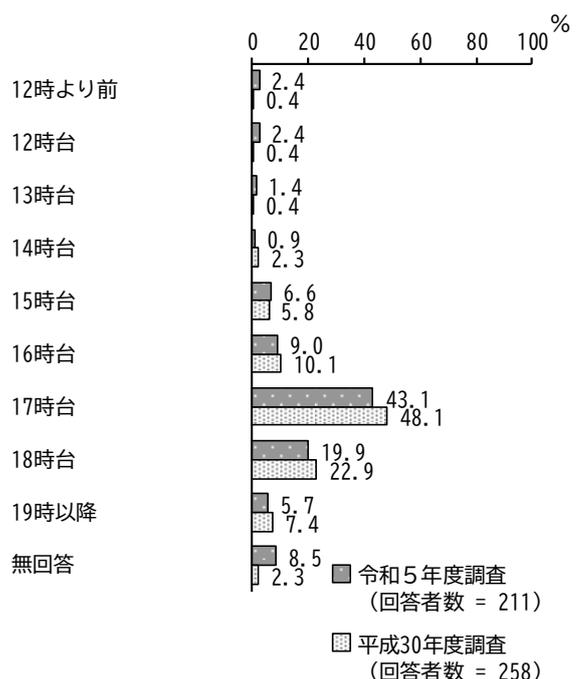
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用終了時刻

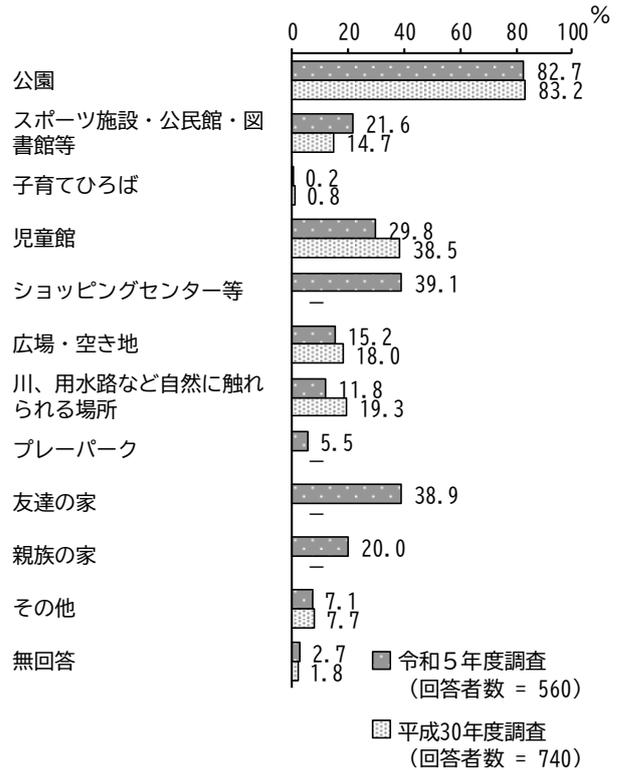
「17時台」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「18時台」の割合が 19.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 27 普段どのような場所に遊びに行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

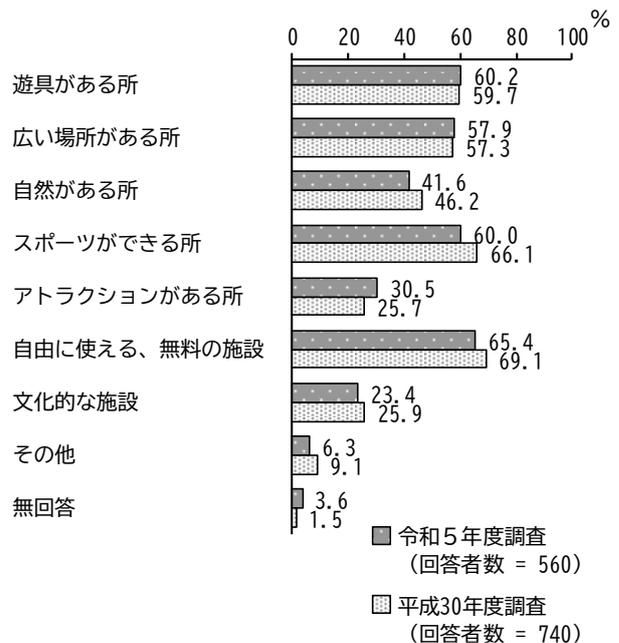
「公園」の割合が 82.7%と最も高く、次いで「ショッピングセンター等」の割合が 39.1%、「友達の家」の割合が 38.9%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「スポーツ施設・公民館・図書館等」の割合が増加しています。一方、「児童館」、「川、用水路など自然に触れられる場所」の割合が減少しています。



※「ショッピングセンター等」「プレーパーク」「友達の家」「親族の家」は今回の調査で新しく追加しました。

問 28 どのような遊び場が欲しいですか。(あてはまるものすべてに○)

「自由に使える、無料の施設」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「遊具がある所」の割合が 60.2%、「スポーツができる所」の割合が 60.0%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「スポーツができる所」の割合が減少しています。



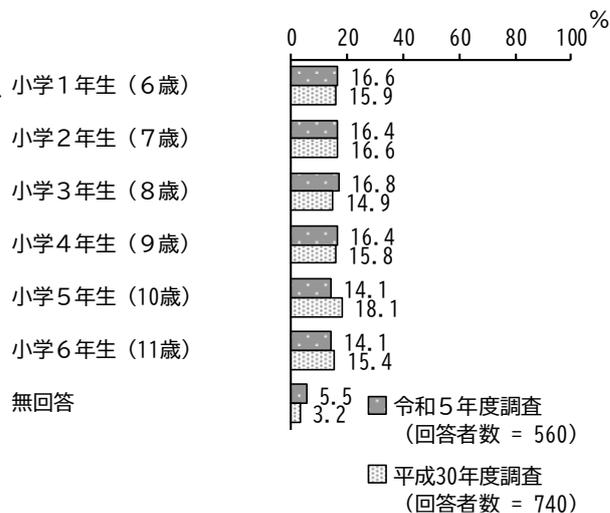
ご家族の状況について

(8) お子さんご家族の状況について

問 29 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。(学年)

「小学3年生(8歳)」の割合が16.8%と最も高く、次いで「小学1年生(6歳)」の割合が16.6%、「小学2年生(7歳)」、「小学4年生(9歳)」の割合が16.4%となっています。

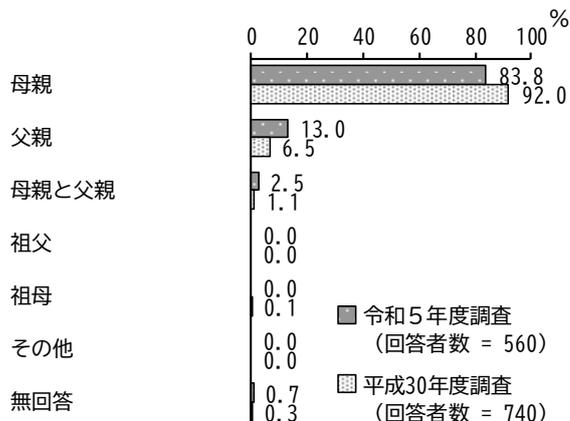
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 30 あて名のお子さんから見て、この記入票を記入したのはどなたですか。(あてはまるもの1つに○)

「母親」の割合が83.8%と最も高く、次いで「父親」の割合が13.0%となっています。

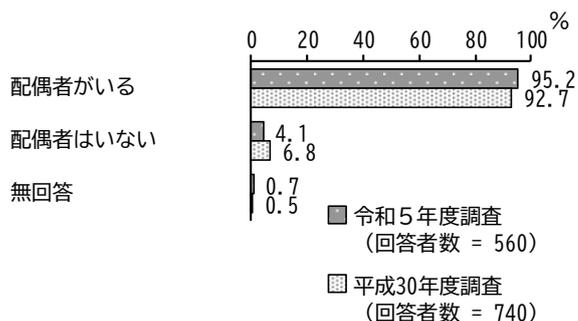
平成30年度調査と比較すると、「父親」の割合が増加しています。一方、「母親」の割合が減少しています。



問 31 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお伺いします。(あてはまるもの1つに○)

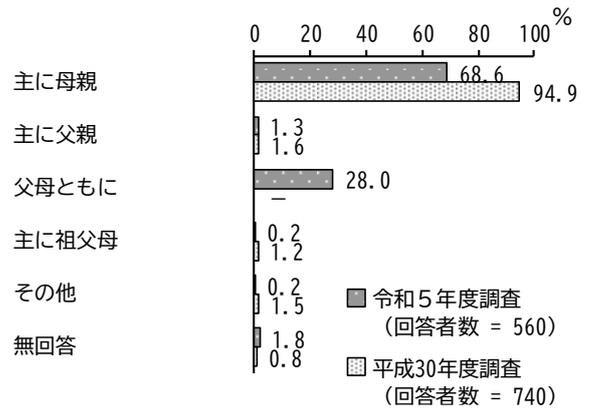
「配偶者がいる」の割合が95.2%、「配偶者がいない」の割合が4.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 32 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

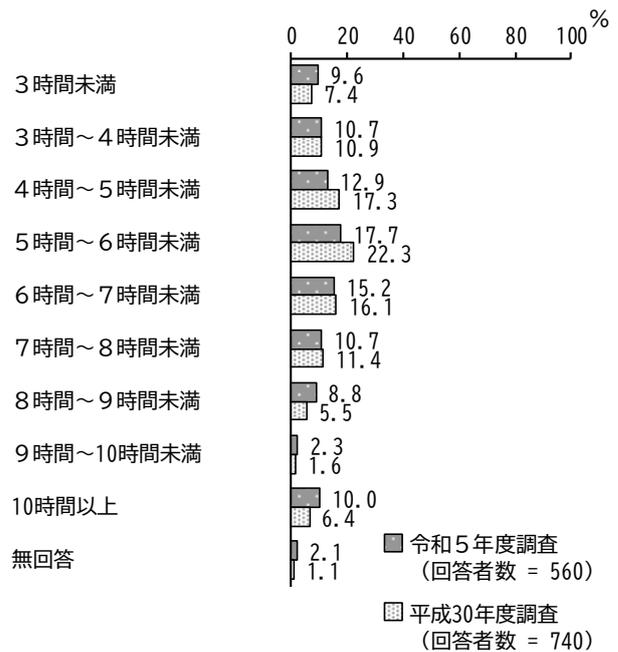
「主に母親」の割合が68.6%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が28.0%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「主に母親」の割合が減少しています。



※「父母ともに」は今回の調査で新しく追加しました。

問 33 あなたが1日にお子さんと接する平均的な時間を教えてください。

「5時間～6時間未満」の割合が17.7%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が15.2%、「4時間～5時間未満」の割合が12.9%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



子どもの権利について

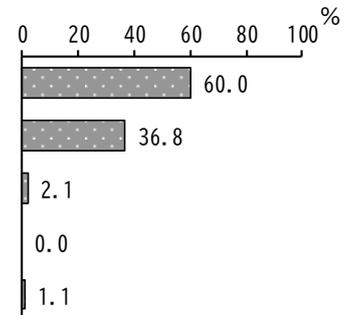
(9) 子どもの権利について

問34 あなたは、子育てをしていて、子どもの気持ちを聴くように意識をしたことはありますか。(あてはまるものひとつに○)

「常にしている」の割合が60.0%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が36.8%となっています。

回答者数 = 560

常にしている
ときどきしている
あまりしていない
まったくしたことがない
無回答

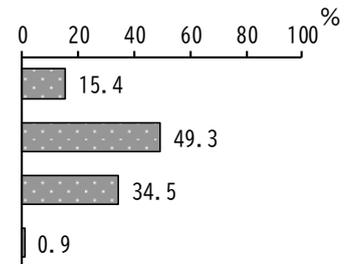


問35 あなたは、「子ども条例」を知っていますか。(あてはまるものひとつに○)

「名前は知っているが内容は知らない」の割合が49.3%と最も高く、次いで「名前も内容も知らない」の割合が34.5%、「名前も内容も知っている」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 560

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らない
名前も内容も知らない
無回答

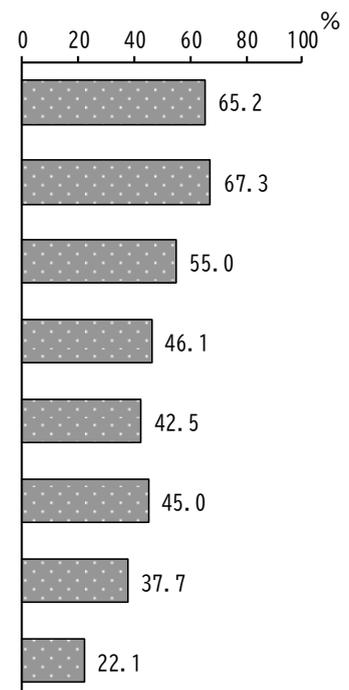


問36 「子どもの権利」の中で知っているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「安心して居られる場所があること」の割合が67.3%と最も高く、次いで「いじめや虐待を受けないこと」の割合が65.2%、「自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること」の割合が55.0%となっています。

回答者数 = 560

いじめや虐待を受けないこと
安心して居られる場所があること
自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること
人と違う自分らしさが認められること
自分の秘密が守られること
学んだり遊んだり休息すること
必要な情報を知ることや、必要な助言や手助けを受けられること
無回答



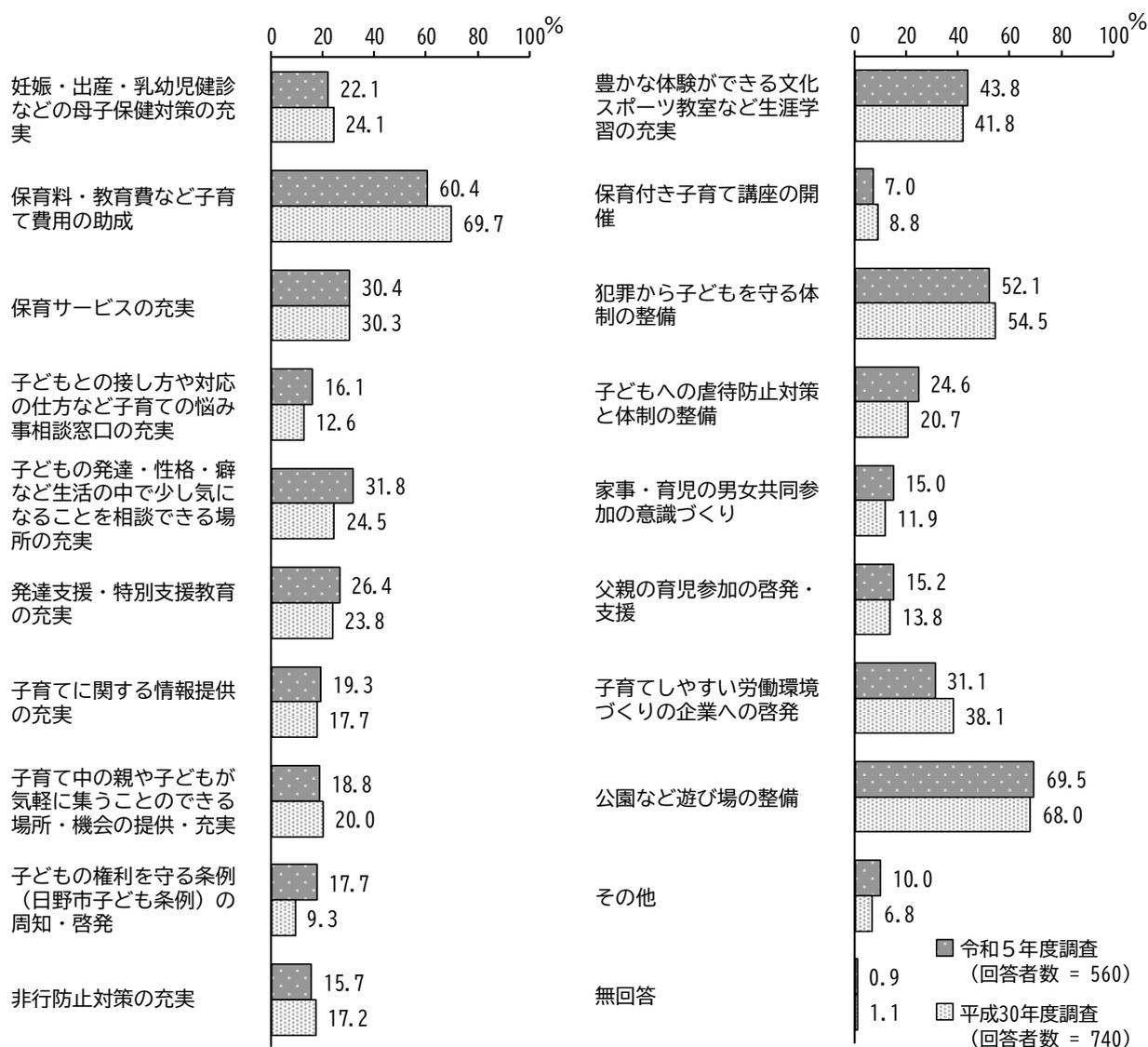
日野市の子育て支援について

(10) 日野市の子育て支援について

問 37 市の子育て支援策として、今後何に力を入れていくべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「公園など遊び場の整備」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「保育料・教育費など子育て費用の助成」の割合が 60.4%、「犯罪から子どもを守る体制の整備」の割合が 52.1%となっています。

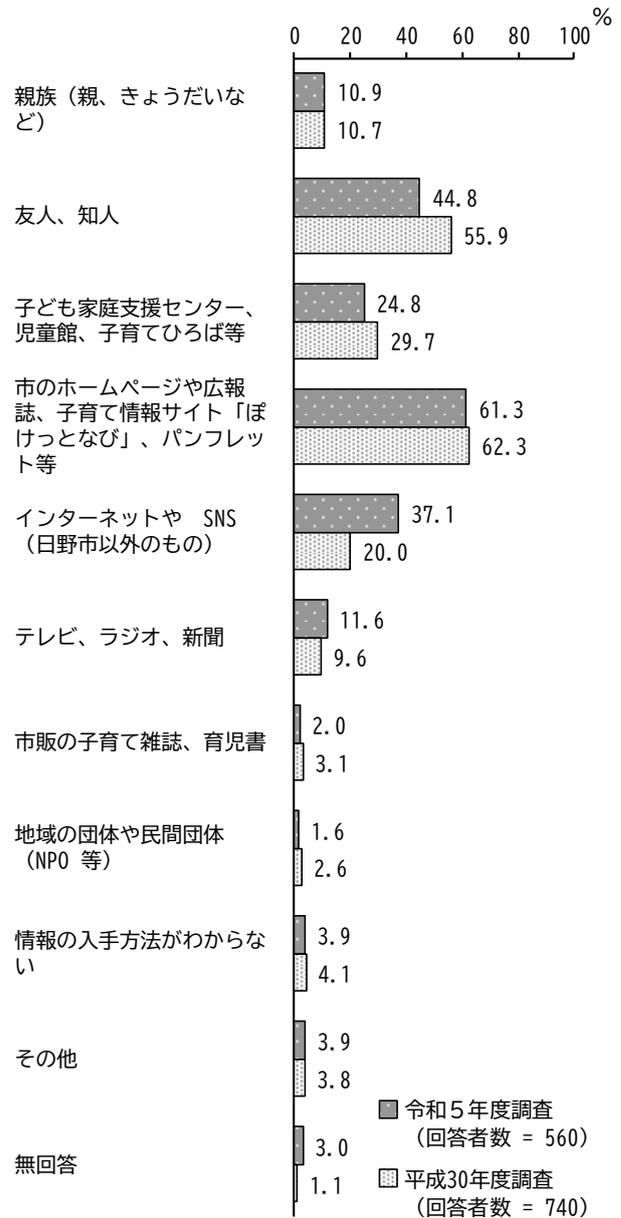
平成 30 年度調査と比較すると、「子どもの発達・性格・癖など生活の中で少し気になることを相談できる場所の充実」、「子どもの権利を守る条例（日野市子ども条例）の周知・啓発」の割合が増加しています。一方、「保育料・教育費など子育て費用の助成」、「子育てしやすい労働環境づくりの企業への啓発」の割合が減少しています。



問 38 子育て支援事業の情報はどこから入手しますか。(あてはまるものすべてに○)

「市のホームページや広報誌、子育て情報サイト「ぽけっとなび」、パンフレット等」の割合が61.3%と最も高く、次いで「友人、知人」の割合が44.8%、「インターネットやSNS（日野市以外のもの）」の割合が37.1%となっています。

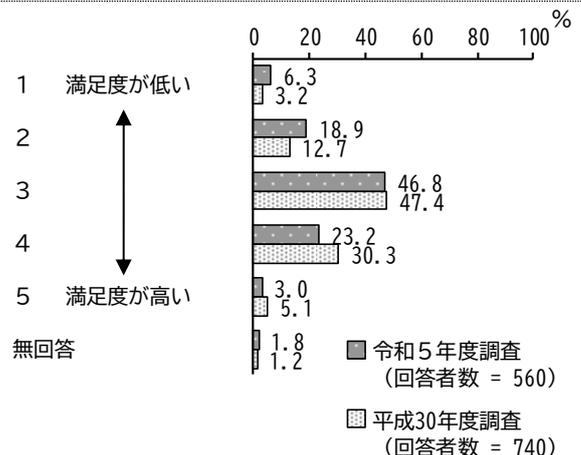
平成30年度調査と比較すると、「インターネットやSNS（日野市以外のもの）」の割合が増加しています。一方、「友人、知人」の割合が減少しています。



問 39 日野市における子育て環境や支援への満足度についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

「3」の割合が46.8%と最も高く、次いで「4」の割合が23.2%、「2」の割合が18.9%となっています。

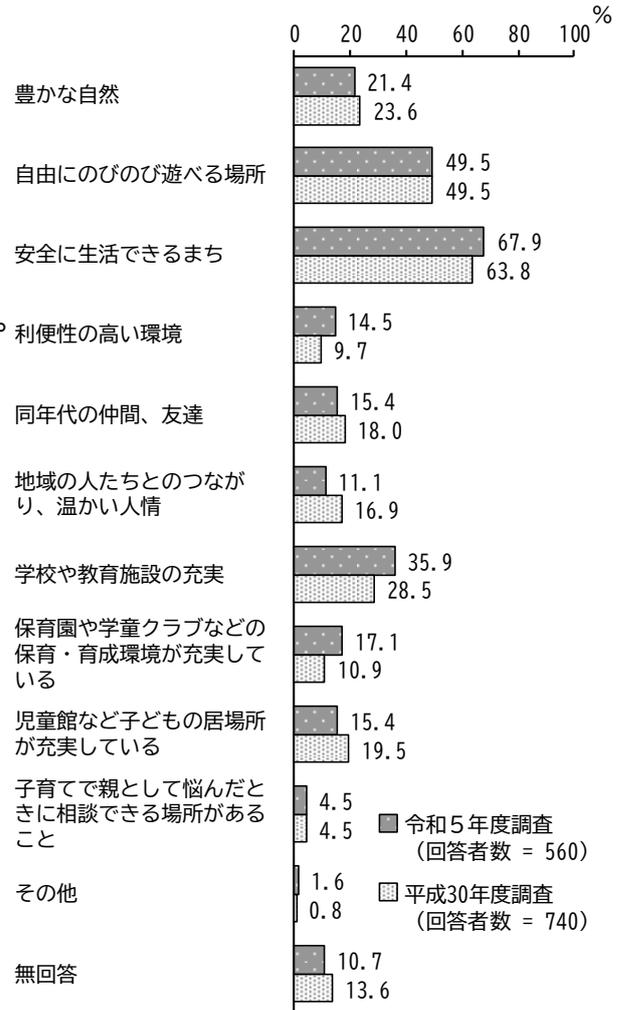
平成30年度調査と比較すると、「2」の割合が増加しています。一方、「4」の割合が減少しています。



問 40 子どもを育てる環境として何を重視しますか。(あてはまるもの3つまで○)

「安全に生活できるまち」の割合が67.9%と最も高く、次いで「自由にのびのび遊べる場所」の割合が49.5%、「学校や教育施設の充実」の割合が35.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「学校や教育施設の充実」、「保育園や学童クラブなどの保育・育成環境が充実している」の割合が増加しています。一方、「地域の人たちとのつながり、温かい人情」の割合が減少しています。



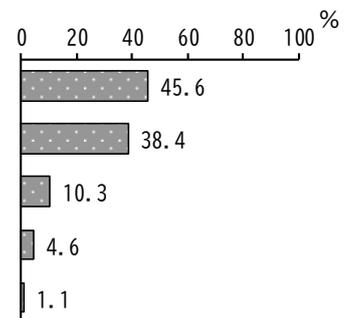
3 小学5年生

問1 あなたは、学校にいる時間が楽しいですか。(あてはまるもの1つに○)

「楽しい」の割合が45.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が38.4%、「どちらかといえば楽しくない」の割合が10.3%となっています。

回答者数 = 1,499

楽しい
どちらかといえば楽しい
どちらかといえば楽しくない
楽しくない
無回答

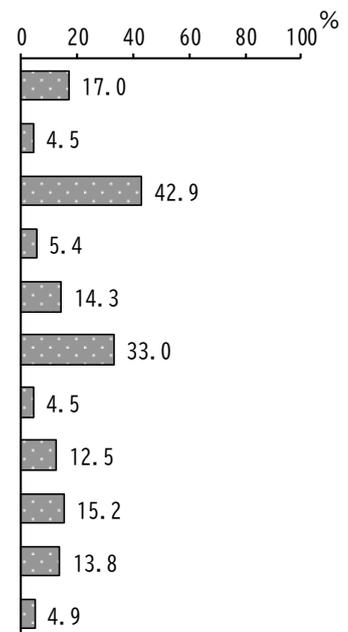


問2 問1で「3. どちらかといえば楽しくない」「4. 楽しくない」に○をつけた方にお聞きします。楽しくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「いやな友だちがいるから」の割合が42.9%と最も高く、次いで「自由がないから」の割合が33.0%、「授業がわからないから」の割合が17.0%となっています。

回答者数 = 224

授業がわからないから
友だちがいないから
いやな友だちがいるから
先生が悩みや意見を聞いてくれないから
学校の決まりごと(校則)がきびしいから
自由がないから
家で心配なことがあって、集中できないから
夜ふかしなどで眠く学校の授業がづらいから
その他
特にな
無回答

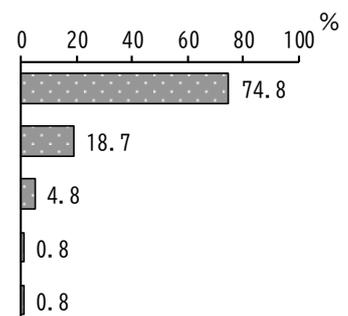


問3 あなたは、放課後の時間が楽しいですか。(あてはまるもの1つに○)

「楽しい」の割合が74.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が18.7%となっています。

回答者数 = 1,499

楽しい
どちらかといえば楽しい
どちらかといえば楽しくない
楽しくない
無回答

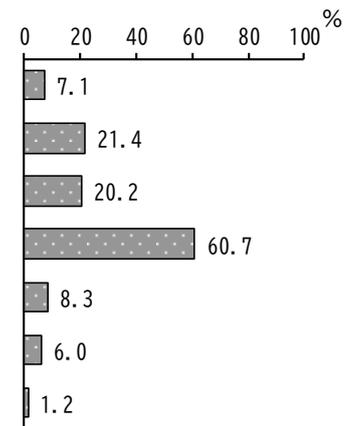


問4 問3で「3. どちらかといえば楽しくない」「4. 楽しくない」に○をつけた方にお聞きします。楽しくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「塾や習い事に行かなくてはいけないから」の割合が60.7%と最も高く、次いで「一緒に過ごす友だちがいないから」の割合が21.4%、「やることがないから」の割合が20.2%となっています。

回答者数 = 84

居場所がないから
一緒に過ごす友だちがいないから
やることがないから
塾や習い事に行かなくては
いけないから
その他
特にな
無回答



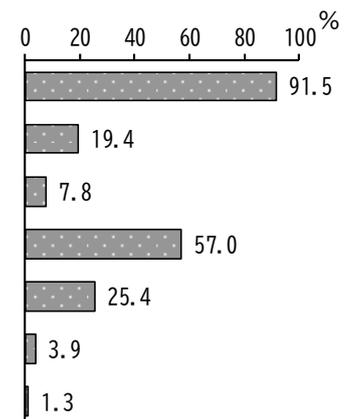
問5 あなたは、放課後や休日は誰と過ごしていますか。また誰と過ごしたいですか。(あてはまるものすべてにチェックボックスにチェックをいれてください。)

【過ごしている人】

「親やきょうだい」の割合が91.5%と最も高く、次いで「学校の友だち」の割合が57.0%、「塾や習い事の友だち」の割合が25.4%となっています。

回答者数 = 1,499

親やきょうだい
祖父母や親せき
近所の人や知り合いの人
学校の友だち
塾や習い事の友だち
その他
無回答

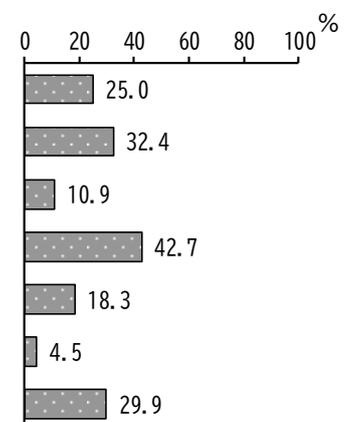


【過ごしたい人】

「学校の友だち」の割合が42.7%と最も高く、次いで「祖父母や親せき」の割合が32.4%、「親やきょうだい」の割合が25.0%となっています。

回答者数 = 1,499

親やきょうだい
祖父母や親せき
近所の人や知り合いの人
学校の友だち
塾や習い事の友だち
その他
無回答

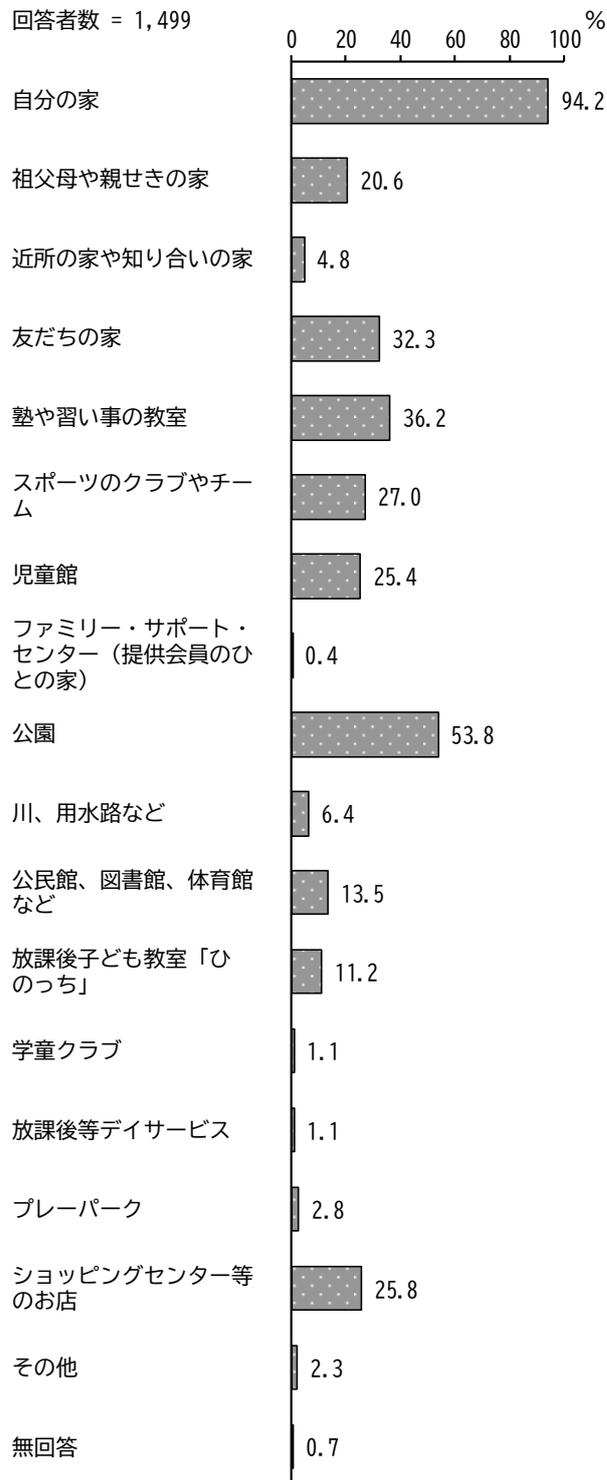


問6 あなたは、放課後や休日はどこで過ごしていますか。またどこで過ごしたいですか。(あてはまるものすべてにチェックボックスにチェックをいれてください。)

【過ごしている場所】

「自分の家」の割合が94.2%と最も高く、次いで「公園」の割合が53.8%、「塾や習い事の教室」の割合が36.2%となっています。

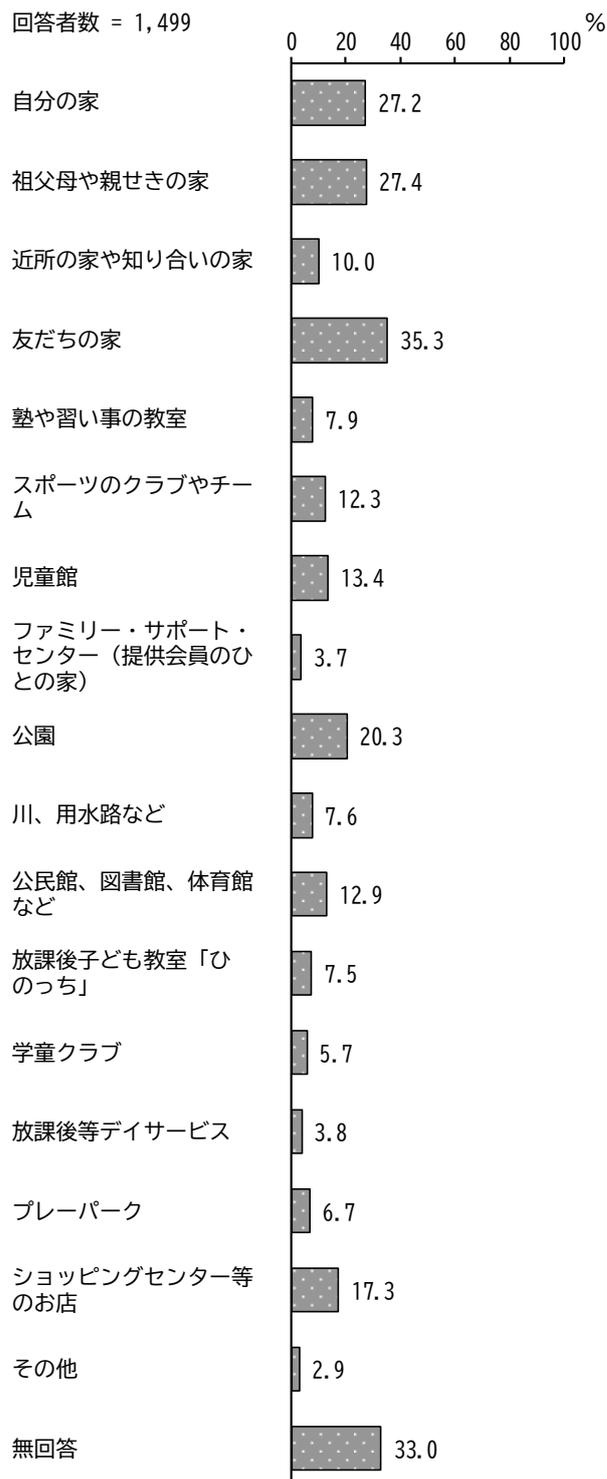
回答者数 = 1,499



【過ごしたい場所】

「友だちの家」の割合が35.3%と最も高く、次いで「祖父母や親せきの家」の割合が27.4%、「自分の家」の割合が27.2%となっています。

回答者数 = 1,499

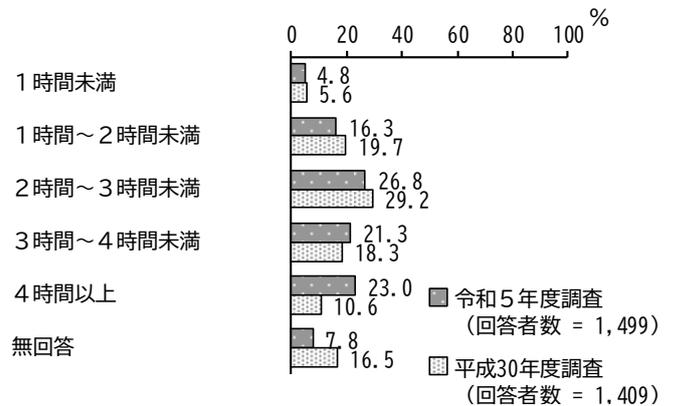


問7 あなたは、平日、休日は何時間くらい遊んでいますか。()内に数字でご記入ください。

平日

「2時間～3時間未満」の割合が26.8%と最も高く、次いで「4時間以上」の割合が23.0%、「3時間～4時間未満」の割合が21.3%となっています。

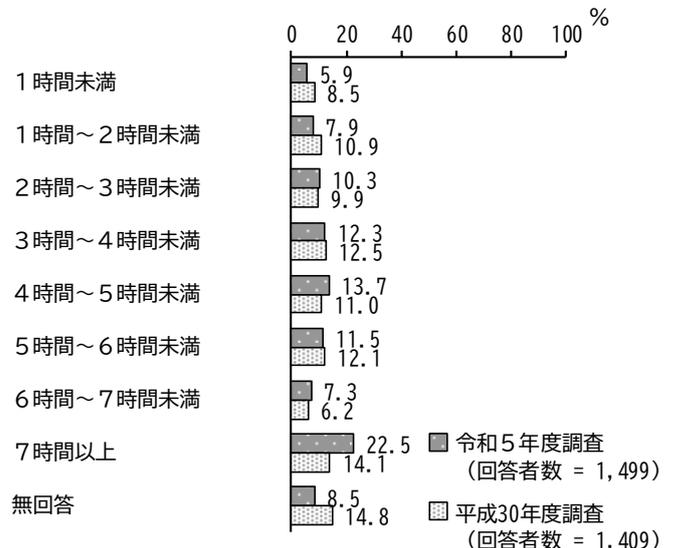
平成30年度調査と比較すると、「4時間以上」の割合が増加しています。



休日

「7時間以上」の割合が22.5%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が13.7%、「3時間～4時間未満」の割合が12.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7時間以上」の割合が増加しています。

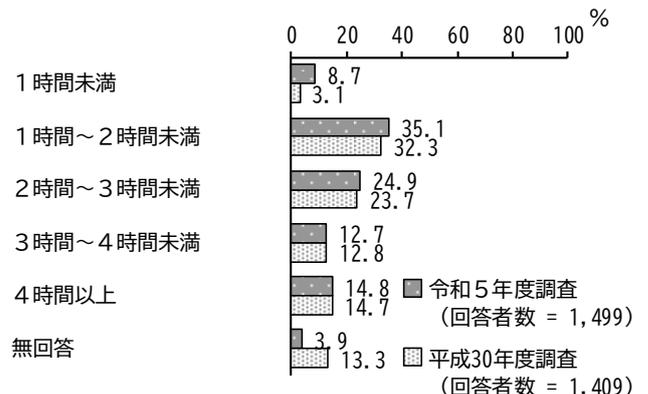


問8 あなたは、平日、休日は何時間くらい宿題や習い事(スポーツなどクラブチーム含む)をしていますか。()内に数字でご記入ください。

平日

「1時間～2時間未満」の割合が35.1%と最も高く、次いで「2時間～3時間未満」の割合が24.9%、「4時間以上」の割合が14.8%となっています。

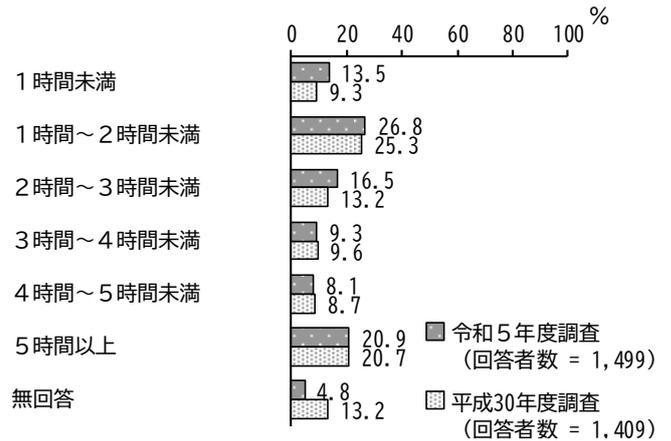
平成30年度調査と比較すると、「1時間未満」の割合が増加しています。



休日

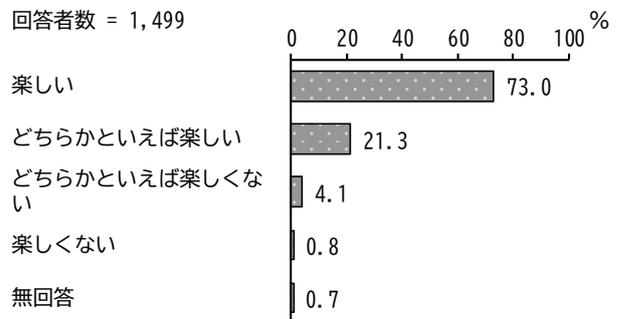
「1時間～2時間未満」の割合が26.8%と最も高く、次いで「5時間以上」の割合が20.9%、「2時間～3時間未満」の割合が16.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



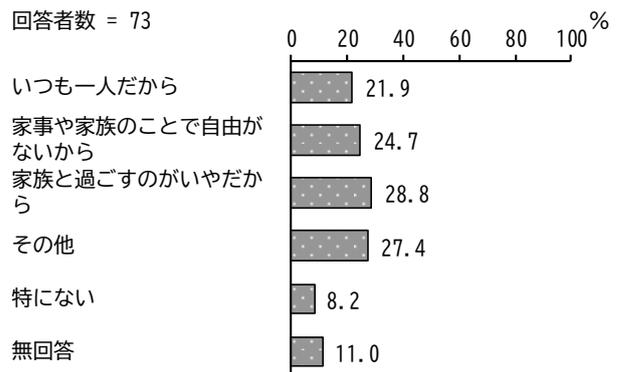
問9 あなたは、自宅にいるときの時間が楽しいですか。(あてはまるもの1つに○)

「楽しい」の割合が73.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が21.3%となっています。



問10 問9で「3. どちらかといえば楽しくない」「4. 楽しくない」に○をつけた方にお聞きします。楽しくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

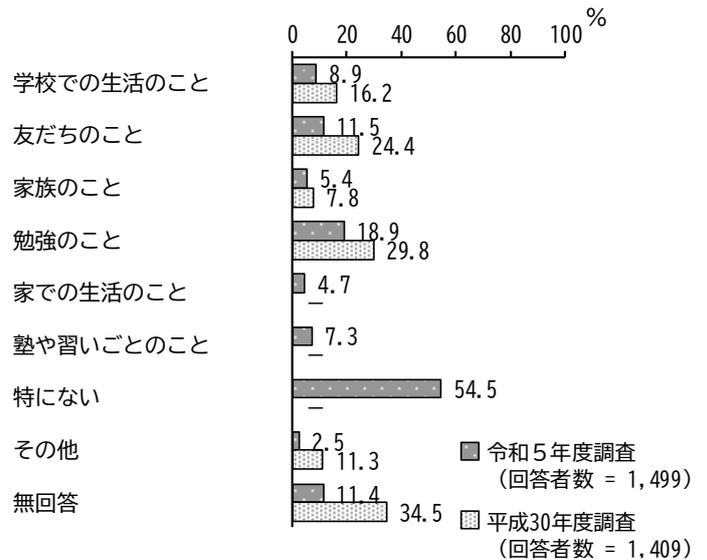
「家族と過ごすのがいやだから」の割合が28.8%と最も高く、次いで「家事や家族のことで自由がないから」の割合が24.7%、「いつも一人だから」の割合が21.9%となっています。



問11 あなたには、今悩んでいることや心配なこと、こまっていること、だれかに相談したいと思っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「特にない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合が18.9%、「友だちのこと」の割合が11.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「学校での生活のこと」「友だちのこと」「勉強のこと」の割合が減少しています。

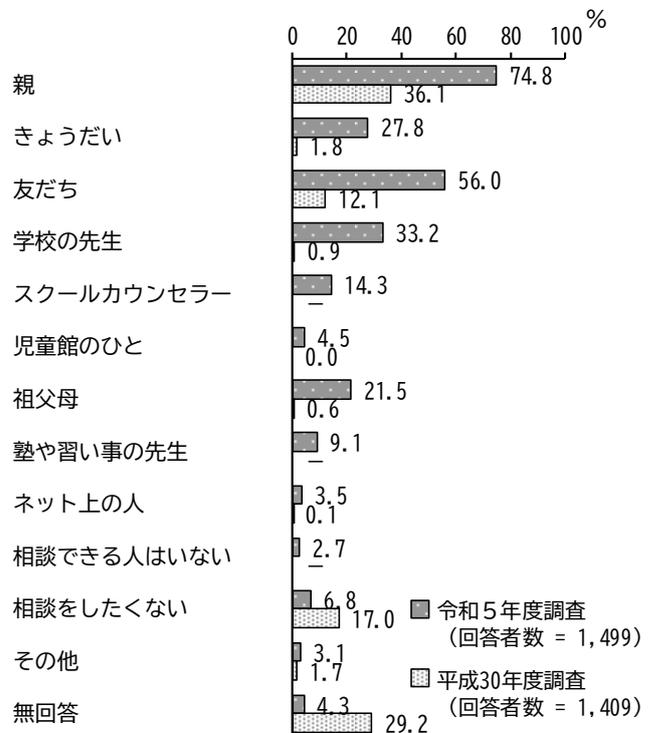


※「家ででの生活のこと」「塾や習いごとのこと」「特にない」は今回の調査で新しく追加しました。

問12 あなたは、心配ごとや悩みがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。(あてはまるものすべてに○)

「親」の割合が74.8%と最も高く、次いで「友だち」の割合が56.0%、「学校の先生」の割合が33.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「親」「きょうだい」「友だち」「学校の先生」「スクールカウンセラー」「祖父母」の割合が増加しています。一方、「相談をしたくない」の割合が減少しています。



※「スクールカウンセラー」「塾や習い事の先生」「相談できる人はいない」は今回の調査で新しく追加しました。

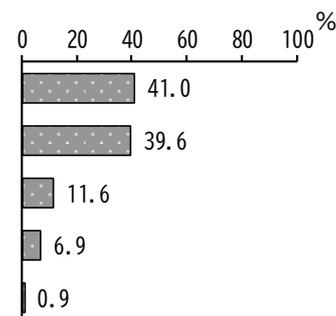
問13 あなたは、自分のことについてどう思いますか。
(それぞれにあてはまるものを選んで○)

①自分には良いところがあると思う

「そう思う」の割合が41.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が39.6%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が11.6%となっています。

回答者数 = 1,499

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答

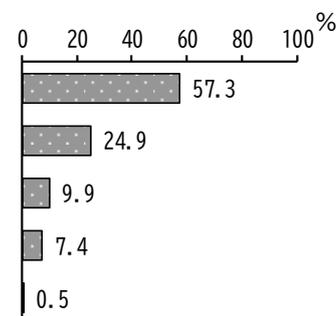


②自分には将来の夢や目標がある

「そう思う」の割合が57.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が24.9%となっています。

回答者数 = 1,499

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答

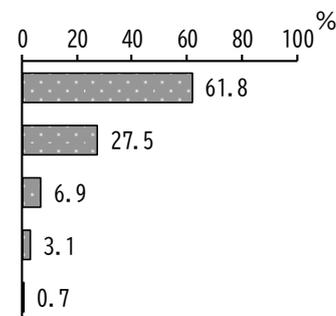


③頑張れば良いことがある

「そう思う」の割合が61.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が27.5%となっています。

回答者数 = 1,499

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答

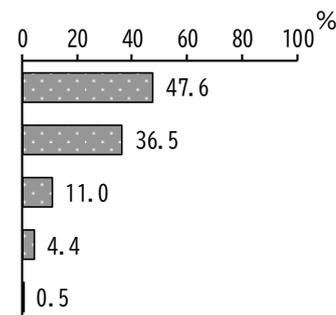


④失敗することも自分の成長につながると思える

「そう思う」の割合が47.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が36.5%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が11.0%となっています。

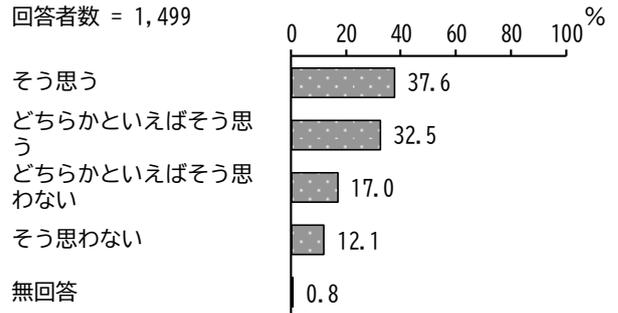
回答者数 = 1,499

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答



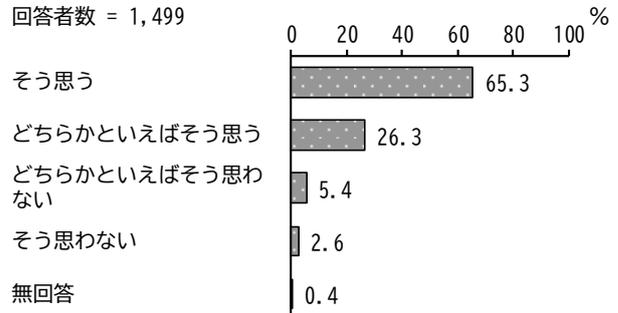
⑤何かをするときは、他の人からどのように見られるか気になる

「そう思う」の割合が37.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が32.5%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が17.0%となっています。



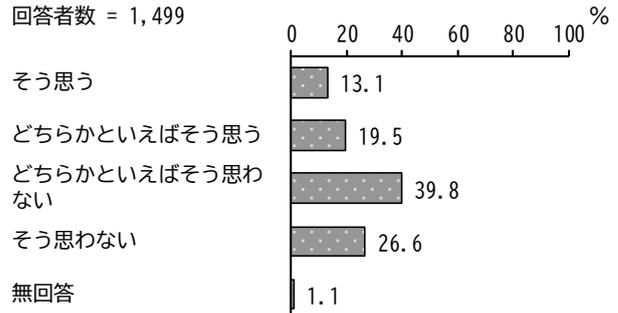
問14 あなたは、安心して暮らしていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「そう思う」の割合が65.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が26.3%となっています。



問15 あなたは、親や先生などまわりの大人にもっと自分の意見を聞いてほしいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「どちらかといえばそう思わない」の割合が39.8%と最も高く、次いで「そう思わない」の割合が26.6%、「どちらかといえばそう思う」の割合が19.5%となっています。



問16 問15で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」に○をつけた方にお聞きします。どんなことについて自分の意見を聞いてほしいですか。
(あてはまるものすべてに○)

「学校のこと」の割合が44.5%と最も高く、次いで「自分の進路や進学のこと」の割合が23.6%、「社会で話題になっていること」の割合が20.7%となっています。

回答者数 = 488

家族にとって重要なこと

家族との過ごし方

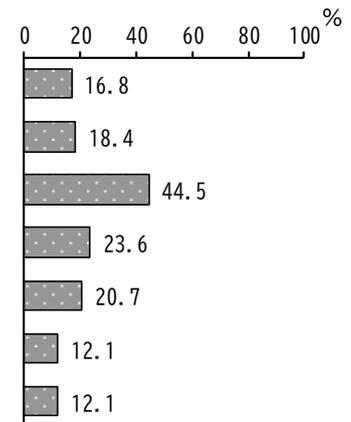
学校のこと

自分の進路や進学のこと

社会で話題になっていること

その他

無回答



問17 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「安心して居られる場所があること」の割合が70.3%と最も高く、次いで「いじめや虐待を受けないこと」の割合が64.2%、「学んだり遊んだり休息すること」の割合が62.5%となっています。

回答者数 = 1,499

いじめや虐待を受けないこと

安心して居られる場所があること

自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること

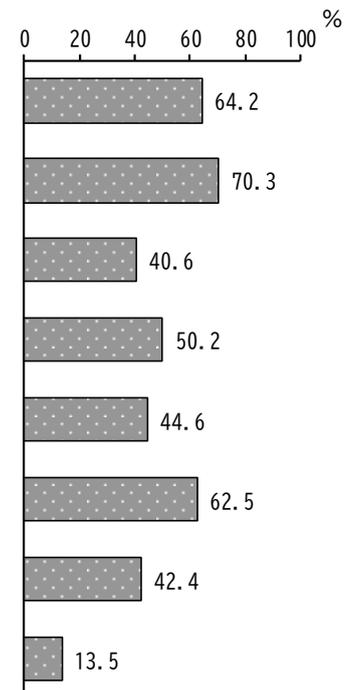
人と違う自分らしさが認められること

自分の秘密が守られること

学んだり遊んだり休息すること

必要な情報を知ることや、必要な助言や手助けを受けられること

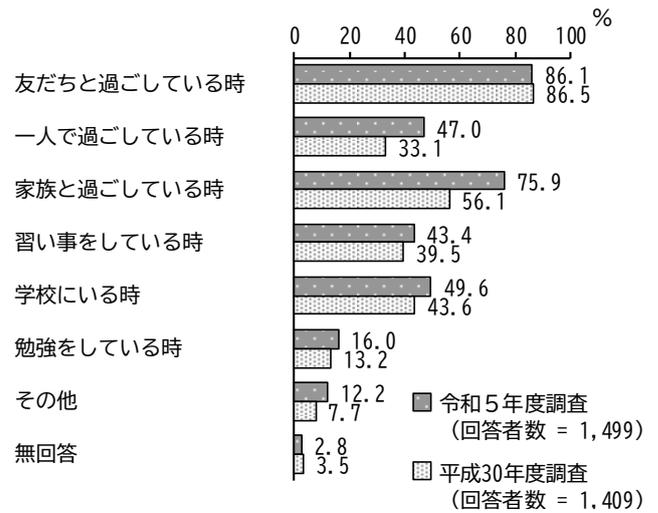
無回答



問 18 あなたは、ふだんの生活の中で、楽しいな、面白いな、と思う時はどんな時ですか。(あてはまるものすべてに○)

「友だちと過ごしている時」の割合が 86.1%と最も高く、次いで「家族と過ごしている時」の割合が 75.9%、「学校にいる時」の割合が 49.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「一人で過ごしている時」「家族と過ごしている時」「学校にいる時」の割合が増加しています。



4 中学2年生

(1) あなたのことについて

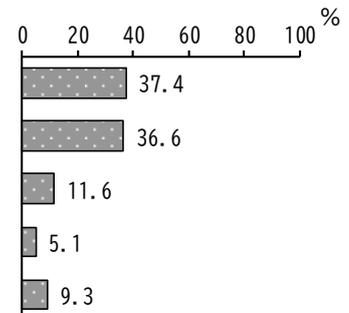
問1 あなたは、自分のことについてどう思いますか。
(それぞれにあてはまるものを選んで○)

①自分には良いところがあると思う

「そう思う」の割合が37.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が36.6%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が11.6%となっています。

回答者数 = 1,348

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答

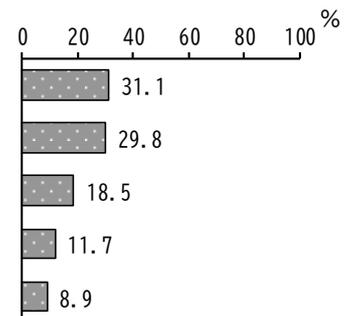


②自分には将来の夢や目標がある

「そう思う」の割合が31.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が29.8%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が18.5%となっています。

回答者数 = 1,348

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答

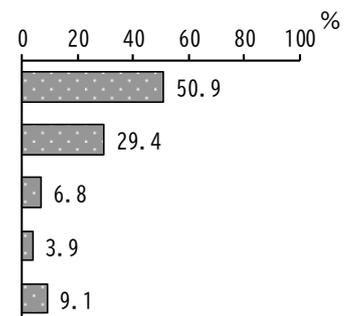


③頑張れば良いことがある

「そう思う」の割合が50.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が29.4%となっています。

回答者数 = 1,348

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答

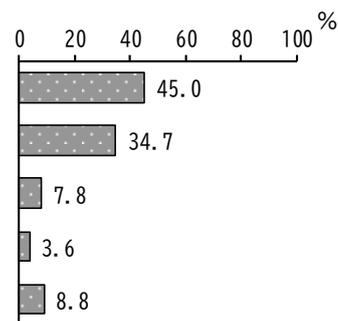


④失敗することも自分の成長につながると思える

「そう思う」の割合が45.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が34.7%となっています。

回答者数 = 1,348

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答

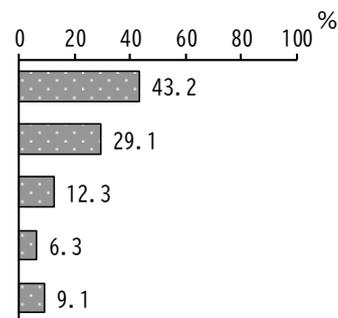


⑤何かをするときは、他の人からどのように見られるか気になる

「そう思う」の割合が43.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が29.1%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が12.3%となっています。

回答者数 = 1,348

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答



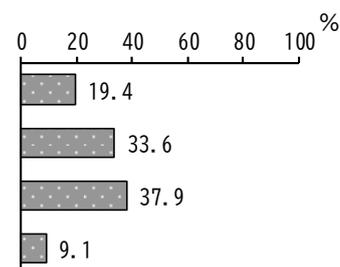
(2) あなたとまわりの大人の関係について

問2 あなたは、親や先生などまわりの大人にもっと自分の意見を聞いてほしいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「どちらともいえない」の割合が37.9%と最も高く、次いで「思わない」の割合が33.6%、「思う」の割合が19.4%となっています。

回答者数 = 1,348

思う
思わない
どちらともいえない
無回答

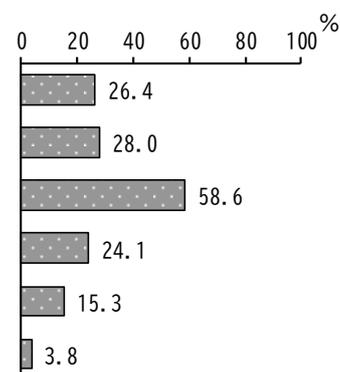


問3 問2で「1. 思う」に○をつけた人におききします。どんなことについて自分の意見を聞いてほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

「自分の進路や進学のこと」の割合が58.6%と最も高く、次いで「家族との過ごし方」の割合が28.0%、「家族にとって重要なこと」の割合が26.4%となっています。

回答者数 = 261

家族にとって重要なこと
家族との過ごし方
自分の進路や進学のこと
社会で話題になっていること
その他
無回答



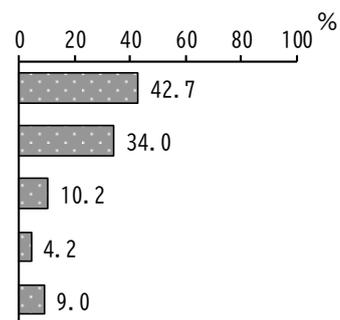
(3) 学校や友人について

問4 あなたは学校にいる時間が楽しいですか。(あてはまるもの1つに○)

「楽しい」の割合が42.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が34.0%、「どちらかといえば楽しくない」の割合が10.2%となっています。

回答者数 = 1,348

楽しい
 どちらかといえば楽しい
 どちらかといえば楽しくない
 楽しくない
 無回答

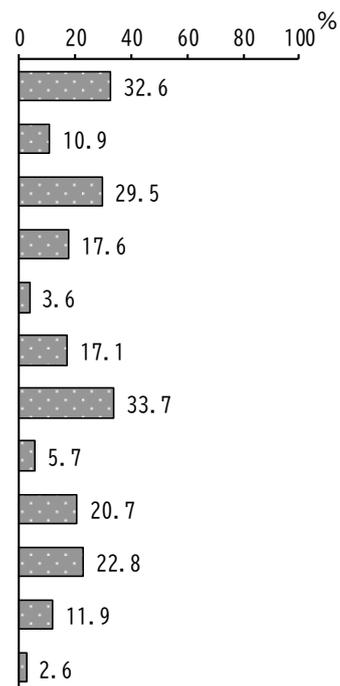


問5 問4で「3. どちらかといえば楽しくない」か「4. 楽しくない」に○をした人におききします。楽しくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自由がないから」の割合が33.7%と最も高く、次いで「授業がわからないから」の割合が32.6%、「いやな友だちがいるから」の割合が29.5%となっています。

回答者数 = 193

授業がわからないから
 友だちがいないから
 いやな友だちがいるから
 部活が辛いから
 先生が悩みや意見を聞いてくれないから
 学校の決まりごと(校則)がきびしいから
 自由がないから
 家で心配なことがあって、集中できないから
 夜ふかしなどで眠く学校の授業がづらいから
 その他
 特にな
 無回答

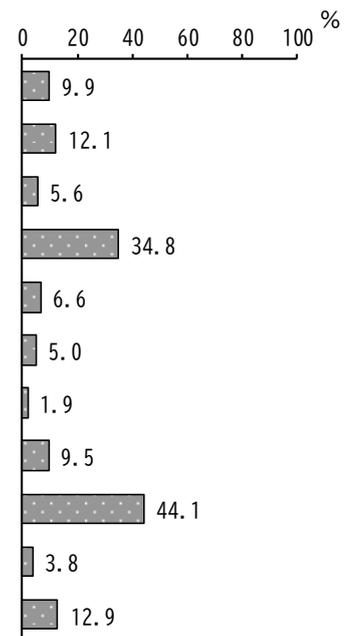


問6 あなたには、今なやんでいることや心配なこと、こまっていること、だれかに相談したいと思っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「とくにない」の割合が44.1%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合が34.8%、「友だちのこと」の割合が12.1%となっています。

回答者数 = 1,348

- 学校のこと
- 友だちのこと
- 家族のこと
- 勉強のこと
- 家での生活のこと
- 身体のこと
- 性のこと
- 塾や習いごとのこと
- とくにない
- その他
- 無回答

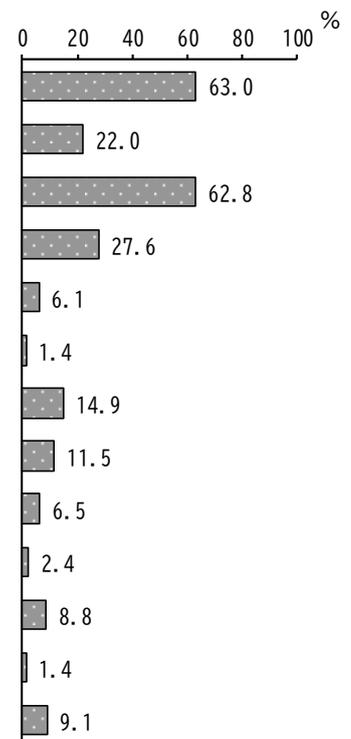


問7 心配ごとやなやみがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。(あてはまるものすべてに○)

「親」の割合が63.0%と最も高く、次いで「友だち」の割合が62.8%、「学校の先生」の割合が27.6%となっています。

回答者数 = 1,348

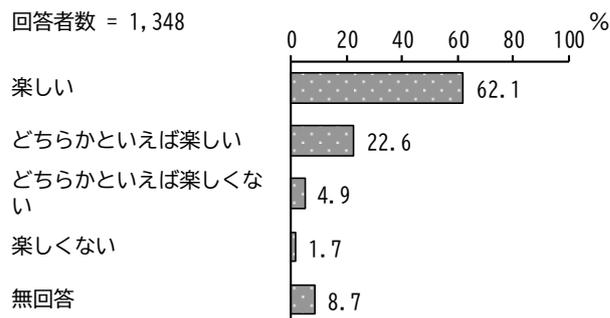
- 親
- きょうだい
- 友だち
- 学校の先生
- スクールカウンセラー
- 児童館の人
- 祖父母
- 塾や習い事の先生
- ネット上の人
- 相談できる人はいない
- 相談をしたくない
- その他
- 無回答



(4) 放課後や休日について

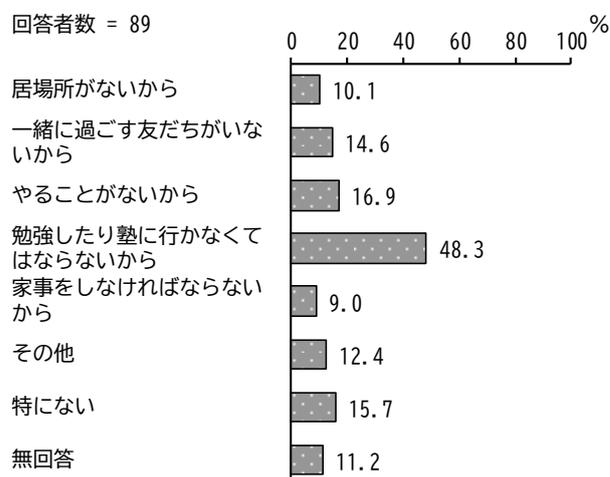
問8 あなたは放課後の時間が楽しいですか。(あてはまるもの1つに○)

「楽しい」の割合が62.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が22.6%となっています。



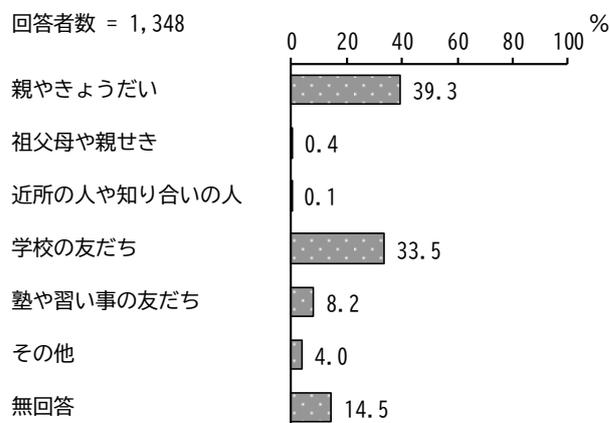
問9 問8で「3. どちらかといえば楽しくない」か「4. 楽しくない」に○をした人におききします。楽しくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「勉強したり塾に行かなくてはならないから」の割合が48.3%と最も高く、次いで「やることがないから」の割合が16.9%、「特にない」の割合が15.7%となっています。



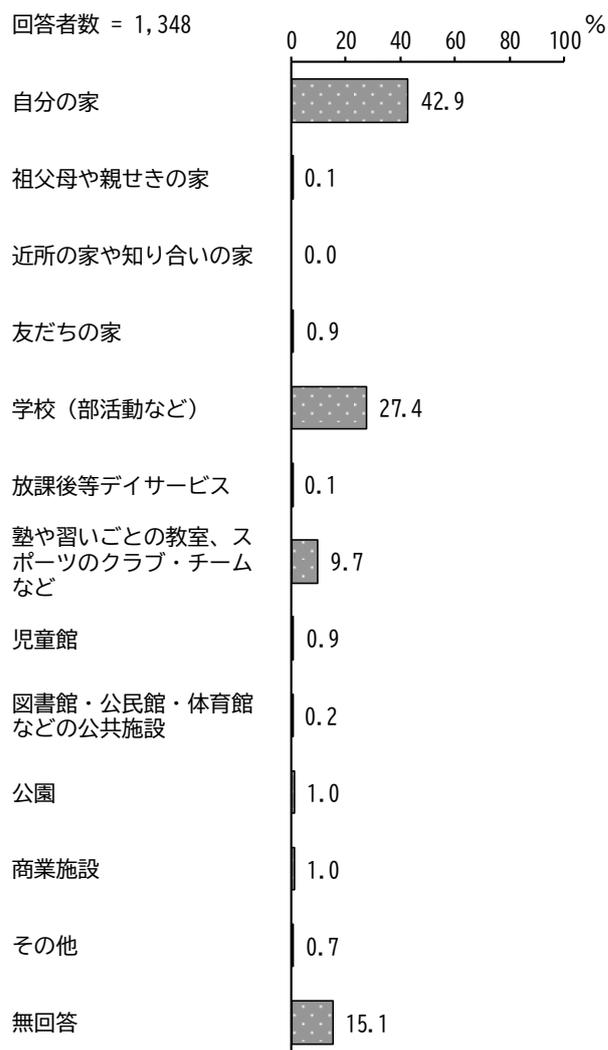
問10 あなたは放課後に誰と過ごすことが一番多いですか。(あてはまるもの1つに○)

「親やきょうだい」の割合が39.3%と最も高く、次いで「学校の友だち」の割合が33.5%となっています。



問11 あなたは放課後にどこで過ごすことが一番多いですか。
(あてはまるもの1つに○)

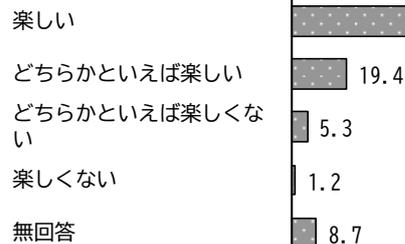
「自分の家」の割合が42.9%と最も高く、次いで「学校（部活動など）」の割合が27.4%となっています。



問12 あなたは自宅にいるときの時間が楽しいですか。(あてはまるもの1つに○)

「楽しい」の割合が65.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が19.4%となっています。

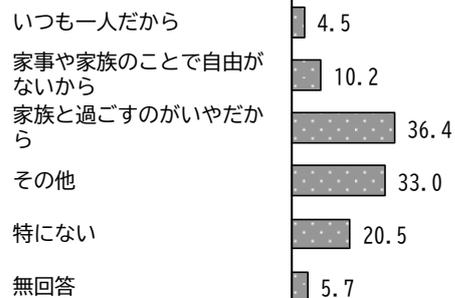
回答者数 = 1,348



問13 問12で「3. どちらかといえば楽しくない」か「4. 楽しくない」に○をした人におききします。楽しくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「家族と過ごすのがいやだから」の割合が36.4%と最も高く、次いで「特にない」の割合が20.5%、「家事や家族のことで自由がないから」の割合が10.2%となっています。

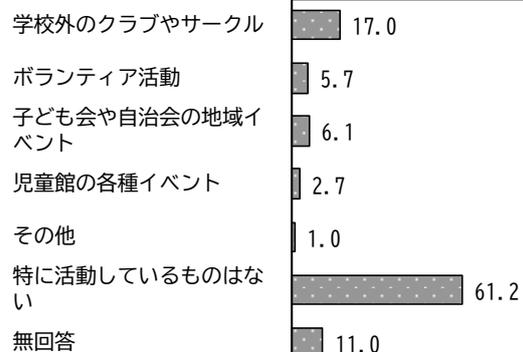
回答者数 = 88



問14 普段、地域の活動で参加していることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「特に活動しているものはない」の割合が61.2%と最も高く、次いで「学校外のクラブやサークル」の割合が17.0%となっています。

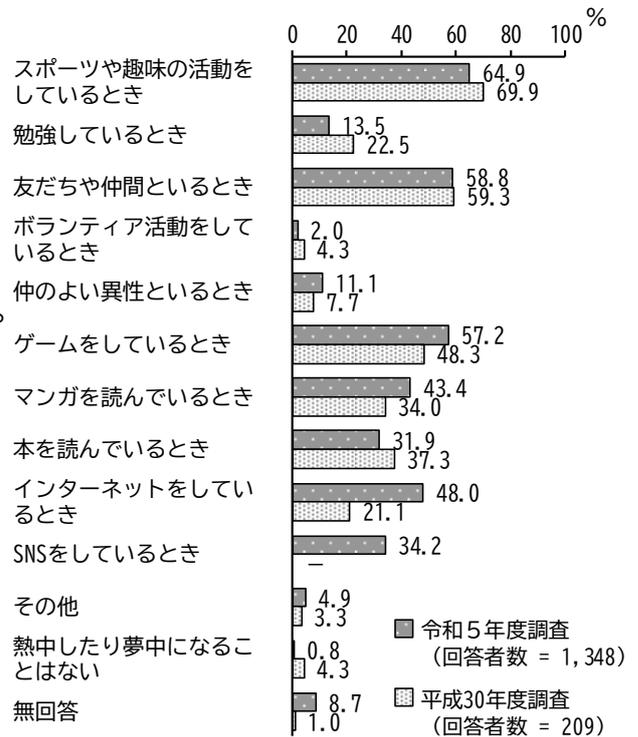
回答者数 = 1,348



問15 あなたが何かに熱中したり夢中になれるのはどんなときですか。
(あてはまるものすべてに○)

「スポーツや趣味の活動をしているとき」の割合が64.9%と最も高く、次いで「友だちや仲間といるとき」の割合が58.8%、「ゲームをしているとき」の割合が57.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ゲームをしているとき」「マンガを読んでいるとき」「インターネットをしているとき」の割合が増加しています。一方、「勉強しているとき」「本を読んでいるとき」の割合が減少しています。



※「SNSをしているとき」は今回の調査で新しく追加しました。

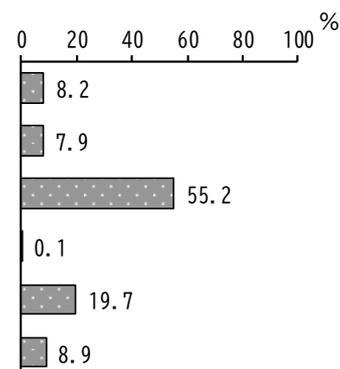
(5) あなたの将来について

問 16 あなたは将来どの段階まで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

「大学またはそれ以上」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 19.7%となっています。

回答者数 = 1,348

高校まで
短大・高専・専門学校まで
大学またはそれ以上
中学まで
まだわからない
無回答

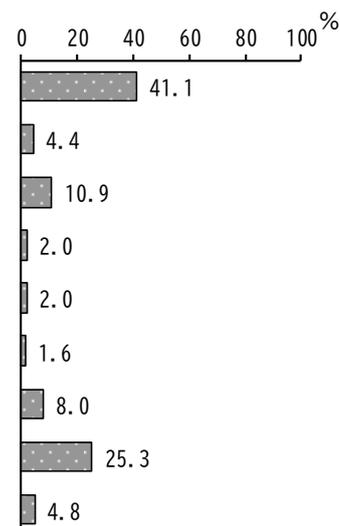


問 17 問 16 で「1. 高校まで」～「4. 中学まで」に○をした人におききます。その理由を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

「希望する学校や職業があるから」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「とくに理由はない」の割合が 25.3%、「親がそう言っているから」の割合が 10.9%となっています。

回答者数 = 963

希望する学校や職業があるから
自分の成績から考えて
親がそう言っているから
兄・姉がそうしているから
まわりの先輩や友だちがそうしているから
早く働く必要があるから
その他
とくに理由はない
無回答

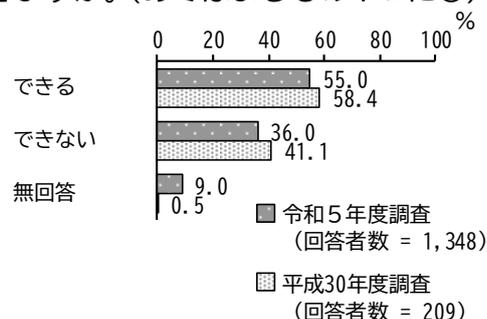


問 18 将来の職業についてお聞きします。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

① 将来の職業のイメージをぼんやりとでも思い描くことはできますか。(あてはまるもの1つに○)

「できる」の割合が 55.0%、「できない」の割合が 36.0%となっています。

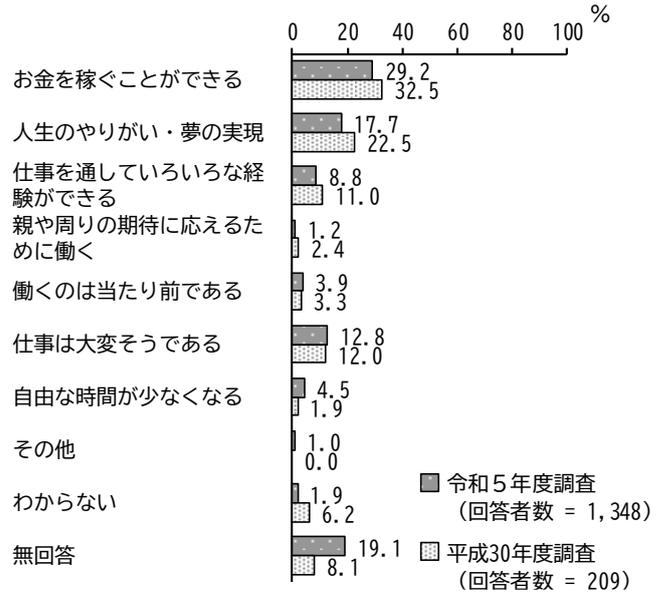
平成 30 年度調査と比較すると、「できない」の割合が減少しています。



②仕事に対するイメージについて、あなたの考えをお答えください。(最も近いもの1つに○)

「お金を稼ぐことができる」の割合が29.2%と最も高く、次いで「人生のやりがい・夢の実現」の割合が17.7%、「仕事は大変そうである」の割合が12.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

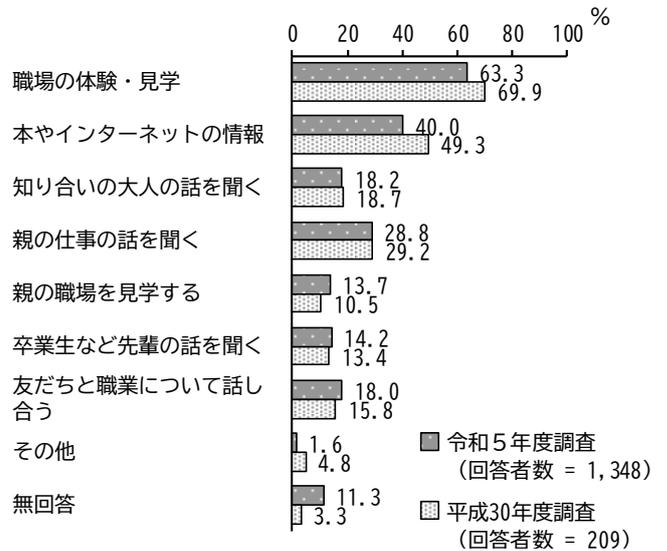


③職業のイメージを具体的にするために役立つものはなんだと思いますか。

(あてはまるもの3つまで○)

「職場の体験・見学」の割合が63.3%と最も高く、次いで「本やインターネットの情報」の割合が40.0%、「親の仕事の話を聞く」の割合が28.8%となっています。

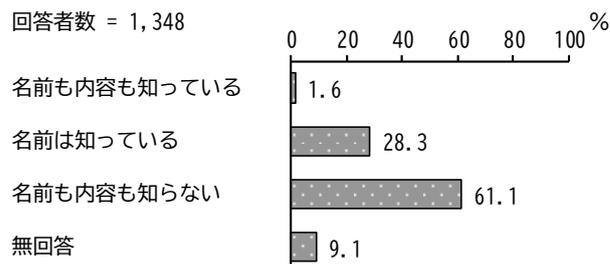
平成30年度調査と比較すると、「職場の体験・見学」「本やインターネットの情報」の割合が減少しています。



(6) 子どもの権利について

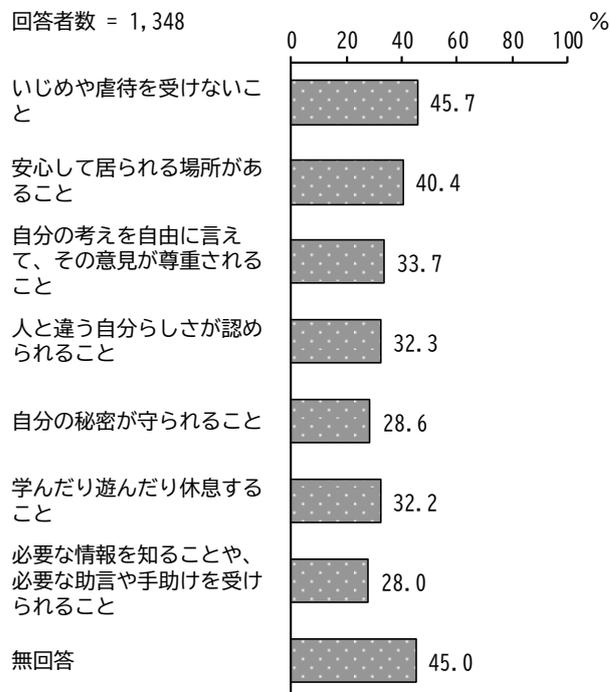
問 19 「日野市子ども条例」を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「名前も内容も知らない」の割合が61.1%と最も高く、次いで「名前は知っている」の割合が28.3%となっています。



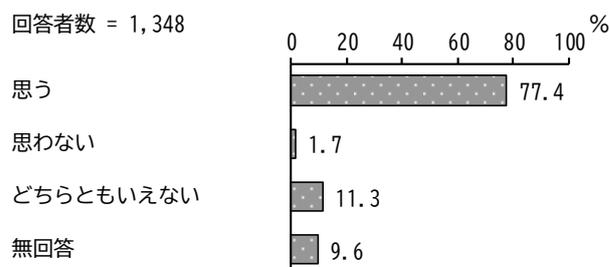
問 20 あなたは、「日野市子ども条例」に定められた「子どもの権利」を知っていますか(あてはまるものすべてに○)

「いじめや虐待を受けないこと」の割合が45.7%と最も高く、次いで「安心して居られる場所があること」の割合が40.4%、「自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること」の割合が33.7%となっています。



問 21 あなたは、安心して暮らしていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「思う」の割合が77.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が11.3%となっています。

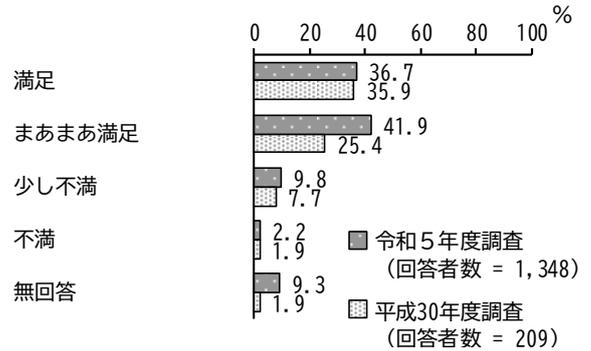


(7) 最後に

問22 今の生活についてどう思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「まあまあ満足」の割合が41.9%と最も高く、次いで「満足」の割合が36.7%となっています。

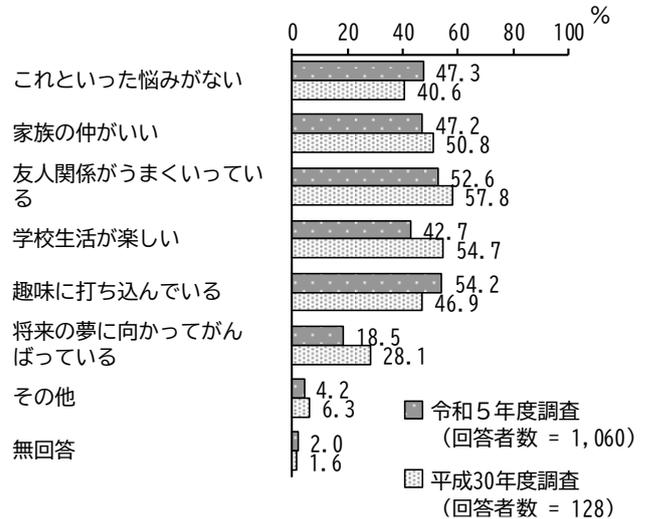
平成30年度調査と比較すると、「まあまあ満足」の割合が増加しています。



問23 問22で「1. 満足」か「2. まあまあ満足」に○をした人におききします。その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「趣味に打ち込んでいる」の割合が54.2%と最も高く、次いで「友人関係がうまくいっている」の割合が52.6%、「これといった悩みがない」の割合が47.3%となっています。

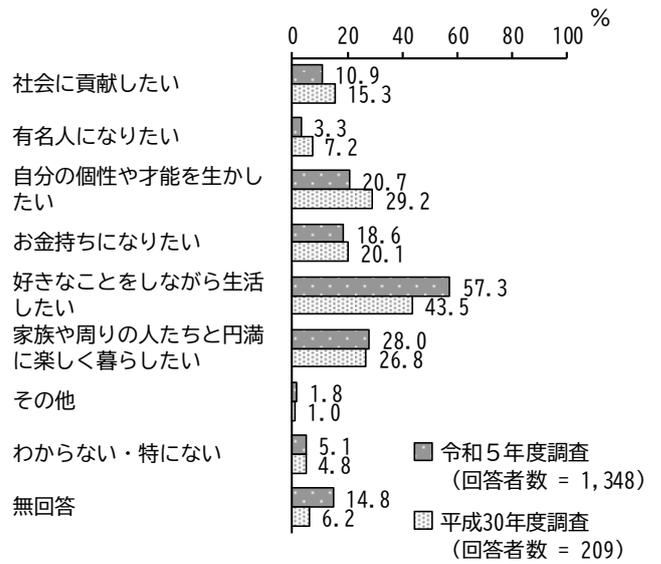
平成30年度調査と比較すると、「これといった悩みがない」「趣味に打ち込んでいる」の割合が増加しています。一方、「友人関係がうまくいっている」「学校生活が楽しい」「将来の夢に向かってがんばっている」の割合が減少しています。



問 24 あなたは、将来どのような大人になりたいですか。
 (最も近いものを2つまで○をしてください)

「好きなことをしながら生活したい」の割合が
 57.3%と最も高く、次いで「家族や周りの人たち
 と円満に楽しく暮らしたい」の割合が 28.0%、
 「自分の個性や才能を生かしたい」の割合が
 20.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「好きなことを
 しながら生活したい」の割合が増加しています。
 一方、「自分の個性や才能を生かしたい」の割合
 が減少しています。



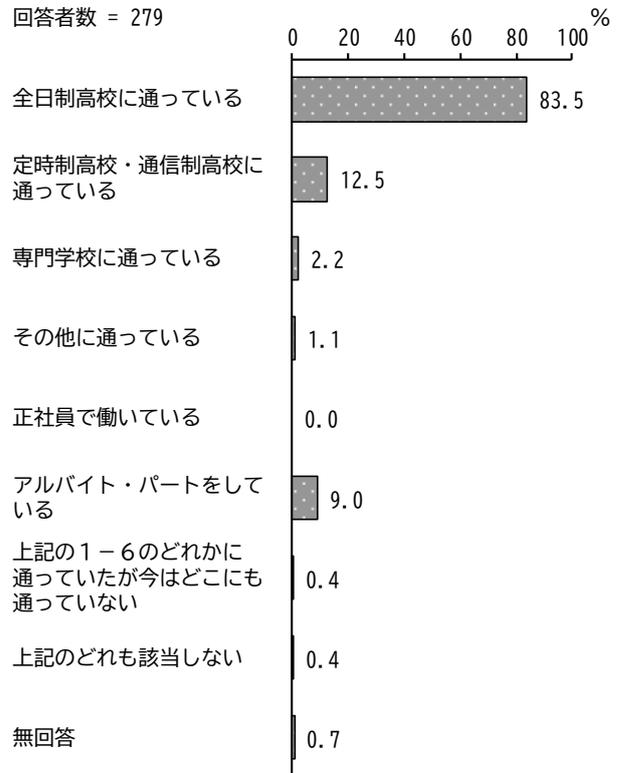
5 高校2年生相当

(1) あなたの事について

問1 あなたの今の状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「全日制高校に通っている」の割合が83.5%と最も高く、次いで「定時制高校・通信制高校に通っている」の割合が12.5%となっています。

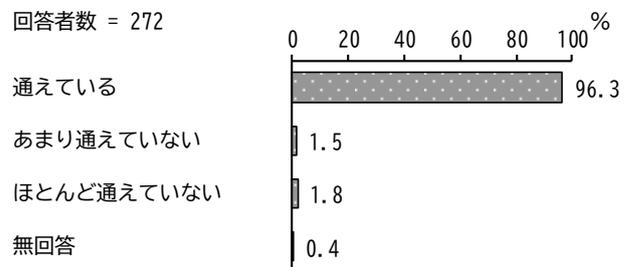
回答者数 = 279



問2 問1で「1. 全日制高校に通っている」～「3. 専門学校に通っている」に○をした人に伺います。回答した場所に通っている状況についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

「通えている」の割合が96.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 272



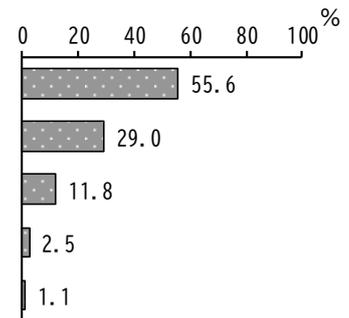
問3 あなたは、自分のことについてどう思いますか。
(それぞれにあてはまるものを選んで○)

①自分には良いところがあると思う

「そう思う」の割合が55.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が29.0%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が11.8%となっています。

回答者数 = 279

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答

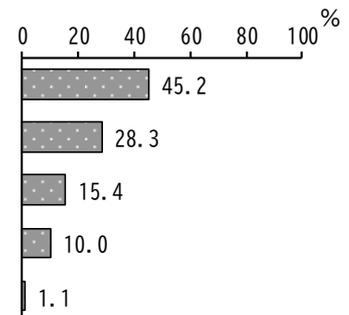


②自分には将来の夢や目標がある

「そう思う」の割合が45.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が28.3%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 279

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答

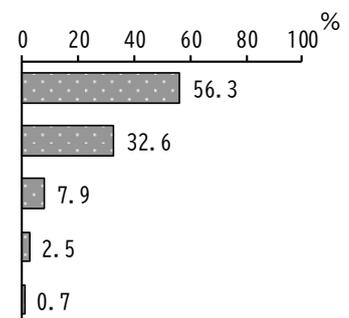


③頑張れば良いことがある

「そう思う」の割合が56.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が32.6%となっています。

回答者数 = 279

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答

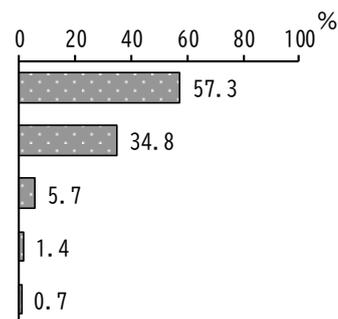


④失敗することも自分の成長につながると思える

「そう思う」の割合が57.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が34.8%となっています。

回答者数 = 279

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答

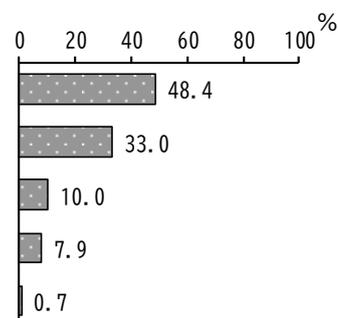


⑤何かをするときは、他の人からどのように見られるか気になる

「そう思う」の割合が48.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が33.0%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 279

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答



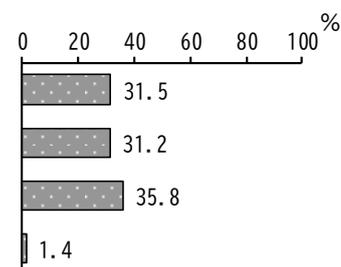
(2) あなたとまわりの大人の関係について

問4 あなたは、親や先生などまわりの大人にもっと自分の意見を聞いてほしいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「どちらともいえない」の割合が35.8%と最も高く、次いで「思う」の割合が31.5%、「思わない」の割合が31.2%となっています。

回答者数 = 279

思う
思わない
どちらともいえない
無回答

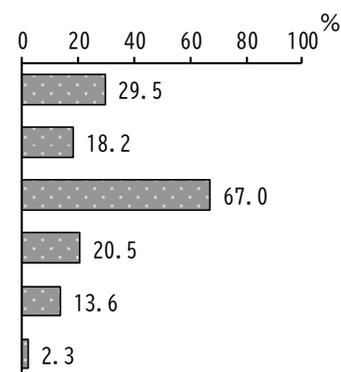


問5 問4で「1. 思う」に○をつけた方にお聞きします。どんなことについて自分の意見を聴いてほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

「自分の進路や進学のこと」の割合が67.0%と最も高く、次いで「家族にとって重要なこと」の割合が29.5%、「社会で話題になっていること」の割合が20.5%となっています。

回答者数 = 88

家族にとって重要なこと
家族との過ごし方
自分の進路や進学のこと
社会で話題になっていること
その他
無回答

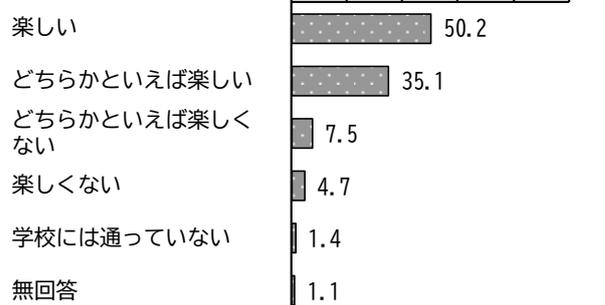


(3) 学校や友だちについて

問6 あなたは学校にいる時間が楽しいですか。(あてはまるもの1つに○)

「楽しい」の割合が50.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が35.1%となっています。

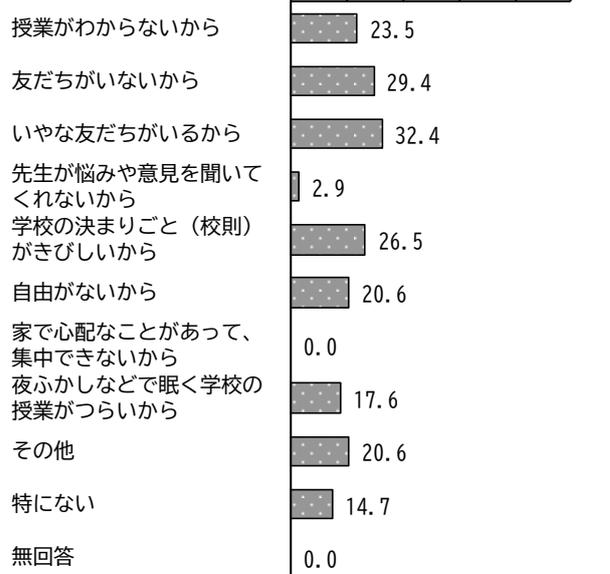
回答者数 = 279



問7 問6で「3. どちらかといえば楽しくない」～「4. 楽しくない」に○をした人に伺います。楽しくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「いやな友だちがいるから」の割合が32.4%と最も高く、次いで「友だちがいないから」の割合が29.4%、「学校の決まりごと（校則）がきびしいから」の割合が26.5%となっています。

回答者数 = 34

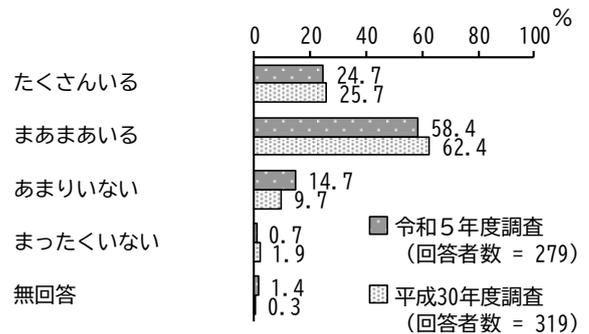


問8 あなたと友だちとの距離について下記の項目それぞれにあてはまるものをお答えください。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

①自分の気持ちをわかってくれる友達がいる。

「まあまあいる」の割合が58.4%と最も高く、次いで「たくさんいる」の割合が24.7%、「あまりいない」の割合が14.7%となっています。

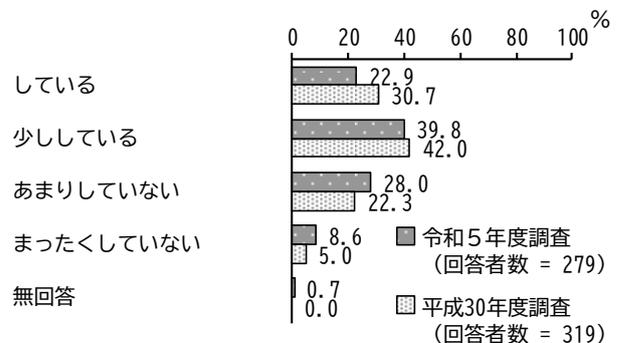
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②自分を友だちに理解してもらおうと努力している。

「少ししている」の割合が39.8%と最も高く、次いで「あまりしていない」の割合が28.0%、「している」の割合が22.9%となっています。

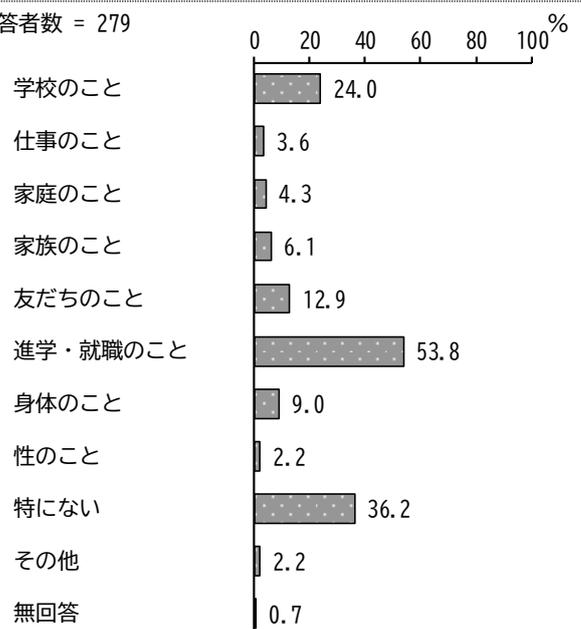
平成30年度調査と比較すると、「あまりしていない」の割合が増加しています。一方、「している」の割合が減少しています。



問9 あなたには、今悩んでいることや心配なこと、困っていること、だれかに相談したいと思っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

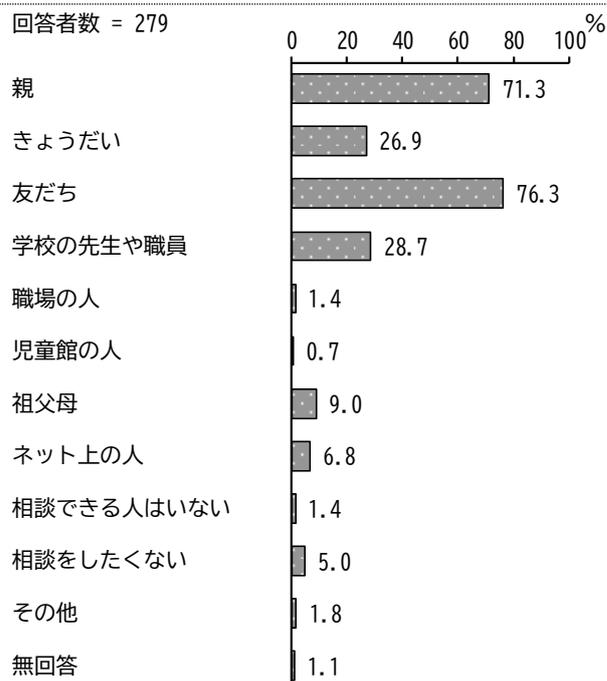
「進学・就職のこと」の割合が53.8%と最も高く、次いで「特にない」の割合が36.2%、「学校のこと」の割合が24.0%となっています。

回答者数 = 279



問10 心配ごとや悩みがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「ともだち」の割合が76.3%と最も高く、次いで「親」の割合が71.3%、「学校の先生や職員」の割合が28.7%となっています。



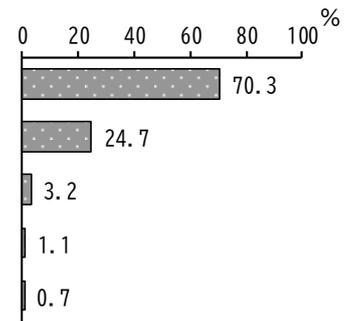
(4) 放課後や休日の過ごし方について

問11 あなたは放課後や休日の時間が楽しいですか。(あてはまるもの1つに○)

「楽しい」の割合が70.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が24.7%となっています。

回答者数 = 279

楽しい
どちらかといえば楽しい
どちらかといえば楽しくない
楽しくない
無回答

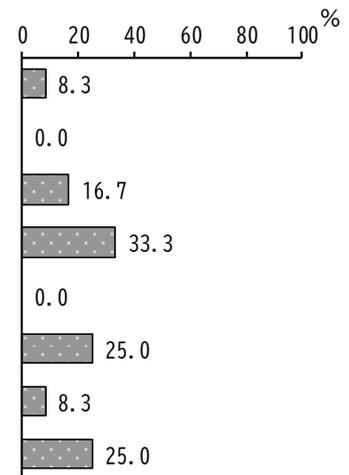


問12 前の問で「3. どちらかといえば楽しくない」、「4. 楽しくない」に○をした人に伺います。楽しくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「勉強したり塾に行かなくてはならないから」の割合が33.3%と最も高く、次いで「やることがないから」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 12

居場所がないから
一緒に過ごす友だちがいないから
やることがないから
勉強したり塾に行かなくてはならないから
家事をしなければならぬから
その他
特にな
無回答

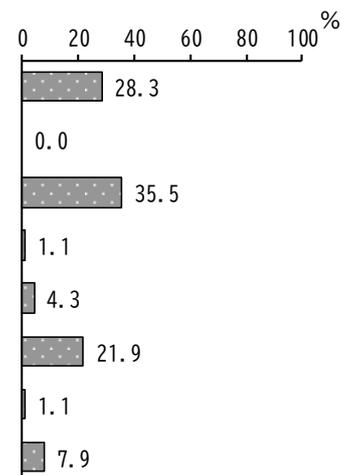


問13 あなたは放課後や休日に誰と過ごすことが一番多いですか。(あてはまるもの1つに○)

「学校の友だち」の割合が35.5%と最も高く、次いで「親やきょうだい」の割合が28.3%、「一人で過ごす」の割合が21.9%となっています。

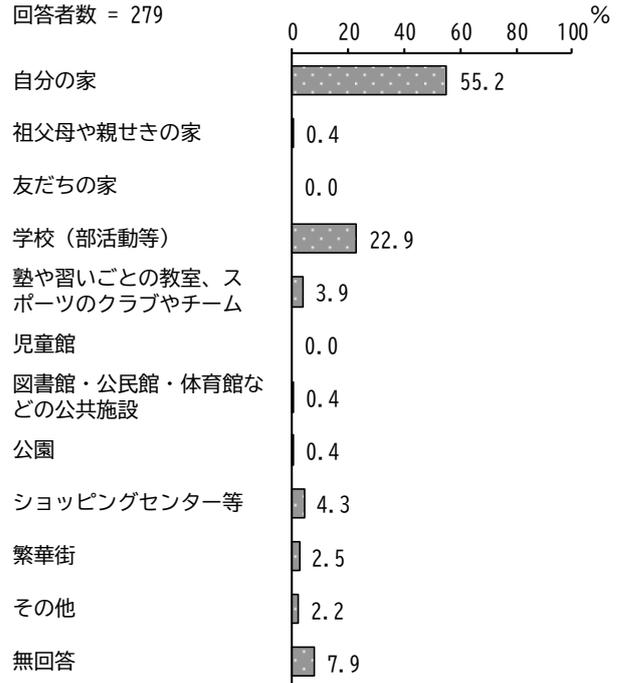
回答者数 = 279

親やきょうだい
祖父母や親せき
学校の友だち
アルバイト先や職場の人
学校以外の友だち
一人で過ごす
その他
無回答



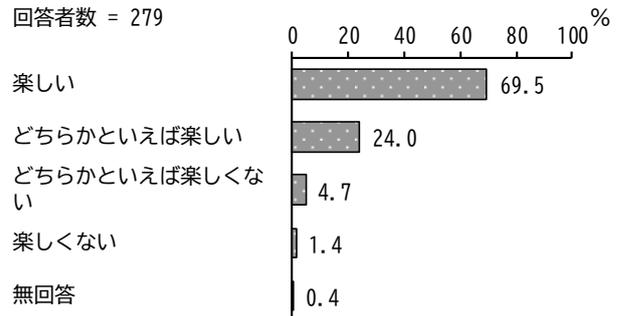
問 14 あなたは放課後や休日にどこで過ごすことが一番多いですか。

「自分の家」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「学校（部活動等）」の割合が 22.9%となっています。



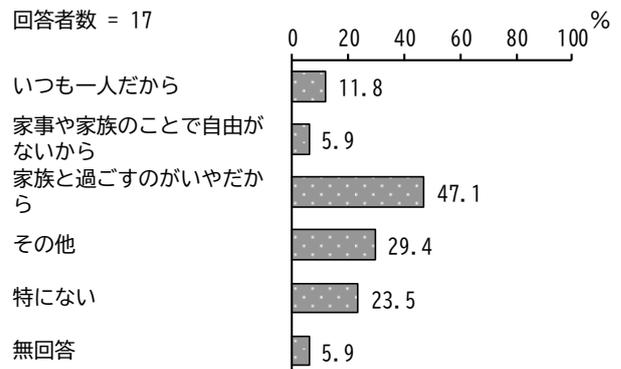
問 15 あなたは自宅にいるときの時間が楽しいですか。（あてはまるもの1つに○）

「楽しい」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が 24.0%となっています。



問 16 問 15 で「3. どちらかといえば楽しくない」、「4. 楽しくない」に○をした人に伺います。楽しくない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「家族と過ごすのがいやだから」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 23.5%、「いつも一人だから」の割合が 11.8%となっています。

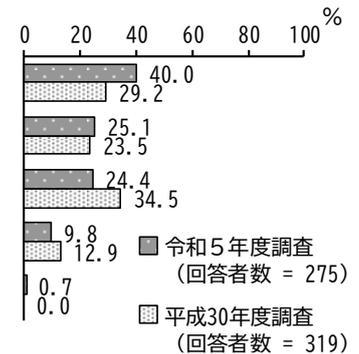


問 17 学生の方に伺います。一週間のうち、部活や塾その他の用事がなく自由に使える日は何日ですか。(あてはまるもの1つに○)

「週3日以上」の割合が40.0%と最も高く、次いで「週2日」の割合が25.1%、「週1日」の割合が24.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「週3日以上」の割合が増加しています。一方、「週1日」の割合が減少しています。

週3日以上
週2日
週1日
自由になる日は無い
無回答

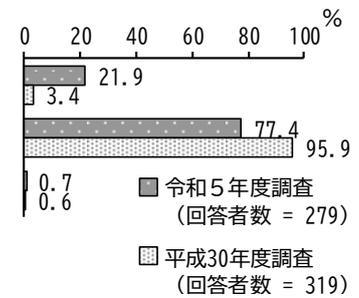


問 18 今、アルバイトをしていますか。(あてはまるもの1つに○)

「している」の割合が21.9%、「していない」の割合が77.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「している」の割合が増加しています。一方、「していない」の割合が減少しています。

している
していない
無回答

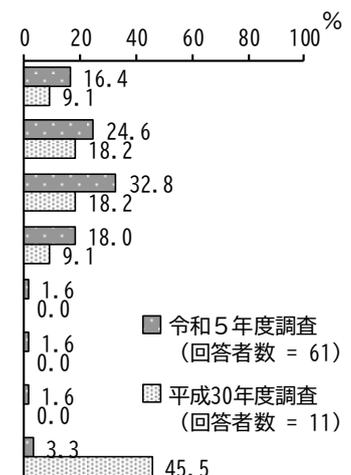


アルバイトの頻度

「週3日程度」の割合が32.8%と最も高く、次いで「週2日程度」の割合が24.6%、「週4日程度」の割合が18.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「週1日程度」「週2日程度」「週3日程度」「週4日程度」の割合が増加しています。

週1日程度
週2日程度
週3日程度
週4日程度
週5日程度
週6日程度
週7日程度
無回答

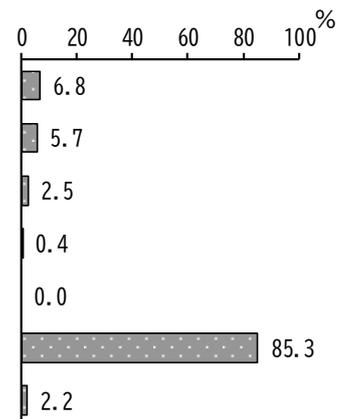


問19 普段、地域の活動で参加していることはありますか
(あてはまるものすべてに○)

「特に活動しているものはない」の割合が
85.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 279

学校外のクラブやサークル
ボランティア活動
子ども会や自治会の地域イベント
児童館の各種イベント
その他
特に活動しているものはない
無回答

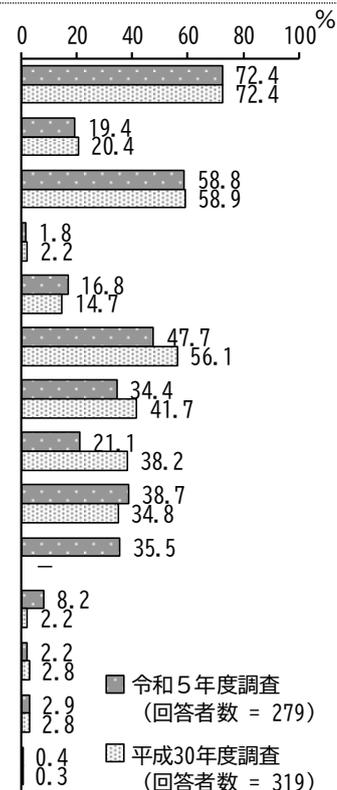


問20 あなたが何かに熱中したり夢中になれるのはどんなときですか。
(あてはまるものすべてに○)

「スポーツや趣味の活動をしているとき」の割合が72.4%と最も高く、次いで「友だちや仲間といるとき」の割合が58.8%、「ゲームをしているとき」の割合が47.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「仕事やアルバイトをしているとき」の割合が増加しています。一方、「ゲームをしているとき」「マンガを読んでいるとき」「本を読んでいるとき」の割合が減少しています。

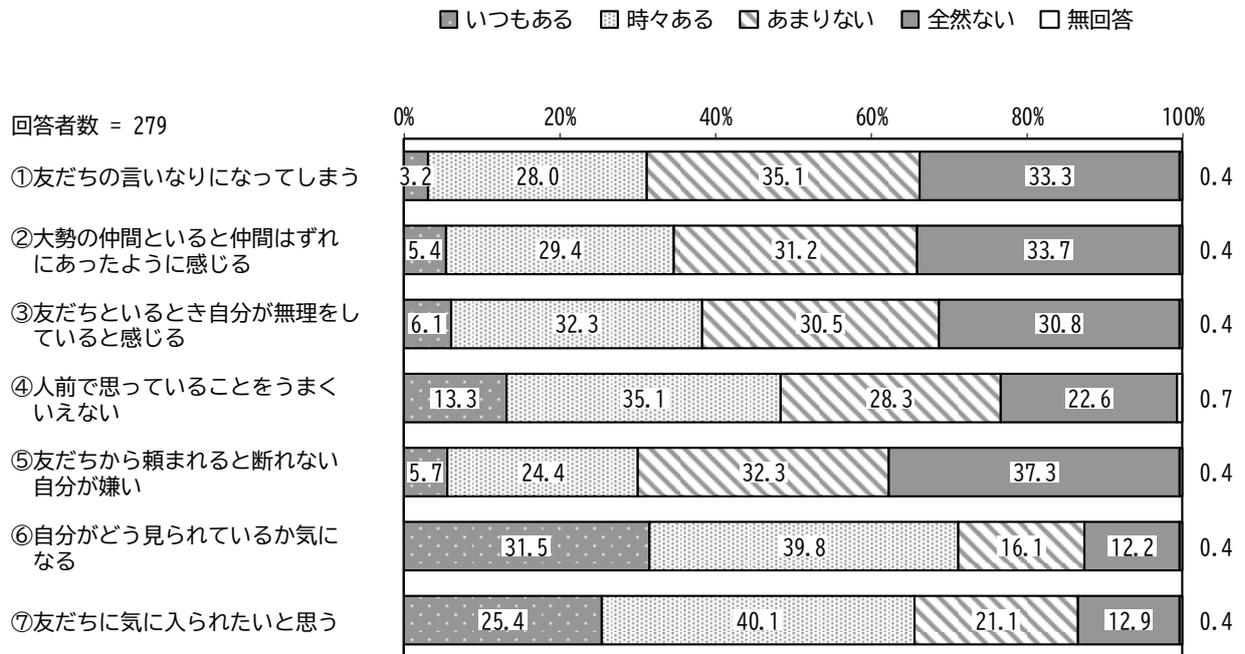
スポーツや趣味の活動をしているとき
勉強しているとき
友だちや仲間といるとき
ボランティア活動をしているとき
好意を持っている相手といるとき
ゲームをしているとき
マンガを読んでいるとき
本を読んでいるとき
インターネットをしているとき
SNSをしているとき
仕事やアルバイトをしているとき
熱中したり夢中になることはない
その他
無回答



※「SNSをしているとき」は今回の調査で新しく追加しました。

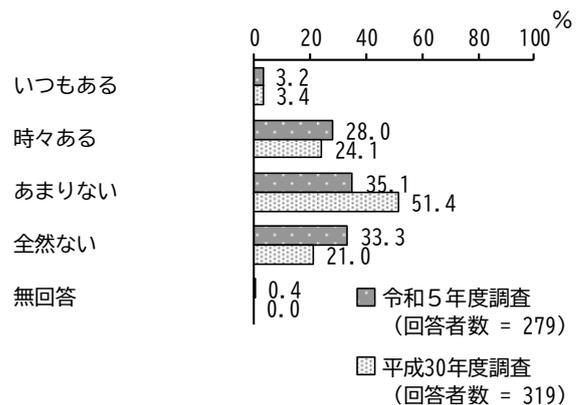
問 21 あなたが友だちといるとき、次のように感じることはありませんか。
 (①～⑦それぞれあてはまる番号に○)

『⑥自分がどう見られているか気になる』で「いつもある」の割合が高くなっています。一方、
 『⑤友だちから頼まれると断れない自分が嫌い』で「全然ない」の割合が高くなっています。



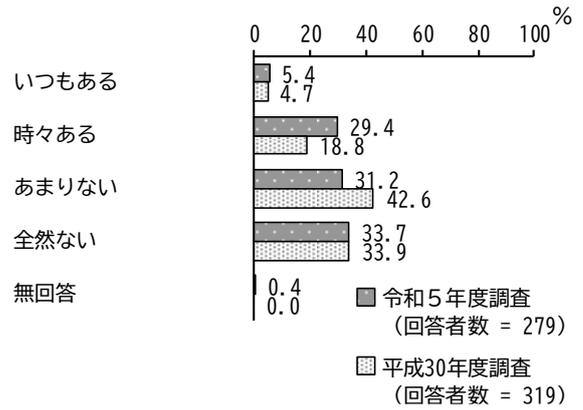
①友だちの言いなりになってしまう

平成 30 年度調査と比較すると、「全然ない」の割合が増加しています。一方、「あまりない」の割合が減少しています。



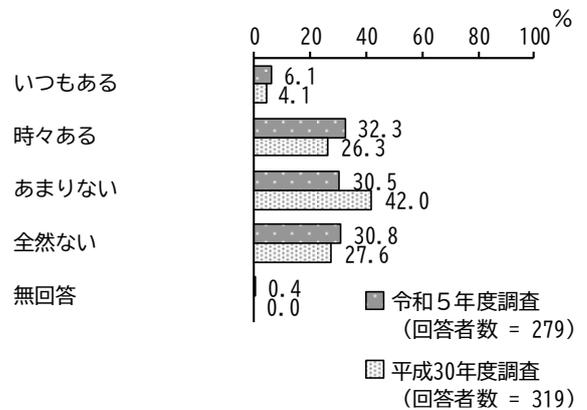
②大勢の仲間という仲間はずれに思ったように感じる

平成 30 年度調査と比較すると、「時々ある」の割合が増加しています。一方、「あまりない」の割合が減少しています。



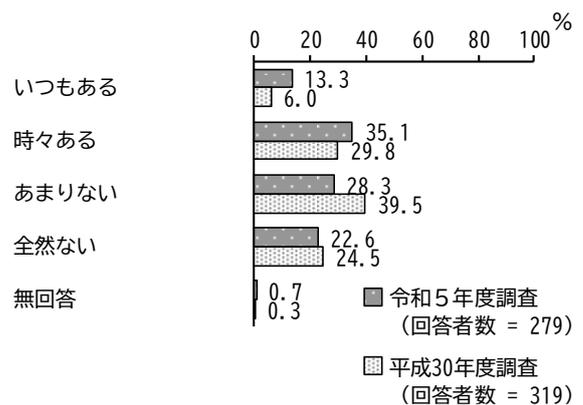
③友だちというとき自分が無理をしていると感じる

平成 30 年度調査と比較すると、「時々ある」の割合が増加しています。一方、「あまりない」の割合が減少しています。



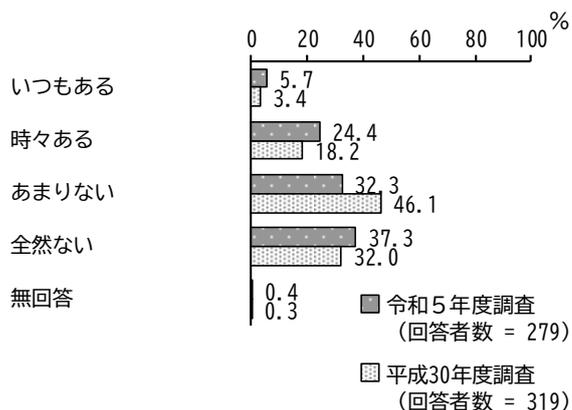
④人前で思っていることをうまくいえない

平成 30 年度調査と比較すると、「いつもある」「時々ある」の割合が増加しています。一方、「あまりない」の割合が減少しています。



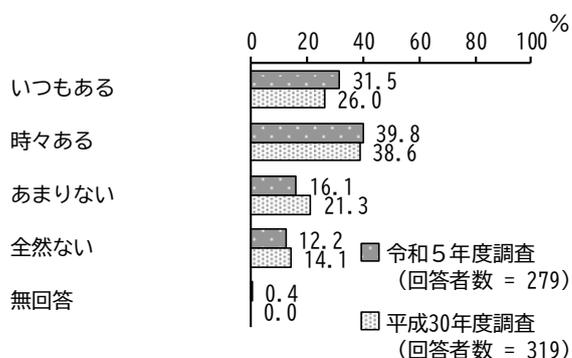
⑤ 友だちから頼まれると断れない自分が嫌い

平成 30 年度調査と比較すると、「時々ある」「全然ない」の割合が増加しています。一方、「あまりない」の割合が減少しています。



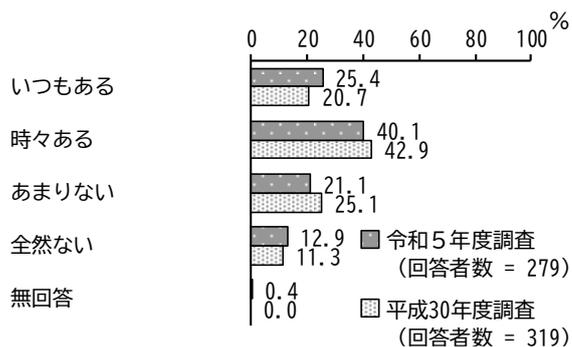
⑥ 自分がどう見られているか気になる

平成 30 年度調査と比較すると、「いつもある」の割合が増加しています。一方、「あまりない」の割合が減少しています。



⑦ 友だちに気に入られたいと思う

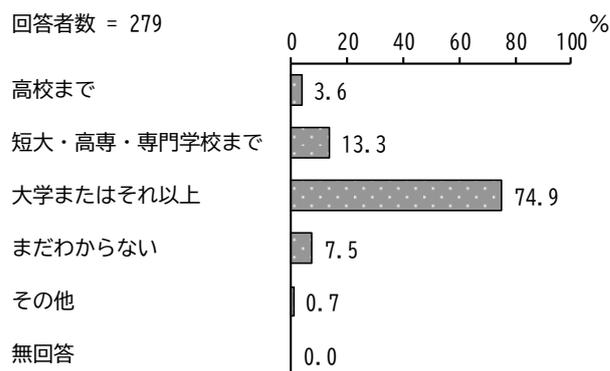
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(5) あなたの将来について

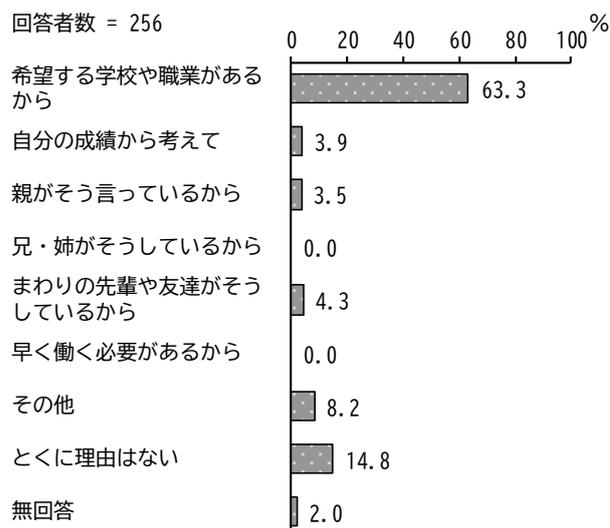
問 22 あなたは将来どの段階まで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

「大学またはそれ以上」の割合が74.9%と最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」の割合が13.3%となっています。



問 23 前の問で「1. 高校まで」～「3. 大学またはそれ以上」と答えた人に伺います。その理由を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

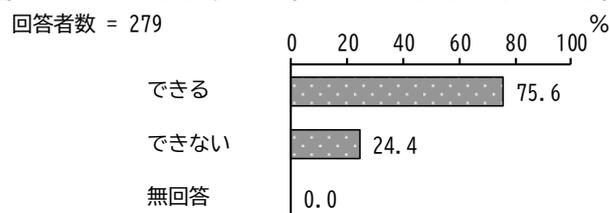
「希望する学校や職業があるから」の割合が63.3%と最も高く、次いで「とくに理由はない」の割合が14.8%となっています。



問 24 自分の将来像についてお聞きします。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

① 将来の自分についてイメージをぼんやりとでも思い描くことはできますか。(あてはまるもの1つに○)

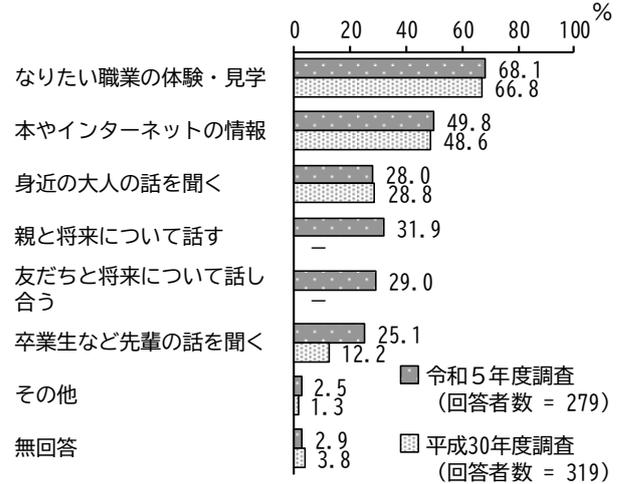
「できる」の割合が75.6%、「できない」の割合が24.4%となっています。



③将来像のイメージを具体的にするために役立つものはなんでしょうか。(あてはまるもの3つまで○)

「なりたい職業の体験・見学」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「本やインターネットの情報」の割合が 49.8%、「親と将来について話す」の割合が 31.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「卒業生など先輩の話を聞く」の割合が増加しています。

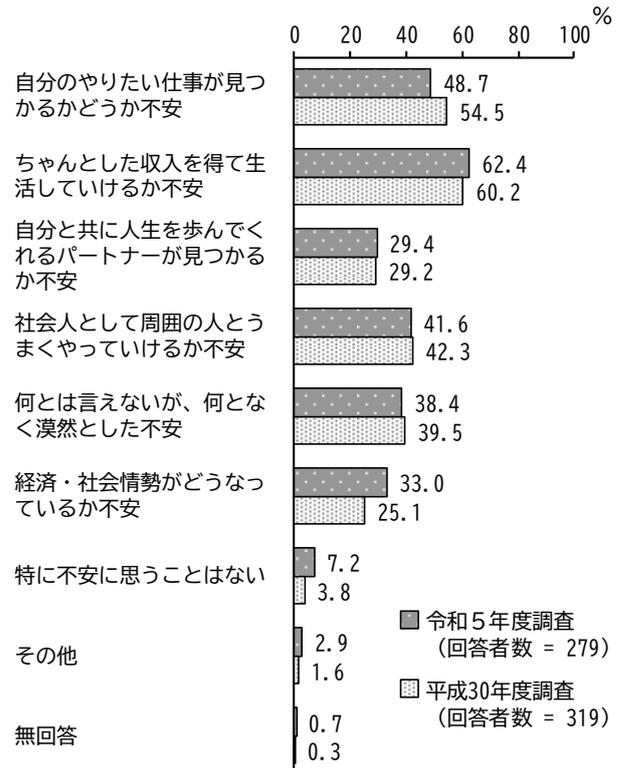


※「親と将来について話す」「友だちと将来について話し合う」は今回の調査で新しく追加しました。

問 25 将来のことを考えたときに、どのようなことを不安に思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「ちゃんとした収入を得て生活していけるか不安」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「自分のやりたい仕事が見つかるかどうか不安」の割合が 48.7%、「社会人として周囲の人とうまくやっ

ていけるか不安」の割合が 41.6%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「経済・社会情勢がどうなっているか不安」の割合が増加しています。一方、「自分のやりたい仕事が見つかるかどうか不安」の割合が減少しています。



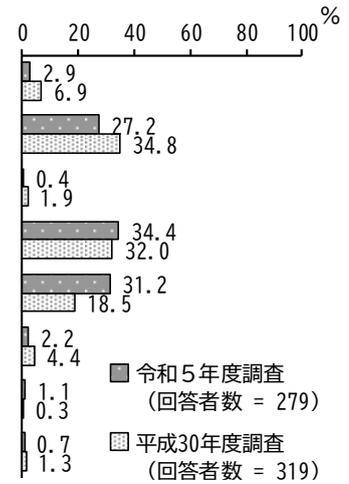
問 26 家族のあり方についてお聞きします。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

①結婚についてどう思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「どちらでもいいと思う」の割合が34.4%と最も高く、次いで「無理にする必要はない」の割合が31.2%、「した方がいいと思う」の割合が27.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「無理にする必要はない」の割合が増加しています。一方、「した方がいいと思う」の割合が減少しています。

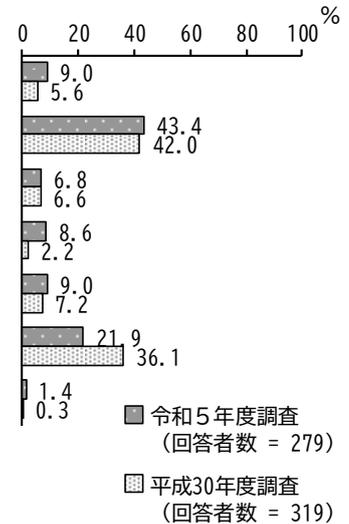
- するのは当たり前だと思う
- した方がいいと思う
- しない方がいいと思う
- どちらでもいいと思う
- 無理にする必要はない
- わからない
- その他
- 無回答



②将来子どもを持つとしたら何人子どもが欲しいですか。(あてはまるもの1つに○)

「2人」の割合が43.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が21.9%となっています。平成30年度調査と比較すると、「あまり欲しくない」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。

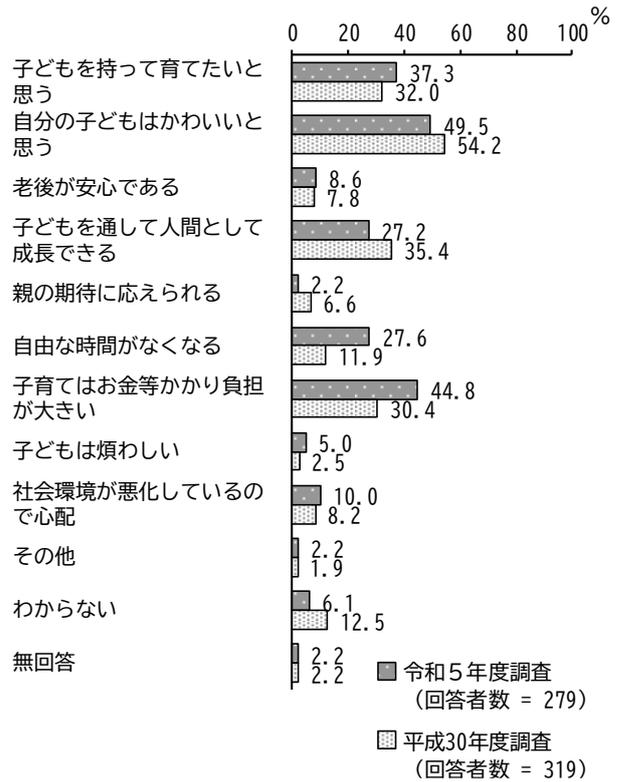
- 1人
- 2人
- 3人以上
- あまり欲しくない
- 欲しいとは思わない
- わからない
- 無回答



③子どもを持つことのイメージについて、あなたの考えをお答えください。(最も近いもの3つまで○)

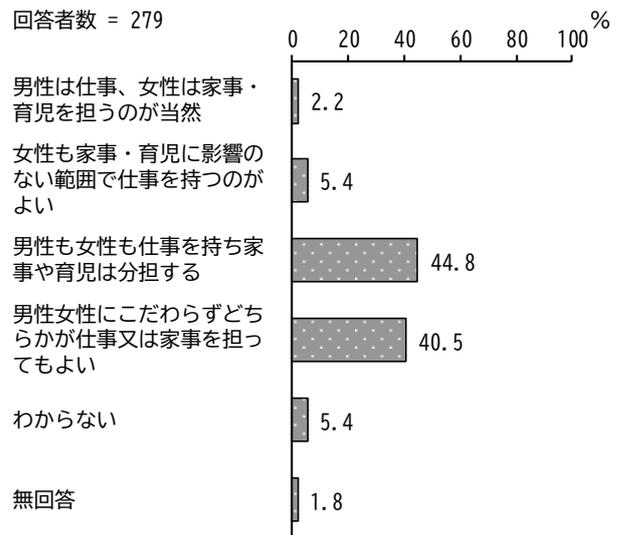
「自分の子どもはかわいいと思う」の割合が49.5%と最も高く、次いで「子育てはお金等かかり負担が大きい」の割合が44.8%、「子どもを持って育てたいと思う」の割合が37.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子どもを持って育てたいと思う」「自由な時間がなくなる」「子育てはお金等かかり負担が大きい」の割合が増加しています。一方、「子どもを通して人間として成長できる」「わからない」の割合が減少しています。



④家事や育児の理想のイメージに近いものはどれですか。(あてはまるもの1つに○)

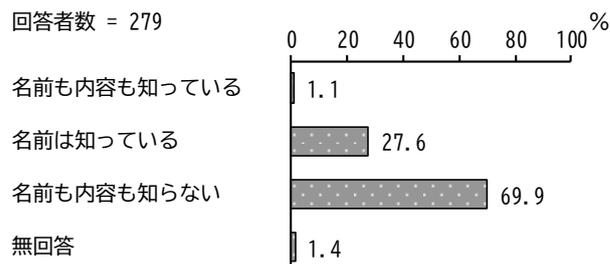
「男性も女性も仕事を持ち家事や育児は分担する」の割合が44.8%と最も高く、次いで「男性女性にこだわらずどちらかが仕事又は家事を担ってもよい」の割合が40.5%となっています。



(6) 子どもの権利について

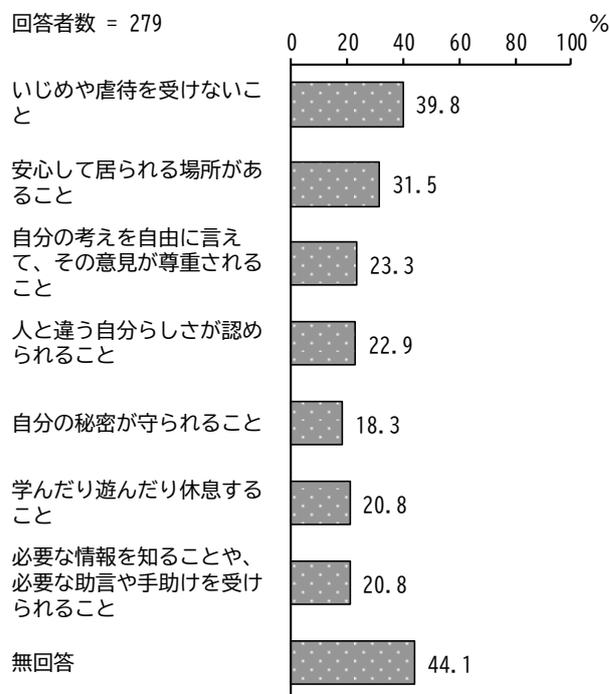
問 27 「日野市子ども条例」を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「名前も内容も知らない」の割合が69.9%と最も高く、次いで「名前は知っている」の割合が27.6%となっています。



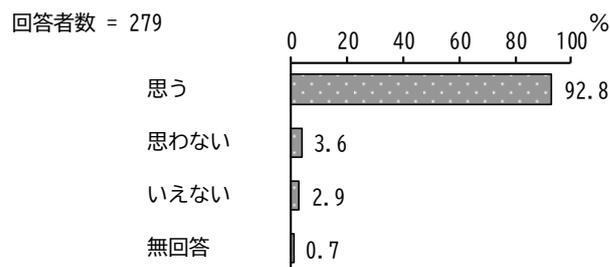
問 28 あなたは、「日野市子ども条例」に定められた「子どもの権利」を知っていますか(あてはまるものすべてに○)

「いじめや虐待を受けないこと」の割合が39.8%と最も高く、次いで「安心して居られる場所があること」の割合が31.5%、「自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること」の割合が23.3%となっています。



問 29 あなたは、安心して暮らしていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「思う」の割合が92.8%と最も高くなっています。

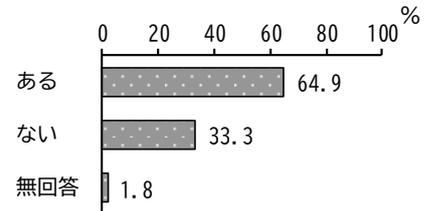


(7) 社会環境について

問 30 乳幼児との接し方についてお聞きします。
(それぞれにあてはまるものを選んで○)

①乳幼児との接し方で、戸惑ってしまうことはありますか。

「ある」の割合が 64.9%、「ない」の割合が 33.3%となっています。
回答者数 = 279

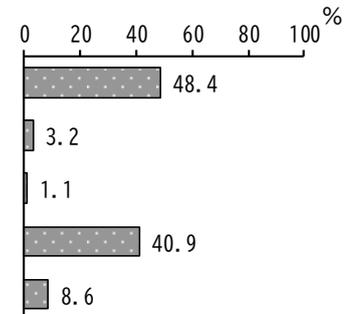


②問 30①で「2. ない」に○をした方に伺います。

その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「兄弟や親せきなど身近なところに乳幼児がいるから」の割合が 48.4%と最も高くなっています。
回答者数 = 93

兄弟や親せきなど身近なところに乳幼児がいるから
児童館などで関わることもあるから
ボランティアや課外授業などで関わることもあるから
その他
無回答

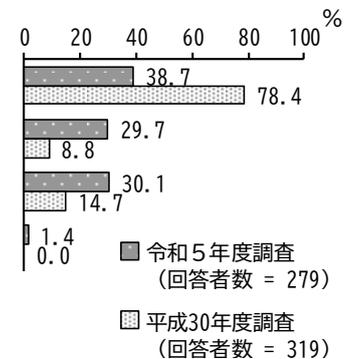


問 31 放課後、休日、夏休みなどにボランティアをしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「ある」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「今までもないしこれからもするつもりはない」の割合が 30.1%、「今まではないがこれからしてみたい」の割合が 29.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「今まではないがこれからしてみたい」「今までもないしこれからもするつもりはない」の割合が増加しています。一方、「ある」の割合が減少しています。

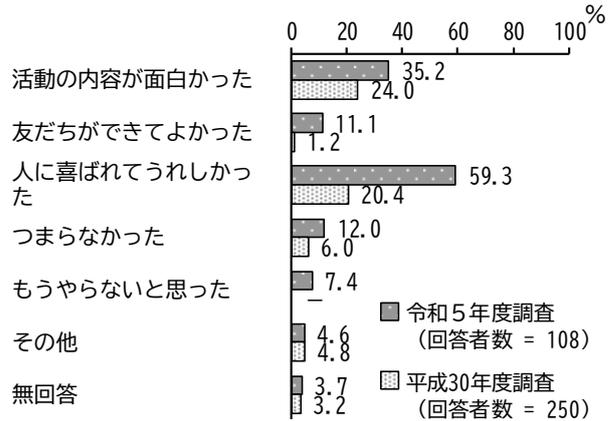
ある
今まではないがこれからしてみたい
今までもないしこれからもするつもりはない
無回答



問 32 問 31 で「1. ある」に○をした方に伺います。
ボランティアをしてみてどう感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

「人に喜ばれてうれしかった」の割合が 59.3%
と最も高く、次いで「活動の内容が面白かった」
の割合が 35.2%、「つまらなかった」の割合が
12.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「活動の内容が
面白かった」「友だちができてよかった」「人に喜
ばれてうれしかった」「つまらなかった」の割合
が増加しています。

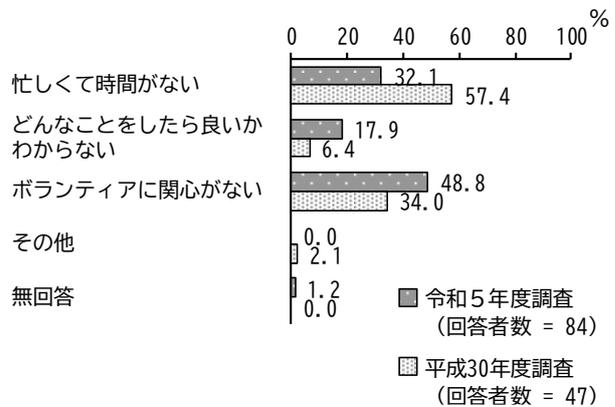


※「もうやらないと思った」は今回の調査で新しく追加しました。

問 33 問 31 で「3. 今までもないしこれからもするつもりはない」に○をした方に伺
います。それはどうしてですか。(あてはまるもの1つに○)

「ボランティアに関心がない」の割合が 48.8%
と最も高く、次いで「忙しくて時間がない」の割
合が 32.1%、「どんなことをしたら良いかわから
ない」の割合が 17.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「どんなことを
したら良いかわからない」「ボランティアに関心
がない」の割合が増加しています。一方、「忙しく
て時間がない」の割合が減少しています。



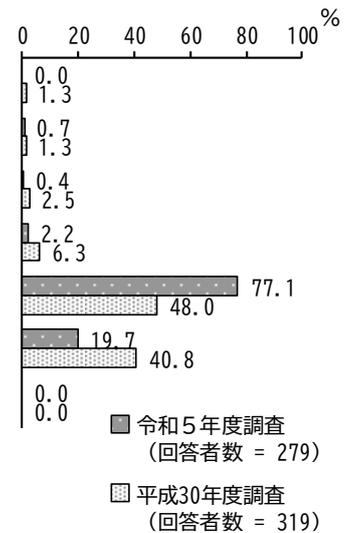
問 34 児童館の利用についてお聞きします。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

①現在、どの程度児童館を利用していますか。(あてはまるもの1つに○)

「以前は利用したが今は利用していない」の割合が 77.1%と最も高く、次いで「一度も利用したことがない」の割合が 19.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「以前は利用したが今は利用していない」の割合が増加しています。一方、「一度も利用したことがない」の割合が減少しています。

週に2回以上
週に1回くらい
月に1～2回
年に数回
以前は利用したが今は利用していない
一度も利用したことがない
無回答

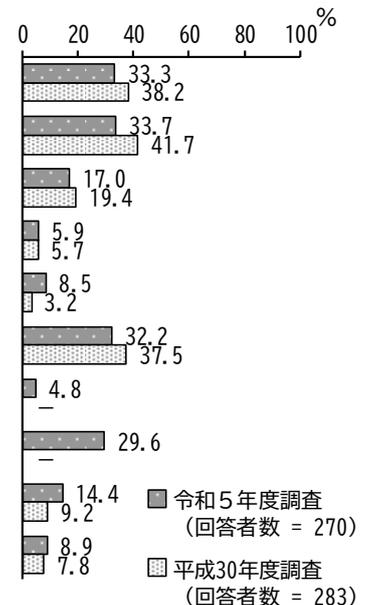


②上記①で「5. 以前は利用したが今は利用していない」「6. 一度も利用したことがない」に○をした方に伺います。どんなことができれば児童館を利用したいですか。(あてはまるものすべてに○)

「スポーツや音楽など趣味の活動をする事」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「友だちとおしゃべりなどしてくつろぐこと」の割合が 33.3%、「宿題や勉強ができること」の割合が 32.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「いろいろな年齢の子どもと遊ぶこと」の割合が増加しています。一方、「スポーツや音楽など趣味の活動をする事」「宿題や勉強ができること」の割合が減少しています。

友だちとおしゃべりなどしてくつろぐこと
スポーツや音楽など趣味の活動をする事
マンガや本を読むこと
工作や料理をすること
いろいろな年齢の子どもと遊ぶこと
宿題や勉強ができること
自分たちで企画運営ができること
インターネット環境があること
その他
無回答

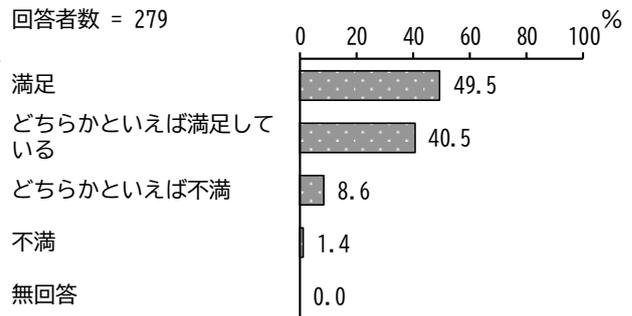


※「自分たちで企画運営ができること」「インターネット環境があること」は今回の調査で新しく追加しました。

(8) 最後に

問 35 今の生活についてどう思いますか。(あてはまるもの1つに○)

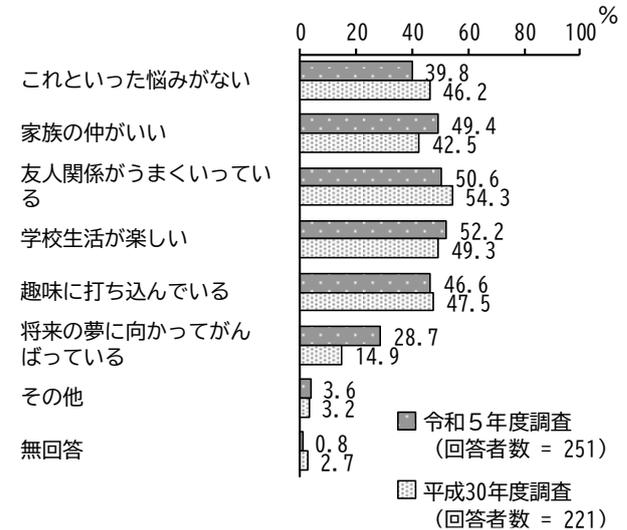
「満足」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」の割合が 40.5%となっています。



問 36 問 35 で「1. 満足」か「2. どちらかといえば満足している」を選んだ方に伺います。そう思う理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「学校生活が楽しい」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「友人関係がうまくいっている」の割合が 50.6%、「家族の仲がいい」の割合が 49.4%となっています。

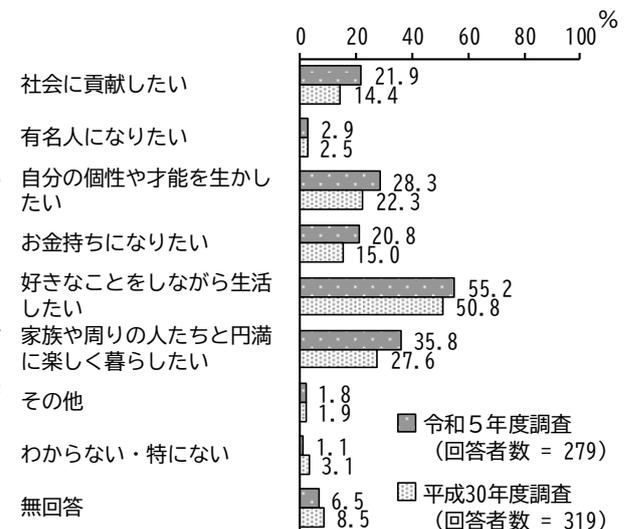
平成 30 年度調査と比較すると、「家族の仲がいい」「将来の夢に向かってがんばっている」の割合が増加しています。一方、「これといった悩みがない」の割合が減少しています。



問 37 あなたは、将来どのような大人になりたいですか。(最も近いもの2つまで○)

「好きなことをしながら生活したい」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「家族や周りの人たちと円満に楽しく暮らしたい」の割合が 35.8%、「自分の個性や才能を生かしたい」の割合が 28.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「社会に貢献したい」「自分の個性や才能を生かしたい」「お金持ちになりたい」「家族や周りの人たちと円満に楽しく暮らしたい」の割合が増加しています。



6 18歳から39歳までの若者

(1) あなたと家族について

問1 あなたの年齢は何歳ですか。(あてはまるもの1つに○)

「35～40歳未満」の割合が31.0%と最も高く、次いで「30～35歳未満」の割合が26.6%、「25～30歳未満」の割合が24.0%となっています。

回答者数 = 271

18～20歳未満

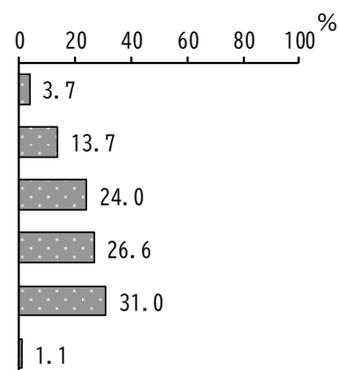
20～25歳未満

25～30歳未満

30～35歳未満

35～40歳未満

無回答



問2 あなたの職業は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

「常勤の勤め人」の割合が59.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「常勤の勤め人」の割合が増加しています。一方、「学生」の割合が減少しています。

学生

常勤の勤め人

パート・アルバイト

契約社員・派遣社員

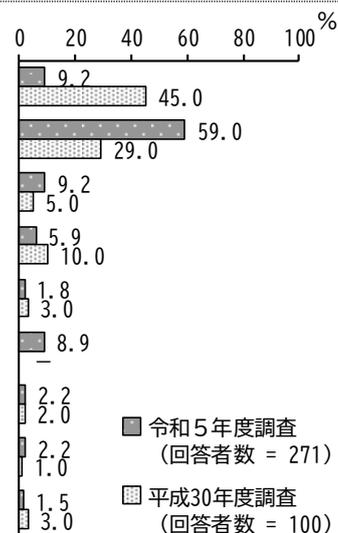
自営業

専業主婦・主夫

無職

その他

無回答



※「専業主婦・主夫」のは今回の調査で新しく追加しました。

問3 あなたの家族構成はどれに該当しますか。(あてはまるもの1つに○)

「単身世帯」の割合が57.9%と最も高く、次いで「二世帯世帯」の割合が31.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「単身世帯」の割合が増加しています。一方、「二世帯世帯」の割合が減少しています。

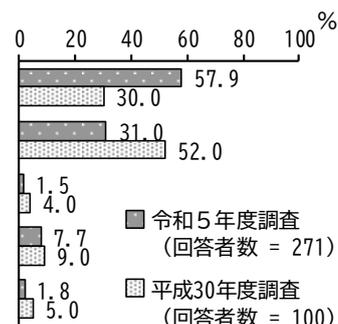
単身世帯

二世帯世帯

三世帯世帯

その他の世帯

無回答

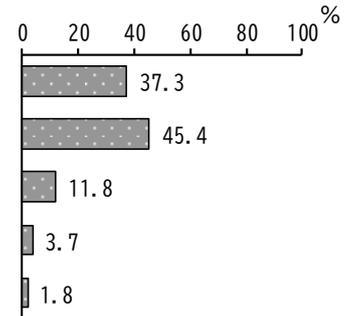


問4 あなたは自分の暮らしに満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

「どちらかといえば満足している」の割合が45.4%と最も高く、次いで「満足している」の割合が37.3%、「どちらかといえば満足していない」の割合が11.8%となっています。

回答者数 = 271

満足している
 どちらかといえば満足している
 どちらかといえば満足していない
 満足していない
 無回答

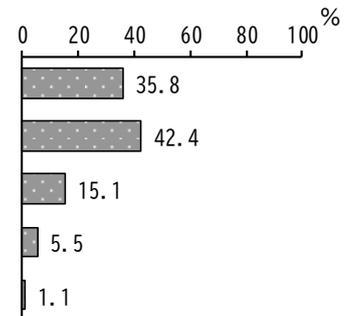


問5 あなたは、自分の将来について希望をもっていますか。(あてはまるもの1つに○)

「どちらかといえば希望がある」の割合が42.4%と最も高く、次いで「希望がある」の割合が35.8%、「どちらかといえば希望がない」の割合が15.1%となっています。

回答者数 = 271

希望がある
 どちらかといえば希望がある
 どちらかといえば希望がない
 希望がない
 無回答

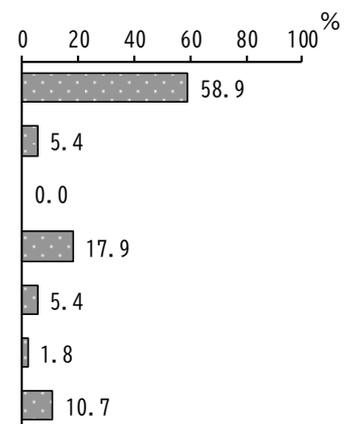


問6 問5で、「3. どちらかといえば希望がない」または「4. 希望がない」と回答した方にお伺いします。その理由に最も近いものを選んでください。(あてはまるもの1つに○)

「経済的な不安がある」の割合が58.9%と最も高く、次いで「社会情勢に不安がある」の割合が17.9%となっています。

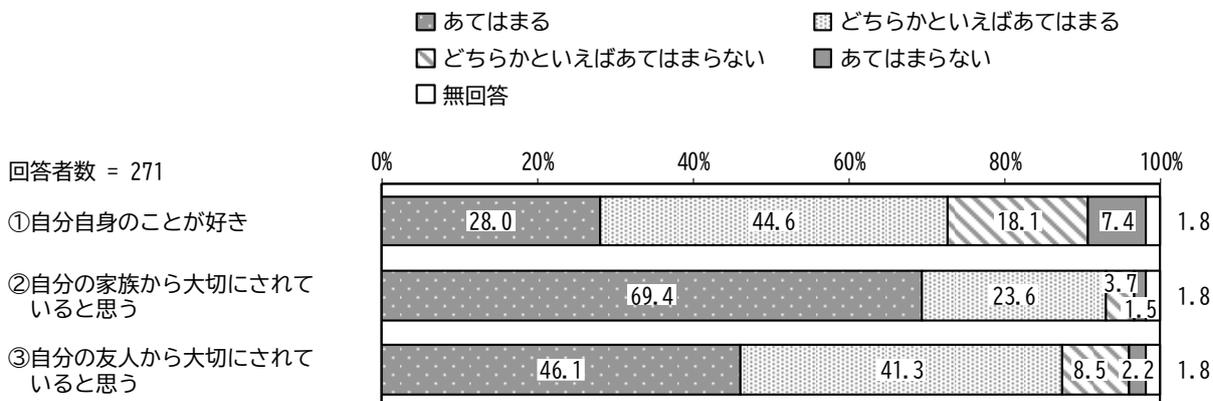
回答者数 = 56

経済的な不安がある
 健康面に不安がある
 家庭のことで不安がある
 社会情勢に不安がある
 特に理由はない
 その他
 無回答



問7 あなた自身について、次のことがどのくらい当てはまりますか。
(あてはまるものすべてに○)

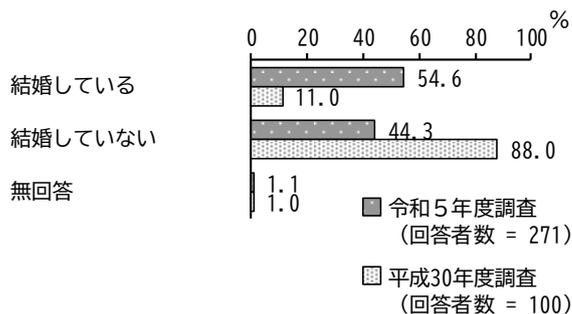
『②自分の家族から大切にされていると思う』で「あてはまる」の割合が高くなっています。一方、『①自分自身のことが好き』で「どちらかといえばあてはまらない」の割合が高くなっています。



問8 結婚をしていますか。(事実婚等を含む) (あてはまるもの1つに○)

「結婚している」の割合が54.6%、「結婚していない」の割合が44.3%となっています。

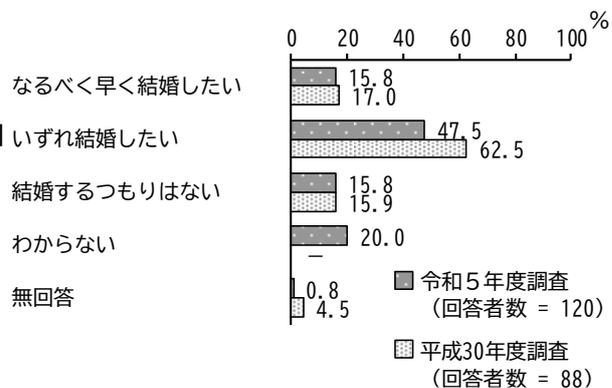
平成30年度調査と比較すると、「結婚している」の割合が増加しています。一方、「結婚していない」の割合が減少しています。



問9 問8で「2. 結婚していない」を選んだ方に伺います。結婚についてどのように考えていますか。(あてはまるもの1つに○)

「いずれ結婚したい」の割合が47.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が20.0%、「なるべく早く結婚したい」の割合が15.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「いずれ結婚したい」の割合が減少しています。



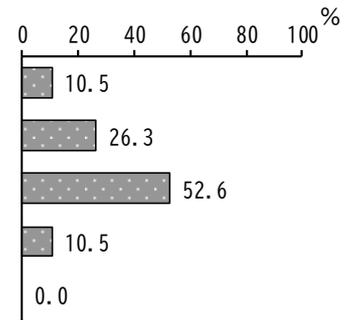
※「わからない」は今回の調査で新しく追加しました。

問10 問9で「3. 結婚するつもりはない」を選んだ方に伺います。
その理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

「一人であることが楽だから」の割合が52.6%と最も高く、次いで「経済的に結婚ができと思えないから」の割合が26.3%、「結婚したい相手がないから」の割合が10.5%となっています。

回答者数 = 19

結婚したい相手がないから
経済的に結婚ができと思えないから
一人であることが楽だから
その他
無回答

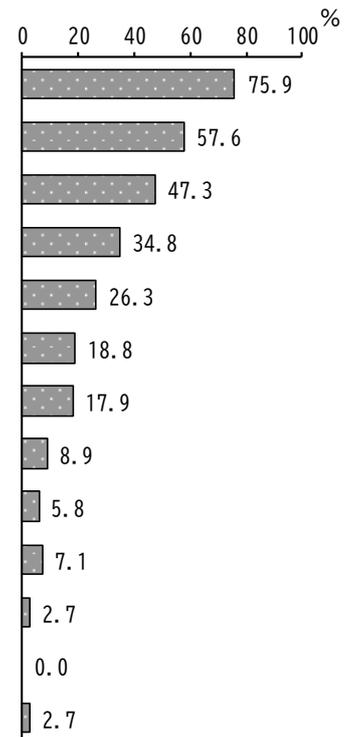


問11 現在結婚している方は結婚した理由、またいずれ結婚したい方は、そう思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「好きな人と一緒に生活をしたいから」の割合が75.9%と最も高く、次いで「子どもが欲しいから」の割合が57.6%、「精神的な安らぎの場を持ちたいから」の割合が47.3%となっています。

回答者数 = 224

好きな人と一緒に生活をしたいから
子どもが欲しいから
精神的な安らぎの場を持ちたいから
一人であるのは寂しいから
両親や親類を安心させたいから
経済的な安定を得たいから
老後が心配だから
社会的に認められたいから
仕事や家事の負担を減らしたいから
家から出たいから
その他
答えたくない
無回答

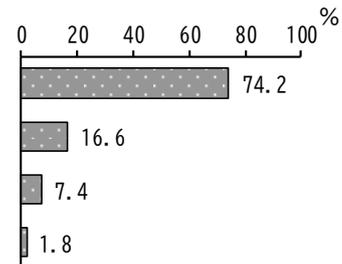


問12 子どもについてお伺いします。(あてはまるもの1つに○)

「子どもが欲しいと思う、既に子どもがいる」の割合が74.2%、「子どもを欲しいと思わない」の割合が16.6%となっています。

回答者数 = 271

子どもが欲しいと思う、既に子どもがいる
子どもを欲しいと思わない
その他
無回答

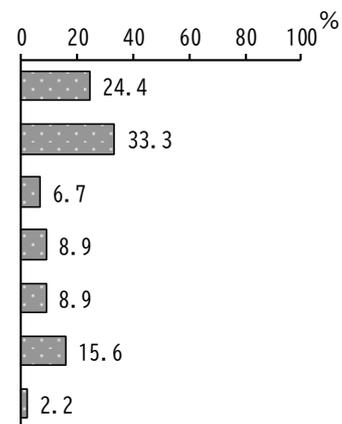


問13 問12で、「2. 子どもを欲しいと思わない」と回答した方に伺います。子どもを欲しいと思わない理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

「経済的に余裕が無いから」の割合が33.3%と最も高く、次いで「子どもを育てる自信が無いから」の割合が24.4%となっています。

回答者数 = 45

子どもを育てる自信が無いから
経済的に余裕が無いから
育てられる環境が整っていないから
子どもが好きでないから
結婚するつもりがないから
その他
無回答

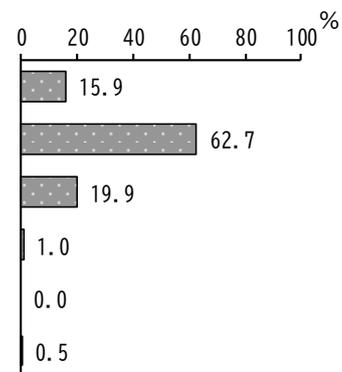


問14 問12で、「1. 子どもが欲しいと思う、既に子どもがいる」と回答した方に伺います。あなたが望む子どもの人数は何人ですか。(あてはまるもの1つに○)

「二人」の割合が62.7%と最も高く、次いで「三人」の割合が19.9%、「一人」の割合が15.9%となっています。

回答者数 = 201

一人
二人
三人
四人
五人以上
無回答



問15 問12で、「1. 子どもが欲しいと思う、既に子どもがいる」と回答した方に伺います。子どもを欲しいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから」の割合が75.1%と最も高く、次いで「子どもが好きだから」の割合が49.3%、「好きな人の子どもが欲しいから」の割合が47.3%となっています。

回答者数 = 201

子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから

子どもが好きだから

好きな人の子どもが欲しいから

結婚して子どもを育てることは自然なことだから

親や友人が子育てしている様子を見て、良いイメージがあるから

子どもは老後の支えになるから

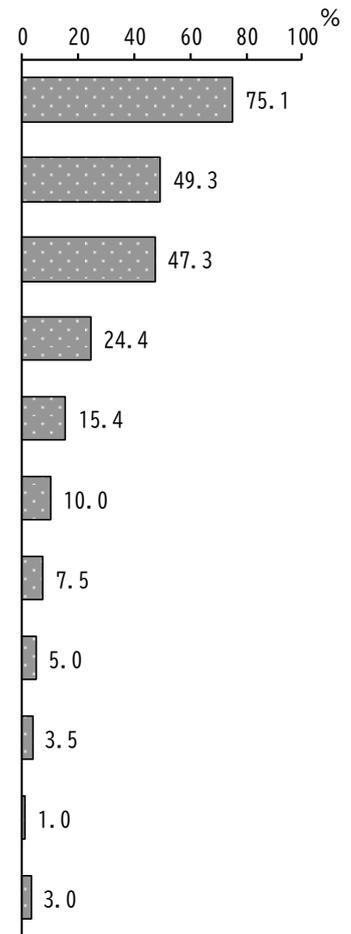
交際相手や親など周囲が望むから

子どもを育てることで周囲から認められるから

その他

答えたくない

無回答

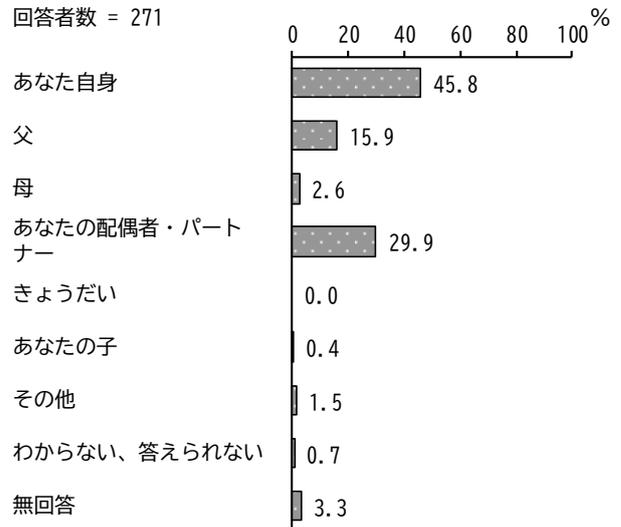


問 16 あなたの家の生計について、以下の（１）と（２）のそれぞれにお答えください。

（１）生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。（あてはまるもの１つに○）

「あなた自身」の割合が 45.8% と最も高く、次いで「あなたの配偶者・パートナー」の割合が 29.9%、「父」の割合が 15.9% となっています。

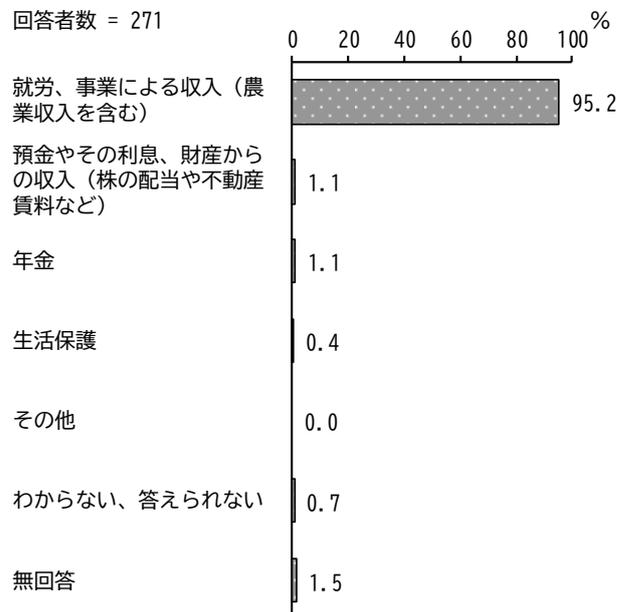
回答者数 = 271



（２）主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。（あてはまるもの１つに○）

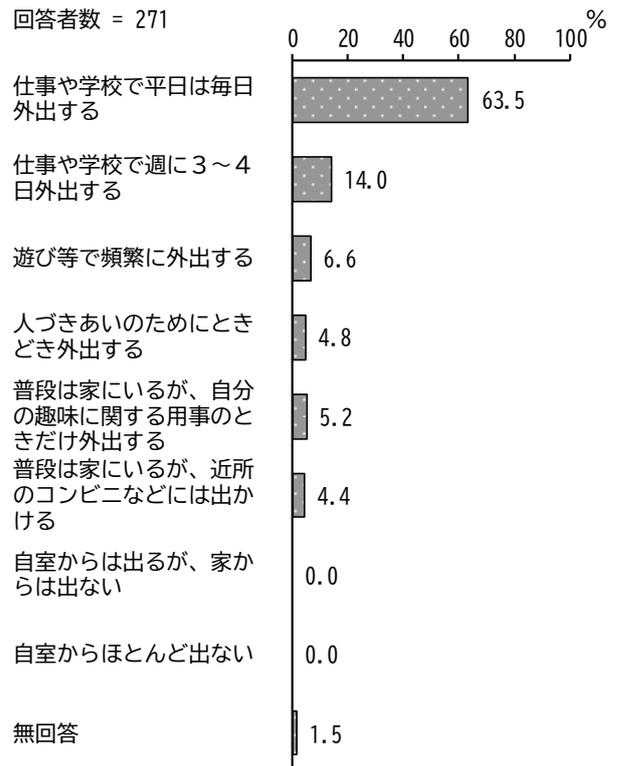
「就労、事業による収入（農業収入を含む）」の割合が 95.2% と最も高くなっています。

回答者数 = 271



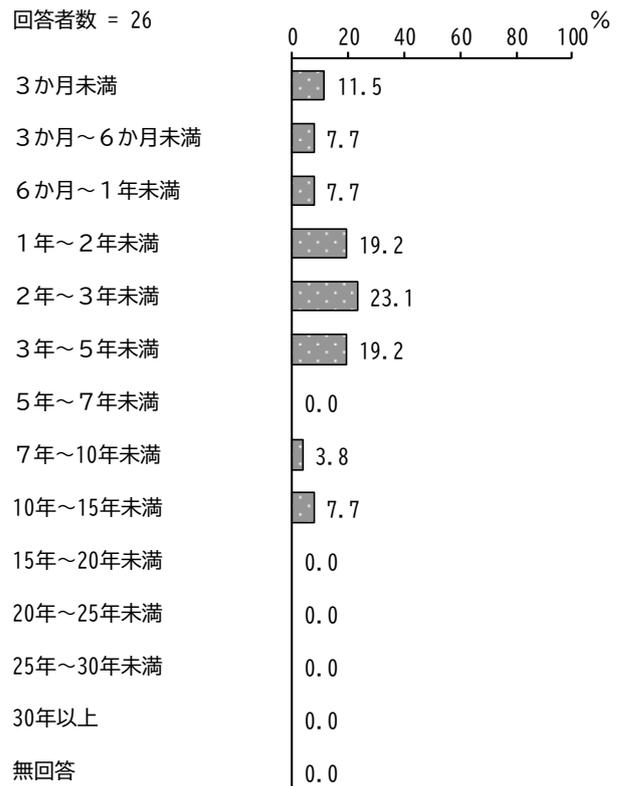
問17 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

「仕事や学校で平日は毎日外出する」の割合が63.5%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」の割合が14.0%となっています。



問18 問17で、「5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」から「8. 自室からほとんど出ない」までのいずれかを回答した方に伺います。あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。
(あてはまるもの1つに○)

「2年～3年未満」の割合が23.1%と最も高く、次いで「1年～2年未満」、「3年～5年未満」の割合が19.2%となっています。

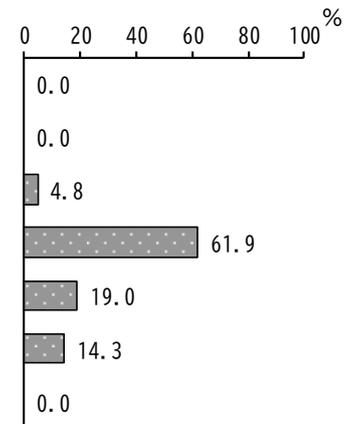


問19 問18で、「3. 6か月～1年未満」から「13. 30年以上」までのいずれかを回答した方に伺います。あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。(あてはまるもの1つに○)

「25歳～29歳」の割合が61.9%と最も高く、次いで「30歳～34歳」の割合が19.0%、「35歳～39歳」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 21

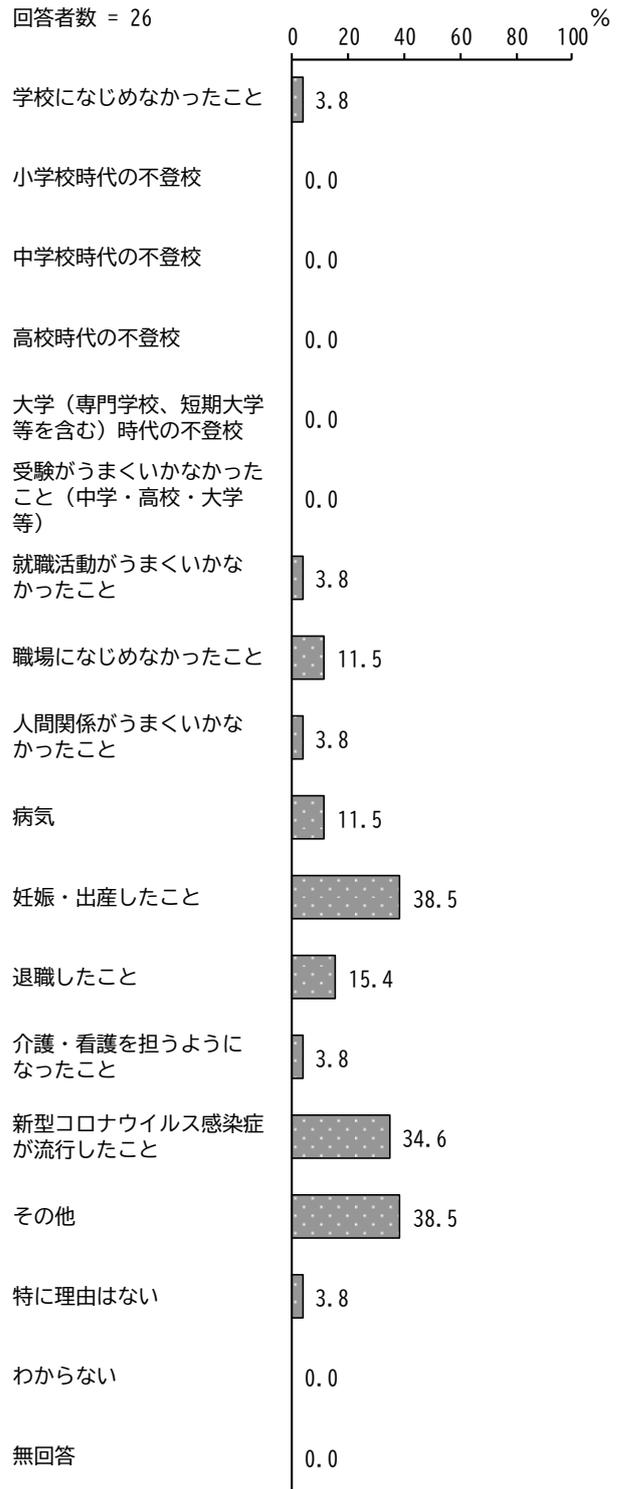
14歳以下
15歳～19歳
20歳～24歳
25歳～29歳
30歳～34歳
35歳～39歳
無回答



問 20 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「妊娠・出産したこと」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」の割合が 34.6%、「退職したこと」の割合が 15.4%となっています。

回答者数 = 26

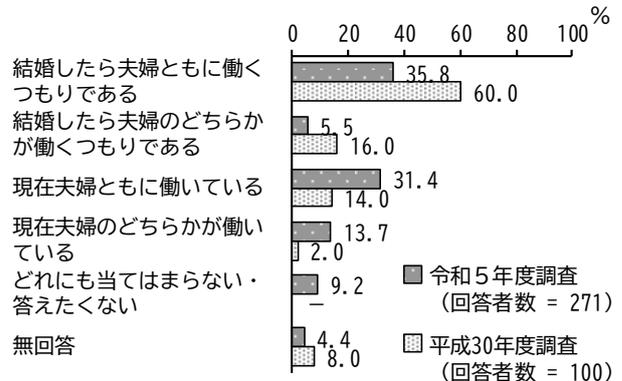


(2) 家庭と仕事について

問21 夫と妻の就労状況について、どう考えていますか？すでに結婚している方は現状をお答えください（あてはまるもの1つに○）

「結婚したら夫婦ともに働くつもりである」の割合が35.8%と最も高く、次いで「現在夫婦ともに働いている」の割合が31.4%、「結婚したら夫婦のどちらかが働いている」の割合が13.7%となっています。

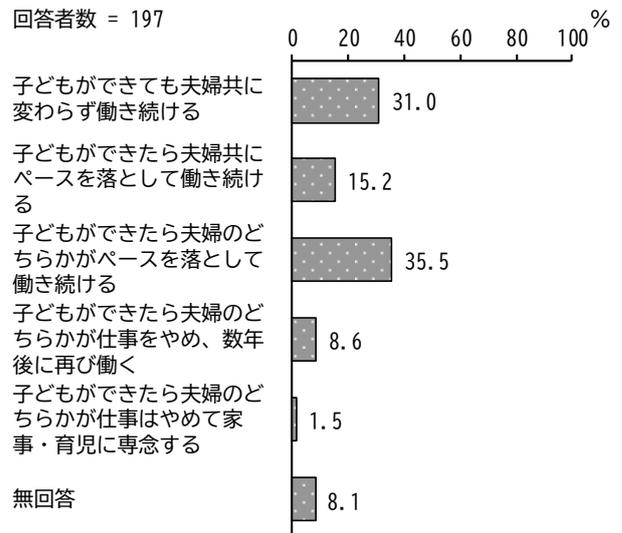
平成30年度調査と比較すると、「現在夫婦ともに働いている」「現在夫婦のどちらかが働いている」の割合が増加しています。一方、「結婚したら夫婦ともに働くつもりである」「結婚したら夫婦のどちらかが働いている」の割合が減少しています。



※「どれにも当てはまらない・答えたくない」は今回の調査で新しく追加しました。

問22 問21で、「1. 結婚したら夫婦ともに働くつもりである」または「3. 現在夫婦ともに働いている」と回答した方に伺います。夫婦共働きについてあなた自身はどのようにしたいとお考えですか。（あてはまるもの1つに○）

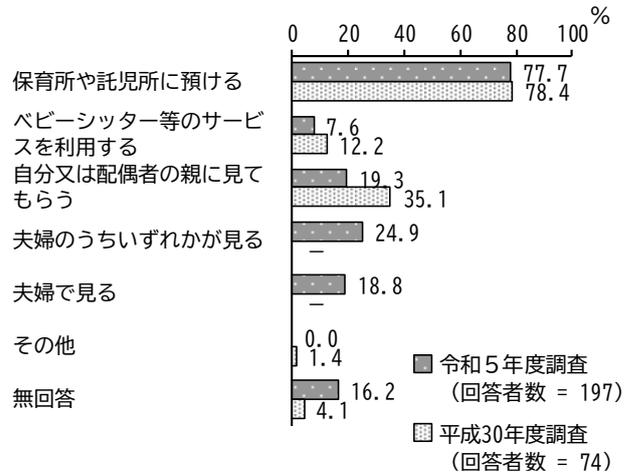
「子どもができれば夫婦のどちらかがペースを落として働き続ける」の割合が35.5%と最も高く、次いで「子どもができて夫婦共に変わらず働き続ける」の割合が31.0%、「子どもができれば夫婦共にペースを落として働き続ける」の割合が15.2%となっています。



問 23 問 21 で、「1. 結婚したら夫婦ともに働くつもりである」または「3. 現在夫婦ともに働いている」と回答した方に伺います。働いている間、子どもの世話はどうしたいとお考えですか。(あてはまるもの3つまで○)

「保育所や託児所に預ける」の割合が 77.7%と最も高く、次いで「夫婦のうちいずれかが見る」の割合が 24.9%、「自分又は配偶者の親に見てもらう」の割合が 19.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自分又は配偶者の親に見てもらう」の割合が減少しています。

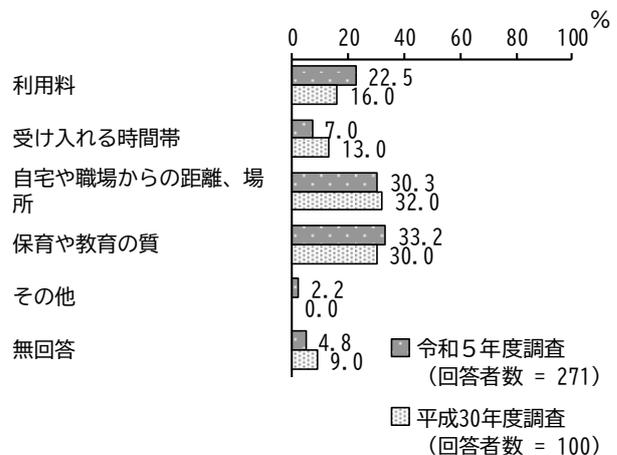


※「夫婦のうちいずれかが見る」「夫婦で見る」は今回の調査で新しく追加しました。

問 24 あなたが子育て支援サービスを受けるとしたら、何を最も重視しますか。(あてはまるもの1つに○)

「保育や教育の質」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「自宅や職場からの距離、場所」の割合が 30.3%、「利用料」の割合が 22.5%となっています。

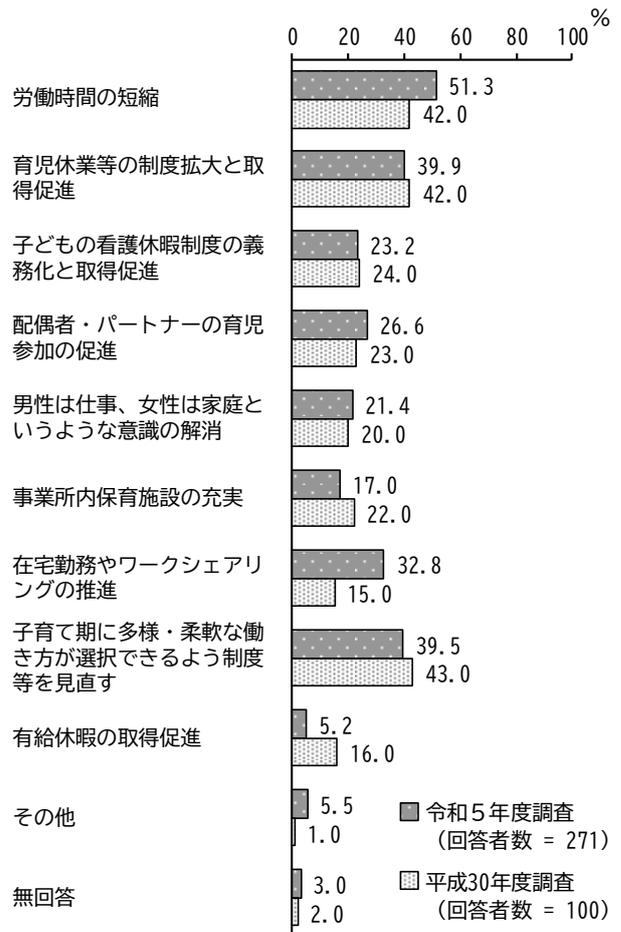
平成 30 年度調査と比較すると、「利用料」の割合が増加しています。一方、「受け入れる時間帯」の割合が減少しています。



問 25 仕事と子育ての両立をする上で必要な条件だと思われることは何ですか。
(あてはまるもの3つまで○)

「労働時間の短縮」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「育児休業等の制度拡大と取得促進」の割合が 39.9%、「子育て期に多様・柔軟な働き方が選択できるよう制度等を見直す」の割合が 39.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「労働時間の短縮」「在宅勤務やワークシェアリングの推進」の割合が増加しています。一方、「有給休暇の取得促進」の割合が減少しています。

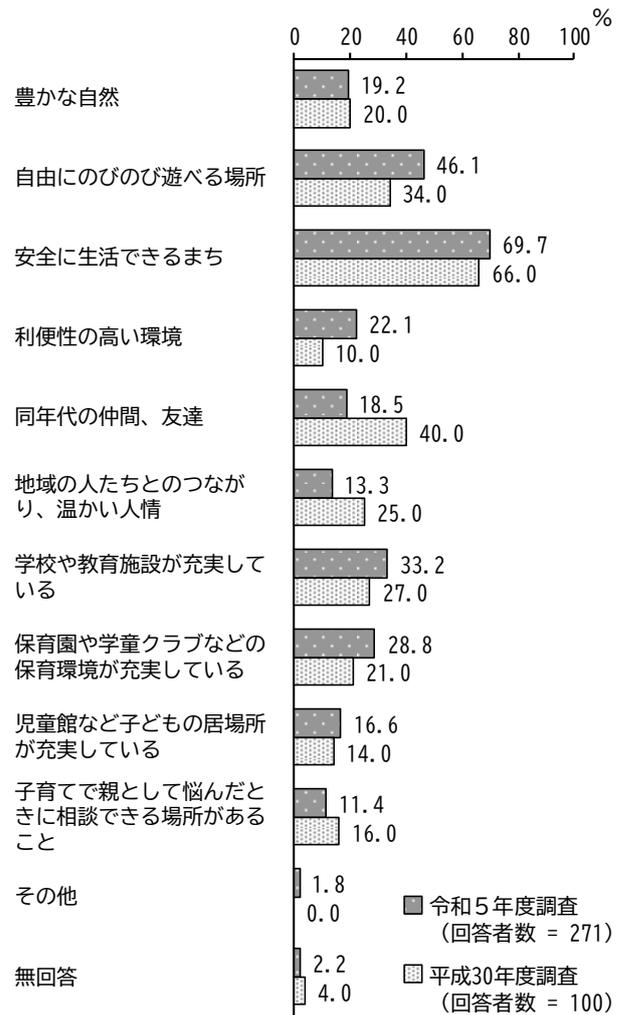


(3) 地域で子育て・子育てを支える

問26 子どもを育てる環境として何を重視しますか。(あてはまるもの3つまで○)

「安全に生活できるまち」の割合が69.7%と最も高く、次いで「自由にのびのび遊べる場所」の割合が46.1%、「学校や教育施設が充実している」の割合が33.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自由にのびのび遊べる場所」「利便性の高い環境」「学校や教育施設が充実している」「保育園や学童クラブなどの保育環境が充実している」の割合が増加しています。一方、「同年代の仲間、友達」「地域の人たちとのつながり、温かい人情」の割合が減少しています。

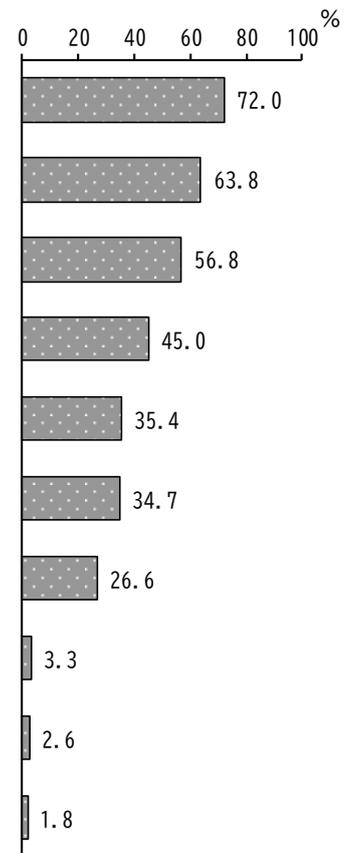


問 27 子ども・子育てにやさしい社会を作る上で、有効だと思う取組は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「子ども・子育てに関する社会の理解促進」の割合が72.0%と最も高く、次いで「公共・民間施設での育児サービスの充実（おむつ替えスペース等）」の割合が63.8%、「移動しやすい環境整備（公共交通機関での優先スペース等）」の割合が56.8%となっています。

回答者数 = 271

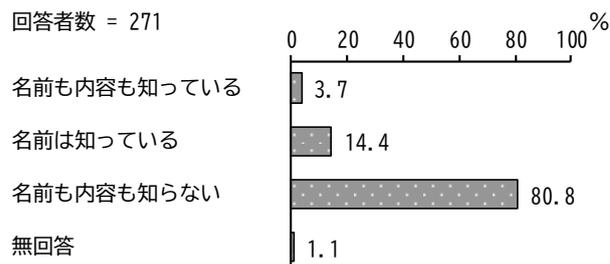
- 子ども・子育てに関する社会の理解促進
- 公共・民間施設での育児サービスの充実（おむつ替えスペース等）
- 移動しやすい環境整備（公共交通機関での優先スペース等）
- 行政による子育て支援の情報発信
- 子ども・子育てを応援する地域や企業の取組紹介
- 地域での子育て支援の促進（地域ボランティア等）
- 子育て中の父親・母親同士が交流できるきっかけづくり
- その他
- わからない
- 無回答



(4) 子どもの権利について

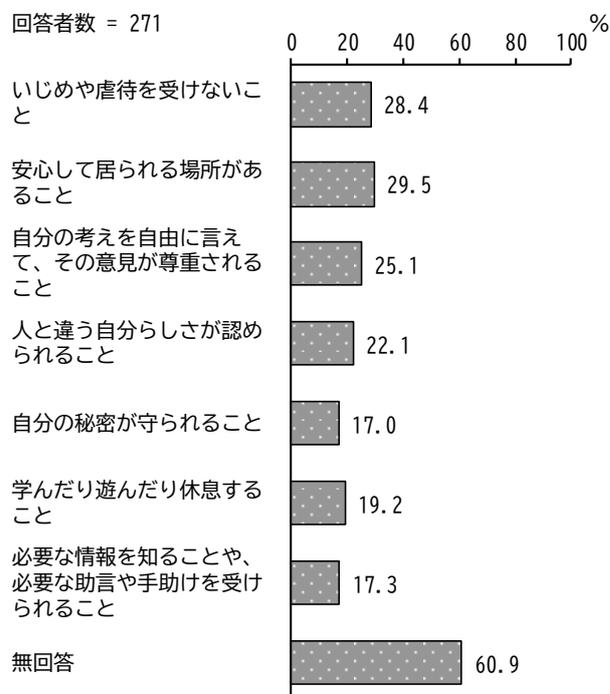
問 28 「日野市子ども条例」を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「名前も内容も知らない」の割合が80.8%と最も高く、次いで「名前は知っている」の割合が14.4%となっています。



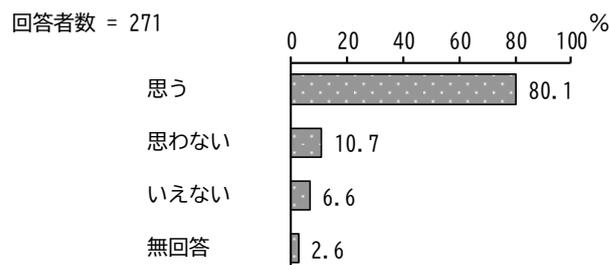
問 29 あなたは、「日野市子ども条例」に定められた「子どもの権利」を知っていますか(あてはまるものすべてに○)

「安心して居られる場所があること」の割合が29.5%と最も高く、次いで「いじめや虐待を受けないこと」の割合が28.4%、「自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること」の割合が25.1%となっています。



問 30 あなたは、安心して暮らしていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「思う」の割合が80.1%と最も高く、次いで「思わない」の割合が10.7%となっています。



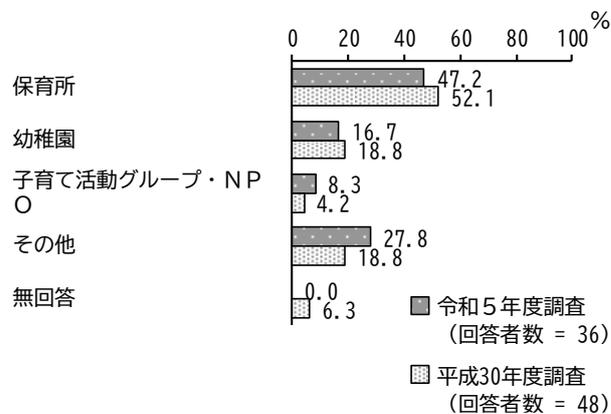
7 子育て関連事業者・団体

(1) 施設・グループの概要について

問1 貴施設・貴グループの活動内容の種類についてお答えください。

施設の種類

「保育所」の割合が47.2%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が16.7%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

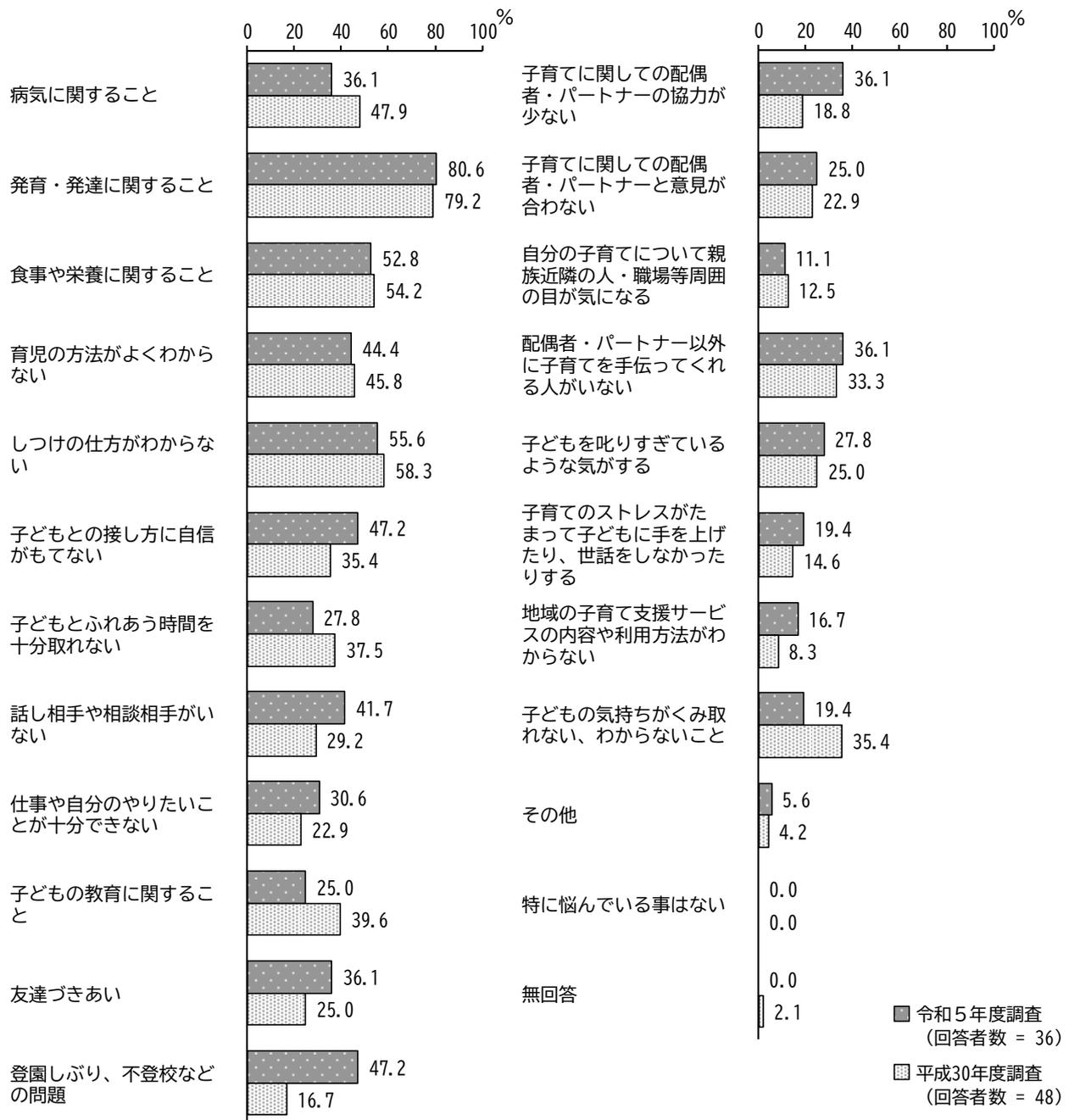


(2) 家庭や地域での子育ての実態について

問2 日々子どもやその親たちと接する中で、親が子育てに関してどのような悩みや問題を抱えていると感じますか。(あてはまるものすべてに○)

「発育・発達に関すること」の割合が80.6%と最も高く、次いで「しつけの仕方がわからない」の割合が55.6%、「食事や栄養に関すること」の割合が52.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子どもとの接し方に自信がもてない」「話し相手や相談相手がない」「仕事や自分のやりたいことが十分できない」「友達づきあい」「登園しぶり、不登校などの問題」「子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ない」「地域の子育て支援サービスの内容や利用方法がわからない」の割合が増加しています。一方、「病気に関すること」「子どもとふれあう時間を十分取れない」「子どもの教育に関すること」「子どもの気持ちがくみ取れない、わからないこと」の割合が減少しています。



問3 最近の相談内容や支援対象者の傾向について、どのように感じますか。
(あてはまるものすべてに○)

「対象者だけではなく、世帯全体への支援の必要なケースが増えている」の割合が47.2%と最も高く、次いで「分野をまたがる複合的な福祉課題を抱える個人や世帯が増えている」の割合が41.7%、「地域のつながりが薄れ、社会から孤立した個人や世帯が増えている」の割合が38.9%となっています。

回答者数 = 36

既存の制度では対応できない個人や世帯が増えている

分野をまたがる複合的な福祉課題を抱える個人や世帯が増えている

対象者だけではなく、世帯全体への支援の必要なケースが増えている

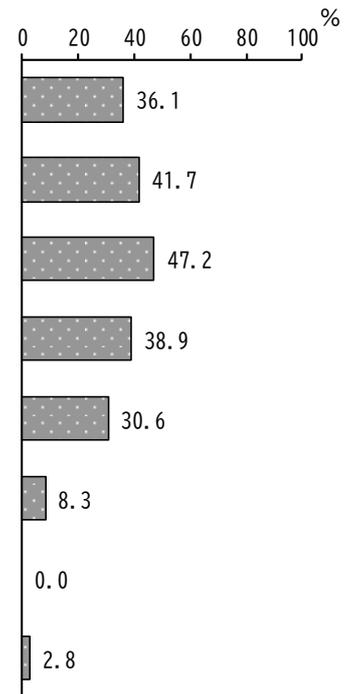
地域のつながりが薄れ、社会から孤立した個人や世帯が増えている

相談や支援を拒否する個人や世帯が増えている

特に変化は感じない

その他

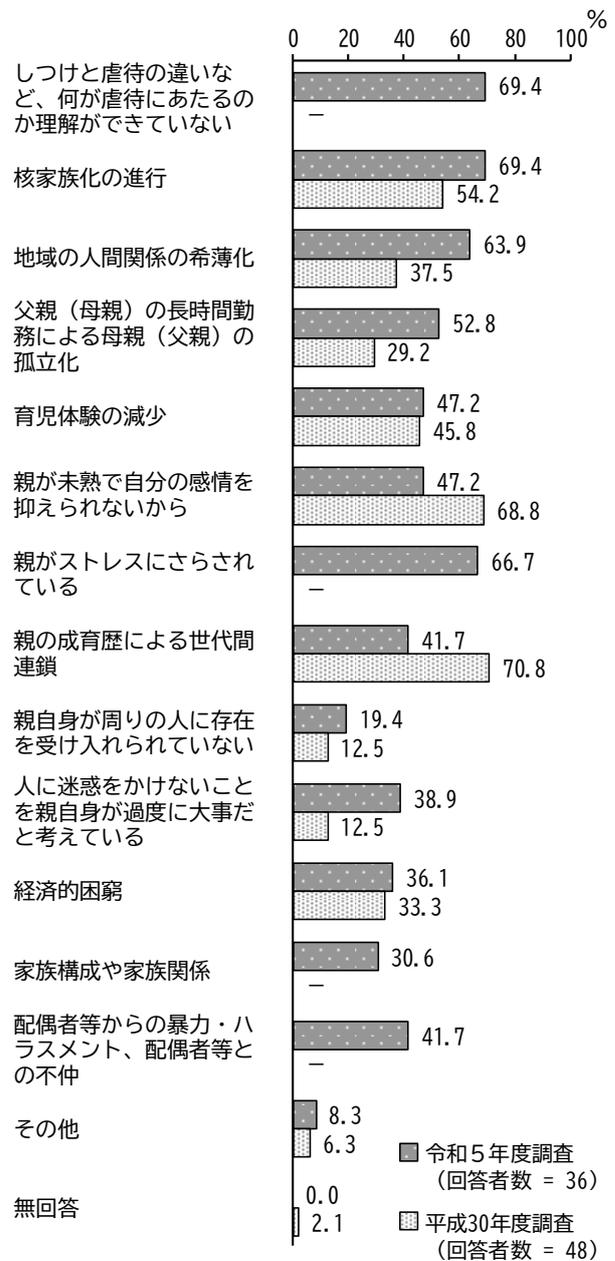
無回答



問5 現在、児童虐待が大きな問題となっています。虐待の背景・原因・要因は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「しつけと虐待の違いなど、何が虐待にあたるのか理解ができていない」、「核家族化の進行」の割合が69.4%と最も高く、次いで「親がストレスにさらされている」の割合が66.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「核家族化の進行」「地域の人間関係の希薄化」「父親（母親）の長時間勤務による母親（父親）の孤立化」「親自身が周りの人に存在を受け入れられていない」「人に迷惑をかけることを親自身が過度に大事だと考えている」の割合が増加しています。一方、「親が未熟で自分の感情を抑えられないから」「親の成育歴による世代間連鎖」の割合が減少しています。

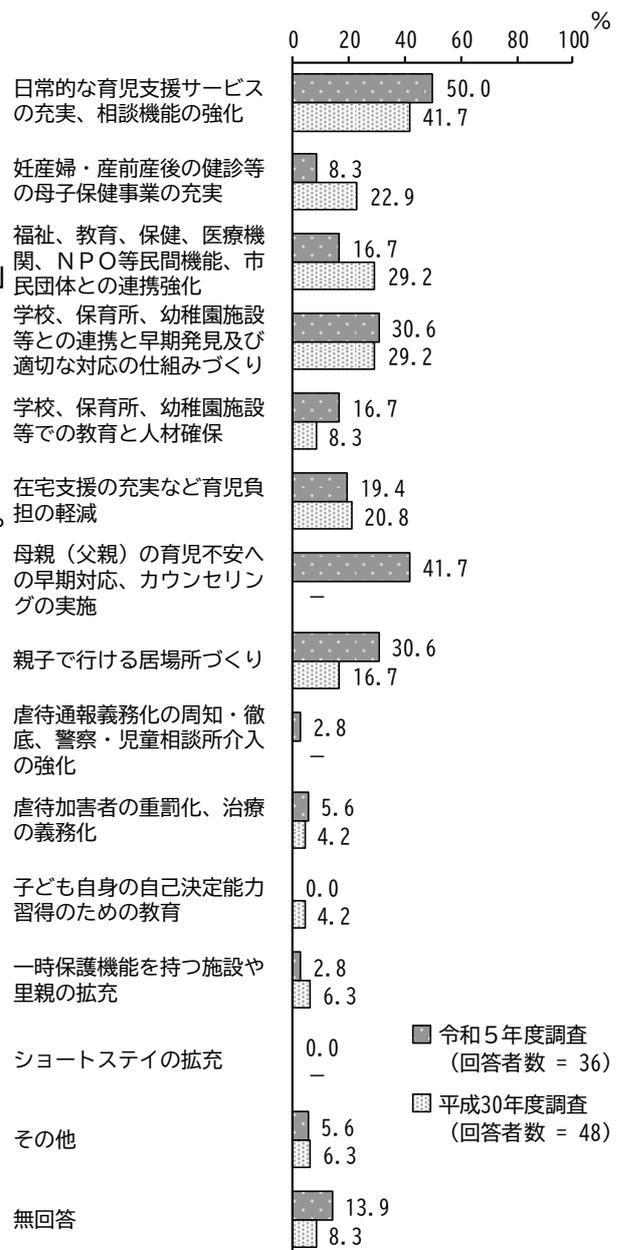


※「しつけと虐待の違いなど、何が虐待にあたるのか理解ができていない」「家族構成や家族関係」「配偶者等からの暴力・ハラスメント、配偶者等との不仲」「親がストレスにさらされている」は今回の調査で新しく追加しました。

問6 児童虐待を防止するにはどのような取り組みが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまで○)

「日常的な育児支援サービスの充実、相談機能の強化」の割合が50.0%と最も高く、次いで「母親（父親）の育児不安への早期対応、カウンセリングの実施」の割合が41.7%、「学校、保育所、幼稚園施設等との連携と早期発見及び適切な対応の仕組みづくり」、「親子で行ける居場所づくり」の割合が30.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「日常的な育児支援サービスの充実、相談機能の強化」「学校、保育所、幼稚園施設等での教育と人材確保」「親子で行ける居場所づくり」の割合が増加しています。一方、「妊産婦・産前産後の健診等の母子保健事業の充実」「福祉、教育、保健、医療機関、NPO等民間機能、市民団体との連携強化」「母親（父親）の育児不安への早期対応、カウンセリングの実施」「虐待通報義務化の周知・徹底、警察・児童相談所介入の強化」の割合が減少しています。



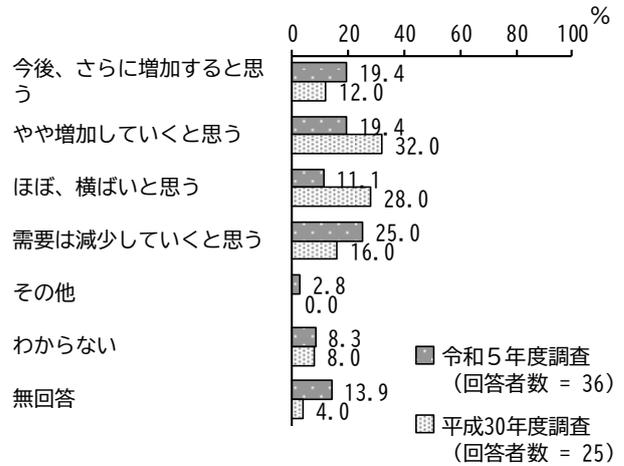
※「ショートステイの拡充」「母親（父親）の育児不安への早期対応、カウンセリングの実施」「虐待通報義務化の周知・徹底、警察・児童相談所介入の強化」は今回の調査で新しく追加しました。

(3) サービスの動向について

問7 今後の保育サービスの需要について、どのような見通しを持っていますか。
(あてはまるもの1つに○)

「需要は減少していくと思う」の割合が25.0%と最も高く、次いで「今後、さらに増加すると思う」、「やや増加していくと思う」の割合が19.4%となっています。

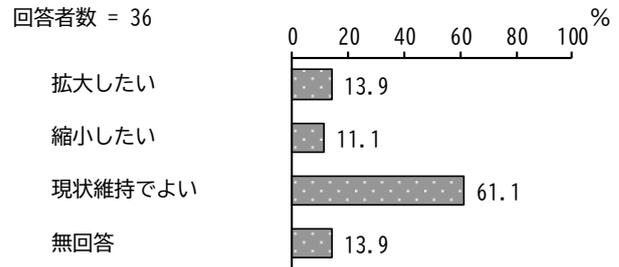
平成30年度調査と比較すると、「今後、さらに増加すると思う」「需要は減少していくと思う」の割合が増加しています。一方、「やや増加していくと思う」「ほぼ、横ばいと思う」の割合が減少しています。



問8 問7で答えた見通しの下で平日の保育サービスの定員・時間についてお答えください。(①~④項目それぞれ1つだけ○)

①基本定員の拡大について

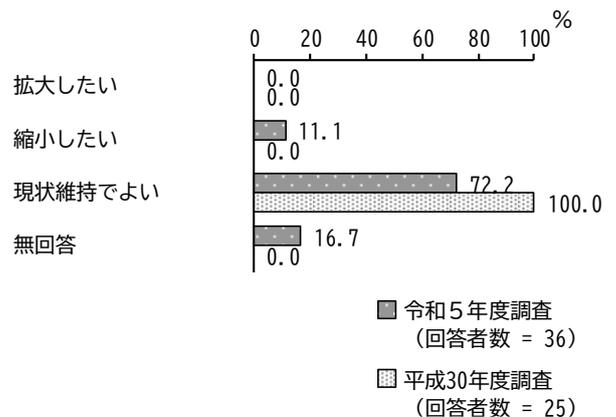
「現状維持でよい」の割合が61.1%と最も高く、次いで「拡大したい」の割合が13.9%、「縮小したい」の割合が11.1%となっています。



②基本となる営業時間について

「現状維持でよい」の割合が72.2%と最も高く、次いで「縮小したい」の割合が11.1%となっています。

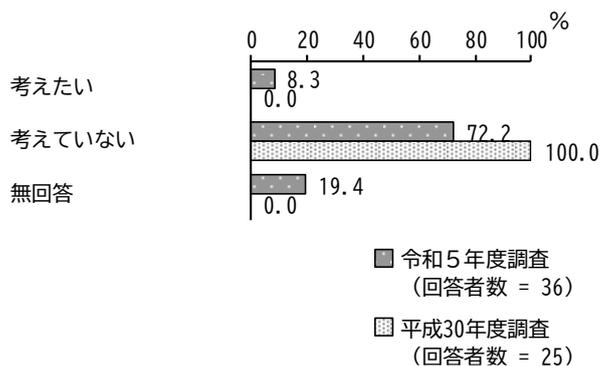
平成30年度調査と比較すると、「縮小したい」の割合が増加しています。一方、「現状維持でよい」の割合が減少しています。



③延長保育の拡大について

「考えたい」の割合が8.3%、「考えていない」の割合が72.2%となっています。

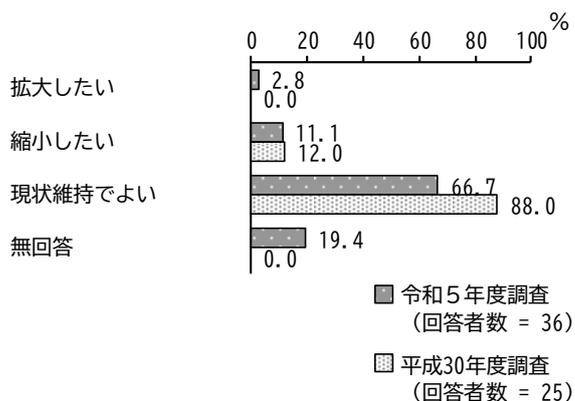
平成30年度調査と比較すると、「考えたい」の割合が増加しています。一方、「考えていない」の割合が減少しています。



④延長保育の時間の拡大について

「現状維持でよい」の割合が66.7%と最も高く、次いで「縮小したい」の割合が11.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「現状維持でよい」の割合が減少しています。



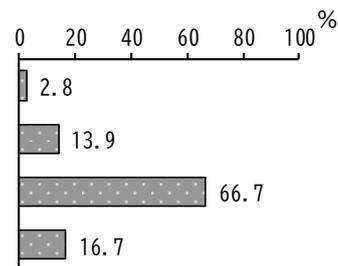
問9 土曜の保育サービスの定員・時間についてお答えください。
 (①～④項目それぞれ1つだけ○)

①基本定員の拡大について

「現状維持でよい」の割合が66.7%と最も高く、次いで「縮小したい」の割合が13.9%となっています。

回答者数 = 36

拡大したい
 縮小したい
 現状維持でよい
 無回答

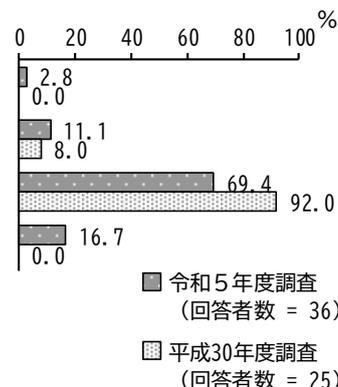


②基本となる営業時間について

「現状維持でよい」の割合が69.4%と最も高く、次いで「縮小したい」の割合が11.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「現状維持でよい」の割合が減少しています。

拡大したい
 縮小したい
 現状維持でよい
 無回答

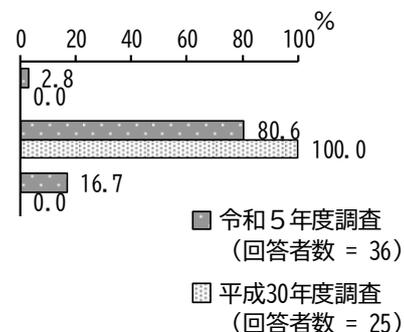


③延長保育の拡大について

「考えたい」の割合が2.8%、「考えていない」の割合が80.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「考えていない」の割合が減少しています。

考えたい
 考えていない
 無回答

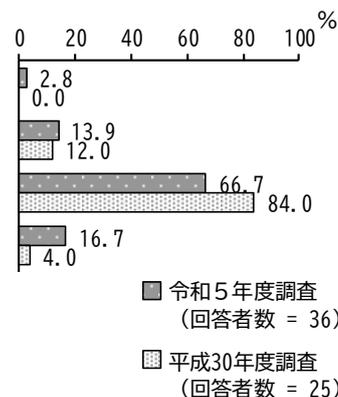


④延長保育の時間の拡大について

「現状維持でよい」の割合が66.7%と最も高く、次いで「縮小したい」の割合が13.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「現状維持でよい」の割合が減少しています。

拡大したい
 縮小したい
 現状維持でよい
 無回答



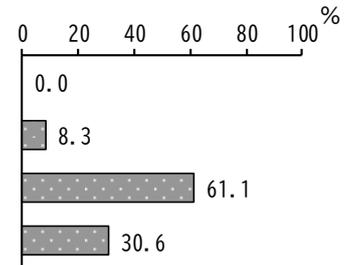
問 10 休日の保育サービスの定員・時間についてお答えください。
 (①～④項目それぞれ1つだけ○)

①基本定員の拡大について

「現状維持でよい」の割合が 61.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 36

拡大したい
 縮小したい
 現状維持でよい
 無回答

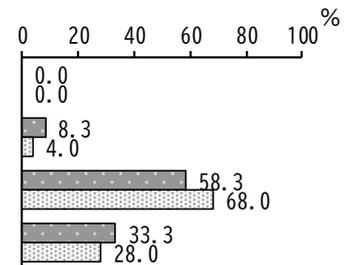


②基本となる営業時間について

「現状維持でよい」の割合が 58.3%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「現状維持でよい」の割合が減少しています。

拡大したい
 縮小したい
 現状維持でよい
 無回答



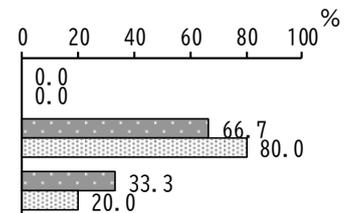
■ 令和5年度調査 (回答者数 = 36)
 ■ 平成30年度調査 (回答者数 = 25)

③延長保育の拡大について

「考えていない」の割合が 66.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「考えていない」の割合が減少しています。

考えたい
 考えていない
 無回答



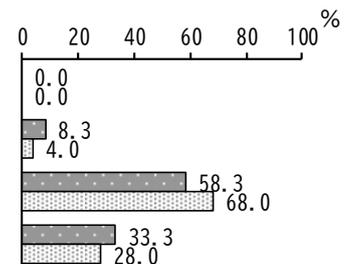
■ 令和5年度調査 (回答者数 = 36)
 ■ 平成30年度調査 (回答者数 = 25)

④延長保育の時間の拡大について

「現状維持でよい」の割合が 58.3%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「現状維持でよい」の割合が減少しています。

拡大したい
 縮小したい
 現状維持でよい
 無回答

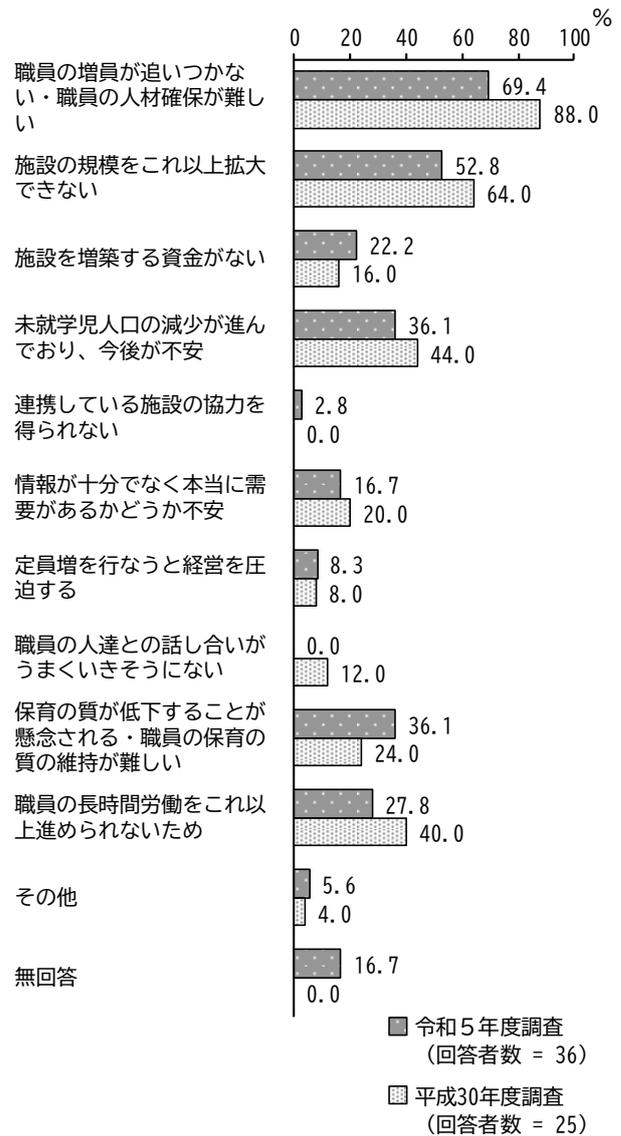


■ 令和5年度調査 (回答者数 = 36)
 ■ 平成30年度調査 (回答者数 = 25)

問11 入所・利用定員を増やす場合、課題となる要素をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「職員の増員が追いつかない・職員の人材確保が難しい」の割合が69.4%と最も高く、次いで「施設の規模をこれ以上拡大できない」の割合が52.8%、「未就学児人口の減少が進んでおり、今後が不安」、「保育の質が低下することが懸念される・職員の保育の質の維持が難しい」の割合が36.1%となっています。

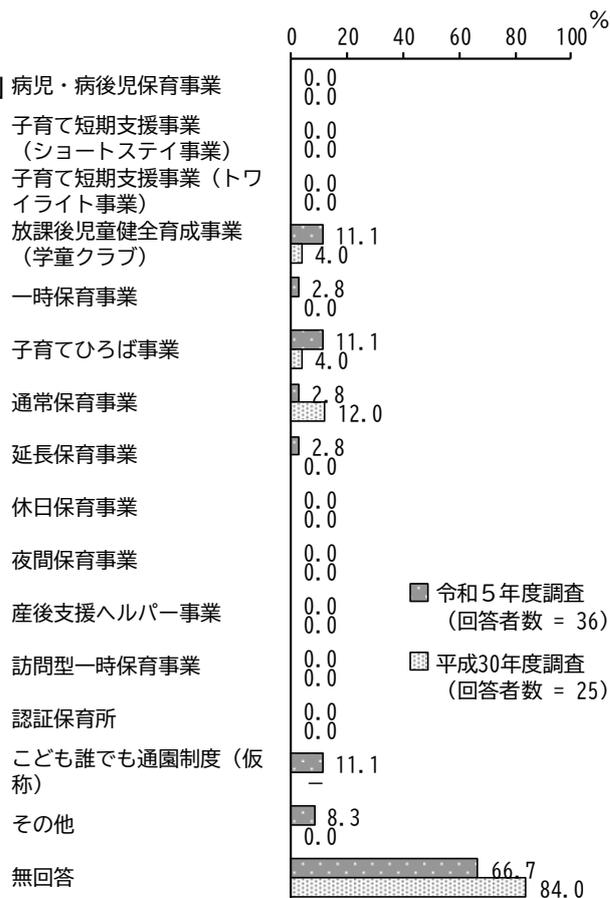
平成30年度調査と比較すると、「施設を増築する資金がない」「保育の質が低下することが懸念される・職員の保育の質の維持が難しい」の割合が増加しています。一方、「職員の増員が追いつかない・職員の人材確保が難しい」「施設の規模をこれ以上拡大できない」「未就学児人口の減少が進んでおり、今後が不安」「職員の人達との話し合いがうまくいきそうにない」「職員の長時間労働をこれ以上進められないため」の割合が減少しています。



問 12 今後実施を検討している事業があれば選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

「放課後児童健全育成事業(学童クラブ)」、「子育てひろば事業」、「こども誰でも通園制度(仮称)」の割合が11.1%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「放課後児童健全育成事業(学童クラブ)」、「子育てひろば事業」の割合が増加しています。一方、「通常保育事業」の割合が減少しています。



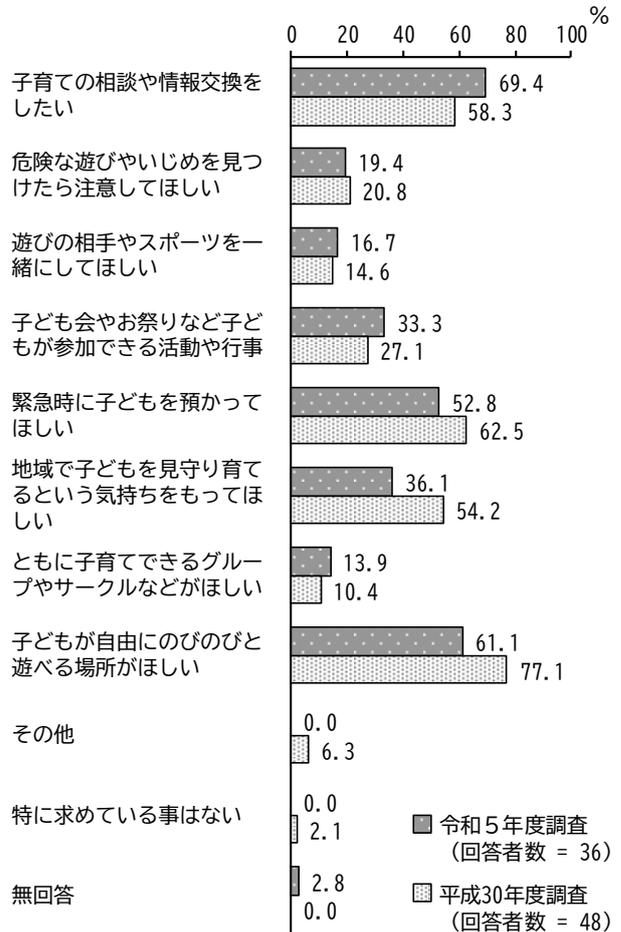
※「こども誰でも通園制度(仮称)」は今回の調査で新しく追加しました。

(4) 子育て支援活動について

問13 日々の事業や活動を通して保護者の方と接する中で、保護者の方々が子育てをするにあたって地域に求めている事はどんな事だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

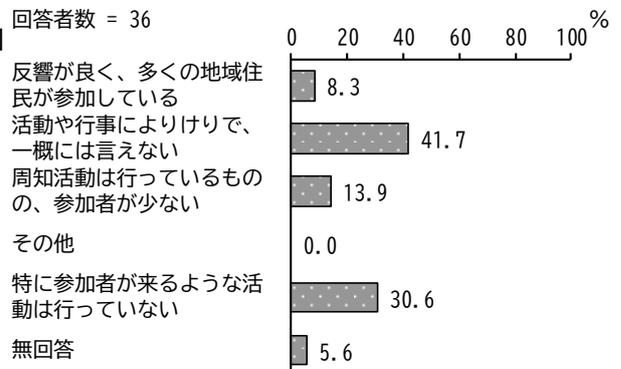
「子育ての相談や情報交換をしたい」の割合が69.4%と最も高く、次いで「子どもが自由にのびのびと遊べる場所がほしい」の割合が61.1%、「緊急時に子どもを預かってほしい」の割合が52.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育ての相談や情報交換をしたい」「子ども会やお祭りなど子どもが参加できる活動や行事」の割合が増加しています。一方、「緊急時に子どもを預かってほしい」「地域で子どもを見守り育てるという気持ちをもってほしい」「子どもが自由にのびのびと遊べる場所がほしい」の割合が減少しています。



問14 あなたが参加・主催している活動や行事への地域住民の参加状況はいかがですか
(あてはまるものすべてに○)

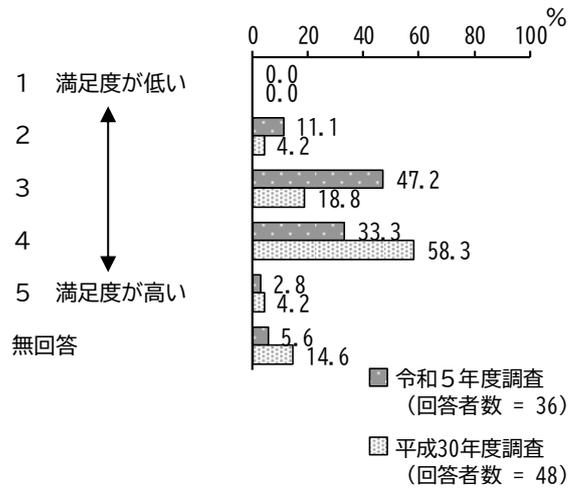
「活動や行事によりけりで、一概には言えない」の割合が41.7%と最も高く、次いで「特に参加者が来るような活動は行ってない」の割合が30.6%、「周知活動は行っているものの、参加者が少ない」の割合が13.9%となっています。



問 16 日野市における子育て環境や支援への満足度についてお答えください。
 (あてはまるもの1つに○)

「3」の割合が47.2%と最も高く、次いで「4」の割合が33.3%、「2」の割合が11.1%となっています。

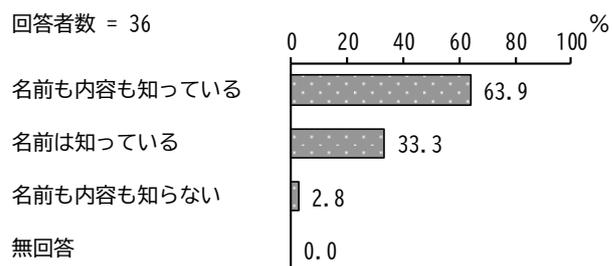
平成30年度調査と比較すると、「2」「3」の割合が増加しています。一方、「4」の割合が減少しています。



(5) 子どもの権利について

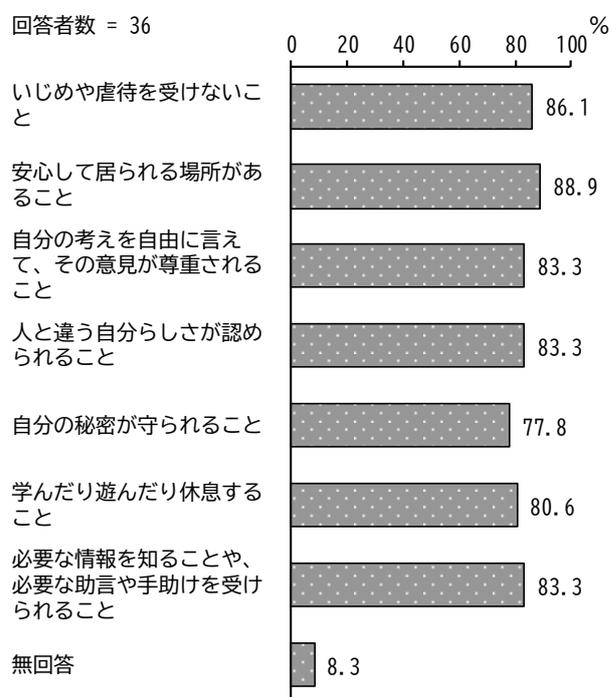
問 17 「日野市子ども条例」を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「名前も内容も知っている」の割合が63.9%と最も高く、次いで「名前は知っている」の割合が33.3%となっています。



問 18 あなたは、「日野市子ども条例」に定められた「子どもの権利」を知っていますか(あてはまるものすべてに○)

「安心して居られる場所があること」の割合が88.9%と最も高く、次いで「いじめや虐待を受けないこと」の割合が86.1%、「自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること」、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が83.3%となっています。



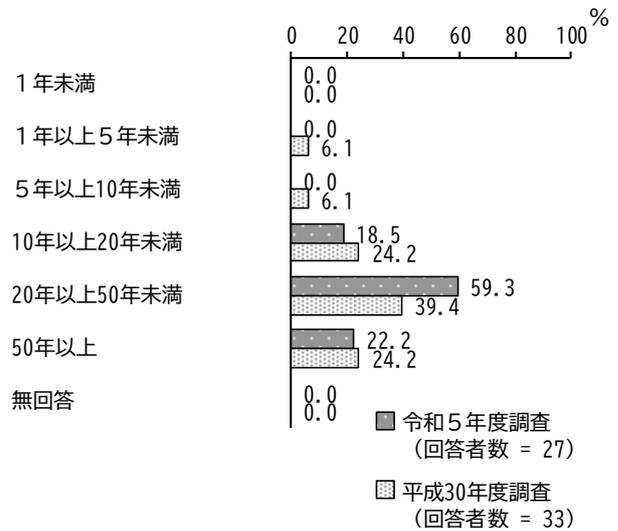
8 市内の企業

(1) 事業所の概要について

問2 日野市で業務を始めてから何年経っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「20年以上50年未満」の割合が59.3%と最も高く、次いで「50年以上」の割合が22.2%、「10年以上20年未満」の割合が18.5%となっています。

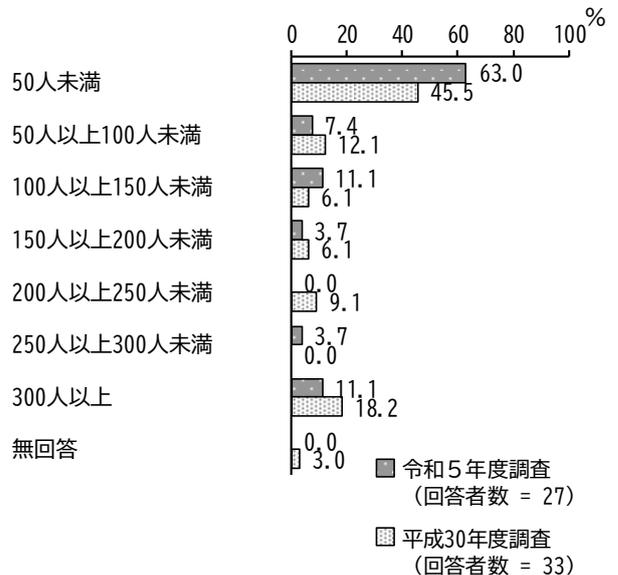
平成30年度調査と比較すると、「20年以上50年未満」の割合が増加しています。一方、「1年以上5年未満」「5年以上10年未満」「10年以上20年未満」の割合が減少しています。



問3 現在、社員（職員）の人数はどのくらいいますか。(あてはまるもの1つに○)

「50人未満」の割合が63.0%と最も高く、次いで「100人以上150人未満」「300人以上」の割合が11.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「50人未満」の割合が増加しています。一方、「200人以上250人未満」「300人以上」の割合が減少しています。

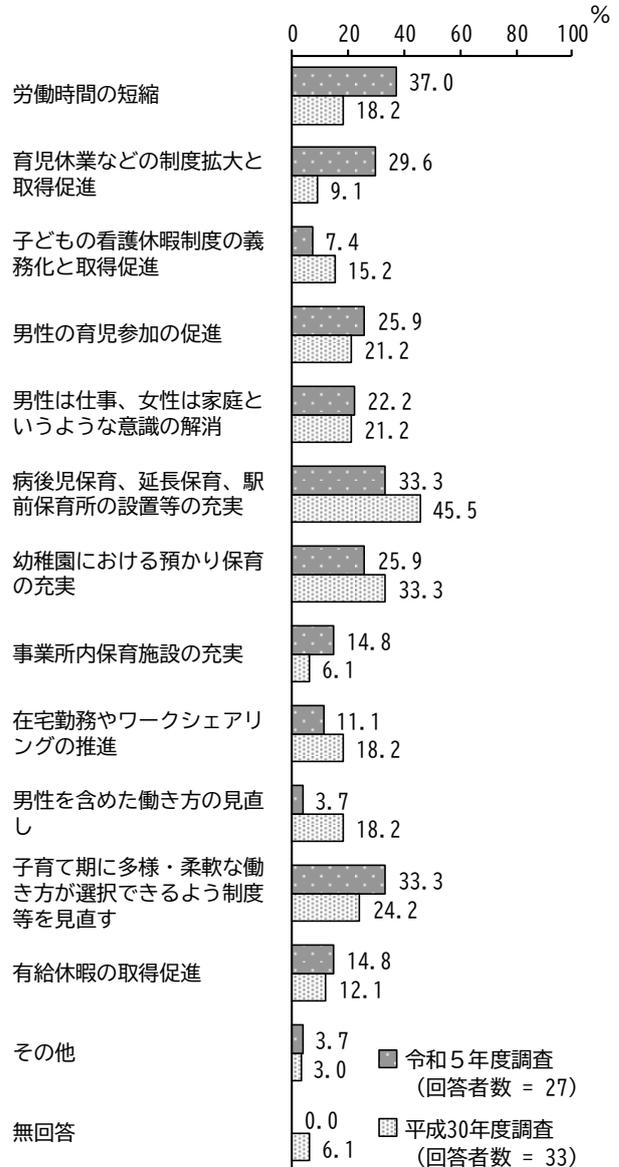


(2) 子育ての実態・必要な対策について

問4 今後、仕事と子育ての両立（ワークライフバランス）が可能な環境を整備・充実していく上で何が最も重要と考えますか。（あてはまるもの3つまで○）

「労働時間の短縮」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「病後児保育、延長保育、駅前保育所の設置等の充実」、「子育て期に多様・柔軟な働き方が選択できるよう制度等を見直す」の割合が 33.3%となっています。

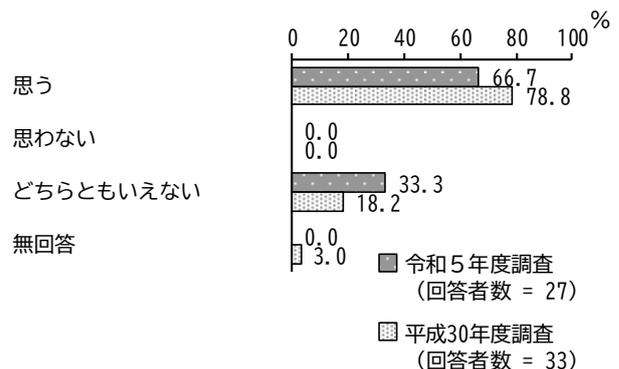
平成 30 年度調査と比較すると、「労働時間の短縮」「育児休業などの制度拡大と取得促進」「事業所内保育施設の充実」「子育て期に多様・柔軟な働き方が選択できるよう制度等を見直す」の割合が増加しています。一方、「子どもの看護休暇制度の義務化と取得促進」「病後児保育、延長保育、駅前保育所の設置等の充実」「幼稚園における預かり保育の充実」「在宅勤務やワークシェアリングの推進」「男性を含めた働き方の見直し」の割合が減少しています。



問5 仕事と家庭（育児）の両立しやすい環境を整えることは貴社（事業所）にとってメリットがあると思いますか。（あてはまるもの1つに○）

「思う」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 33.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が増加しています。一方、「思う」の割合が減少しています。

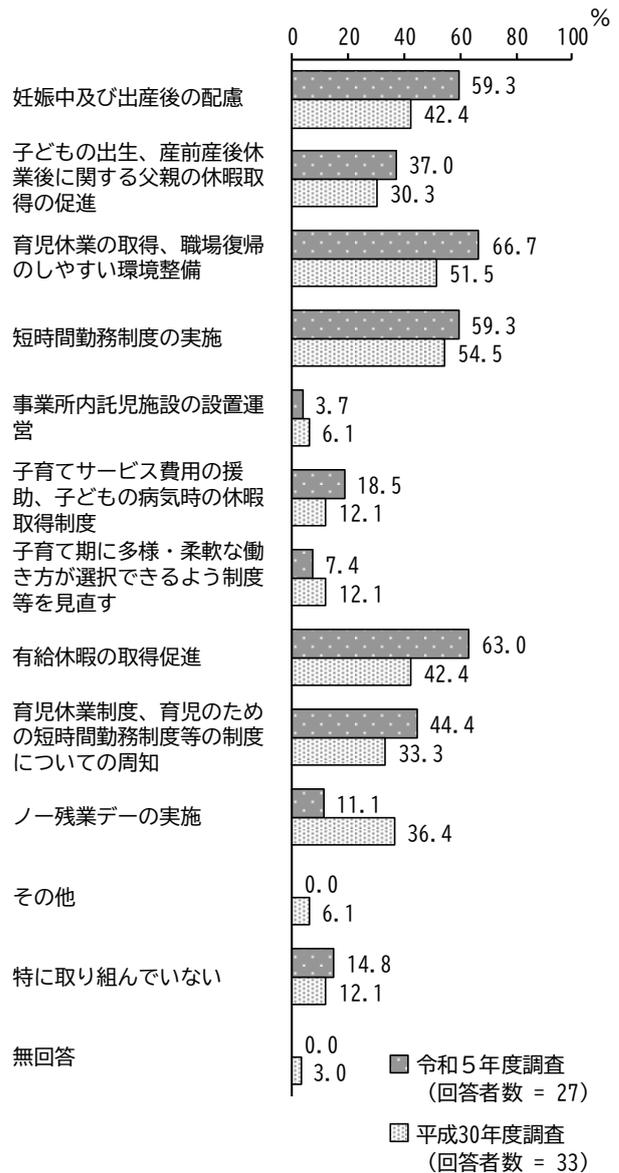


問6 子育て世代が働きやすい職場作りの実態や今後の意向についてお聞きします。

①現在取り組んでいること（あてはまるものすべてに○）

「育児休業の取得、職場復帰のしやすい環境整備」の割合が66.7%と最も高く、次いで「有給休暇の取得促進」の割合が63.0%、「妊娠中及び出産後の配慮」、「短時間勤務制度の実施」の割合が59.3%となっています。

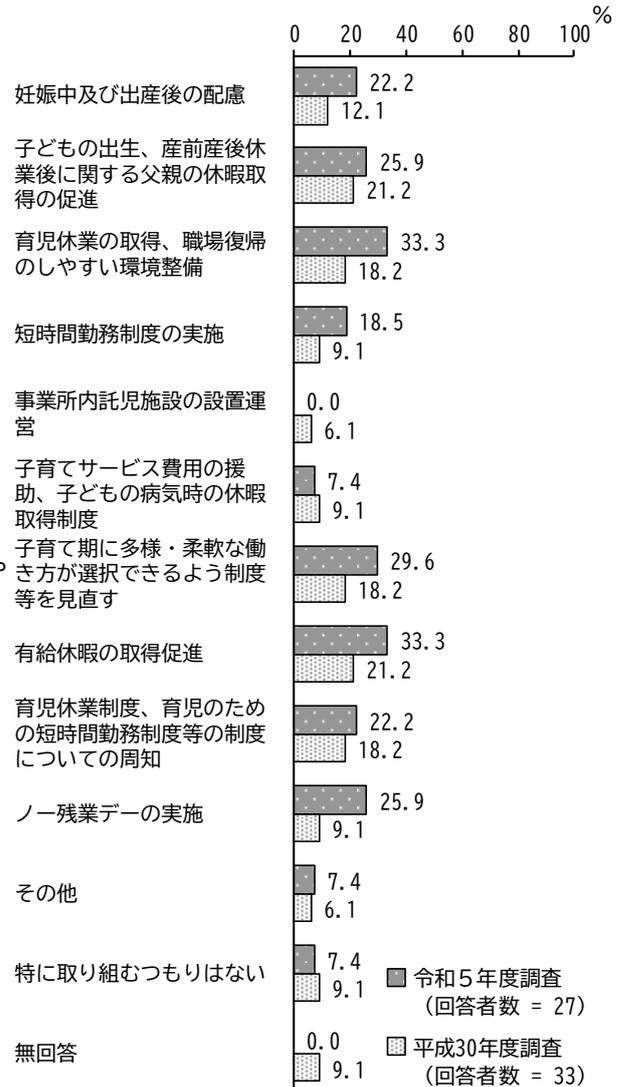
平成30年度調査と比較すると、「妊娠中及び出産後の配慮」「子どもの出生、産前産後休業に関する父親の休暇取得の促進」「育児休業の取得、職場復帰のしやすい環境整備」「子育てサービス費用の援助、子どもの病気時の休暇取得制度」「有給休暇の取得促進」「育児休業制度、育児のための短時間勤務制度等の制度についての周知」の割合が増加しています。一方、「ノー残業デーの実施」の割合が減少しています。



②今後取り組みたいと思っていること（あてはまるものすべてに○）

「育児休業の取得、職場復帰のしやすい環境整備」、「有給休暇の取得促進」の割合が33.3%と最も高く、次いで「子育て期に多様・柔軟な働き方が選択できるよう制度等を見直す」の割合が29.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「妊娠中及び出産後の配慮」「育児休業の取得、職場復帰のしやすい環境整備」「短時間勤務制度の実施」「子育て期に多様・柔軟な働き方が選択できるよう制度等を見直す」「有給休暇の取得促進」「ノー残業デーの実施」の割合が増加しています。一方、「事業所内託児施設の設置運営」の割合が減少しています。

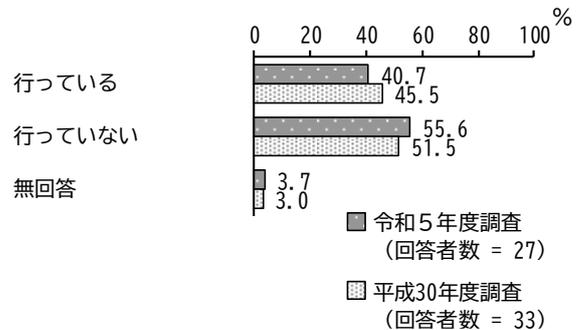


問7 子どもたちの育ちを支援するために企業としてどのような協力ができるとお考えですか。

①現在、子どもの体験活動や就労体験など具体的な支援を行っていますか。（あてはまるものに○）

「行っている」の割合が40.7%、「行っていない」の割合が55.6%となっています。

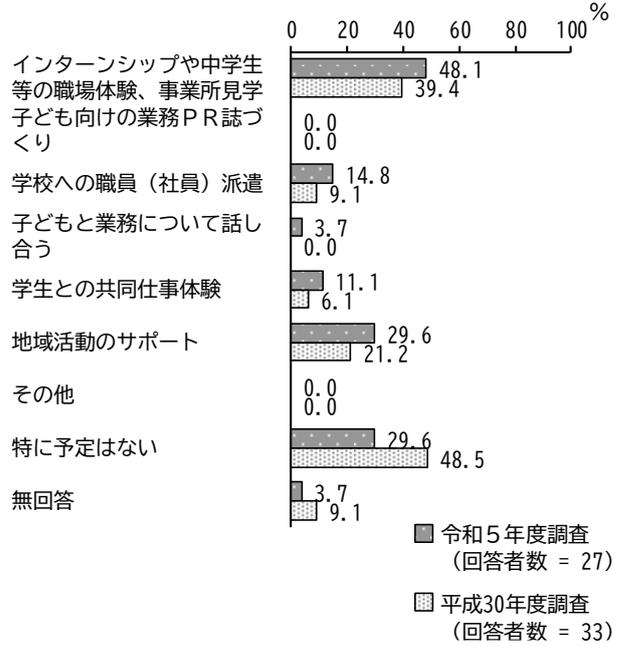
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②今後、取り組む可能性があると思われる内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

「インターンシップや中学生等の職場体験、事業所見学」の割合が48.1%と最も高く、次いで「地域活動のサポート」、「特に予定はない」の割合が29.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「インターンシップや中学生等の職場体験、事業所見学」「学校への職員(社員)派遣」「地域活動のサポート」の割合が増加しています。一方、「特に予定はない」の割合が減少しています。

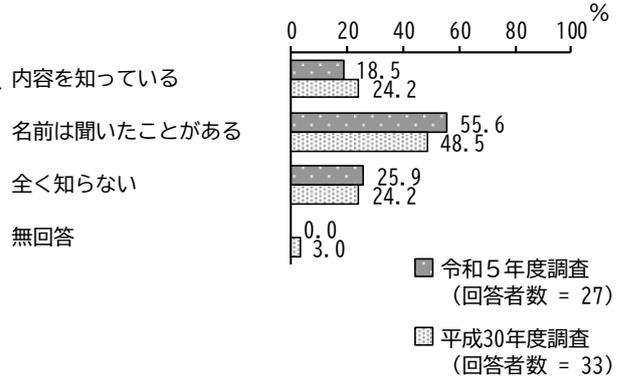


問8 次世代育成支援対策推進法と一般事業主行動計画についてお聞きします。

①次世代育成支援対策推進法についてご存知ですか。

「名前は聞いたことがある」の割合が55.6%と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が25.9%、「内容を知っている」の割合が18.5%となっています。

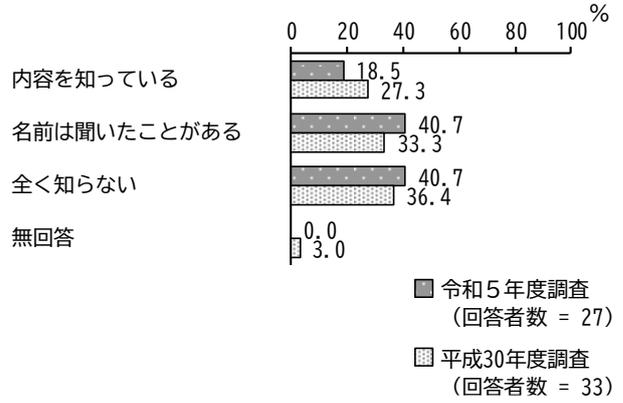
平成30年度調査と比較すると、「名前は聞いたことがある」の割合が増加しています。一方、「内容を知っている」の割合が減少しています。



②次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」をご存知ですか。

「名前は聞いたことがある」、「全く知らない」の割合が40.7%と最も高く、次いで「内容を知っている」の割合が18.5%となっています。

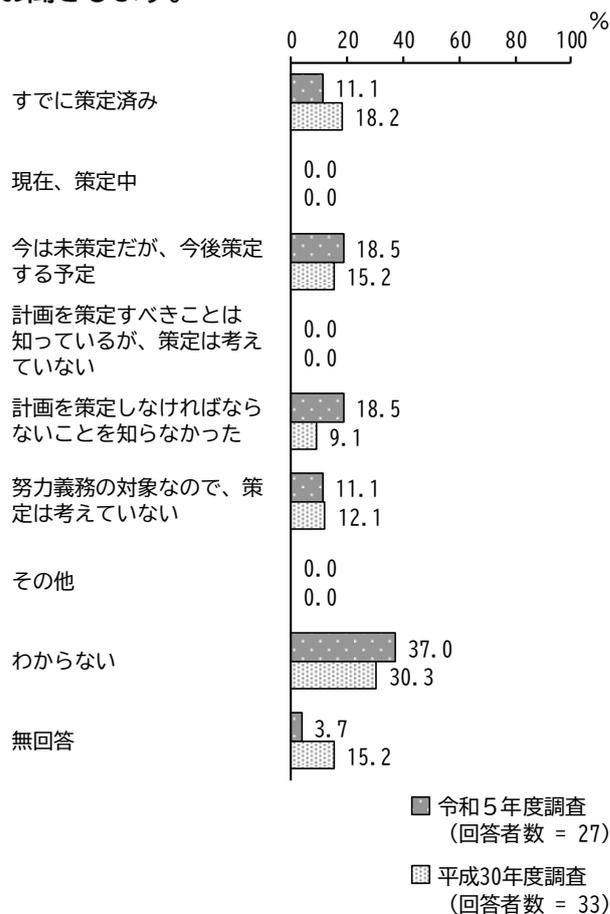
平成30年度調査と比較すると、「名前は聞いたことがある」の割合が増加しています。一方、「内容を知っている」の割合が減少しています。



③ 「一般事業主行動計画」の策定に対する取組状況をお聞きます。

「わからない」の割合が37.0%と最も高く、次いで「今は未策定だが、今後策定する予定」、「計画を策定しなければならないことを知らなかった」の割合が18.5%となっています。

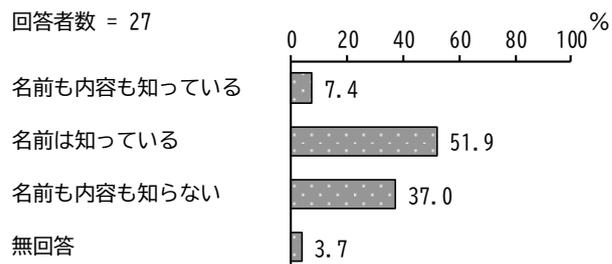
平成30年度調査と比較すると、「計画を策定しなければならないことを知らなかった」「わからない」の割合が増加しています。一方、「すでに策定済み」の割合が減少しています。



(3) 子どもの権利について

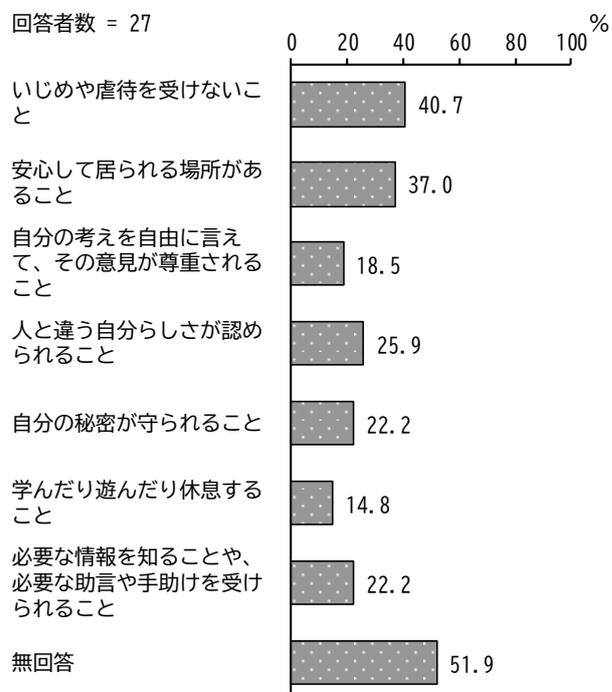
問9 「日野市子ども条例」を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「名前は知っている」の割合が51.9%と最も高く、次いで「名前も内容も知らない」の割合が37.0%となっています。



問10 「日野市子ども条例」に定められた「子どもの権利」を知っていますか
(あてはまるものすべてに○)

「いじめや虐待を受けないこと」の割合が40.7%と最も高く、次いで「安心して居られる場所があること」の割合が37.0%、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が25.9%となっています。



Ⅲ 自由回答

1 未就学児童保護者

分類回答	件数
1. お住まいの地域やご家族、ご家庭の状況について	13
2. 子育てをめぐる環境について	167
3. 保護者の就労状況について	28
4. 保育園や幼稚園などの利用状況や意向について	44
5. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業について	3
6. お子さんの病気の際の対応について	4
7. 不定期の教育・保育事業や一時預かり事業について	14
8. 地域子育て支援拠点事業について	21
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	5
10. 子育て環境や支援対策について	75
11. 情報提供について	5
12. 相談について	6
13. その他	11

【分類別の主な意見】

1. お住まいの地域やご家族、ご家庭の状況について

- ・ 夫の育児や家事への理解不足が負担になり、育児・家事講習やクーポンが役立つ。配偶者の理解や協力は子育ての気力とやる気につながる。
- ・ 新しい施設ではなく既存の児童館や公園の整備をしてほしい。人口増加地域は充実しているが、古い地域の公園は子どもに不向きで使いにくい遊具があり、地域差を感じる。
- ・ 子どもを連れて歩くと多くのご年配の方が挨拶してくれ、児童館の職員も不安や悩みに寄り添ってくれる。引っ越して3年経ったが、日野市の人々は温かいと感じる。
- ・ 現在の地域は児童館や地域支援センター、ショッピングモール、公園が徒歩圏内にあり、電車で立川や新宿にアクセスできる便利な環境で、日野市に満足している。

2. 子育てをめぐる環境について

- ・ 道路を整備していただきたい。(ベビーカーを押しにくいです) 日野駅の改札が狭く、ベビーカーが通るのでやっとなので、1つだけ幅の広い改札を作ってほしい。
- ・ 小児科だけでなく、耳鼻科や皮膚科など子どもの利用する病院が足りていないと感じる。
- ・ 公立の施設、学校や児童館など古すぎて利用しにくい。古い所の建て替えをもっと進めてほしい。図書館で自習できるスペースや席が少ない。本が探しにくい所がある。

3. 保護者の就労状況について

- ・ 保育園に3回落ちてしまったのでなかなか就労することができず悩んでいる。
- ・ 転職活動で、小さい子どもがいることで落選することが多く家庭と仕事の両立がしやすい国になってもらえたら子どもも増やしながら仕事も充実できるのにと考えます。
- ・ 勤務形態や勤務時間、収入、職場の理解のなさなど様々な理由で働きづらさを感じている子育て世代の方はたくさんいるかと思う。

4. 保育園や幼稚園などの利用状況や意向について

- ・ 第1子出産、育休を取得し、そのまま第2子を出産、育休を取得しているが、第2子の育休中でも第1子が保育園に入れたら良いなと思うことがある。
- ・ 保育園のやり方が違うのは仕方ないが”家庭保育”の強要をする園がある。安心して我が子を預けることができない。良い保育士さんが働きやすい環境になるといい。
- ・ 仕事のときしか保育園に預けてはいけないという決まりをやめてほしい。それだけで親は精神的身体的負担を軽減できると思う。
- ・ 保育園不足、待機児童を解消してほしい。認可どころか認証すらも求職中だと入れないには少し困っている。安心して預けることができるようにしてほしい。
- ・ 幼稚園、保育園の先生の増員。

5. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業について

- ・ サービス業なので休日保育を利用させてもらっていますが月毎の予約、定員に限りがある為、中々希望通りに予約は取れないのでそこが改善されると良いと思う。
- ・ 共働きがマジョリティになっており、春休み、冬休み、夏休みの学童事情を大きく改革してほしい。保育園よりも小学校の方が共働きを継続することの不安が大きい。
- ・ 大型休みの時の有料給食化、習い事の送迎サービスなどの実施を望む。

6. お子さんの病気の際の対応について

- ・ 土日受診可能な小児科を増やしてほしい。また土曜日午前中の診察予約は争奪戦で親の体力、精神力が奪われる。
- ・ 小児科に行く機会が多いのですが、どこも予約制など、とにかく人でいっぱい。また市立病院は紹介状がないと高額なお金を払わなければ診てもらえない。

7. 不定期の教育・保育事業や一時預かり事業について

- ・ 一時保育の記載もありますが、枠が足りず、一時保育も断られてしまう。施設を増やすことは難しい場合、ベビーシッターのサポート支援などを行っていただけると助かる。
- ・ 育休中のため、一時的に子どもを預けられる施設をたくさん探した。日野市でも、働いていなくても預けられる保育所の数を増やしていただけると助かる。
- ・ 幼稚園の預かり保育は時々利用しているが、送り迎えの負担で必要最低限しか使いたくないという気持ちになる。預かり保育の降園バスがあると非常に助かる。

8. 地域子育て支援拠点事業の利用状況について

- ・ 乳幼児健診や新生児訪問の際の保健師、助産師の質が人によって差がありすぎる。全職員が、市の事業や取り決めを十分理解した上で住民対応してほしい。
- ・ 子育て支援センターをよく利用させていただいており、とても親身に親切に対応いただき、とてもありがたく思っている。
- ・ 最寄りの児童館まで1キロメートルほどあり、小学校低学年でも1人で行かせることに不安を感じる。

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

- ・ 学童も保育園より時間が短く、非常に困ります。夜8時ぐらいまで入れられる場所の確保が必要です。
- ・ 平日放課後の時間、校庭を開放してほしい。学童保育、ひのっち以外の子も使えるようにしてほしい。

10. 子育て環境や支援対策について

- ・ 発達面でグレーゾーンと言われる子が特別な場所を利用する時にお金がかかりすぎると思う。支援する場所があっても金額が高いと頼れません。
- ・ 子どもを育てるうえで、習い事への補助などもあったらと思います。
- ・ 0～18歳まで完全無償化(教材、制服や給食費など含めて)の保育園や幼稚園、学校教育をお願いしたい。
- ・ 児童手当の給付金を年収の上限を設けず一律にしてほしい。

11. 情報提供について

- ・ 日野市の産後ケアや保健、予防接種の通知がとてもわかりづらかった。
- ・ 学童に関する情報や習い事情報など、日野市 HP に活発に情報が掲載されるとありがたい。

12. 相談について

- ・ 経済的な不安が常にある。今現在は良いとしても将来がとても不安である。何かあったら、児童館や市役所に相談しようと思う。
- ・ 発達に関して親としてはグレーゾーンかなと感じる一面があっても保育園、健診でひっかからなければスルーされる。気軽に相談できる場所があったらなと思う。
- ・ 子育て相談を気軽にできてその場限りで終わるような相談相手がほしいです。(ママ友に話すような感じに)

13. その他

- ・ アンケートが長すぎる。
- ・ 障害のある子どもへの対応ができる人を増やしてほしい。脳性麻痺など専門的に学ばれている方がいるとよい。
- ・ LGBTQ や多様性を盾にして、子どもたちにおかしな性教育やジェンダーレス教育をしないでほしい。

2 小学校児童保護者

分類回答	件数
1. お住まいの地域やご家族、ご家庭の状況について	9
2. 子育てをめぐる環境について	132
3. 保護者の就労状況について	5
4. 保育園や幼稚園などの利用状況や意向について	15
5. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業について	2
6. お子さんの病気の際の対応について	4
7. 不定期の教育・保育事業や一時預かり事業について	6
8. 地域の子育て支援について	10
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	6
10. 子どもの権利について	1
11. 子育て環境や支援対策について	48
12. 情報提供について	5
13. 相談について	5
14. その他	16

【分類別の主な意見】

1. お住まいの地域やご家族、ご家庭の状況について

- ・ 市内の交通の便が悪いと思う。駅前の自転車の駐輪場も高いし、少ない。豊田駅は大型マンションができて、駅前の駐輪場が急に停められなくなったので改善してほしい。
- ・ PTA や学童父母会、子ども会や自治会の活動が負担（任意団体であるのに強制と思わせるような運営が学童父母会に見られる）である。
- ・ 地域や保護者同士の関わり合いを推奨されているが、人付き合いが極端に苦手でありストレスを感じる保護者がいることも知ってほしい。
- ・ 認可保育園、学童、ひのっち、産育休時短勤務、リモートワークを利用しながら子育てしている。公園も多く整備がきちんとされていてありがたく思う。

2. 子育てをめぐる環境について

- ・ 歩道がせまくベビーカーを押すのが大変であり、時々車道を走っている車イスの人もいて危険と思う。
- ・ 子どもたちが安心して集まれる場所がもう少しあればよいと思う。介護のケアマネのような、地元でずっと相談して見守ってくれる人や場所があればよいと思う。
- ・ 公園でボール禁止などの看板を目にする。もっと自由に楽しく遊べる場所がほしい。子どもが自由にのびのび遊べる場所が少ないように思う。

3. 保護者の就労状況について

- ・ 子どもが大きくなり、パートを探していますが、なかなか見つかりません。時短、平日のみだと難しいようです。もう少し働くことへのハードルが低いと良いのですが。
- ・ 常に働かなければいけないという気持ちになり、子どもの育児や勉強を見てあげることが後回しになっている。仕事、家事、育児と両立できている方が本当にすごいと思う。
- ・ 勤務時間を短くして早く帰宅し子どもとの時間を確保したいですが、金銭的に余裕がなくフルタイムで仕事をしており悩みます。
- ・ 子どもが幼いうちは、保護者がそばに居てあげられる時間をなるべく多く作れるよう就労しなくても経済的にゆとりが持てるような支援があるとよいと思う。

4. 保育園や幼稚園などの利用状況や意向について

- ・ 保育園に行く子が多くなって幼稚園が定員割れの所が多くなっていると思う。子育ての環境として母親と子どもが過ごす時間の長い幼稚園を大事にしてほしい。
- ・ 子育てにおける男女の負担の差がいまだ大きいと思う。男性の子育て参加をもっと促してほしい。
- ・ 子どもが3人いて病気や学校のイベントが重なると大変です。気軽に（煩雑な手続きなしに）保育園での一時預かりや病児保育施設等病院内で利用できるようにしてほしい。
- ・ 公立幼稚園が、私立並みに園での延長保育が平日充実していたり、保護者の出番が少なければ、自分自身の諦めていたキャリア形成を再度考えることができる。

5. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業について

- ・ 子どもが幼稚園に入る前は一人になることが難しかった。子どもを預ける制度や現金ではなく、他の何かで支払える手段があったらもっと一時保育も使いやすいと思う。
- ・ 日曜日に開いている施設がほしい。

6. お子さんの病気の際の対応について

- ・ 子どもの急病の時、受け入れてくれる病院が無く夜間や休日に高熱や急病になった時の不安がある。日野市立病院は毎回断られる。支援も命あってこそその話である。
- ・ 病院を増やしてほしい。特に小児科、皮膚科である。
- ・ 予約が取りにくく、子どもが風邪を引いた時にすぐに行けない。

7. 不定期の教育・保育事業や一時預かり事業について

- ・ 近年の災害などを考えると高学年とはいえまだ子どもであり、身の安全を考えた行動が取れるとは言えない。親の不在時でも安全に過ごせる場所があってほしいと思う。
- ・ 参加させたいイベントや活動があっても、日野、豊田等市役所周辺が多い為、多摩市寄りの日野市民には参加しづらい。

8. 地域の子育て支援について

- ・ 学校に行けない子の居場所をつくれれば、クラスに入りにくい子どもたちももう少し気軽に学校に行けると思う。オンライン授業の実施。

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

- ・ 児童館が近くにほしい。
- ・ 学校の体育館やグラウンドを、放課後の一定時間、開放してくれるとよいと思う。そのまま放課後、友達と自由にグラウンドで遊べたら、親も安心できる。

10. 子どもの権利について

- ・ 人間らしく生きる権利があるので、子ども条例を作るとか、子どもの権利等当たり前だと感じる。

11. 子育て環境や支援対策について

- ・ 給食費の補助が出てとても助かっている。上の子が3年生から数えて3人目が補助の対象、ではなく人数で補助の対象となったらいいと思う。
- ・ 子育て支援に対する所得上限の撤廃。
- ・ 学童が4年生以上でも利用できるとうい。

12. 情報提供について

- ・ インターネットや SNS 等の環境が心を蝕んでしまうのではないかと非常に心配である。性犯罪の前科等がある人を配置できないような仕組み作りを強く要望したい。
- ・ 子どもが成長していく中で、乳幼児期とは違う悩みもたくさんでてくると思うので、中学・高校の学習面や進学に向けての相談も含め、親も子も気軽にできる場がほしい。

13. 相談について

- ・ 子育てに悩んだときに相談できる先が欲しい。今あるところはタメ口で話したり、相談にきめつけで話したり、相談する気がしない。
- ・ こども園に入っていたが、介護で預ける時には要介護認定3以上とか仕事は何時間以上などあり総合して点数をあげて判断してほしいです。
- ・ 市に相談するにしても縦割りでダブルケアに関して相談窓口が無いことも辛かった。

14. その他

- ・ このアンケートは、もっと早くあれば良かったと思った。

3 中学2年生

分類回答	件数
1. 学校について	27
2. スポーツ環境について	13
3. 将来について	14
4. 子どもの権利について	8
5. 地域環境について	36
6. 日野市について	36
7. その他	5

【分類別の主な意見】

1. 学校について

- ・ 学校をきれいに建てなおしてほしい。
- ・ 学校等の建物の老朽化が少し不安に思っている。市からの部活動等の補助金を少しでも多くしてくれると助かる。
- ・ 夏休みと冬休みを延ばしてほしい。
- ・ 学校のロッカーを大きくしてほしい。学校のりふじんな校則を生徒たちの意見をもっと取り入れて見直してほしい。
- ・ 日野市の他の学校との交流を多く取り入れることで、視野がもっと広がって充実した人生を送れると思った。友達が増える。

2. スポーツ環境について

- ・ 日野市には野外バスケットコートが少ないと思う。野外のバスケットコートを増やしてほしい。もう一つゆかがコンクリート製のものにしてほしい。
- ・ テニスコートが近くにできれば部活がない日でも練習できるのでほしい。
- ・ スポーツができる場所を増やしてほしい。
- ・ 全体的にスポーツ場などを増やしていくと、市民の活性化にもつながると思う。
- ・ 日野市主催の部活の強化練習や合宿をしてほしい。学校の先生とは別に部活の指導者をお金で雇ってほしい。日野市の高校にスポーツ推薦を導入してほしい。

3. 将来について

- ・ 子どもたちが職業に対してもっと興味を持つように職場見学などの機会を増やしてほしい。
- ・ 中3でも職場体験的なものやってほしい（インターンシップみたいなやつ）
- ・ 自分はまだ将来の夢やつきたい職業はないけれど、好きなことをして楽しくすごせたらいいと思う。誰かの役に立てるような職業とかにつけたらいいと思う。
- ・ 服に関係する仕事がしたいと思っている。「好きなことをしながら生活したい」を叶えたいと思っている。
- ・ 自分の趣味をたんのうしながら生活するにはどれくらいのお金が必要なのかという基準で仕事を探していきたい。

4. 子どもの権利について

- ・ 日野市にこども条例をもっと広めたらいいと思った。
- ・ 全員が平等である事と自分の意志を持てること。
- ・ 自分の意見が言えるということは、自分の意見をしっかり持っているということなので、みんなに一人一人の個性を尊重する考え方が身につくきっかけになると思う。
- ・ 子どもが全員幸せと思えるような日野市になってくれると嬉しい。大人がいると話せないこともあるので、子どものみで本音で話す機会がほしい。
- ・ 条例で本当に子どもの権利が尊重されているのかが気になる。本当に権利が守られているのかの見直しがほしい。

5. 地域環境について

- ・ 場所が良く住みやすいから、これからも発展してほしい。マンションがふえすぎだから、かわりにショッピングモールをたててほしい。
- ・ 道を広くしてほしい（歩道）。マンションばっかたてるのやめてほしい。
- ・ 公園を増やす。
- ・ もっと娯楽施設がほしい。
- ・ 日野市は自然が美しいから、減らさず増やしてほしい。

6. 日野市について

- ・ 日野市がもっと市民から税金をとらないでほしいと思った。全ての子育て世代に支援をするべきだと思う。
- ・ 給食費無償化を進めてほしい。
- ・ 日野市は緑豊かでいいところだと思う。今後もその自然を守ってほしい。新選組などの歴史をもっと広めてほしい。
- ・ 日野市は財政をなんとかした方がいいと思う。子どもたちのために動いているのはありがたい。結局都会じゃなくてもいいので、平和で温かい市にしてほしい。
- ・ ゴミ袋の値段を下げてほしい。

7. その他

- ・ 中学生にも留学の機会を設けるべき。留学で自分の世界が広がり、海外に興味を持つこともできるし、英語の大切さを知り、もっと勉強したいと思えるようになった。
- ・ 今、老人が多いから生きられる年齢をきめてその通りにすれば働くときに苦労しなくてすむと思う。
- ・ 会社など働いたことがなく、社会というものを経験していない大人に社会について説かれるのは腹が立つ。
- ・ 問 15 の 5 きもちわるい。多様性にも配慮していない。
- ・ 私たちはろくに年金ももらえないのだから、年金なんか払わせるな。この国は少し息苦しい。

4 高校2年生相当

分類回答	件数
1. 学校について	1
2. クラブ、部活動について	1
3. 将来や今後実現したいことについて	10
4. 心配事や困りごとについて	4
5. その他	12

【分類別の主な意見】

1. 学校について

- ・ 日野の公立中学校の校則が緩くなっていて心配である。高校生のような校則で義務教育ならもっと厳しくしても良いと思う。

2. クラブ、部活動について

- ・ このアンケートの印刷、封筒代金集計する人件費などを、部活の外部指導員の給与や教員の待遇改善に使ってほしい。

3. 将来や今後実現したいことについて

- ・ 日野市は住みやすい所だと思っている。将来、大人になっても住みたいので、住みやすい町づくりを更にしてほしい。
- ・ これから頑張って働いていく僕たちにも住みやすい街づくりをしてほしい。
- ・ 保険など、税金・年金などについて知るといふ講座を開いてほしい。自分では調べることとしてもよく分からないため。
- ・ 子どもを産んでも生活に困らない環境は教育費無料、保育施設の無償化これが絶対必要だと思う。海外の良い例を見習わないと少子化は進んでいく。日本は遅れている。
- ・ 若者の選挙への関心を上げる運動をしてほしい。
- ・ 塾に行く際の駐輪代を補助してほしい。

4. 心配事や困りごとについて

- ・ 若者含め市民の健康のために、居酒屋の客などが外で吸うたばこをやめさせてほしい。
- ・ 自転車の通れる道が狭い。車道を走る場合とても危険を感じる。できれば車通りの多い通りなどには自転車専用の道を整備してほしい。

5. その他

- ・ 僕らの世代は何かと残念です。僕らより下の世代はお金をたくさんもらえるのに。
- ・ 若者の未来のためにまず子どもを育てやすい環境を作ってほしい。教育費無料とか市の魅力がないと子どもを産むメリットなんてない。他の人も住もうとは思わないと思う。
- ・ 日野市だけじゃなくて日本のみんなが不自由なく、幸せな生活してほしいと思う。
- ・ インターネットが発達している今日、やはりこれを使ってコミュニケーションを取ることが大切だと思う。未来が読めない今、若者同士の好きの繋がりが大切だと思う。

5 18歳から39歳までの若者

分類回答	件数
1. お住まいの地域やご家族、ご家庭の状況について	3
2. 子育てをめぐる環境について	11
3. 保護者の就労状況について	2
4. 保育園や幼稚園などの利用状況や意向について	7
5. お子さんの病気の際の対応について	3
6. 産後ケアについて	3
7. 地域子育て支援について	3
8. 子育て環境や支援対策について	24
9. 情報提供について	2
10. その他	15

【分類別の主な意見】

1. お住まいの地域やご家族、ご家庭の状況について

- ・ 警察によるパトロールをもう少し増やしてほしい。夜もだが、特に昼間、小学生が帰る時間帯、公園まわりなど。
- ・ 近所のご老人の買い物が大変である。コンビニやスーパーなどが来ると有り難いです。
- ・ 職業や環境にかかわらず、年代を問わずに横のつながりができるような活動があるとよいと思う。

2. 子育てをめぐる環境について

- ・ 日野市の小学校周辺の横断歩道には一時停止の標識があるが、車やバイクが一時停止を守らずに通過し、子どもの安全を心配している。
- ・ 夜間に街灯の不足があり、子どもが安心して歩けるよう、街灯を増やして明るくしたい。
- ・ 日野市内の公園には子ども向けの遊具が不足しており、近隣の市と比べて遊び場が少ない。子どもが安全に楽しく遊べる公園を増やしてほしい。
- ・ 日野駅のエレベーターやホームが狭く、特にベビーカーを利用する際に不便を感じる。エレベーターやホームの拡張を希望する。
- ・ 公園の遊具の色あせや劣化が目立ち、子どもたちが遊びに行きたくなくなるような場所を増やしてほしい。

3. 保護者の就労状況について

- ・ 妊娠中に切迫早産で入院し、退職を余儀なくされた経験があり、子育てと仕事の両立が難しい。

- ・ 現在はパートに切り替えて育児をしているが、主人の長時間労働のため週末しか子どもに会えない状況。

4. 保育園や幼稚園などの利用について

- ・ 待機児童ゼロへ、保育施設増やして保育士の手当を良くしてほしい。
- ・ 保育園に入れる人数もしくは保育園の数をもっと増やしてくれないと、働きたくても働けない。
- ・ 学童に入れる人数も、地域によっては4年生まで入れるが、日野市は3年生までしか入れず1人で留守番をさせるようになる。入れる人数や年数などもっと増やしてほしい。
- ・ 保育園の量、質ともに充実してほしい。

5. お子さんの病気の際の対応について

- ・ 日野市は、産婦人科が少なすぎる。市外の産婦人科で出産したため、妊婦健診など通うのが大変である。今後、増えてほしい。
- ・ 小児科の数が少ないのか、待ち時間がいつも長くて大変である。もっと病院を増やしてほしい。

6. 産後ケアなどについて

- ・ 産後ケアの拡大を望みます。産まれたばかりの子と宿泊できる産後ケア施設は多いですが、4か月以降の子も泊まれるような場所がほしい。
- ・ 産後の家事を手伝ってくれる人がいたら子どもの世話や休息に集中できるし、何人でも子どもを産みたいと思う。

7. 地域子育て支援について

- ・ 高幡不動駅周辺にも、子育て支援施設が増えてほしい。
- ・ 妊婦、母親（父親）が利用できるサービスを増やし、利用できる場所も複数あるとよい。

8. 子育て環境や支援対策について

- ・ 日野市は財政難であり、ゴミ袋の価格や子どものワクチン料金が高く、子育てに不向きだと感じる人が多い。
- ・ 自然や人の魅力はあるが、それだけでは子育てを安心して行えない。予算配分を見直し、住みたいと思える環境を整えることが必要である。
- ・ 妊婦検診の費用が高額であり、補助制度の充実を望む。
- ・ 出産祝いのオムツやおしり拭きの申込み手続きが煩雑であると感じる声があり、手続きが不便である。ネットでの手続きや地域の名産品の提供を希望する。

9. 情報提供について

- ・ 情報をホームページなどだけでなく、郵便（お知らせ）していただけるとうれしい。

10. その他

- ・ 歩きスマホや他人との会話で周りの人に迷惑がかかることがあるため、自己と他者の配慮を学ぶ授業を行う必要性がある。
- ・ 豊田駅周辺の大型マンションの増加により、駅の混雑が懸念される。
- ・ 個々の特性に合わせた教育を受けられることが必要である、
- ・ 住民アンケートにおいて無駄な設問が多く、市政の費用を無駄にしていると感じている。
- ・ 子育てや仕事の両立が難しい状況において、労働条件の改善やDXの促進を求める。

6 子育て関連事業者・団体

【主な意見】

- ・ 全ての子どもたちが安心して成長できる環境であることを願っている。
- ・ 発達支援・療育の場を増やしてほしい(毎日通園)。
- ・ 小学校の通級等の形も良い(必要な訓練施設)。
- ・ 保護者が日中フルで働いているので、リフレッシュで限度を決め預けられるとよい。
- ・ 育休を満3才までにしてはどうか。
- ・ 8～17時勤務の仕事の増加(子どもの生活リズムが違う)
- ・ 勤務時間や収入に関係なく全勤労働者が健保・厚保・労保に入れる制度があるとよい。
- ・ 他市からの転入者からは、日野市は公園や子育てひろばが多く、子育てしやすいという声をきくことが多い。さらに子育てしやすいまちにするためには経済的支援は欠かせない。
- ・ 本来は家にいて子育てに関わりたいという母親が就労しなくても安心できるよう、収入の援助などが進まないものか。
- ・ 本気で虐待をなくそうと思ったら通告や通報の強化や罰則をつくる表面的な対応だけではなくまずは親に寄り添うこと。身近に安心できる存在がいるかということだと思う。

7 市内の企業

【主な意見】

- ・ 「子どもの権利」が守られる社会であってほしいと思います。特に学校等でのいじめや、家庭での虐待は皆無になることを切望します。

日野市
子ども・子育てに関するアンケート調査
調査結果報告書

発行年月：令和6年3月

発行：日野市 子ども部 子育て課
〒191-8686
東京都日野市神明1-12-1

電話：042-514-8579

